

異常気象報告

昭和28年

第4号

昭和28年9月25日（志摩半島に上陸し、本州を縦断した）

台風第13号（No. 5313 - Typhoon Tess）

概報

昭和29年9月1日

中央気象台

注意

本報告に用いた時刻は特にことわつてない限り日本標準時 による。

単位は次の記号による

風速	m/sec	(メートル/秒)
気圧	mb	(ミリバール)
雨量	mm	(ミリメートル)
距離 および 高さ	{	cm (センチメートル)
		m (メートル)
		km (キロメートル)

(浸水の際には床上何尺というように尺の単位を使つている所もある)

流量 m^3/sec (立方メートル/秒)

m^3 (立方メートル)

飛行機で台風を観測した際の700 mb の高度はフィートで示してある。

昭和28年9月25日 志摩半島に上陸し本州を縦断した 台風第13号 (No. 5313 - Typhoon Tess)

概 況

目 次

	頁		頁
第1章 台風第13号の概要	1	§ 2.8 千島列島通過から消滅まで	38
第2章 台風的一生	9	第3章 各地の気象状況 (各地気象台測候所の報告)	41
§ 2.1 発生と初期の状況	9	§ 3.1 九州南部	41
§ 2.2 発達期	10	鹿兒島、油津、阿久根	
§ 2.3 最盛期	10	§ 3.2 九州北部	41
§ 2.4 成熟期	10	佐賀、長崎、平戸	
§ 2.5 北緯30度線から本邦接近まで	11	§ 3.3 四国地方	41
§ 2.6 潮岬より東北地方横断まで	15	高松、徳島、高知、松山	
§ 2.6.1 潮岬付近通過	16	§ 3.4 中国地方	45
§ 2.6.2 尾鷲沖通過	17	広島、岡山、松江、鳥取	
§ 2.6.3 志摩半島横断	17	§ 3.5 近畿地方	46
§ 2.6.4 知多半島通過と愛知県上陸	17	大阪、神戸、洲本、豊岡、舞鶴、滋賀縣、奈良、和歌山	
§ 2.6.5 飯田付近通過	17	潮岬	
§ 2.6.6 諏訪と松本の向を通過	18	§ 3.6 東海地方	54
§ 2.6.7 長野と軽井沢の向を通過	18	津、尾鷲、龜山、上野、愛知県、伊良湖、岐阜	
§ 2.6.8 新潟縣通過	18	静岡、浜松	
§ 2.6.9 東北地方通過	18	§ 3.7 甲信地方	61
1. 若松, 2. 酒田, 3. 山形, 4. 仙台,		甲府、長野	
5. 盛岡, 6. 宮古, 7. 八戸,		§ 3.8 北陸地方	63
§ 2.6.10 山岳測候所の状況	19	福井、敦賀、富山、新潟縣、相川	
1. 富士山, 2. 剣山, 3. 伊吹山		§ 3.9 関東地方	67
§ 2.6.11 副低気圧の発生	19	熊谷、横浜、東京、銚子、富崎、水戸、宇都宮、	
§ 2.7. 北海道南方海上通過	38	§ 3.10 東北地方	71
		仙台、青森	

§ 3.11 北海道地方	72頁
第 4 章 暴風状況	75
第 5 章 降雨状況と河川状況	83
§ 5.1 降雨状況	83
§ 5.2 河川状況	93
§ 5.2.1 近畿地方の出水状況	93
§ 5.2.2 淡路島における河川水位状況	96
§ 5.2.3 京都府の河川状況	96
§ 5.2.4 滋賀県の河川状況	97
§ 5.2.5 奈良県の河川状況	97
§ 5.2.6 和歌山県の河川状況	97
§ 5.2.7 三重県の河川状況	98
§ 5.2.8 愛知県の河川状況	99
§ 5.2.9 富山県の河川状況	99
§ 5.2.10 天竜川の増水状況	100
§ 5.2.11 荒川、利根川の増水状況	100
第 6 章 被害状況	102
§ 6.1 概況	102
§ 6.2 各地の被害状況	102
§ 6.2.1 九州各地の農作物被害	107
§ 6.2.2 徳島県被害状況	107
§ 6.2.3 香川県	107
§ 6.2.4 岡山県	107
§ 6.2.5 鳥取県被害状況	108
§ 6.2.6 兵庫縣	108
§ 6.2.7 京都府	108
§ 6.2.8 滋賀縣	112
§ 6.2.9 奈良縣	112
§ 6.2.10 和歌山縣	113
§ 6.2.11 三重縣	114
§ 6.2.12 愛知縣	115

§ 6.2.13 静岡縣被害状況	117頁
§ 6.2.14 福井縣	118
§ 6.2.15 富山縣	119
§ 6.2.16 山梨縣	120
§ 6.2.17 長野縣	121
§ 6.2.18 埼玉縣	122
§ 6.2.19 青森縣	123
§ 6.2.20 北海道	124
§ 6.2.21 その他の	124
§ 6.2.22 塩風害	124
第 7 章 高潮の状況	126
§ 7.1 概況	126
§ 7.2 各地の高潮状況	127
§ 7.2.1 枕崎測候所報告	127
§ 7.2.2 徳島測候所報告(小松島)	127
§ 7.2.3 洲本測候所報告(淡路島)	129
§ 7.2.4 大阪(天保山)	129
§ 7.2.5 神戸	131
§ 7.2.6 和歌山	131
§ 7.2.7 串本	131
§ 7.2.8 神戸	131
§ 7.2.9 三重縣高潮状況(鳥羽)	131
§ 7.2.10 愛知縣の高潮状況	133
§ 7.2.11 浜松測候所報告	135
§ 7.2.12 御前崎	136
§ 7.2.13 清水港	136
§ 7.2.14 内浦	136
§ 7.2.15 伊東	137
§ 7.2.16 横浜測候所報告	137
§ 7.2.17 東京管区気象台報告(東京湾)	138
§ 7.2.18 富崎測候所報告	138

§ 7.2.19 小名浜	138	頁
§ 7.2.20 宮古	138	
§ 7.2.21 舞鶴	138	
村 図		
第 1.1 図 台風第 13 号径路図	4	
第 1.2 図 台風第 13 号本邦縦断経路図	5	
第 1.3 図 (a-c) 昭和 28 年 9 月 23 日 9 時~25 日 9 時 地上天気図	6	
第 2.1 図 昭和 28 年 9 月 16 日 21 時地上天気図	9	
第 2.2 図 (a, b) 昭和 28 年 9 月 16 日, 17 日 12 時 赤道流線図	11	
第 2.3 図 9 月 17 日飛行機観測状況図	12	
第 2.4 図 台風第 13 号の発達期の径路図	13	
第 2.5 図 台風の前面にあつた前線の北上と これに伴う雨域の移動図	13	
第 2.6 図 台風第 13 号本州縦断経路図	21	
第 2.7 図 台風第 13 号志摩半島横断図	22	
第 2.8 図 台風第 13 号愛知県上陸径路図	23	
第 2.9 図 (a-c) 毎時天気図 (25 日 14 時~24 時)	24	
第 2.10 図 潮岬 10 分間隔気象要素変化図	27	
第 2.11 図 潮岬と尾鷲の気象要素変化図	28	
第 2.12 図 飯田気象要素変化図	29	
第 2.13 図 a. 諏訪, b. 松本気象要素変化図	29	
第 2.14 図 a. 長野, b. 軽井沢気象要素変化図	30	
第 2.15 図 a. 富士山, b. 剣山、伊吹山気象要素変化図	31	
第 2.16 図 潮岬自記紙寫 (a. 気圧 b. ダインズ, c. 風信器)	33	
第 2.17 図 飯田自記紙寫 (a. ダインズ, b. 風信器)	34	
第 2.18 図 気圧自記紙の比較図 (潮岬、尾鷲、伊良湖、 名古屋、飯田、諏訪)	35	
第 2.19 図 諏訪、松本自記紙寫 (a. 気圧, b, c. ダインズ,		

d. c 風信器	36	頁
第 2.20 図 (a-c) 長野、軽井沢、高田のダインズ風圧 計字	37	
第 2.21 図 前橋の風向変化図 (風信器自記紙寫)	37	
第 2.22 図 釧路、根室の気象要素変化図 (a, b)	38	
第 2.23 図 昭和 28 年 9 月 26 日 9 時, 12 時, 15 時地上 天気図 (a, b, c)	39	
第 2.24 図 台風衰弱、消滅期の経路図	40	
第 3.1 図 (a, b) 四国地方総雨量図	42	
第 3.2 図 徳島縣総雨量分布図	43	
第 3.3 図 徳島の気象要素変化図	44	
第 3.4 図 高知縣総雨量分布図	45	
第 3.5 図 室戸岬気象要素変化図	45	
第 3.6 図 中國地方総雨量分布図	45	
第 3.7 図 岡山縣総雨量分布図	46	
第 3.8 図 鳥取縣総雨量分布図	46	
第 3.9 図 兵庫縣総雨量分布図	47	
第 3.10 図 淡路島の総雨量分布図	48	
第 3.11 図 京都府総雨量の分布図	49	
第 3.12 図 各地の時間雨量曲線	50	
第 3.13 図 滋賀縣総雨量分布図及水害地図	51	
第 3.14 図 和歌山縣総雨量分布図	52	
第 3.15 図 台風域内の気圧分布断面図 (潮岬渡候所)	53	
第 3.16 図 三重縣総雨量分布図	54	
第 3.17 図 三重縣の台風状況図	56	
第 3.18 図 渥美半島水害状況図	58	
第 3.19 図 静岡気象要素変化図	60	
第 3.20 図 (a, b) 静岡縣雨量分布図	60	
第 3.21 図 浜松管内雨量分布図	61	
第 3.22 図 山梨縣総雨量分布図	62	
第 3.23 図 長野縣	63	

	頁	
第3.24図	福井縣總雨量分布図	64
第3.25図	小浜市水害地図	65
第3.26図	富山縣總雨量分布図	66
第3.27図	埼玉縣總雨量分布図	67
第3.28図	嵐風害の被害地(神奈川縣)	68
第3.29図	神奈川縣總雨量分布図	69
第3.30図	東京都内の雨量分布図	69
第3.31図	千葉縣總雨量分布図	70
第3.32図	栃木、群馬縣	71
第3.33図	東北地方總雨量分布図	72
第3.34図	(a-d)北海道の気象要素別分布図	74
第4.1図	各地の最低気圧と同起時及風向変化図	79
第4.2図	等最低気圧線と等起時線図	80
第4.3図	最大風速線図	81
第4.4図	瞬間最大風速線図	81
第5.1図	台風第13号總雨量図	87
第5.2図	台風第13号日雨量図(22日)	88
第5.3図	台風第13号日雨量図(23日)	89
第5.4図	“ (24日)	90
第5.5図	“ (25日)	91
第5.6図	“ (26日)	92
第5.7図	昭和28年9月25日13時地上天気図	92
第5.8図	(a, b)淀川水系水位変化図	95
第5.9図	長田川の長田および島ヶ原量水標の水位 変化図	99
第5.10図	天竜川水位曲線図	100
第6.1図	京都府災害地略図	110
第6.2図	舞鶴市浸水状況図	111
第6.3図	穂高川浸水状況図(松本市北方)	122

	頁	
第7.1図	潮位の最大偏差分布図	126
第7.2図	小松島港における実測潮位と推算潮位との 比較図	127
第7.3図	小松島港におけるフース型検潮儀記象紙	128
第7.4図	大阪港の潮位変化図	129
第7.5図	浦神検潮所潮位曲線図	130
第7.6図	鳥羽港検潮儀記録	133
第7.7図	(a-b)名古屋における検潮記録	134
第7.8図	(a-d)愛知縣下検潮儀自記紙の記録	134
第7.9図	(a-b)舞阪港潮位記象	136
第7.10図	第二港湾建設部(川崎港)検潮儀記録	137
第7.11図	東京湾(月島)の潮位	138
第7.12図	(a-b)宮津、舞鶴潮位図	139

付 表

第1.1表	台風位置表	2
第1.2表	飛行機観測による台風中心の状況一覧表	3
第2.1表	南大東島天気変化表と気圧変化曲線	14
第2.2表	名瀬、尾久島天気変化表と気圧変化曲線	14
第2.3表	船舶による観測表	15
	a. きよと丸 b. 新南丸 (やまふく丸)	
	d. ちくさ丸	
第2.4表	台風第13号毎時位置表	16
第3.1表	小松島、赤河内、板東(徳島縣)毎時風速表	43
第3.2表	和歌山縣内区内観測値	52
第3.3表	東京都内各観測所付近の災害表	69
第4.1表	地域別暴風状況表	76
第4.2表	台風第13号の各地の暴風観測表	76
第4.3表	灯台における暴風観測表	78
第4.4表	過去の台風における最低気圧との比較表	78

第4.5表	山岳測候所及位置の高い測候所の観測表	78
第5.1表	各地の降雨観測表	84
第5.2表	淀川水系雨量總括表	93
第5.3表	淀川水系最高水位表	94
第5.4表	京都府水位表	96
第5.5表	(a-b) 滋賀縣河川関係雨量観表及各河川水位表	97
第5.6表	奈良縣各河川の最高水位表	97
第5.7表	和歌山縣毎時水位表	97
第5.8表	三重縣水位観測表	98
第5.9表	伊賀地方各河川水位状況表	99
第5.10表	愛知縣河川水位表	99
第5.11表	富山縣河川別最高流量(水位)表	99
第5.12表	荒川利根川水位表	101
第6.1表	各都道府縣別被害表(国警本部)	103
第6.2表	土木被害額調(建設省)	104
第6.3表	山林関係、被害額調(林野庁)	104
第6.4表	気象官署よりの報告による被害表	105
第6.5表	徳島縣下被害表	107
第6.6表	香川縣下	107
第6.7表	岡山縣下	107
第6.8表	兵庫縣下	108
第6.9表	京都府下	109
第6.10表	滋賀縣下	112
第6.11表	滋賀縣被害金額表	112
第6.12表	奈良縣下被害表	112
第6.13表	(a-b) 和歌山縣下被害表	113
第6.14表	三重縣下被害表	114
第6.15表	上野市役所調査による被害表	115
第6.16表	愛知縣下被害表	116
第6.17表	渥美地方被害表	117
第6.18表	福井縣下被害表	118

頁

第6.19表	嶺南地方被害表	119
第6.20表	富山縣下被害表	119
第6.21表	埼玉縣農業関係被害表	123
第6.22表	北海道被害表	124
第7.1表	(a-b) 各地の高潮最大値	126
第7.2表	大阪港(天保山)毎時観測表	131
第7.3表	鳥羽港実測潮位表	133
第7.4表	鳥羽港潮位偏差表	133

頁

付録

第1表	参考資料一覽表	140
第2.1表	各地の区内日別雨量表	141
第2.2表	電力、鉄道、その他の日別雨量表	151
第3.1表	気象官署の毎時雨量表	159
第3.2表	気象官署以外の毎時雨量表	165
第4表	暴風雨毎時観測報告	172

第 1 章

台風第 13 号の概要

9月25日志摩半島に上陸し、本州を縦断して、各地に大被害をもたらした台風第13号の経過の概要は次の通りである。

9月16日21時、トラック島の南東方150 kmの北緯6.5度、東経153度附近に1008 mbの弱い熱帯低気圧が発生した。17日から飛行機による観測が行われるようになり、台風が存在がはつきりしてきた。この後毎日1回ないし3回ぐらい飛行機で台風の中心の観測が行われた。

17日9時以後台風は西北西に進み、次第に中心示度が深くなって来た。18日の飛行機観測では南西、南東象限で30 m/secの風が観測されたので、18日9時より台風第13号として取扱われるようになった。(この時同時にTyphoon Tess と命名された。)

その後飛行機の観測によると台風は一時やや衰弱したらしく、19日9時には弱い熱帯低気圧となった。しかし19日午後の観測によると再び発達していることがわかり、19日15時より再び台風となった。この頃から速度をやや減じ、20日には北西に向きを変えた。20日の飛行機観測では中心示度は985 mbであつたが、21日の観測では中心示度は996 mbで、台風は再び中心示度が浅くなった。しかしこの頃の中心附近の最大風速はかなり大きく40 m/sec以上となつていた。22日08時18分の飛行機観測では中心示度は993.0 mbであつたが、同日13時22分には中心示度は897 mbとなり、わずか5時向に96 mbの急下降を示し、台風は急激に発達した。この頃の中心附近の最大風速は75 m/secで、25 m/sec以上の暴風半径は300 Kmであつた。この頃から23日3時までが最も発達した時であつた。

23日9時から中心示度は915 mbとなり、中心附近の最大風速は60 m/secとなり、やや衰弱した。この後25日6時頃までほとんど同じような状態で北上した。24日9時には南大東島の東150 km位の所を通過し、25日3時には北緯30度線に達し、これより北北東に向つて進んだ。25日7時から中心示度930 mbとなり、やや衰弱した。

25日15時には潮岬の東方20 kmの所を通過し、その後紀伊半島に

そつて熊野灘を北北東に進み、17時頃、志摩半島を横断した。18時には伊勢湾に入り、18時半頃、知多半島を横断し、19時頃、豊南市附近から愛知県に上陸した。

その後、岡崎市の南を通り北北東進み、飯田の西を通り、21時には諏訪附近を通過し、26日0時には新潟の東に達した。その後東北地方を北北東に横断し、6時には宮古と入戸の中間を通つて三陸沖に出た。9時頃襟裳岬の南方60 km附近を通り、15時には根室附近に達した。その後千島列島にそつて進み、28日3時以後は温帯性低気圧となつて東進し、29日15時カムチャツカ半島の南東方で消滅した。

この間、海上における中心附近の最大風速は75 m/sec位で、中心から半径300 km以内では25 m/sec以上の暴風であつた。一方陸上での最大風速は洲本の37.0 m/sec、大王崎の34.1 m/sec、長津呂の32.9 m/secが強いもので、瞬間最大風速では大王崎の45.0 m/sec、洲本の42.3 m/secが強かつた。最低気圧は潮岬は947.9 mb、大王崎は953.1 mb、尾鷲は953.3 mb、伊良湖は957.1 mbであつた。

台風第13号による被害は鹿児島県から北海道までの全国の都道府県におよび、死者393名、負傷者2559名、行方不明85名、家屋全壊5989戸、半壊17467戸、流失2615戸、床上浸水144300戸、床下浸水351575戸におよび、罹災者は100万人以上に達した。伊勢湾附近では高潮による被害が甚大であつた。

第1.1表 各風位置表

日 時	中心位置		中心示度 mb	進行方向及 速度 Km/h	中心付近 最大風速 m/sec	備 考
	北 緯	東 経				
16. 21	6.5	153.0	1008	NNW 28		発生、弱い熱帯低気圧
17. 03	7.8	152.3	1006	NNW 28		弱い熱帯低気圧(TD)
09	9.0	151.5	1005	WNW 28	10	"
15	9.5	150.2	1003	WNW 20		"
21	9.8	149.2	1002	WNW 20	15	"
18. 03	10.0	148.2	1000	WNW 20	15	"
09	10.3	147.2	998	WNW 20	33	台風第1号とほぼ
15	10.7	146.4	1001	WNW 35	25	台風(T.S)
21	11.2	144.6	1002	WNW 35	25	"
19. 03	11.5	142.9	1002	WNW 35	25	"
09	11.8	141.1	1002	WNW 25	15	弱い熱帯低気圧(TD)
15	12.0	139.7	998	WNW 15	25	台風(T.S)
21	12.1	138.9	998	WNW 15	25	"
20. 03	12.4	138.1	998	NW 15	25	"
09	12.7	137.3	995	NW 15	25	"
15	13.1	136.9	985	NW 12	40	台風(Typhoon)
21	13.5	136.5	985	NW 12	40	"
21. 03	13.9	136.1	990	NW 12	40	"
09	14.3	135.8	996	NNW 22	40	"
15	15.3	135.1	996	NNW 22	33	"
21	16.4	134.5	995	NNW 22	33	"
22. 03	17.4	133.9	994	NNW 22	33	"
09	18.5	133.5	993	NNW 22	50	"25%の暴風半径200km
15	19.3	133.0	897	NW 10	75	25%の暴風半径300km
21	19.7	132.7	900	NNE 10	75	"
23. 03	20.0	132.8	900	N 15	75	"
09	20.9	132.8	915	N 22	75	"
12	21.6	132.7	915	NNE 22	60	"
15	22.4	133.0	915	NNE 22	60	"
18	22.9	133.2	915	N 22	60	"
21	23.5	133.3	915	N 22	60	"
24. 00	24.1	133.2	915	NNW 22	60	25%の暴風半径260km
03	24.6	133.0	915	NNW 22	60	"
06	25.3	132.9	915	N 22	60	"
09	25.7	132.9	915	NNE 22	60	25%の暴風半径200km
12	26.3	133.2	915	NNE 22	60	"

日 時	中心位置		中心示度 mb	進行方向及 速度 Km/h	中心付近 最大風速	備 考
	北 緯	東 経				
24. 15	26.8	133.4	915	N~NNE 22	60	25%の暴風半径200km
18	27.4	133.7	915	N 32	60	25%の暴風半径300km
21	28.3	133.7	915	N 32	60	"
25. 00	29.2	133.8	915	N 32	60	"
03	30.0	134.0	915	NNE 35	60	"
06	30.8	134.5	915	NNE 35	60	25%の暴風半径240km
09	31.7	134.9	930	NNE 35	60	"
12	32.6	135.4	930	NNE 35	50	"
15	33.5	136.1	930	NNE 40	50	潮岬付近
18	34.6	136.8	946	NNE 60	50	伊勢湾
21	35.8	137.9	974	NNE 90	35	諏訪付近
26. 00	37.9	139.5	976	NE 60	38	新潟市の東方
03	39.2	140.8	978	NE 60	35	宮城、山形、秋田県境
06	40.3	142.2	980	NE 55	33	台風(Tropical Stormとほぼ)
09	41.4	143.5	978	NE 55	30	襦袢岬南方海上
12	42.5	144.8	978	NE 40	30	釧路南南東方海上
15	43.3	145.7	980	NE 20	30	根室付近
18	43.9	156.8	980	NE 35		
21	44.5	158.0	980	NE 35		
27. 00	45.2	159.1	980	NE 30		
03	45.8	160.0	980	NE 30		
06	46.5	160.9	980	NE 25		
09	47.0	161.4	980	NE 25		
12	47.6	162.0	980	NNE 30		
15	48.3	162.6	982	NNW 30		
18	49.0	163.0	984	NW 30		
21	49.7	162.6	986	NW 30		
28. 00	50.3	161.8	986	E 18		温帯低気圧とほぼ。
03	51.0	161.0	990	E 18		
09	51.0	162.5	990	E 18		
15	51.0	164.1	996	E 20		
21	51.0	164.6	996	ESE 20		
29. 03	50.9	167.4	1000	ESE 12		
09	50.7	169.0	1002			
15	50.3	170.0	1003			

第1.2表 飛行機観測による台風中心の状況一覧表

(ここではノット、マイル、フィートの単位を用)

日 時	(I) 分	中心位置 北緯	東経	位置決定法 及誤差 マイル	中心示度 mb	700 mb の高度 feet	地上最大風速 象 限 ノット	眼 の 直 径 マイル	備 考
17	10.38	9°06'	151°11'	10	1005.2		SE 18 SW 20 NE 15 NW 25	60	眼は北東側開き、他は閉じている。
17	14.46	9.5	150.3	推測 8	1003.5		SW 18 NE 25		
18	06.56	10°15'	147°22'	ロラン 5			N 30		
18	09.43	10°19'	147°10'	ロラン 5	998		SW, SE, 60		
18	13.06	10°45'	146°56'	ロラン 3	1001.6		N. 22 SE 20	N-S 35 NE-SW 60	雨 light
18	16.02	10°44'	146°13'						
19	12.55	11°58'	140°12'	ロラン 3	998.3		SE, 20マイル以内 50 ノット	12 レダクによる	じょう乱 light
20	11.37	12°51'	137°05'	ロラン 10	985	9740	NE 75	10	じょう乱 light
20	16.00	13°17'	136°52'	ロラン 10	983	9650	S 80	10	北側開いている
21	09.03	14°21'	135°50'	ロラン 10	996	9900	SE 20マイル以内 65 ノット	20 不 確 実	南東が開いている。
21	13.50	15.01	135°16'	ロラン 5	996	9900	E 65	N-S 15 E-W 20	
22	08.18	18°13'	133°34'	ロラン 3	993.0		NE 75 その他 100	20	50ノットの暴風半径 100マイル
22	13.22	19°20'	133°10'	ロラン 19	897		全 150	7	中心示度ドロップゾーンの中心
22	16.43	19°23'	132°45'	ロラン 10		7206	全 150	10	
23	07.10	20°30'	132°55'	ロラン 8	917	7750	NW 85	14	
23	11.08	21°17'	132°45'	ロラン 10	907	7400	E 120 他 80	15 正 確	
23	15.50	22°25'	133°02'	ロラン 10	915	7750	SW 120	12	
24	17.17	27°10'	133°37'	ロラン 5	(915)	7400	NE 50 SE	5 円 形	地上気温 28.6°C
25	07.28	31°18'	134°44'	ロラン 10	(932)	8205	全 70	EME-WSW 9 SSE-MNW 7	
25	10.50	32°22'	135°05'	ロラン 2				SSE-MNW 9 ENE-WSW 7	

註 中心示度中 () でかこんだものは700 mbの高度から推算した地上の気圧値

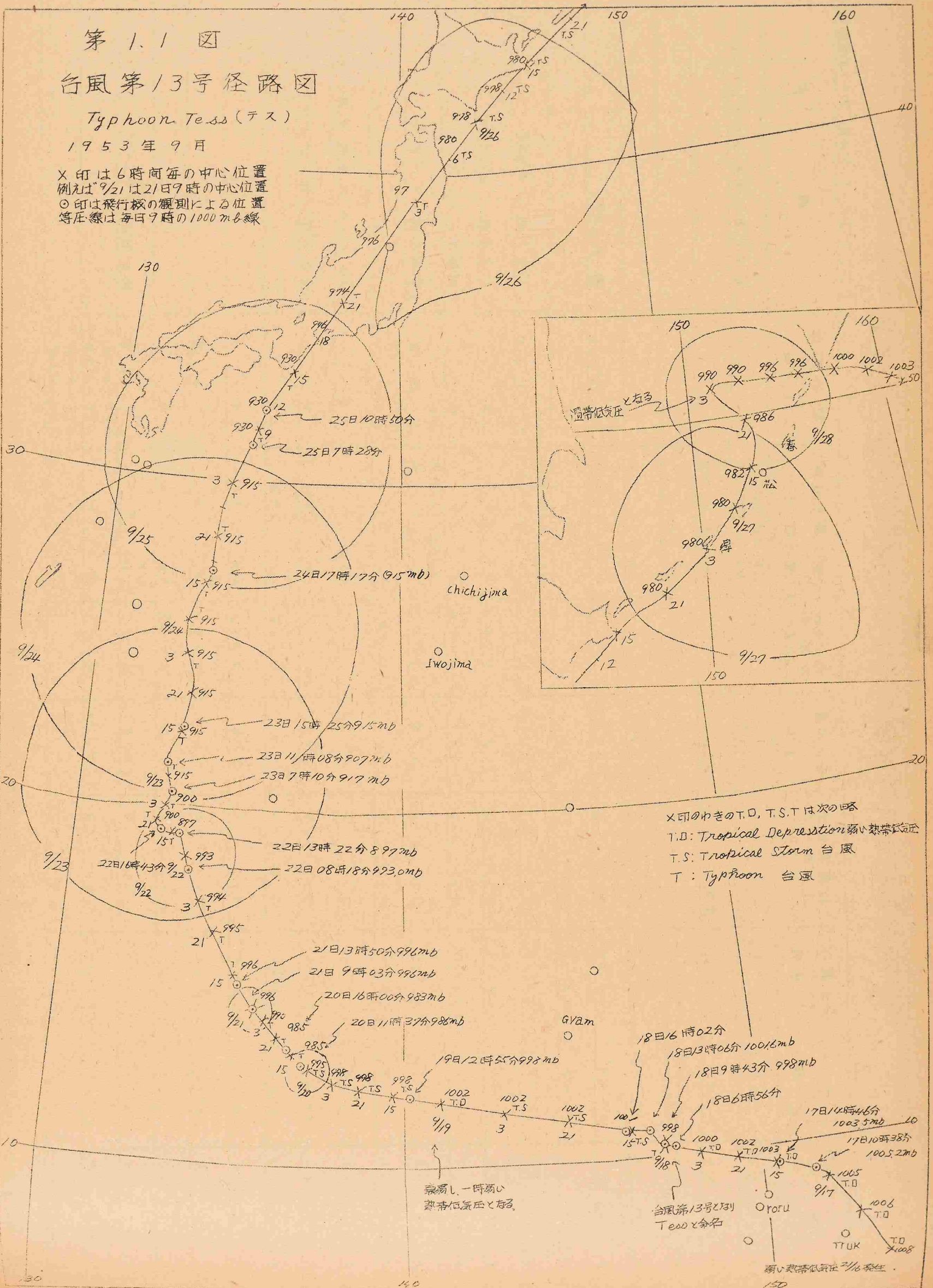
第 1.1 図

台風第13号経路図

Typhoon Tess (テス)

1953年9月

X印は6時間毎の中心位置
 例えば9/21は21日9時の中心位置
 O印は飛行機の観測による位置
 等圧線は毎日7時の1000mb線



X印のわきのT.D., T.S., Tは次の略
 T.D.: Tropical Depression 弱い熱帯低気圧
 T.S.: Tropical Storm 台風
 T: Typhoon 台風

衰弱し、一時弱い
 熱帯低気圧となる

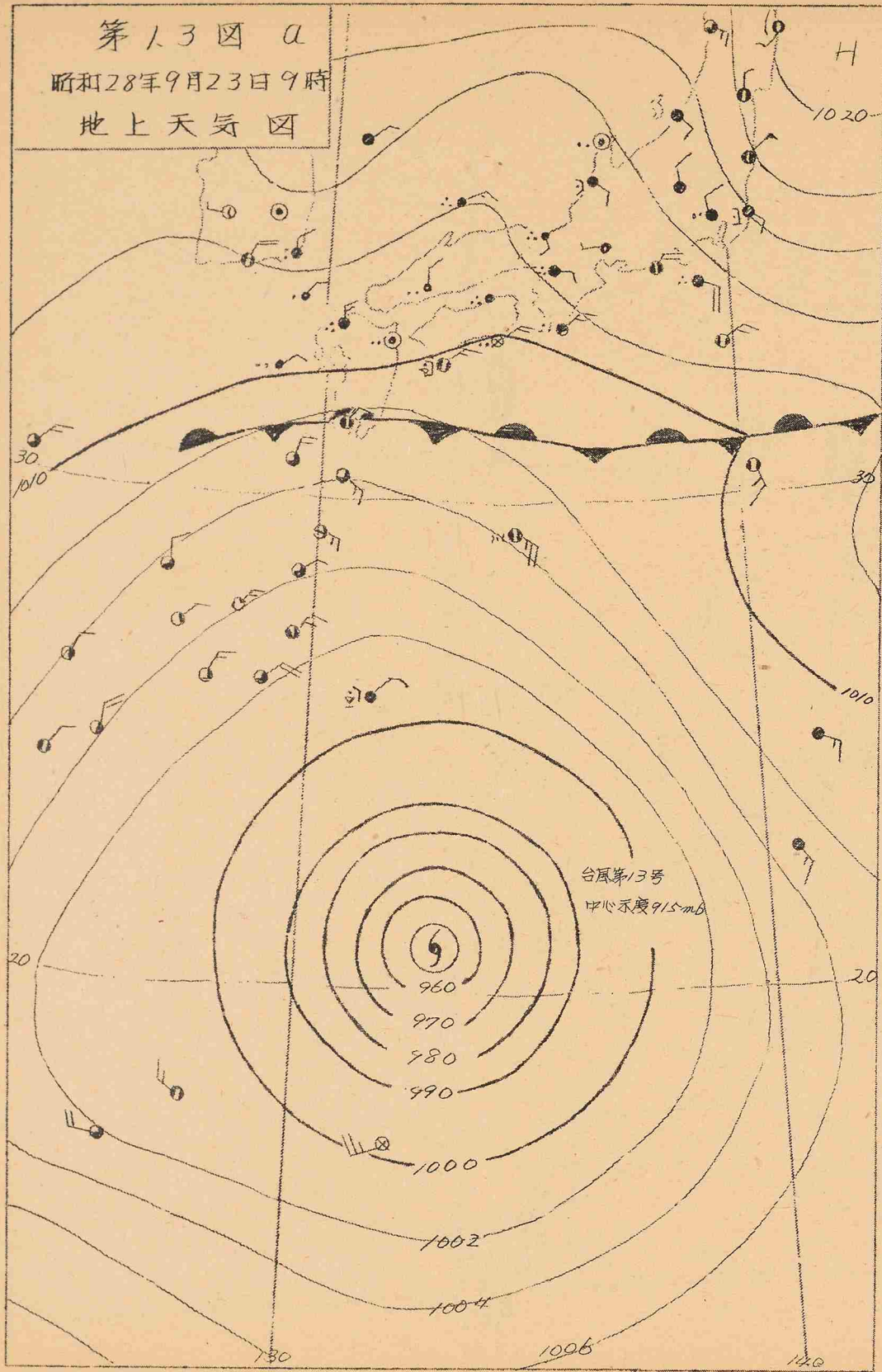
台風第13号と別
 Tessと命名

弱い熱帯低気圧2/16発生

第13図 a

昭和28年9月23日9時

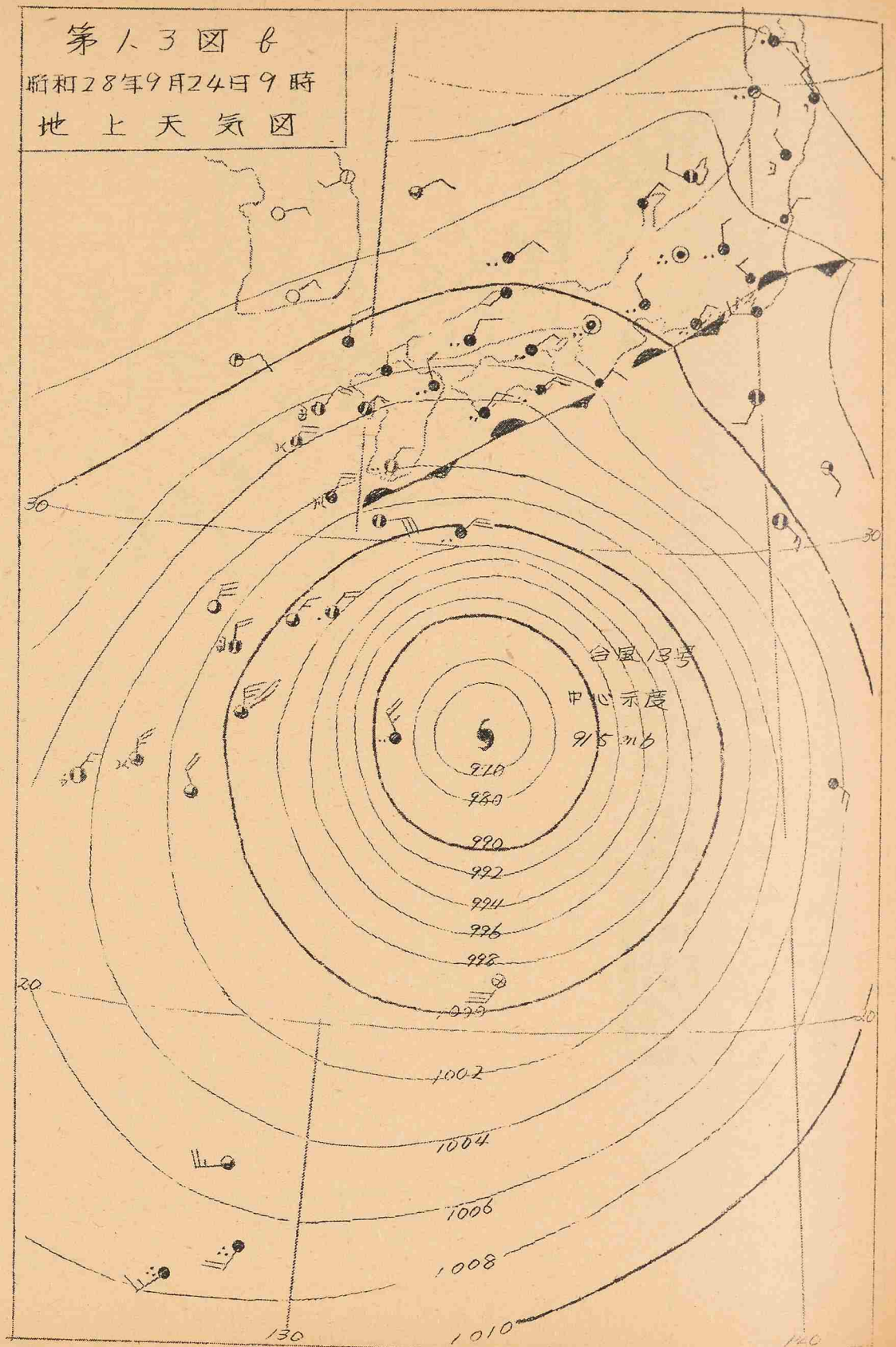
地上天気図



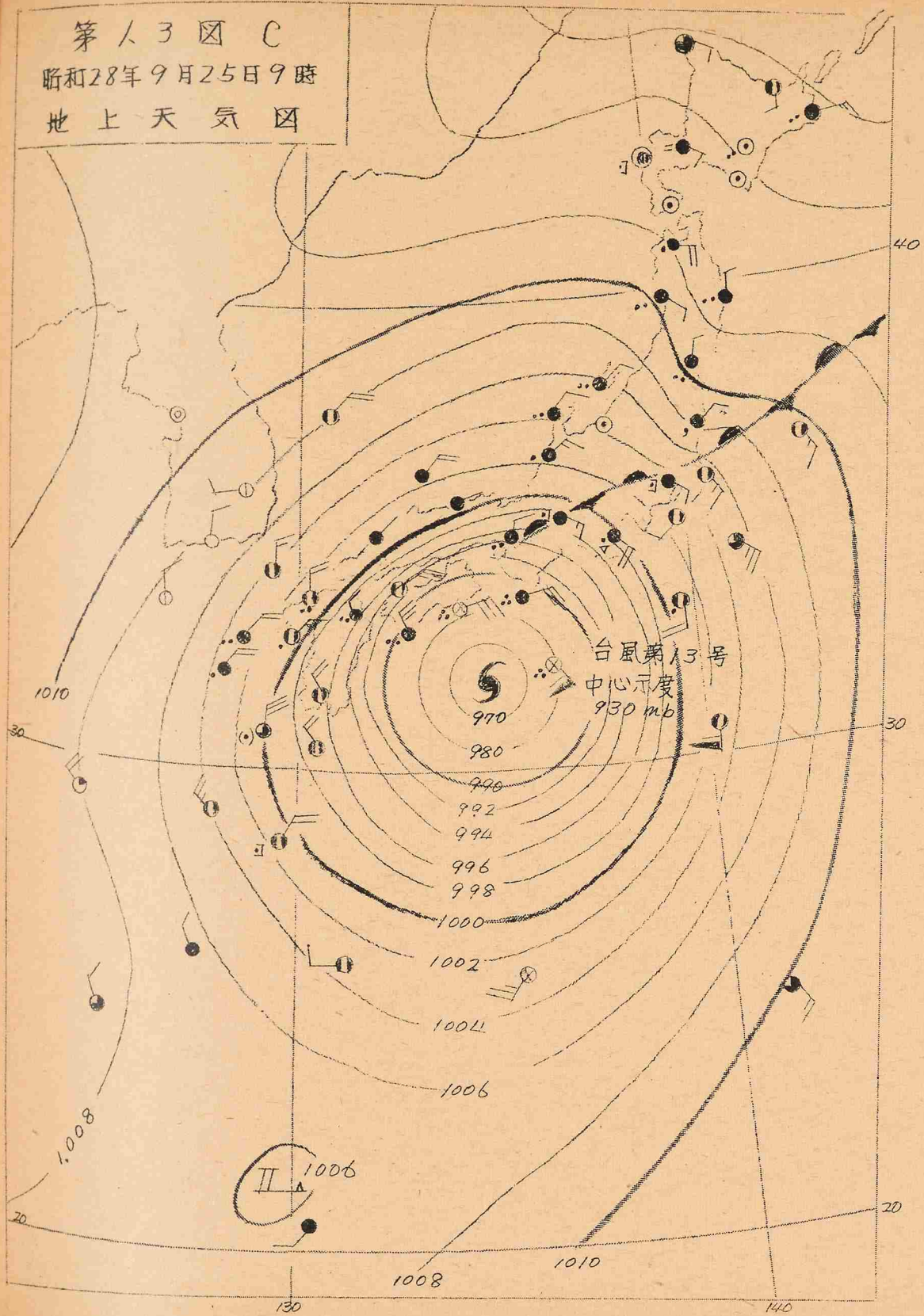
第13図 b

昭和28年9月24日9時

地上天気図



第13図 C
 昭和28年9月25日9時
 地上天気図

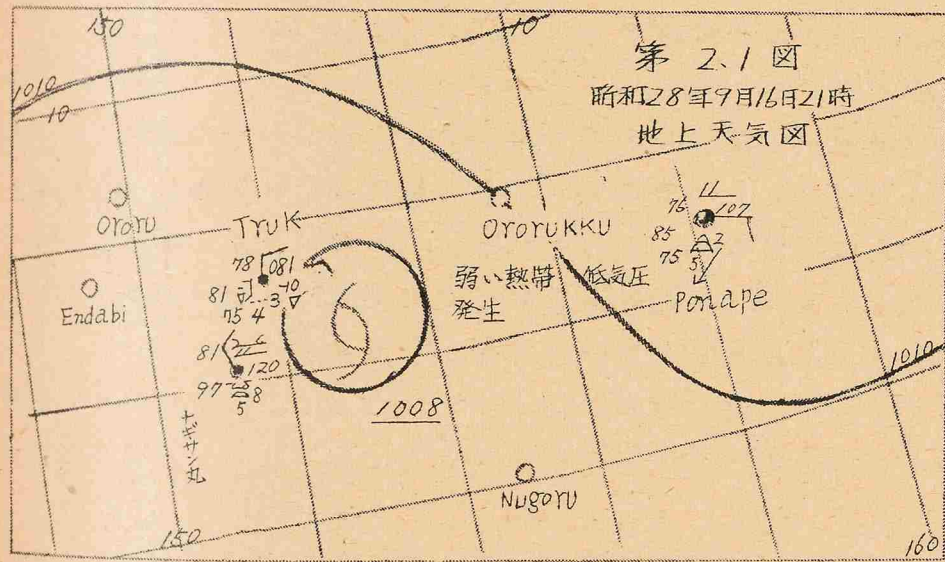


第 2 章

台 風 の 一 生

§2.1 発生と初期の状況

9月16日21時トラック島の南東方150 Kmの北緯6.5度、東経153度付近に1008 mbの弱い熱帯低気圧が発生した。第2.1図によればトラック島と船舶の資料より熱帯低気圧の存在が及とめられた。この弱い熱帯低気圧はトラック島の東側を通り北北西に進んだが、17日3時の状況は資料がないのでくわしいことはわからなかつた。発生は赤道流線図(第2.2図a、b)によると、15日から16日にかけて偏東風の波動(一スラリー・ウェイヴ)が東経160度付近を西進し、16日12時には北緯7度、東経153度付近で風のシアーが顕著となり、にわか雨が降っていたが、17日12時にはかなりはつきりした楕圓を示し、ここに熱帯低気圧の存在が確認されるようになった。



第 2.1 図
昭和28年9月16日21時
地上天気図

17日の状況

17日から飛行機による観測が行われるようになった。この結果はじめて17日10時38分、北緯9度6分、東経151度11分で眼をとらえ、台風が存在が確認された。眼内の最低気圧は1005.2 mbで、眼の直径は120 Kmであつたが周囲はぼやけてまだはつきりと円形にまとまら

ず、北東側が崩れていた。またこの時の地上の最大風速は北西象限13 m/sec、南西象限10 m/sec、北東象限8 m/sec、南東象限9 m/secで、風は弱かつた。雨域はかなり広く、ガム島から200 Kmぐらひはなれた所まで雨が降つていた。(第2.3図)

17日午後の飛行機観測では南東象限9 m/sec、北東象限13 m/secにすぎず、台風による風はまだ弱いものであつた。

この弱い熱帯低気圧は17日9時より西北西に転向し、次第に中心高度を深めてきた。しかし、17日中は中心付近の最大風速が15 m/sec以下で、まだあまり発達していなかつた。

18日の状況

9時43分、飛行機観測によると北緯10度19分、東経147度10分で眼が観測され、南西と南東象限で30 m/sec以上の風が観測されたので18日9時より台風として取扱われ、台風第13号と呼ばれるようになった。(この時からTyphoon Tess と命名された。)

18日午後の観測では眼の直径南北70 Km、北東から南西120 Kmと観測されたが、最大風速は北側で11 m/sec、中心から南東方100 Kmの所で10 m/sec とまだ弱いものであつた。

18日夜半から19日早朝にかけてガム島の南方250 Km付近を通過した。ガム島では18日早朝より雨が降り始め、昼頃にはかなり強くなり、風向は台風の進行とともに順転した。次にガム島の18日、19日の天気変化表を示す。

	00時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時
18日	79 2/086 81 10 76 4	77 24/068 74 19 74 4	71 22/073 80 7 75 4	77 5/093 80 120 75 2	77 4/066 40 28 74 5	77 48/052 76 4 78 3	77 56/052 78 5 78 7	80 32/066 71 8 71 4
19日	78 80/045 76 19 76 3	79 48/039 48 7 77 3	79 80/062 76 24 76 4	80 80/069 80 17 75 4	83 80/062 80 10 76 4	81 64/052 64 10 78 4	79 85/066 85 14 75	80 80/076 80 10 70 4

19日の状況

19日には台風は一時かなり衰弱した。午前の飛行機観測によれば、

はつきりした眼が認められず、大きな静穏域が北緯11.5度、東経141度から北緯12.4度、東経143度までの間に発見された。これは気圧の谷のような状態を示して、わずかに地上の風の分布によつて中心が求められるにすぎなかつた。この気圧の谷の南側は弱い南西風で、北側は東および北東の風(8~10 m/sec 位)で、最も強い風でも東の10 m/sec にすぎなかつた。このため19日9時には一時弱い熱帯低気圧となつた。

18日から19日にかけての移動速度はかなり大きく、西北西に毎時35 km ぐらいであつた。

§2.2 発達期

19日午後の飛行機観測では、眼の直径24 km、台風南東側40 km 以内では風速25 m/sec 以上の風が観測され、再び発達し、15時より再び台風となつた。台風はこの頃から進行速度はやや小さくなり毎時15 km となつた。

20日の状況

台風は次第に発達しながら西北西より北西に転向した。飛行機の観測によれば中心示度は990 mb 以下となりかなり発達した。11時37分の眼の観測では中心示度986 mb、最大風速は北東象限で38 m/sec、眼の直径は20 km であつた。

21日の状況

9時03分と13時50分の2回、眼を観測し、中心示度は996 mb で20日より中心示度がやや浅くなつた。最大風速も33 m/sec でこれも弱くなつていた。その後ゆつくり発達しながら北西に進んだ。

§2.3 最盛期

22日の状況

22日08時18分、北緯18度13分、東経133度34分で眼を観測し、この時の中心示度は993 mb で、中心付近の最大風速は50 m/sec で、25 m/sec 以上の暴風半径は180 km と拡大した。しかし13時22分には北緯19度20分、東経133度10分で眼を観測し、この時の中心示度はドロツプゾンデによると897 mb で、前回の観測にくらべて、わずかに5時間余りの間に96 mb の急下降を示し、台風は急激に発達した。第2.4図によると22日9時から15時にかけて1000 mb の閉じられた等圧線は急激に拡大していた。中心付近の最大風速は全象限とも

75 m/sec となり、暴風半径は300 km 以内が25 m/sec となつた。22日午後は台風が最も発達した頃で、台風第13号の生涯中の最深示度を示し、900 mb 以下となつた。しかし同日16時43分の眼の観測ではドロツプゾンデによる観測が行われなかつたので中心示度がわからなかつたが、その後23日3時まで中心示度900 mb を示した。なお台風はこの頃、台風の進行方向に対して西側に小さな半円をかくような経路をとつてゆつくり北上した。

§2.4 成熟期

23日の状況

23日7時10分に北緯20度30分、東経132度55分で眼を観測した。眼の直径は25 km で、中心付近の地上の風は眼の北西で40 m/sec、25 m/sec の暴風半径は北西では約250 km、南西では約300 km で、眼内の海面気圧は917 mb で、台風は最盛期が過ぎややおとろえてきた。しかし台風の勢力は依然として強く、25日6時頃までほとんど同じような状態で、毎時22 km ぐらいの速度で北上した。この頃の中心付近の最大風速は60 m/sec で、中心から半径300 km 以内は最大風速25 m/sec 以上の暴風雨であつた。

24日の状況

24日9時頃南大東島の東方150 km ぐらいの所を通過した。南大東島では24日7時と12時に985.7 mb の気圧を観測し、6時から14時までほとんど986 mb 位であつた。この頃の台風の暴風半径は200 km 以内が25 m/sec と推定されたが南大東島では風はあまり強くなく、せいぜい13 m/sec 程度であつた(第2.1表参表)

24日17時17分の観測では、中心から100 km 位の北東と南東象限では最大風速50 m/sec で、直径10 km ぐらいの円形の眼が観測された。

これより先、20日頃から島島付近を経て沖縄方面にのびていた前線は台風の接近に伴い、22日頃から北上し始めた。この前線に伴う雨域の北上限は22日18時には鹿児島、宮崎から八丈島に達する線に達していたところから23日前線の北上にしたがって雨域も次第に北方に広がり、23日中に北海道まで雨となつた。この雨は台風が接近するまで降り続いた所と、一時止んで、台風が接近してから再び降り始めた所とあつた。(第2

と図参照)

台風は更に北上を続け24日18時頃から速度は毎時30km前後に増大し、25日3時には北緯30度線に到達した。

第2.2表は石瀬と屋久島の天気変化と気圧の変化曲線である。屋久島ではかなり気圧の降下が目立ち、25日3時45分に最低気圧992.0mbを観測した。

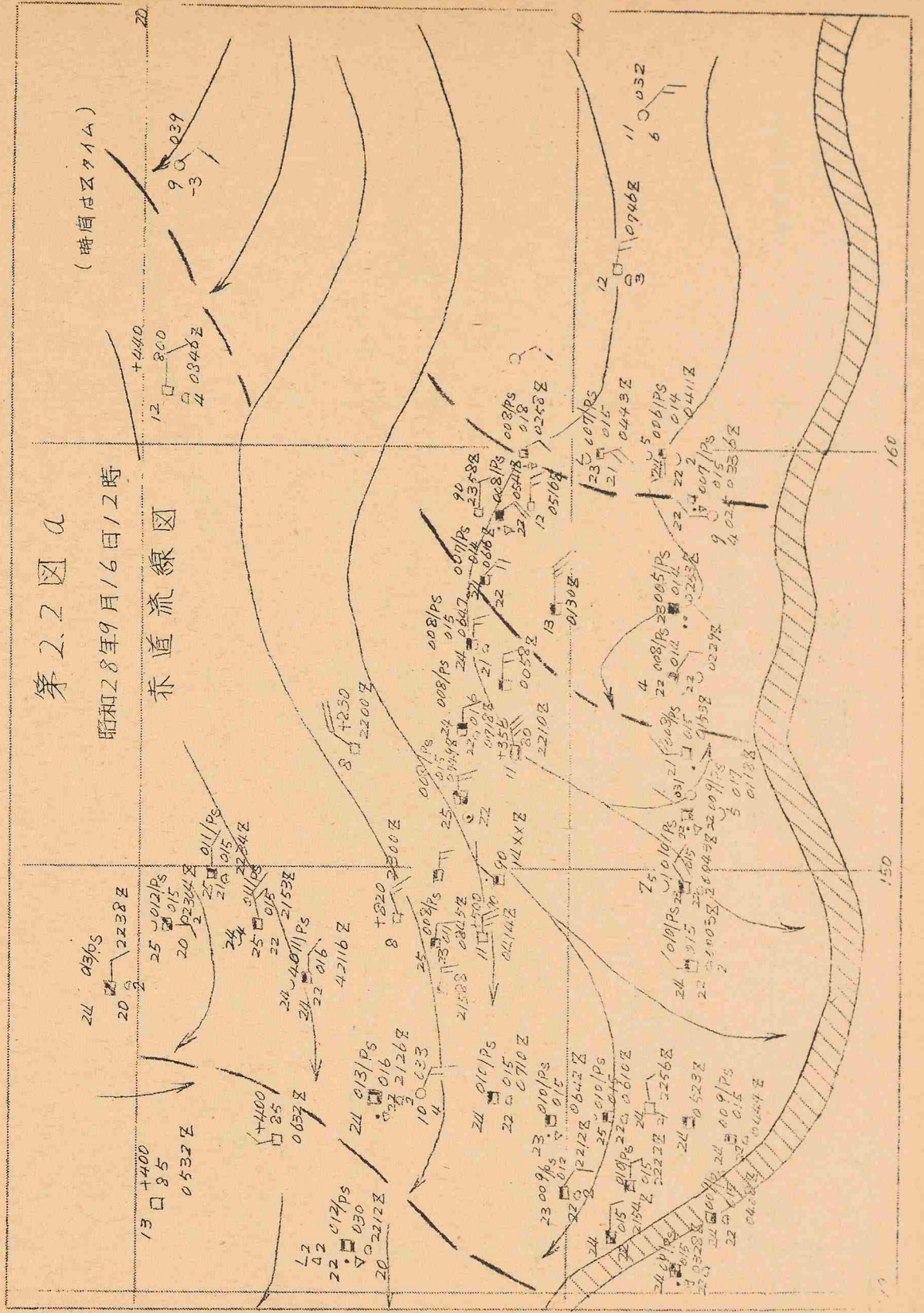
船の観測

台風が北上していた頃、この台風に接近した船舶の観測資料を第2.3表に示す。きょうと丸は台風の後方500kmぐらいの所を南西15m/sec位の追風についで南方から日本に帰ってきた。南方定兵新南丸は23日21時以後九州に退避した。やまかく丸は23日頃から台風の暴風圏内に突入したが、24日0時頃から可航半円に急速に退避して危険を脱した。

2.5 北緯30度線から本州接近まで

25日3時北緯30度線をこえた台風は、25日07時28分と10時50分の飛行機観測の結果、毎時35km位の速さで北北東に進んだ。7時28分の観測によると眼は東北東から西南西18km、南南東から北北西14kmの径を有する楕円形であつた。この時の700mbの高度は8205フィートでこれより地上の気圧を推算すると932mbとなり、台風はやや衰えてきた。また地上の最大風速は全象限とも35m/secであつた。台風はその後潮岬に向つて進んだ。

また25日9時頃より、温暖前線が和歌山の東方から奈良と上野の間を通り、中部地方に達し、各地にかなりの豪雨をもたらした。

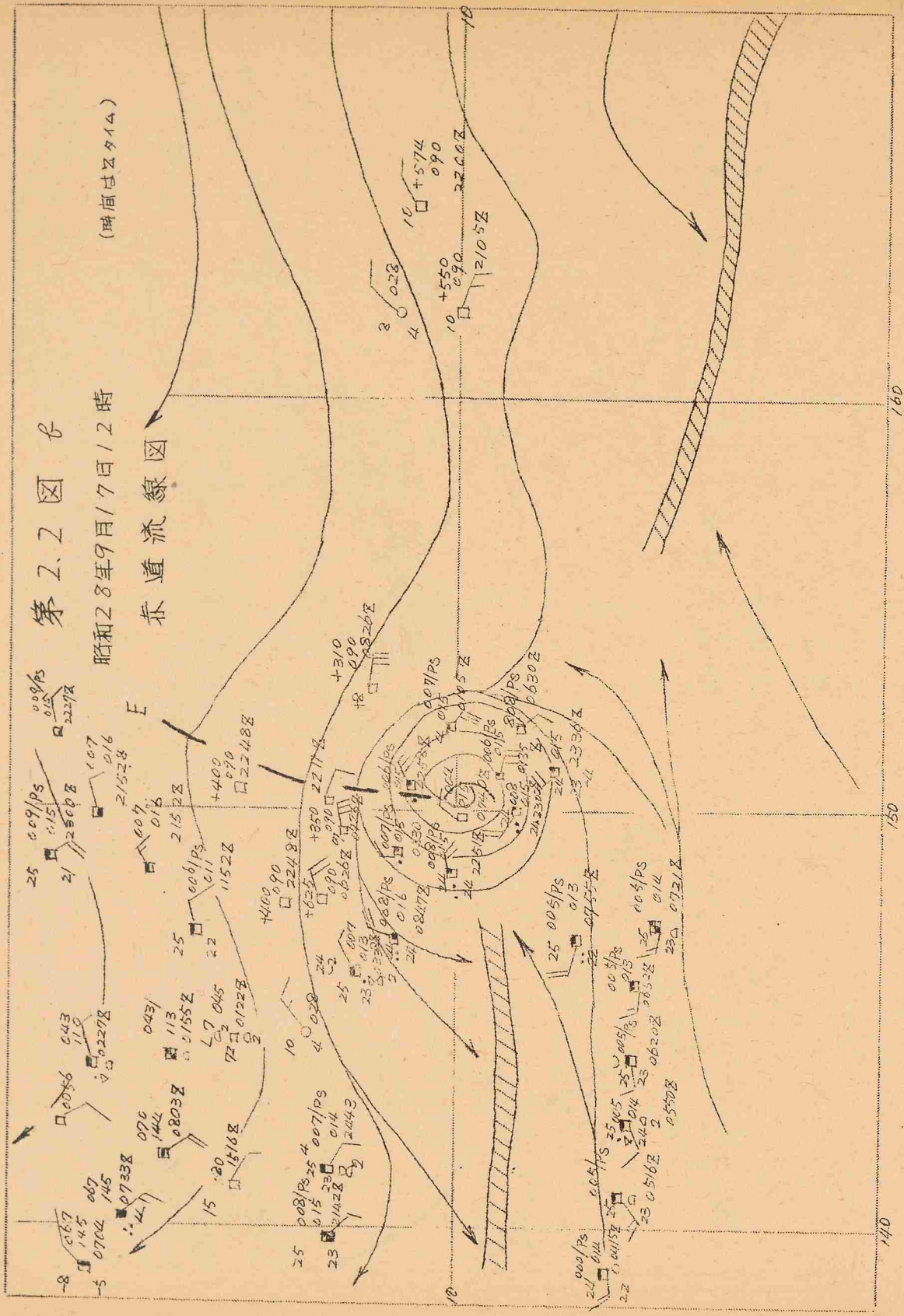


第2.2図

昭和28年9月17日12時

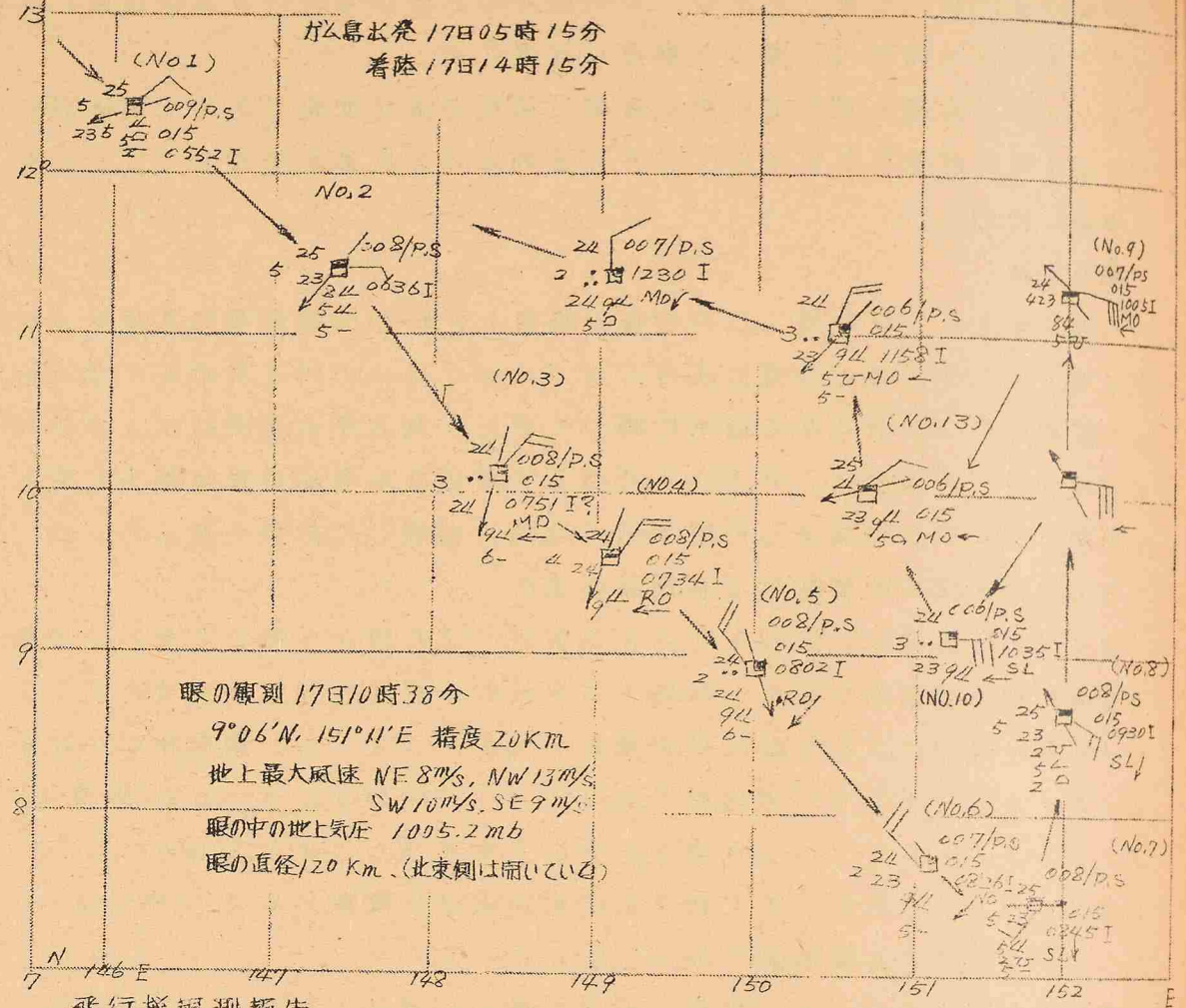
(時間スタンプ)

赤道流線図



第2.3図

9月17日飛行機観測状況



眼の観測 17日10時38分
 9°06'N, 151°11'E 精度20KM
 地上最大風速 NE 8m/s, NW 13m/s
 SW 10m/s, SE 9m/s
 眼の中の地上気圧 1005.2mb
 眼の直径20km (北東側は閉じていた)

飛行機観測報告

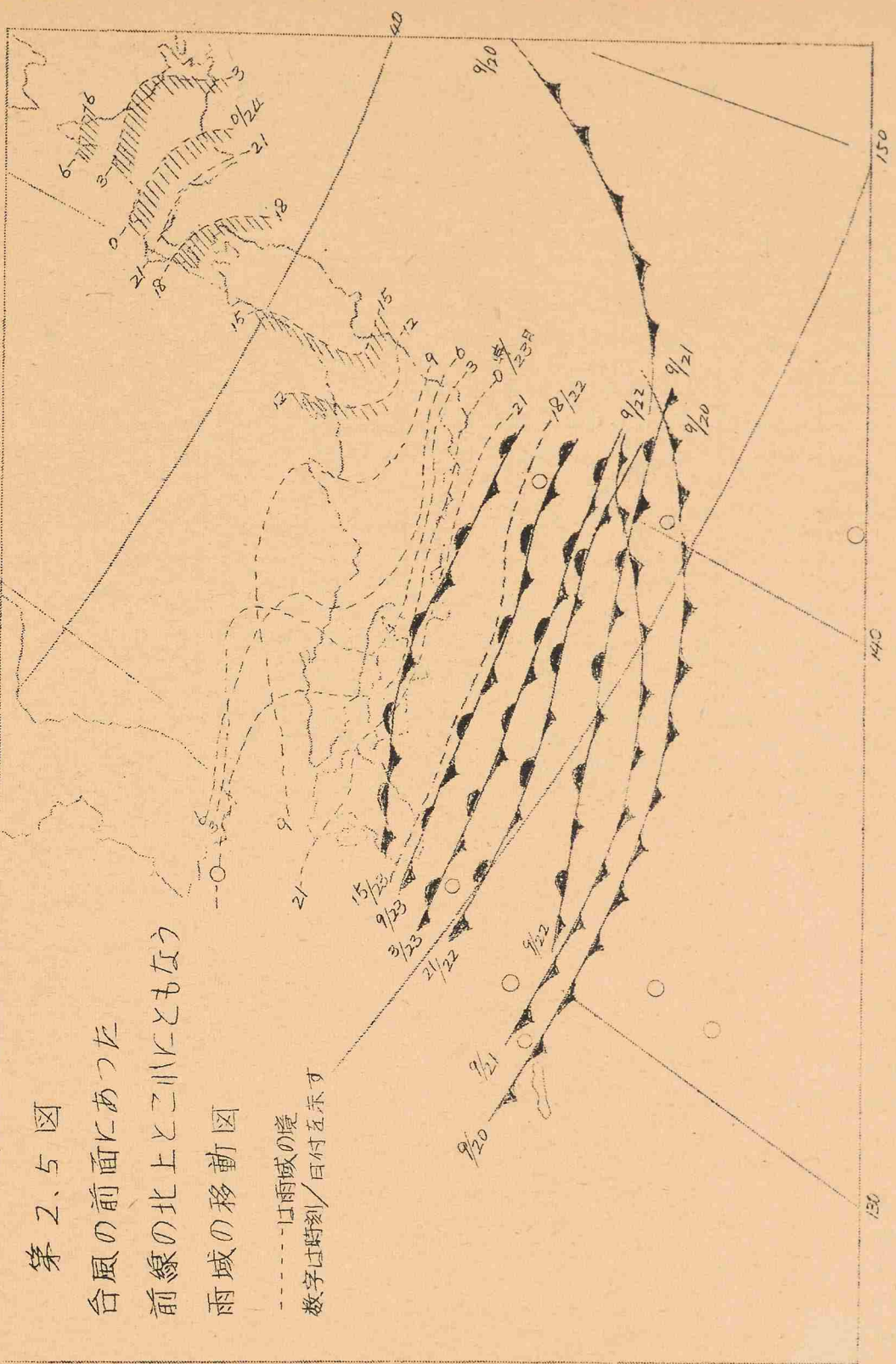
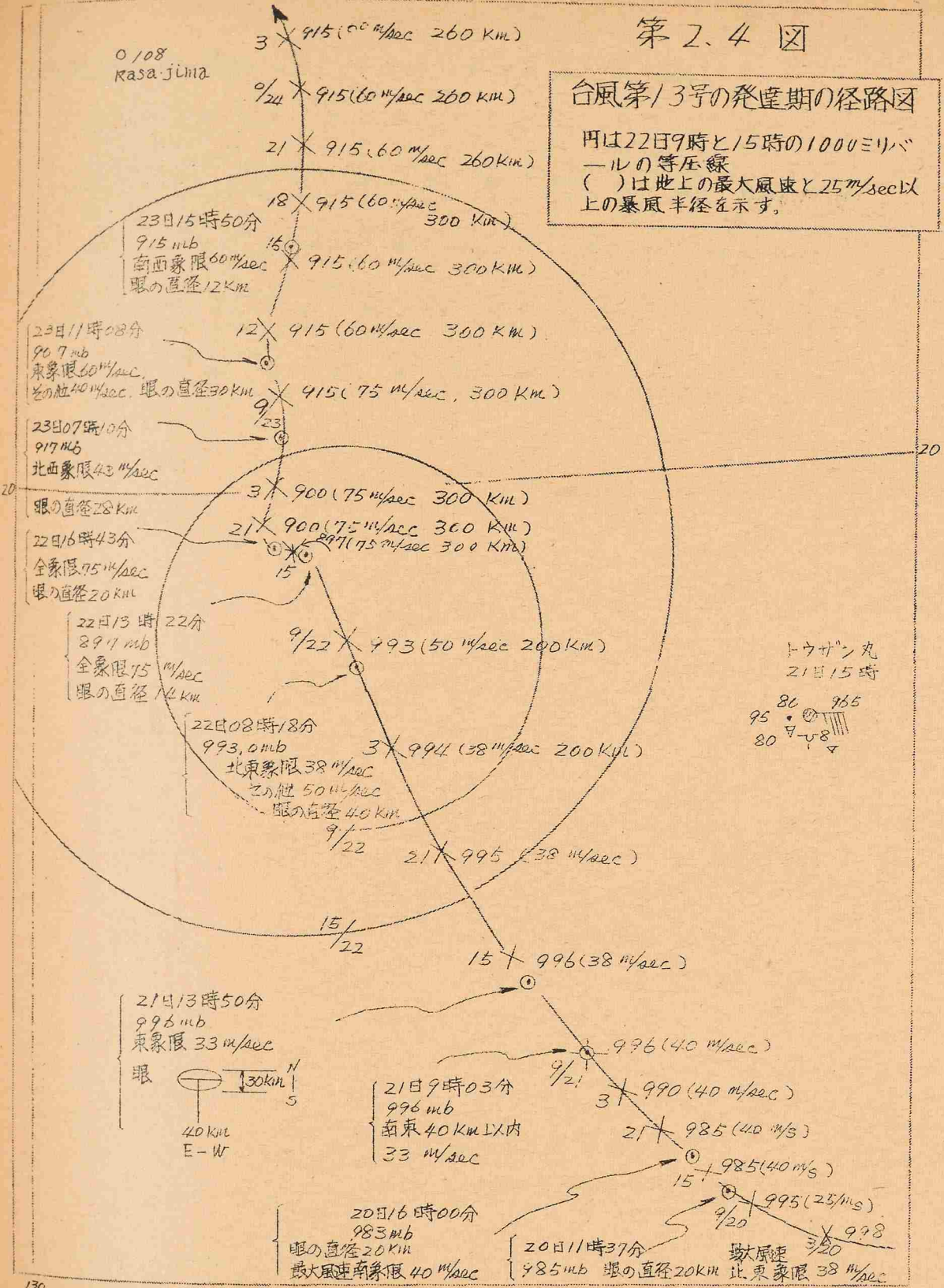
17日05時15分ガム島を本発した。東経148度までは全般と切小目のあの中下層雲で、その東方で巨大に及びえられた雲塊に遭遇した。空は弱い連続した雨でおおわれ、気圧は次第に下降し始めた。風は東から北に向きを変え、風速は20ノットに増大した。トラック島に接近すると風は北から西に変り、そこで気圧は上昇し始めた。北に進み、風は西から南東に転じ、中心は予想より更に西に進んでいた。北東象限から侵入し始めた。

北側が閉じているのを除いてはほとんど空で、大きなほら穴のような曇り域に入った。気圧は急速に1005mbまでさがった。北側から眼を出た。その後豪雨と小じょうらんに遭遇した。最大風速は半径240kmの北西象限で13m/sであった。ガムから200kmの所まで雨でおおわれていた。17日14時15分帰投。

第2.4図

台風第13号の発達期の経路図

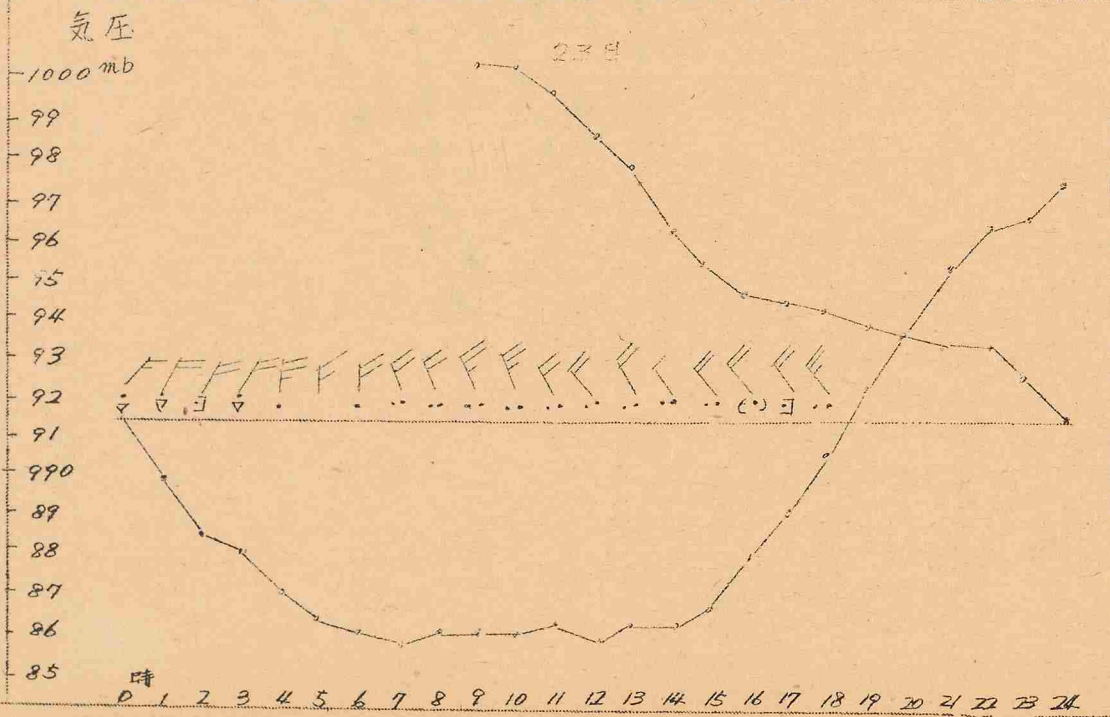
円は22日9時と15時の1000ミリバールの等圧線
()は此上の最大風速と25m/sec以上の暴風半径を示す。



第 2.1 表

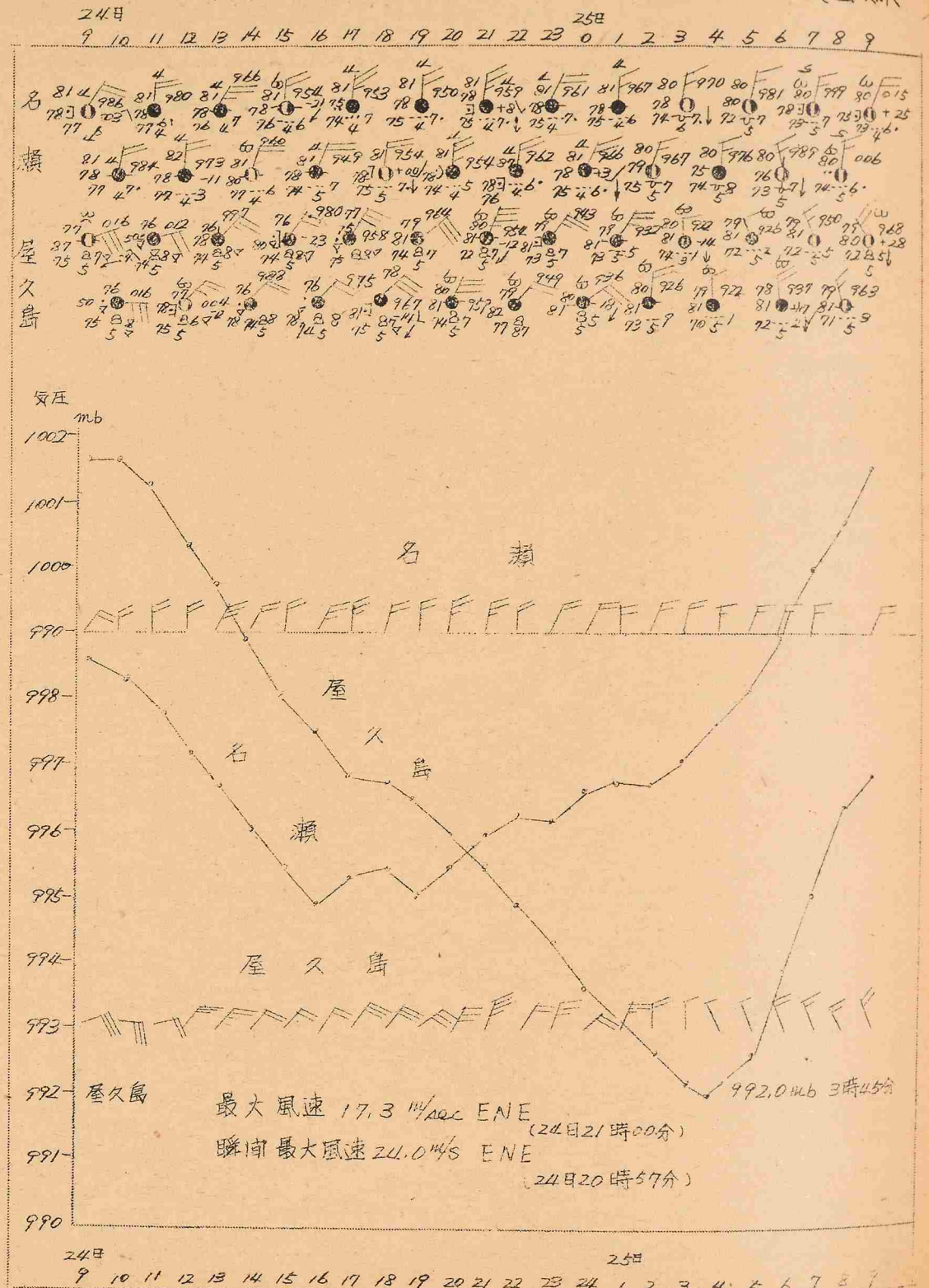
南大東島天気変化表と気圧変化曲線

23日 9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
74.4 80.0 76.4 80.0 18時	80.0 003 75.0 77.4 77.4 19時	82.0 997 80.0 77.4 85.4 20時	2 986 80.0 -18 15.4 3.4 21時	82.0 978 78.0 77.4 8.4 22時	81.0 962 78.0 77.4 8.4 23時	83.0 956 78.0 -29 76.4 4.4 24時	83.0 945 78.0 76.4 5.4 24日 1時	81.0 943 78.0 76.4 2.4 2時
78.0 941 70.0 76.0 76.4 4.4 3時	77.0 937 65.0 77.4 4.4 4時	80.0 936 75.0 76.4 4.4 5時	78.0 933 60.0 -7 76.4 7.4 6時	78.0 922 60.0 76.4 7.4 7時	78.0 923 60.0 -21 76.4 7.4 8時	77.0 914 60.0 76.4 7.4 9時	76.0 898 60.0 71.0 4.4 10時	77.0 884 60.0 76.4 5.4 11時
77.0 880 65.0 34.0 77.4 39.4 12時	77.0 869 65.0 77.4 6.4 13時	78.0 864 70.0 78.4 6.4 14時	78.0 860 65.0 78.4 7.4 15時	78.0 857 65.0 77.4 7.4 16時	79.0 859 65.0 77.4 5.4 17時	80.0 859 65.0 77.4 6.4 18時	80.0 860 65.0 78.4 5.4 19時	80.0 861 65.0 77.4 6.4 20時
80.0 857 15.0 +12 78.4 6.4 21時	80.0 861 15.0 78.4 7.4 22時	80.0 861 10.0 78.4 5.4 23時	80.0 866 10.0 -10 78.4 6.4 24時	79.0 879 15.0 78.4 6.4 25日 01時	80.0 870 15.0 76.4 6.4 02時	81.0 905 15.0 76.4 7.4 03時	77.0 920 15.0 77.4 7.4 04時	80.0 935 15.0 76.4 7.4 05時
81.0 956 70.0 +44 75.4 7.4 21時	82.0 960 80.0 74.4 6.4 22時	82.0 964 80.0 -2 75.4 4.4 23時	80.0 978 75.0 +24 75.4 5.4 24時	82.0 977 80.0 -2 74.4 4.4 25日 01時	82.0 979 80.0 -7 75.4 4.4 02時	82.0 975 75.0 +11 74.4 6.4 03時	82.0 988 75.0 74.4 4.4 04時	82.0 999 75.0 -27 74.4 4.4 05時



第 2.2 表

名瀬、屋久島天気変化表と気圧変化曲線と気圧変化曲線



第2.3表 船舶による観測表

第2.3表a さよう丸

	00時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時
23	15.7N 130.3E	16.0 130.8	16.4 131.3	16.9 131.9	17.2 132.2	17.5 132.2	18.0 132.5	18.6 132.9
日	85.5 030 96.4 92.5	85.5 015 96.4 94.5	84.6 009 96.4 95.8 4	84.5 015 96.4 95.8 4	84.4 015 96.4 95.5 4	86.6 010 96.4 95.8 4	86.5 000 96.4 95.7 5	84.4 010 96.4 95.5 5
24	19.1N 133.1E	19.7 133.3	20.4 133.6	21.0 133.8	21.5 134.0	21.9 134.3	22.5 134.5	23.2 134.7
日	84.4 010 96.4 95.5 5	82.4 000 95.3 95.4 5	83.4 002 96.4 95.8 4	83.4 015 96.4 95.6 4	83.4 020 97.4 95.6 4	84.4 014 97.4 95.5 4	83.2 020 97.4 95.5 4	82.2 040 96.4 95.5 4
25	23.8N 134.9E		25.0 135.2	25.6 135.4	26.3 135.3	26.9 135.5	27.5 135.7	28.1 136.0
日	81.2 035 96.4 95.5 4		82.6 040 96.4 95.4 4	83.6 050 96.4 95.4 4	85.6 060 90.4 95.4 4	86.6 050 96.4 95.6 4	80.6 050 96.4 95.6 4	84.2 060 96.4 95.4 4
26	28.4N 136.2E	29.2 136.5	29.8 136.9	30.6 136.7	31.2 137.0	31.8 137.3		
日	84.2 080 96.4 95.3 4	81.0 070 97.4 95.3 4	80.6 060 97.4 95.4 4	84.6 090 97.4 95.4 4	86.1 100 98.4 98.5 4	81.1 102 98.4 98.4 4		

第2.3表b 新南丸(南方定矣)

23日0時	03時	06時	09時	12時	15時	18時	21時	24日0時
29.0N 134.3E	29.0 134.3	29.0 134.2	29.2 134.5	29.1 134.9	29.2 134.8	29.2 134.8	29.3 134.8	29.3N 134.1E
83.4 082 98.4 95.5	83.2 066 98.4 94.5	82.2 059 97.4 94.5	84.2 061 97.4 94.5	83.2 059 98.4 96.5	82.2 040 97.4 97.5	82.2 059 97.4 97.5	80.6 044 97.4 95.5	80.4 026 97.4 97.5
03時	6時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時
29.6 133.5	29.9 133.0	30.3 132.4	30.4 132.2	30.5 132.1	30.6 131.9	31.0 131.7	31.1 131.6	31.2N 131.4E
81.6 996 97.4 96.5	80.4 009 96.4 98.4	80.4 002 96.4 97.4	80.4 002 96.4 96.4	10.4 999 97.4 96.4	80.4 992 96.4 96.4	80.4 986 96.4 96.4	80.6 980 96.4 95.4	80.4 973 96.4 96.4

第2.3表c やましく丸

	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時
23	北緯 東經		29.2 130.0	28.9 133.0		27.7 133.4		27.4 133.6
日			82.6 080 98.4 95.5	81.7 060 97.4 95.7		78.0 015 93.4 95.5		78.0 020 95.4 95.5
24	26.9N 132.0E	26.3 131.2	25.9 130.8		24.5 129.7	23.6 129.1	23.7 128.7	23.0 128.2
日	80.9 950 94.4 95.8	78.9 915 92.4 95.8	78.9 920 92.4 95.8		77.9 960 94.4 95.8	80.9 000 98.4 95.6	80.9 040 97.4 95.7	77.9 070 97.4 95.5

第2.3表d ちぐさ丸

25日0時	3時	9時	12時	15時	18時	26日0時	3時
32.3 136.1	32.5 136.5	32.0 136.5	32.0 136.5	32.1 136.6	32.1 136.6	32.1 136.6	32.1 136.8
81.9 950 96.4 95.5	80.9 902 97.4 95.5	80.8 810 94.4 95.5	86.8 830 95.4 95.5	86.8 890 94.4 95.5	86.9 950 95.4 95.5	86.0 025 96.4 95.5	87.0 040 97.4 95.5

§ 2.6 潮岬付近より東北地方横断まで

第2.6図は潮岬付近通商より、志摩半島を通り、愛知縣に上陸し、宮古と入戸の中商から三陸沖に出るまでの経路図である。毎時向の位置、中心示度、進行方向および速度は第2.4表に示してある。

つぎに順を追つて各地の状況を示す。

第2-4表 毎時位置表

日	時	中心位置		中心示度 mb	進行方向 及 速 km/h	中心付近 最大風速 m/s	25%以上 の暴風半径 km	備 考
		北緯	東経					
25	3	30.0	134.0	915		60	300	
	4	30.3	134.1	915	NNE 35	"	"	
	5	30.6	134.3	915	NNE 35	"	"	
	6	30.8	134.5	915	NNE 35	60	240	
	7	31.2	134.6	930	NNE 35	"	"	
	8	31.5	134.8	930	NNE 35	"	"	
	9	31.7	134.9	930	NNE 35	60	240	
	10	32.2	135.0	930	NNE 35	50	200	
	11	32.4	135.2	930	NNE 35	"	"	
	12	32.6	135.4	930	NNE 35	"	"	
	13	32.9	135.6	930	NNE 35	"	"	
	14	33.2	135.8	930	NNE 40	"	"	潮岬南方
	15	33.5	136.1	930	NNE 40	"	"	潮岬東方
	16	33.8	136.2	940	NNE 40	"	"	熊野灘
	17	34.2	136.6	945	NNE 40	"	"	"
	18	34.6	136.8	946	NNE 40	"	"	伊勢湾
	19	34.9	137.0	950	NNE 70	"	"	碧南市付近
	20	35.3	137.4	964	NNE 70	35	200	愛知縣北部
	21	35.8	137.9	974	NNE 90	"	"	諏訪の南方
	22	36.4	138.5	976	NNE 100	33	"	長野と軽井沢中間
	23	37.3	139.0	976	NNE 80	"	"	新潟縣南部
	24	37.9	139.5	976	NNE 55	38	"	新潟市の東
26	1	38.4	139.9	976	NE 55	38	300	新潟縣北部
	2	38.7	140.3	978	NE 60	35	500	酒田の東
	3	39.2	140.8	978	NE 60	"	"	宮城・山形・秋田県境
	4	39.6	141.3	980	NE 60	"	"	盛岡の南
	5	39.9	141.7	980	NE 70	33	1000	宮古と八戸の中間
	6	40.3	142.2	978	NE 55	33	"	三陸沖
	7	40.6	142.6	978	NE 55	33	"	八戸の東方沖
	8	41.0	143.0	978	NE 55	33	"	下北半島東方沖
	9	41.4	143.5	978	NE 55	30	600	襟裳岬南方海上
	10	41.8	143.9	978	NE 55	30	600	
	11	42.2	144.3	978	NE 55	30	500	
	12	42.5	144.8	978	NE 40	30		釧路南南東海上
	13	42.8	145.1	978	NE 40	30		
	14	43.1	145.4	978	NE 35	30		
	15	43.3	145.7	980	NE 35	30		根室付近
	16	43.5	146.0	980	NE 35	30		

§2.6-1 潮岬付近通過

潮岬の自記気圧計とダイソスと自記風信番の結果を示すと第2-16図(a, b, c)のようになる。10分間観測の風と気圧の変化状況は第2-10図に示す通りである。

各風中心通過時の潮岬の最低気圧は947.9 mbで、14時44分に起きている。それ故この頃の各風の中心示度は930 mbぐらいと推定される。潮岬測候所の報告によると各風の中心は潮岬のすぐ近くを通過したが、各風の眼は観測さ小なかつた。しかし14時24分に飛揚したゾンデ観測によると3 km から9 km まで眼の内側を上昇したらしく、これらよりみてこの頃の眼の大きさは10 km 以下であつたと推定される。

第2-10図によると風は各風の中心近くまで東風が吹き、次第に逆転して西北西の風となつた。各風通過後の方が風は強く、10分間観測を行つた10時から19時の間は大体20 m/sec 以上の風が吹いている。潮岬における各風通過前後の最大風速と瞬間最大風速を比較すると次の通りとなる。

	最大風速			瞬間最大風速		
	風向	風速	起 時	風向	風速	起 時
通過前	E	26.1 m/s	25日13時40分	E	38.9 m/s	25日13時40分
通過後	WNW	29.1 m/s	25日17時20分	NW	41.7 m/s	25日17時58分

雨は各風接近中はかなり強く降つたが、通過後はほとんど降らず、天気は急速に回復した。(第2-11図(a)参照)

時刻	8時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
天気	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉	☉
雨量	3.6	9.3	7.9	32.2	25.8	15.0	13.9	31.4	1.3	-	0.1	0.2	0.6	0.0	-	-	-
風向	E	EVE	EVE	ESE	E	ESE	E	NW	WNW	W	NW	W	WNW	NW	NW	NW	NW
風速	14.4	16.1	18.2	22.6	23.1	21.9	23.5	19.9	24.7	23.8	26.8	23.8	14.7	13.0	10.3	11.8	9.3

§ 2.6.2 尾鷲沖通過

尾鷲では16時25分最低気圧953.3 mb を観測した。各風はこの頃からやや中心示度が浅くなり16時には940 mb, 17時には945 mb となり、ほとんど海岸線に並行して進んだ。尾鷲の風は潮岬にくらべるとかなり弱かつたが最大風速は東北東の22.0 m/secで、各風通過の少し前に現われている。瞬間最大風速は33.0 m/sec で最低気圧を示したとほとんど同じ頃に現われている。雨は各風が接近している間非常に強く、9時から17時までの8時間に229.5 mm も降り、16時と17時の間に51.7 mm の降水量を観測した。しかし通過後は雨量はほとんどなかった。

時刻	7時	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
降水量	-	1.5	0.8	14.2	23.7	12.5	20.7	37.2	22.0	42.5	51.7	0.0	0.0	0.0	0.0

(第2.11図を参照)

§ 2.6.3 志摩半島横断

各風は25日17時遅志摩半島の蟹浦と槌柄浦の間村近に上陸した。第2.7図にみられるように風向の頻転、逆転よりみるとこのような経路となる。宇治山田市では17時40分頃急に風が止み、頭上一面に黄色っぽく明るくなった。その後風向は南に廻り、南西の風が強くなり、18時10分頃西風となった。志摩半島の南東部波切の大王崎航路標識所では、25日17時29分に最低気圧953.1 mb を観測し、潮岬につぐ最低気圧を示した。また最大風速は34.1 m/sec、瞬間最大風速は45.0 m/sec と猛烈な風を観測した。

この頃鳥羽港外の切手島寄りと堅野沖合にそれぞれ各古屋第4管区海上保安部所雇の「こうず丸」と「あいち丸」が旋泊して気象観測を行つた。この結果によるとこうず丸では17時45分最低気圧950 mb を観測し、あいち丸では17時43分最低気圧948 mb を観測した。この船の気圧計はアネロイド気圧計で両船ともかなり信頼出来るものである。

§ 2.6.4 知多半島通過と愛知県上陸

18時に伊勢湾に入った各風は18時半頃知多半島の野間町と内海町付近に上陸し、河和町と富貴町付近を通つて知多湾に出て、19時頃さらに碧南市の大浜港付近から三河地方に上陸した。この付近の経路は第2.8図に

示す通りである。

知多半島の野間町、内海町、河和町では風向の頻転、逆転の区別ははっきりしなかつたが、その他の土地ではこの図にみられるように各風の経路に対してはつきりと風向の変化がわかれている。内海町では18時過ぎに河和町では18時30分頃からそれぞれ10分間位無風状態となり、その後急に西風となつている。河和町の中学校では18時45分、最低気圧958 mb を観測したが、この観測値は伊良湖やその他の観測値よりみても少し高すぎるようである。

その後各風は碧南市の大浜港付近から上陸し、大浜港では風が急に西に変つたが、19時15分から35分までほとんど無風状態となつた。国警幡豆地警察署で観測した最低気圧は948 mb であつた。また高浜町の高倉学校の観測によると最低気圧は952 mb であつた。これよりみて各風は19時に上陸した頃を中心示度は950 mb 位であつたと思われ。

西尾町では19時20分より40分までの間ほとんど無風に近く、岡崎市では19時30分から40分までの間風雨ともに弱まり、風向は逆転している。この結果各風は上陸後、東北東に進み、西尾町の北を通り、岡崎市と福岡町の間を通り、これからさらに北東に進み、東加茂郡下山村と、南設楽郡作手村の境界あたりを通り、田口町の北側を通つて、長野縣に入つた。各風は上陸後は次第に衰弱したもようである。

各風の眼をはつきりみとめたという報告はないが、各地で風がほとんど無風になり、その後西寄りとなってさらに強くなったという報告よりみて、この頃の中心の直径は大体20 km 位と想像される。

§ 2.6.5 飯田付近通過

各風は上陸後急速に衰弱したもようで、その上山岳地帯に入つた際の中心示度はかなり浅くなつてきた。20時には愛知県と長野縣の縣境付近に達し、964 mb を示し、その後飯田の西方10 km ぐらいの所を通過した。飯田では最低気圧は20時16分974.5 mb であつた。飯田では各風が最も接近した20時頃の風は5 m/sec 以下で、ダインス風圧計自記紙(第2.17図を参照)を見てもわかるように毎定時の観測時には風弱く、その間の時間で強い風が吹いている。風向の変化ははげしく、風信巻の自記は複雑であるが、逆転した気配がある。なお次に毎定時の観測を示す。

時刻	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	01時	02時
風向	NE	NNW	E	N	WNW	W	SSW	S	W	SSW
風速	0.4	5.4	5.5	2.0	1.5	1.3	3.6	5.7	5.9	3.8

風は17時から17時40分頃までが最も強く、最大風速は北東の13.2 m/sec (17時32分)、瞬間最大風速は北東の15.6 m/sec (17時30分)で、最低気圧を示した頃は弱くなっている。(第2.12頁参照)

§ 2.6.6 諏訪と松本の間を通過

飯田付近を通過した後各風はますます地形の影響を受けて衰弱したらしく、中心示度は急速に浅くなつてきた。諏訪では21時01分(978.4 mb)、松本では21時15分(980.8 mb)にそれぞれ最低気圧を観測しているが、第2.19図aにみられるように気圧の変化は急激でなく、なだかな変化を示している。第2.18図は潮岬から諏訪までの各風を中心に近かつた測候所の気圧の自記紙の記録である。これによると潮岬では急激な気圧の下降を示しているが、次第に内陸に入るにしたがつてゆるやかな下降となり、中心示度は浅さくなり、各風が衰弱した様子がよくみられる。この結果各風は21時頃諏訪のすぐ付近を通過したらしいが、中心の通過ははつきりわからず、また眼等の観測もみられなかつた。

風は各風を中心に近かつた諏訪の方が強かつた。諏訪では17時過ぎから東南東よりの風が強くなり、18時30分以後にはしばしば瞬間風速が15 m/sec をこえ、19時過ぎからは20 m/sec をこえるようになり、20時36分には瞬間最大風速23.8 m/sec を観測した。各風通過後は急速に弱くなっている。松本では諏訪にくらべるとあまり風は強くない、大体北西の10 m/sec 以下で、18時過ぎより時に瞬間風速が10 m/sec をこえる程度で、瞬間最大風速でも北西の13.2 m/sec にすぎなかつた。松本でも各風通過後は風は弱くなっている。松本の風向は22時30分頃、北北西より南に急変し、風は逆転しているが、諏訪では順転している。(第2.13頁参照)

§ 2.6.7 長野と軽井沢の間を通過

長野(981.2 mb)と軽井沢(872.0 mb, 基準面1000 m)ではともに22時00分に最低気圧を観測したので、各風は22時頃、長野

と軽井沢の間を通過した。第2.20図に示されるように長野では17時と19時頃に風が強くなり、各風を中心に最も近かつた頃にはほとんど風はなく、その後も非常に弱かつた。軽井沢は15時頃より強くなり、16時過ぎから10 m/sec 以上の風となり、18時半頃最も強く、各風のもっとも接近した頃から弱くなり、その後弱かつた。長野、軽井沢では各風の接近する前に風が強くなり、通過後は弱かつたが、高田では各風が接近するまで風は弱く、中心が通過した後に強くなっている。しかし高田は他にくらべて風は一般に弱かつた。

測候所	風向 変化	最大風速		瞬間最大風速		最低気圧	
		風向、風速	日、時、分	風向、風速	日、時、分	mb	日、時、分
長野	逆転	NW 18.4 ^{m/s}	25.17.00	NW 21.5 ^{m/s}	25.19.03	981.2	25.22.00
軽井沢	順転	ESE 15.8	25.19.32	ESE 20.9	25.18.45	872.0	25.22.00
高田	逆転	WNW 8.7	26.02.10	NW 17.5	26.03.40	981.9	25.22.25
新潟	逆転	WNW 16.3	26.03.00	WNW 24.7	26.02.50	977.8	25.23.41

§ 2.6.8 新潟縣通過

各風は23時には高田と新潟の間やや南よりの所にあつて、21時高田の北方に発生した副低気圧を吸収し、26日0時には新潟市の東方に達した。22時以後は各風を中心に示度は浅くならず976 mb を示し、新潟では23時41分に最低気圧979.8 mb を観測した。また雨も、風も各風通過時には余り強くない、各風が過ぎ去つてから西北西の風が強くなっている。

§ 2.6.9 東北地方通過

各風は26日0時には新潟縣北部に達し、その後毎時60 km 前後の速さで東北地方を北東に横断した。中心示度は4時盛岡の南方に達した頃には980 mb となり、6時には三陸沖に出て再び978 mb となつた。次に各世の状況を示す。

1. 若松 各風が最も接近したと思われ26日0時過ぎから風は弱くなり、最大風速は各風がずつと過ぎ去つた26日9時20分に北西の12.5 m/sec を観測し、瞬間最大風速は各風が接近する前の25日22時37分(南東の19.7 m/sec)であつた。

2. 酒田 最低気圧は26日0時33分から55分までの間に現われ

ているので、台風はこの頃酒田の東方を通つたものと思われるが、風は2時から4時まで南南東でかなり弱く、5時に北西に変わつてから急に強くなつてゐる。これは副低気圧が酒田の西方海上にあつて停滞したためである。その後この副低気圧が消滅して、5時から台風後面の北西風が強くなつたものと思われる。なお酒田の報告によると風向は順転し、26日05時00分、20.4 m/sec の最大風速を観測した。

3. 山形 26日01時50分、最低気圧981.0 mb を観測した。風は台風が接近するまでは弱く、5 m/sec以下で、通過後の3時40分頃から6時頃までの間だけやや強かつた。雨量は台風接近時には少なかつた。

4. 仙台、最低気圧を示したのは3時15分で982.1 mbであつた。この頃は弱く、3時には5.2 m/sec、4時には3.4 m/secであつたが、最大風速は25日22時40分に南東の15.8 m/sec、瞬間最大風速は26日9時00分に西北西の20.9 m/secであつた。雨は台風が接近していた25日中に少しあつたが、26日にはほとんどなかつた。

5. 盛岡 最低気圧983.6 mb で26日04時15分から47分までの間であつた。風は26日1時より4時頃まで強く、5時頃から弱くなつてゐる。雨は3時頃やや強く、26日0時から6時までに28.7 mmであつた。

6. 宮古 最低気圧は981.0 mb (5時00分)であつたが、風は非常に弱く、3時40分から10分間だけ10 m/sec をこえたにすぎなかつた。台風は宮古と八戸の間を通つたが、それまで地形等の影響により、勢力はかなり弱まつたので被害をあたえる程ではなかつた。しかし雨は台風通過前にかなり強かつたが、これも水害を起す程ではなかつた。

7. 八戸 最低気圧は980.7 mb (5時35分)で、宮古、盛岡、仙台よりも深く、台風が三陸沖に出てから発達したことを示しているものと思われる。風もかなり強く、瞬間最大風速は北西の23.7 m/sec (26日07時08分)で、10 m/sec以上の暴風は25日18時20分から26日15時50分まで続いた。風向は逆転している。八戸は東北地方では最も強い瞬間最大風速を観測した。

§2.6.10 山岳測候所の状況

1. 富士山

25日0時には風はすでに南東で20 m/sec をこえていた。気圧は7時

頃より急激に降り始め25日20時23分に最低気圧619.3 mb を示した。第2.15図の富士山の気象要素の変化図によれば、8時、11時、18時、22時に急激に気圧がさがり、この時に風速が急激に増大している。8時にはこの関係が水張、気温にまでおよんでいる。最大風速は49.2 m/sec (22時00分)で、雨もかなり降つていた。

2. 剣山

25日7時頃までは風は大して強くない、気圧が急速に降り始めた8時頃から風速は急激に増大し、13時には30 m/sec を突破し、これより16時まで30 m/sec 以上の風が吹いた。風向はこの風の強くなつた期間中は北北西で変らなかつた。最大風速は35.3 m/sec を14時30分に観測した。最低気圧は14時22分に66.3 mb を示した。気温、水張は風向が北北西になり風が増大するにしたがつて減少して、12時過ぎからはほとんど一定となつてゐる。(第2.15図参照)

3. 伊吹山

25日早朝より南東風が強く、5時にはすでに32.6 m/sec の風が吹いて、12時には最大風速南東の34.0 m/sec を観測した。14時30分頃より風はやや弱くなつたが、それでもなお20 m/sec 以上で、15時30分頃より風は南東より東南東→東→北北東→北→北北西→北西と逆転し、北北西から北西になつた。25日22時頃から再び30 m/sec をこえ、26日3時頃まで、30 m/sec に近かつた。その後は次第に衰えた。この間瞬間最大風速は14時55分に47.0 m/sec を観測した。雨は25日夕刻最も強く、17時には24.3 mm、18時には24.1 mmの1時間降水量を観測した。24日07時40分から26日06時40分までの総降水量は198.1 mmであつた。

§2.6.11 副低気圧の発生(第2.6図参照)

副低気圧1. 台風が長野と軽井沢の間に来た22時頃、甲府の北方に副低気圧が発生した。甲府では22時979.9 mb を示し、22時の各地の気圧の観測値の最低を示したが、この値は副低気圧によるものらしい。この副低気圧は北東に進んで、秩父と前橋の間を通り、26日1時頃に前橋の東方で消滅した。秩父では22時17分(979.4 mb)、前橋では23時00分(981.2 mb)にそれを最低気圧を示した。なお前橋では風向は逆転し、その他所では順転した。(第2.21図)

副低気圧2.

高田では19時まで北の風であつたが、20時に静穏となり、21時から西風となつた。また相川では20時まで北面ないし北であつた風が、21時より北東となり、21時に高田と相川の間向に低気圧が発生したことがわかつた。この副低気圧は22時には高田と新潟の間向を通り、23時各風の本体に吸収された。

	25日 15時	16	17	18	19	20	21	22	23	26日 0	1	2
相川	NNW	NW	NW	N	NW	NNW	NE	ENE	W	NNW	NW	NW
	^{m/sec} 12.8	10.5	3.5	5.3	8.2	5.1	6.5	8.6	3.5	5.3	17.0	22.6
高田	N		N	N	N	-	W	W	W	WNW	WNW	WNW
	^{m/sec} 3.6		4.6	3.0	0.7	0.0	0.9	2.6	2.4	6.1	6.5	6.9

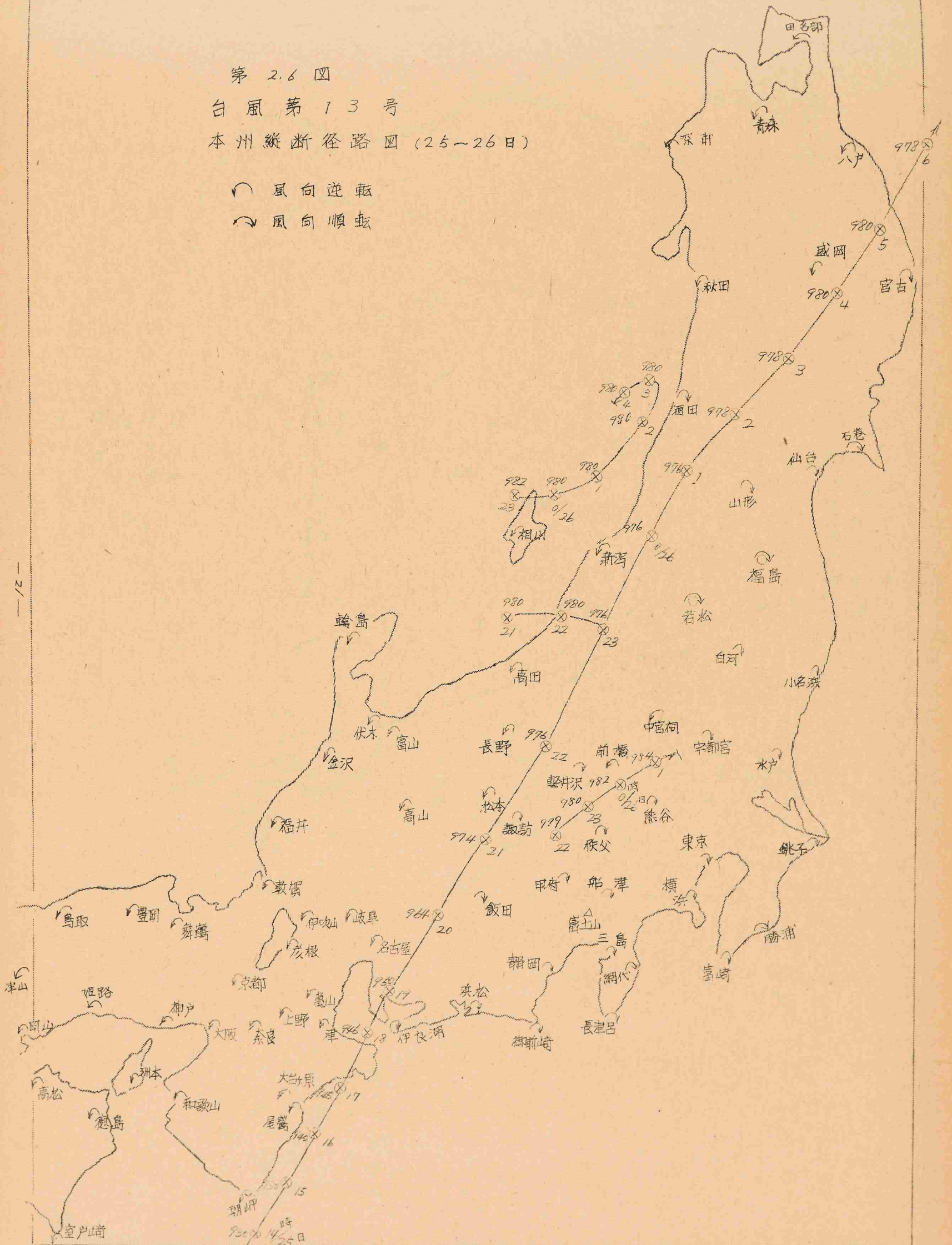
副低気圧3

相川では21時北東、22時に東北東であつた風が23時に急に西風となり低気圧が佐渡ヶ島の北方に発生した。この低気圧は26日0時に佐渡ヶ島の東方に達し、その後新潟と酒田の間向の海上を北に進み、2時に酒田の西方海上に達した。そして4時頃までこの付近で停滞し、その後は消滅したらしい。酒田では4時まで南南東の風で風力は弱かつたが、5時から北面となり風速は急激に増加した。これは各風後面の吹き返しによるものと思われれる。しかしこの副低気圧に関しては海上を通つたためくわしいことはわからない。

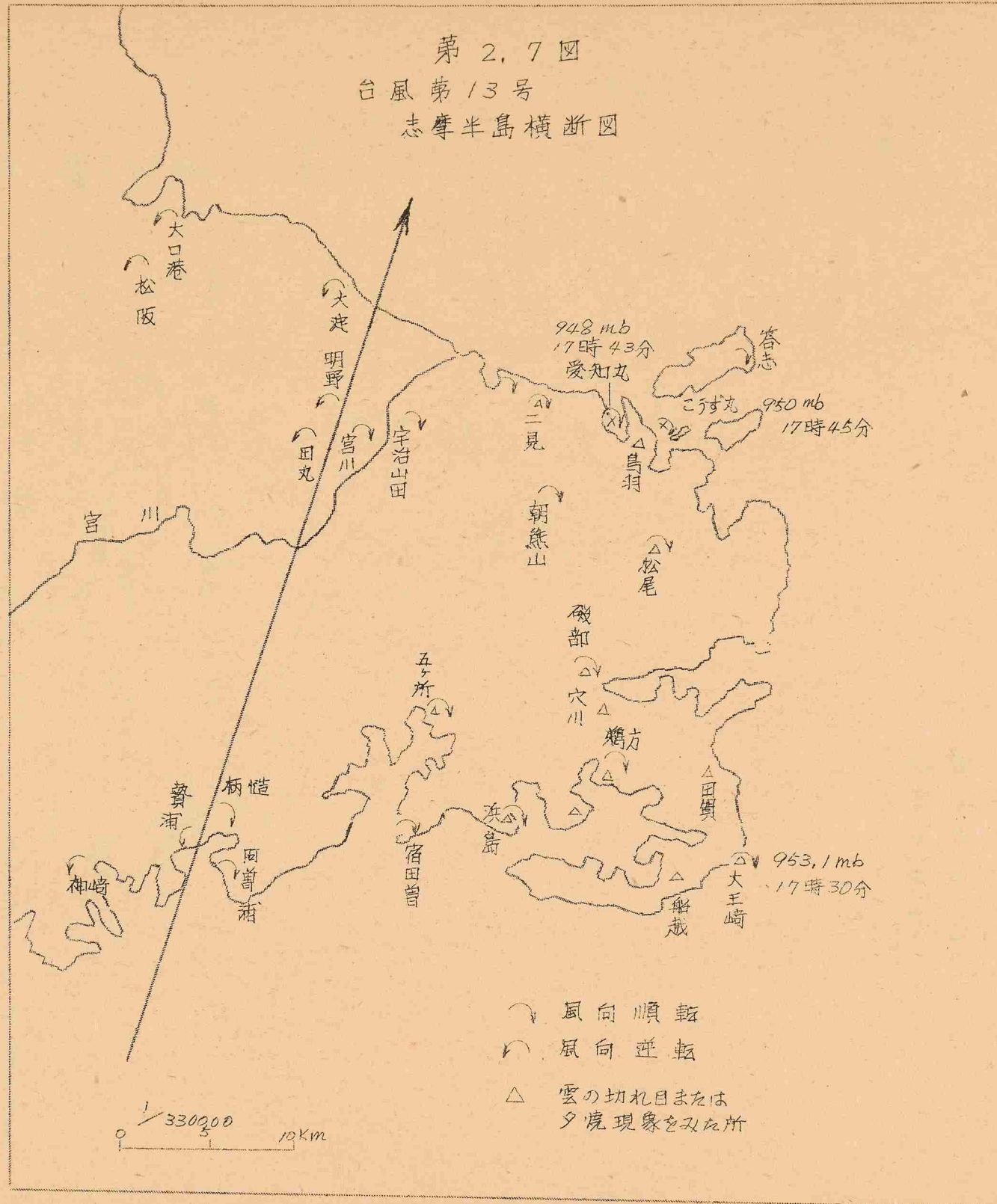
時刻	26日 0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時
酒田	ENE ^{m/sec} 7.4	ENE 3.4	SSE 3.4	SSE 1.7	SSE 2.0	NW 20.4	WNW 14.9

第 2.6 図
 台風第 13 号
 本州縦断径路図 (25-26 日)

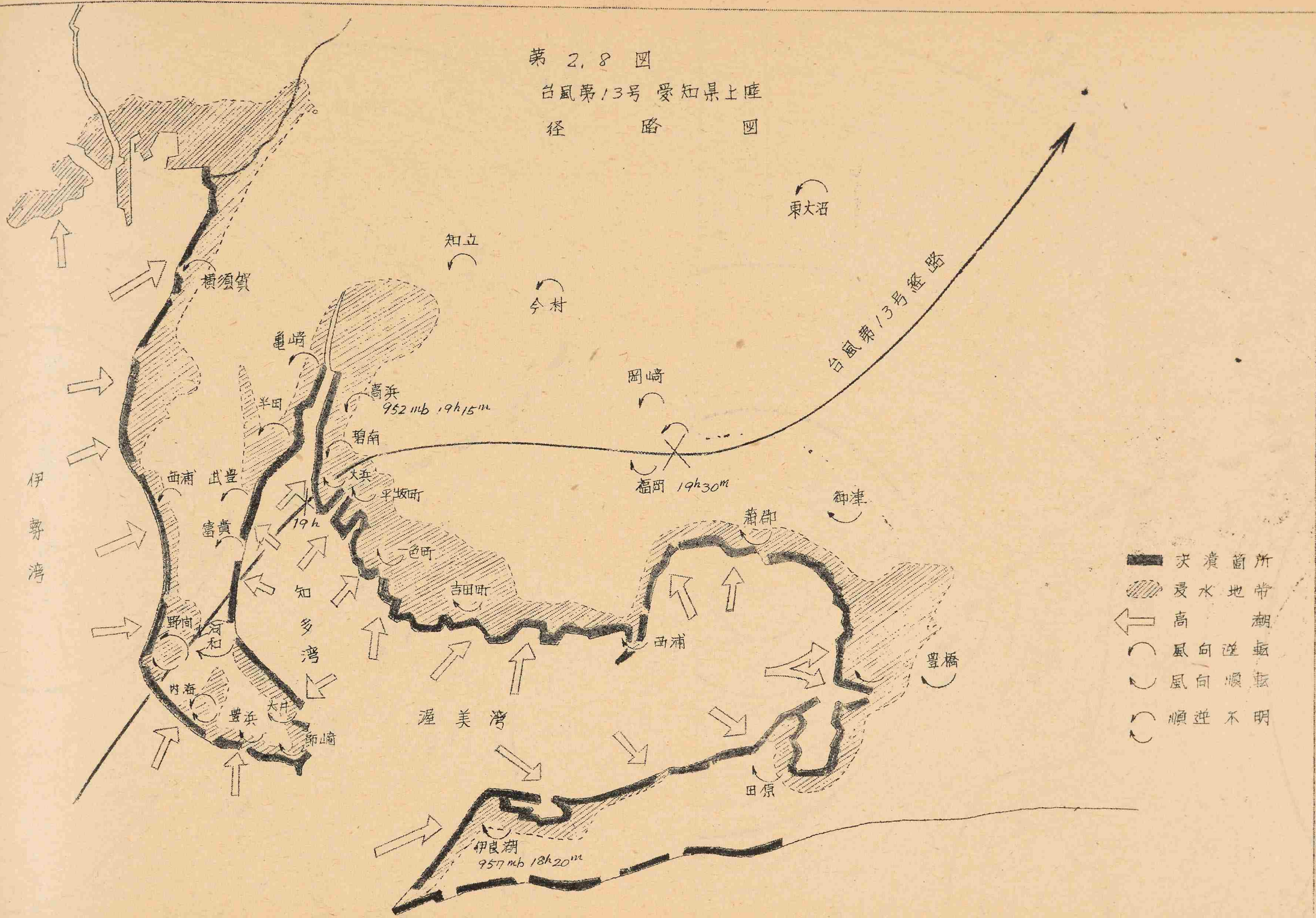
↶ 風向逆転
 ↷ 風向順転



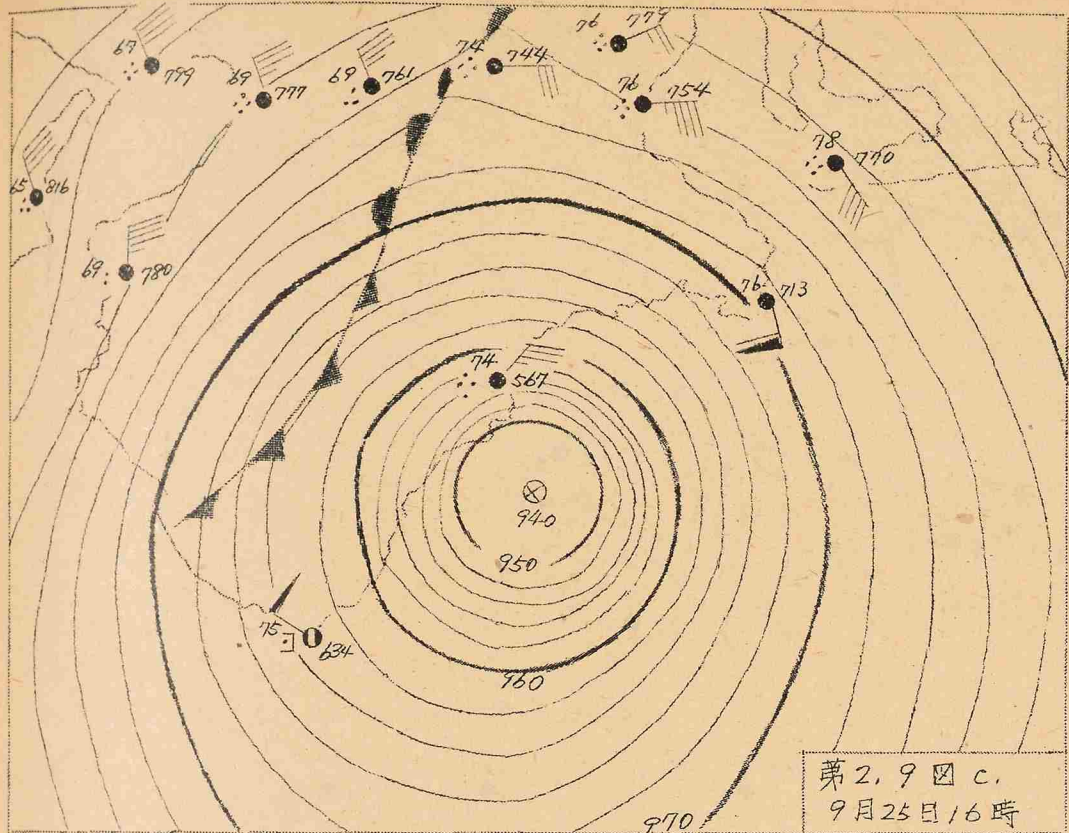
第 2.7 図
 台風第 13 号
 志摩半島横断図



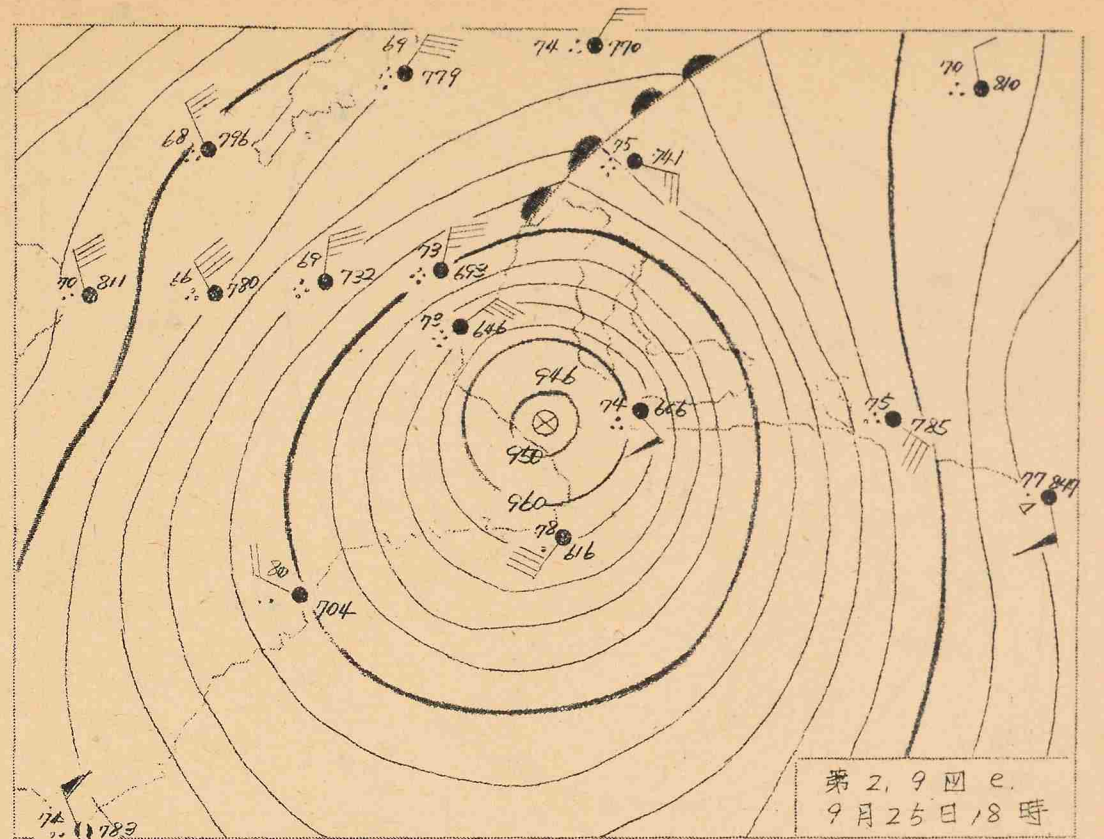
第 2.8 圖
 台風第 13 号 愛知県上陸
 径 略 圖



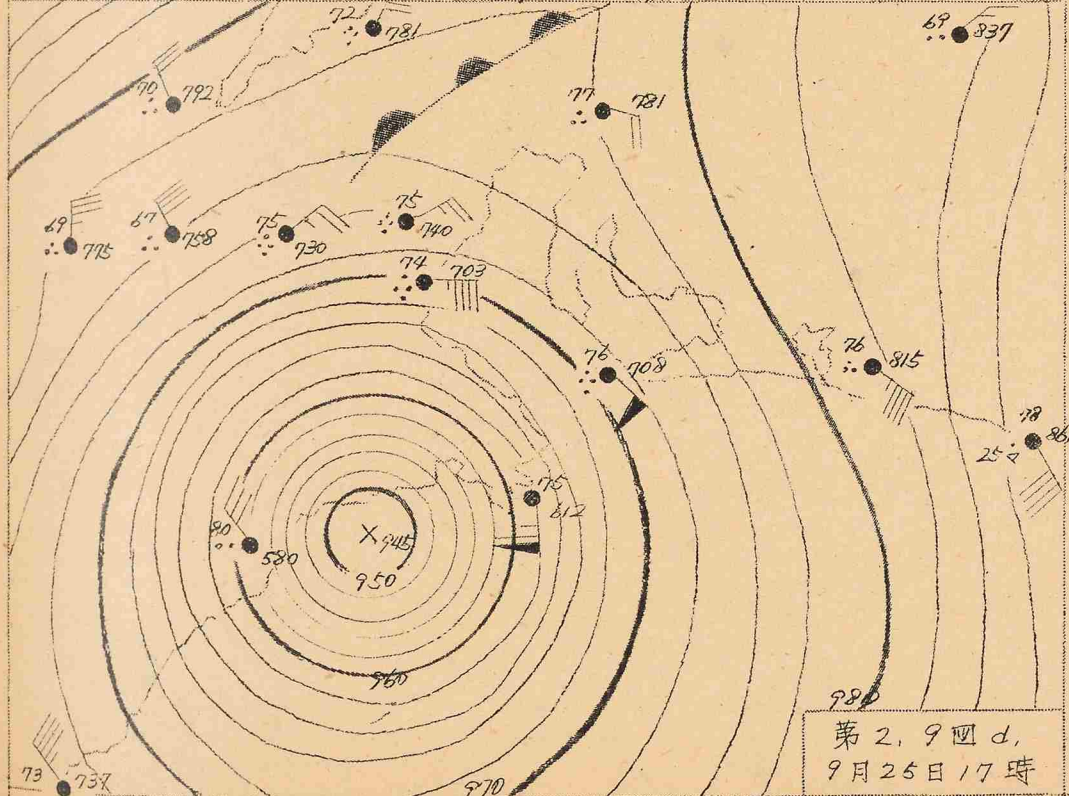
- inundation zone
- ▨ inundation zone
- ← high tide
- ↻ wind direction
- ↻ wind direction
- ↻ wind direction



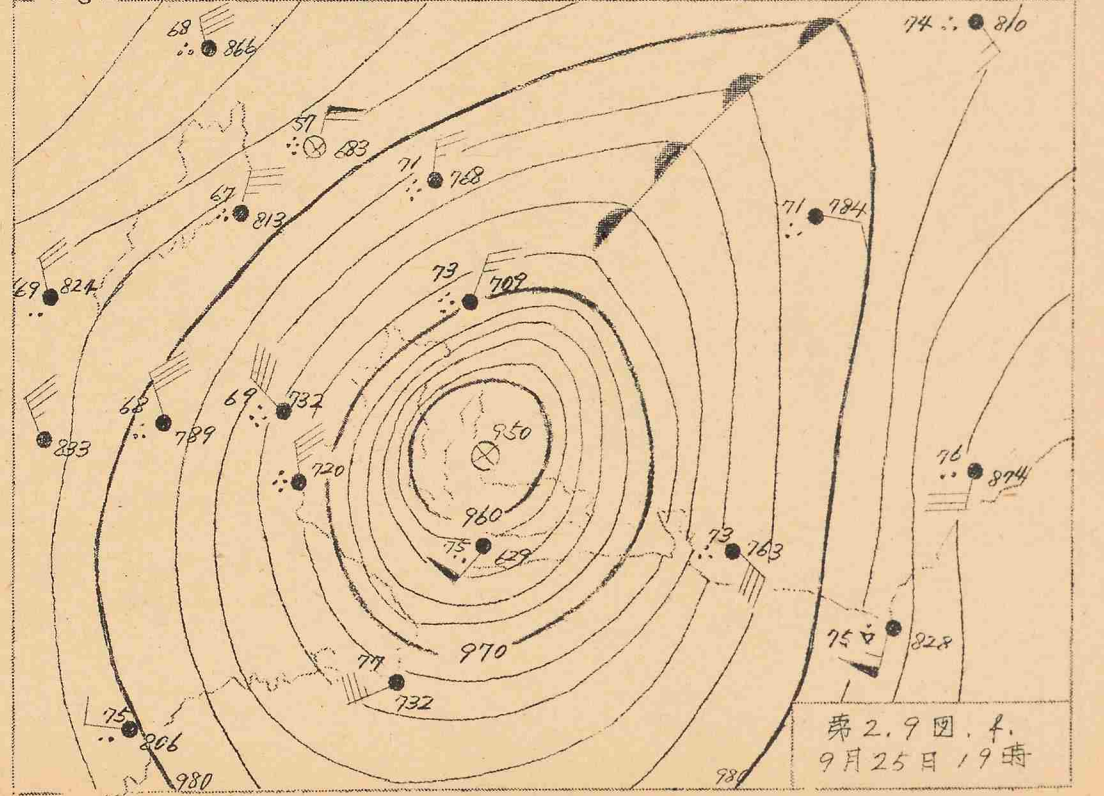
第 2.9 圖 c.
9月25日 16時



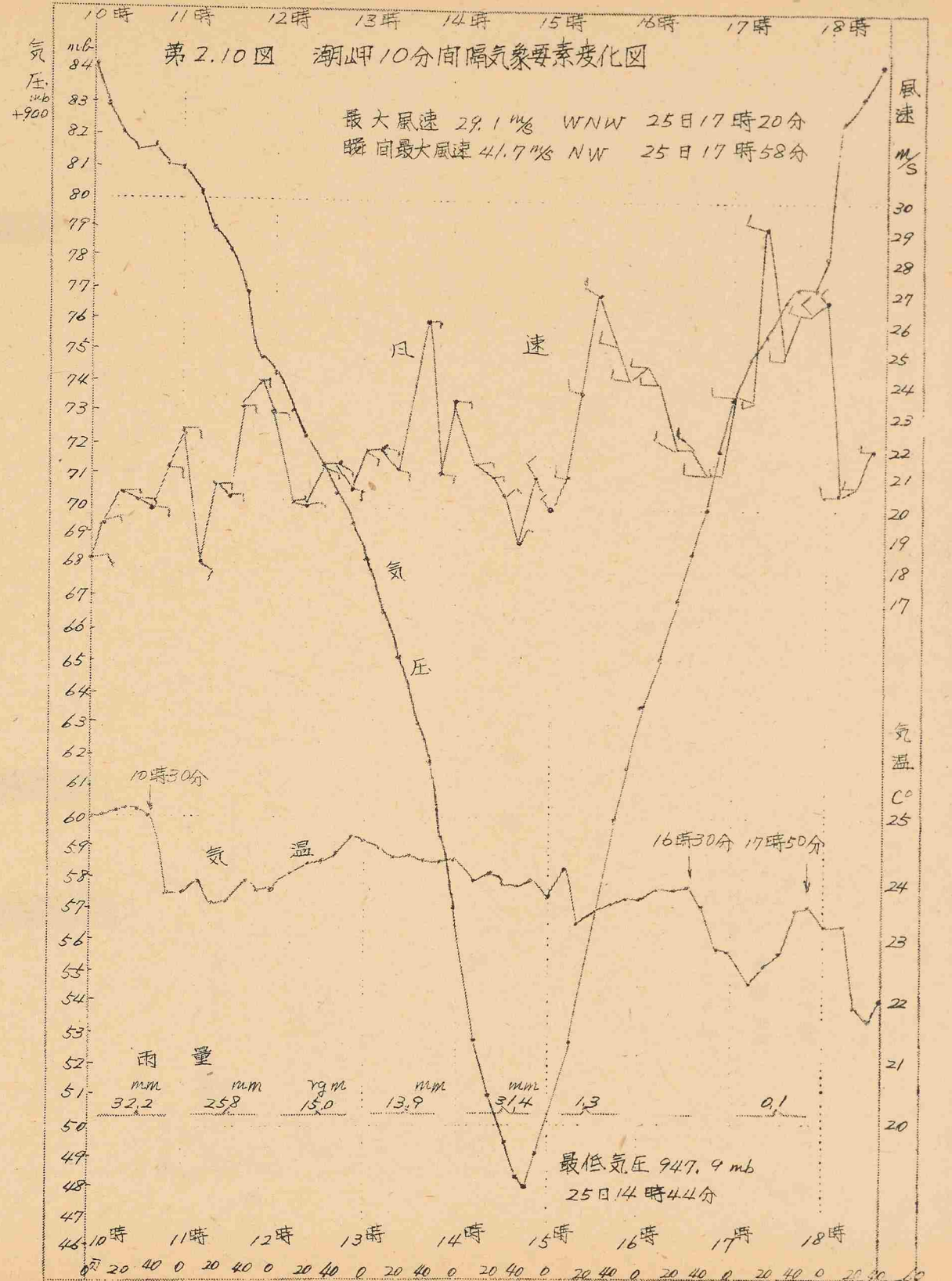
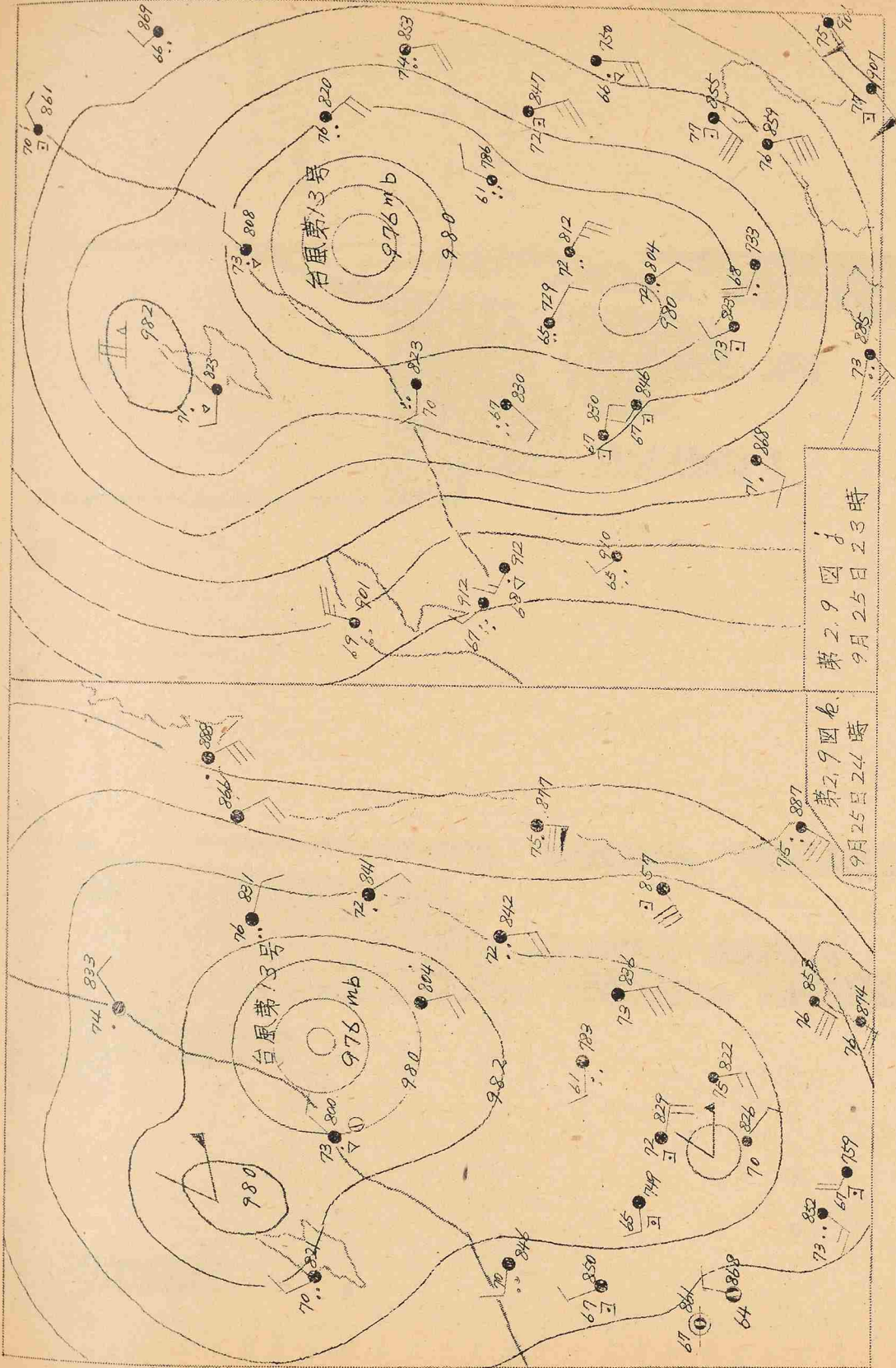
第 2.9 圖 e.
9月25日 18時



第 2.9 圖 d.
9月25日 17時

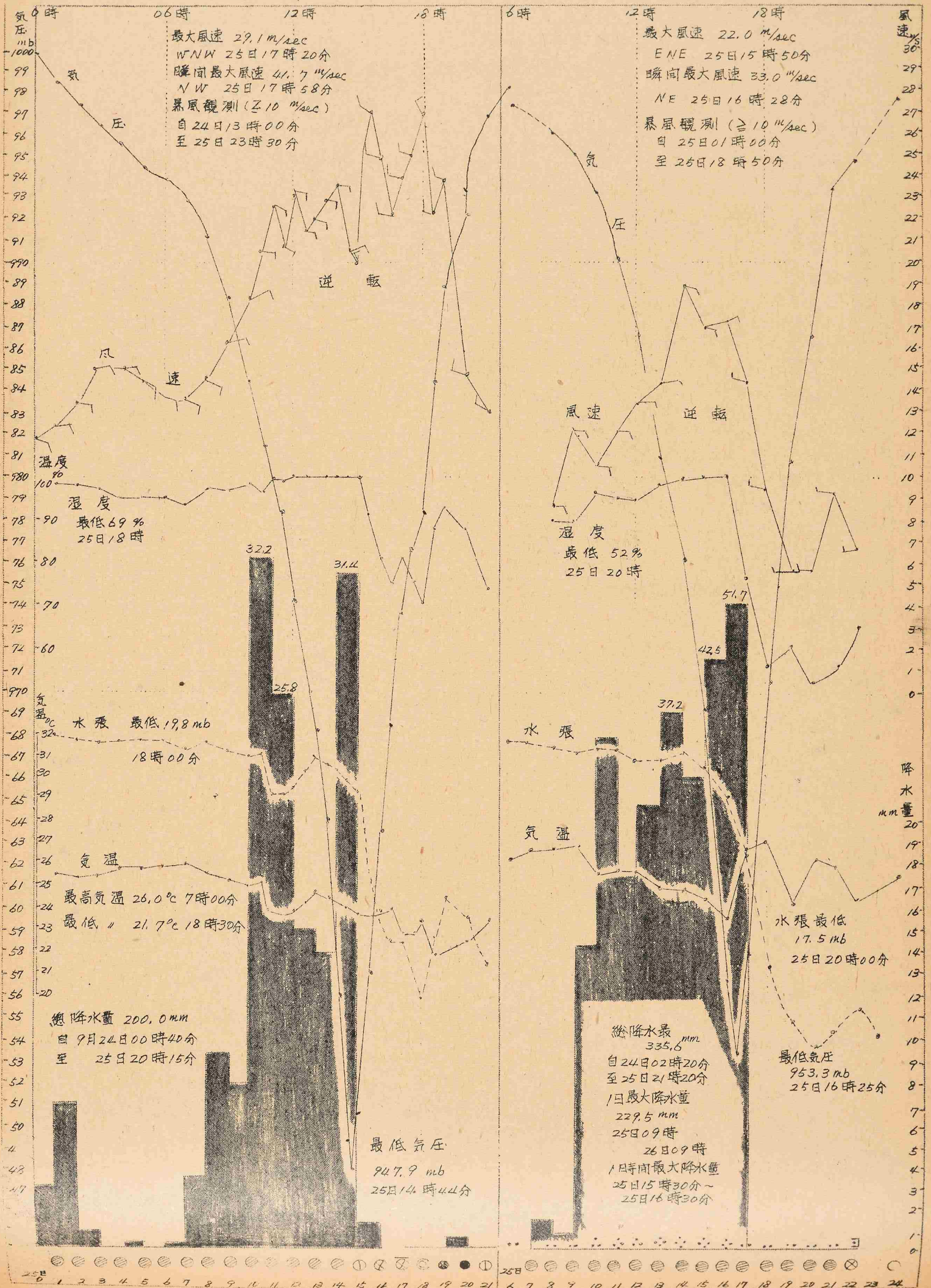


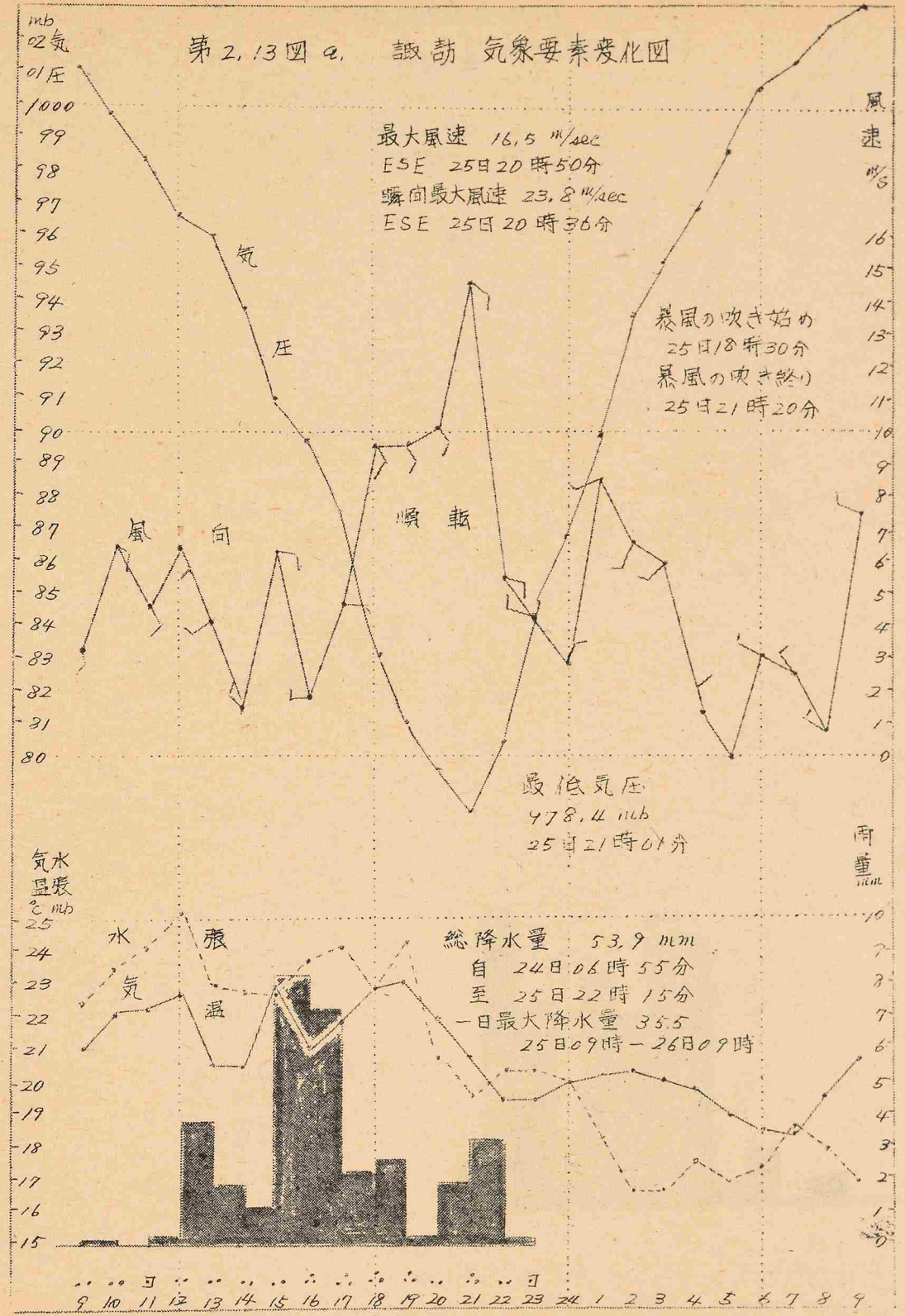
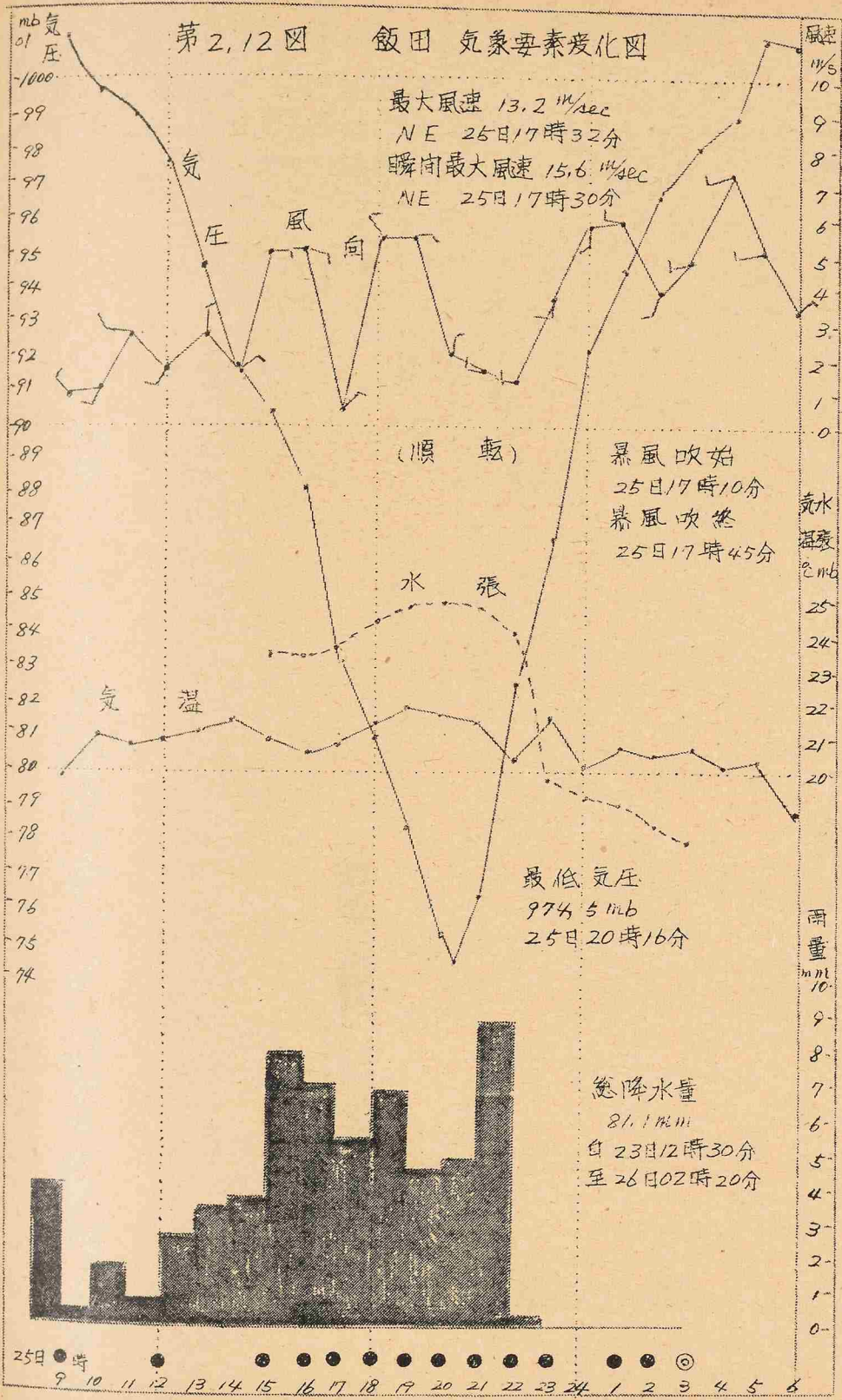
第 2.9 圖 f.
9月25日 19時

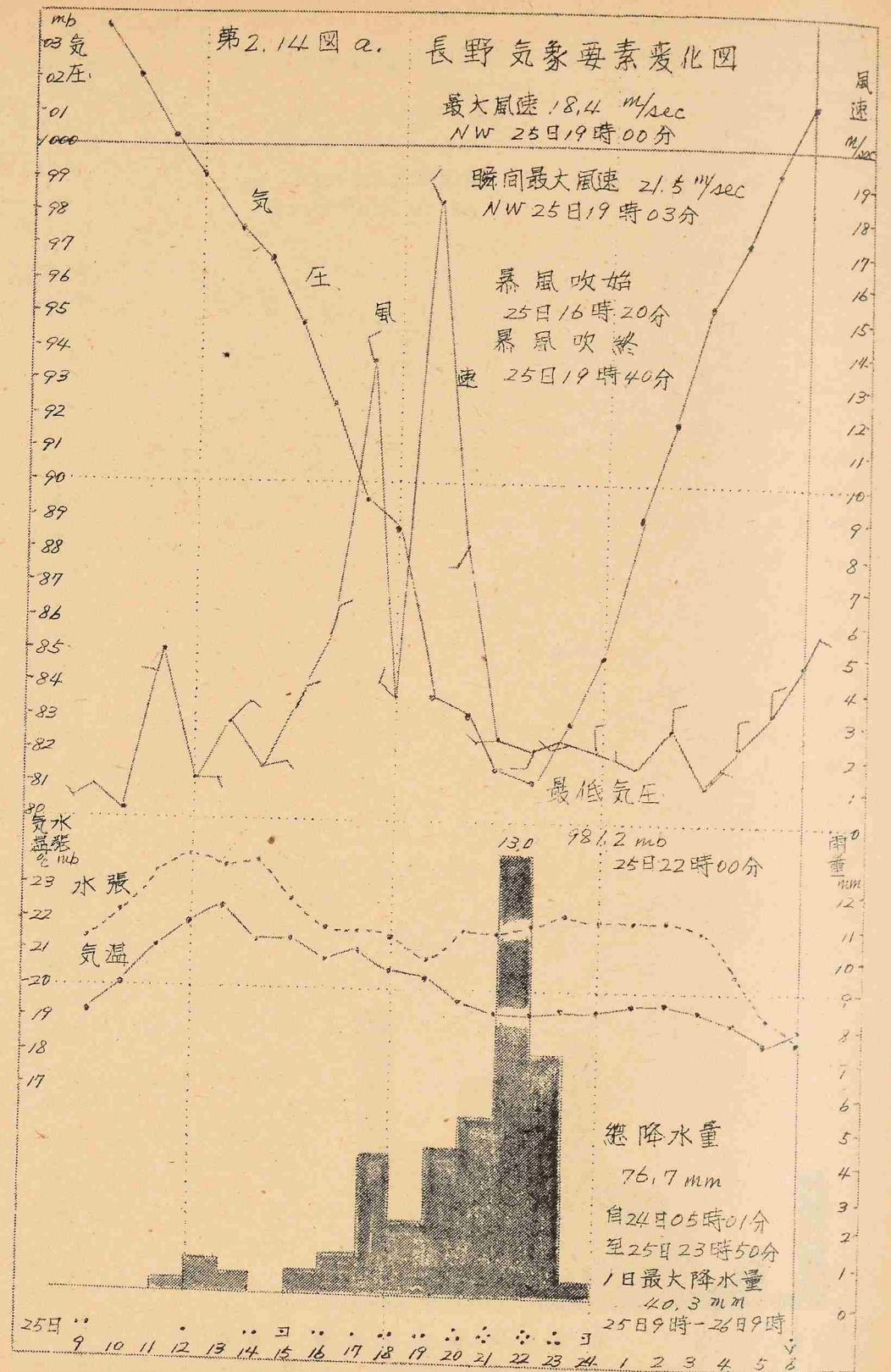
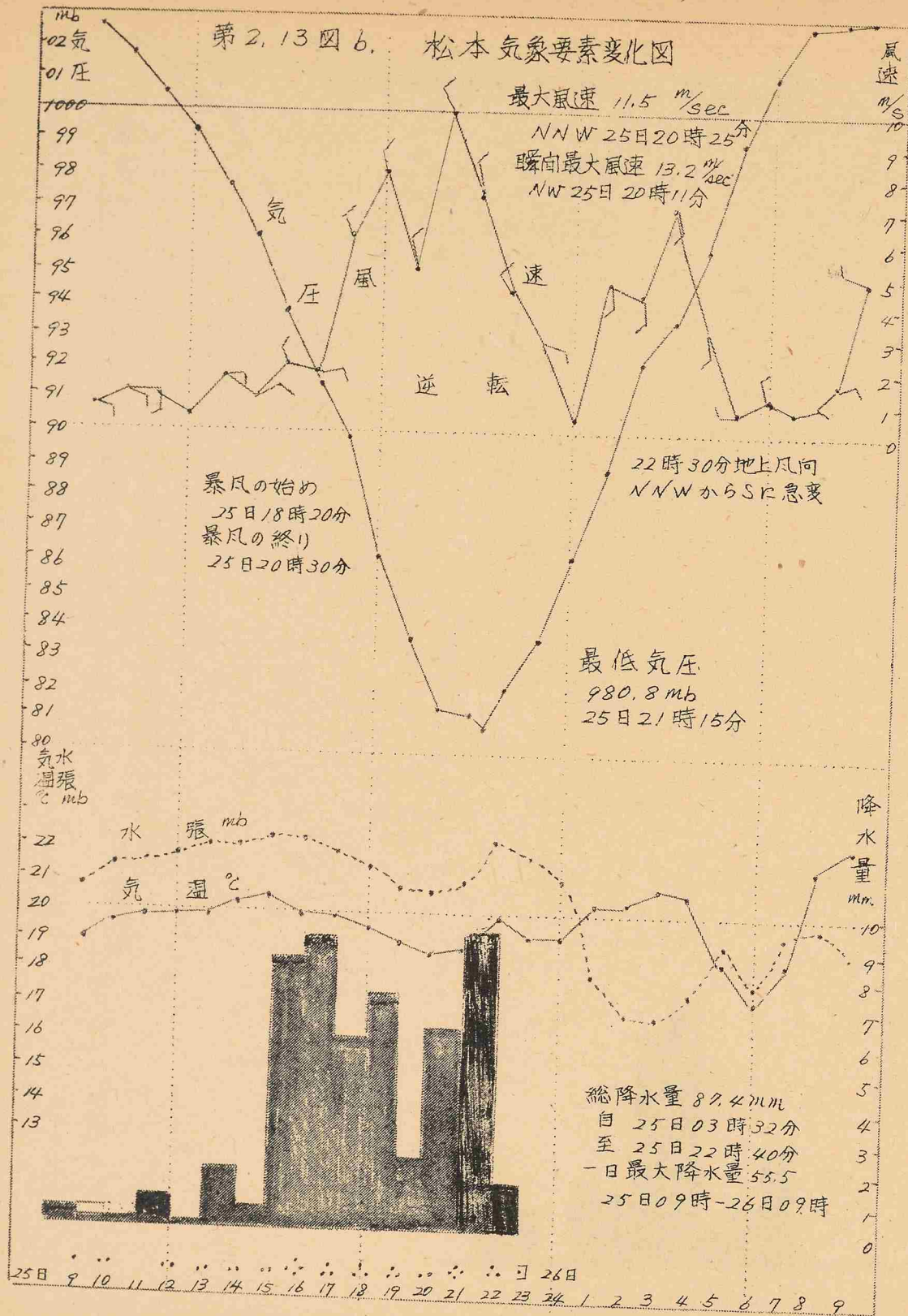


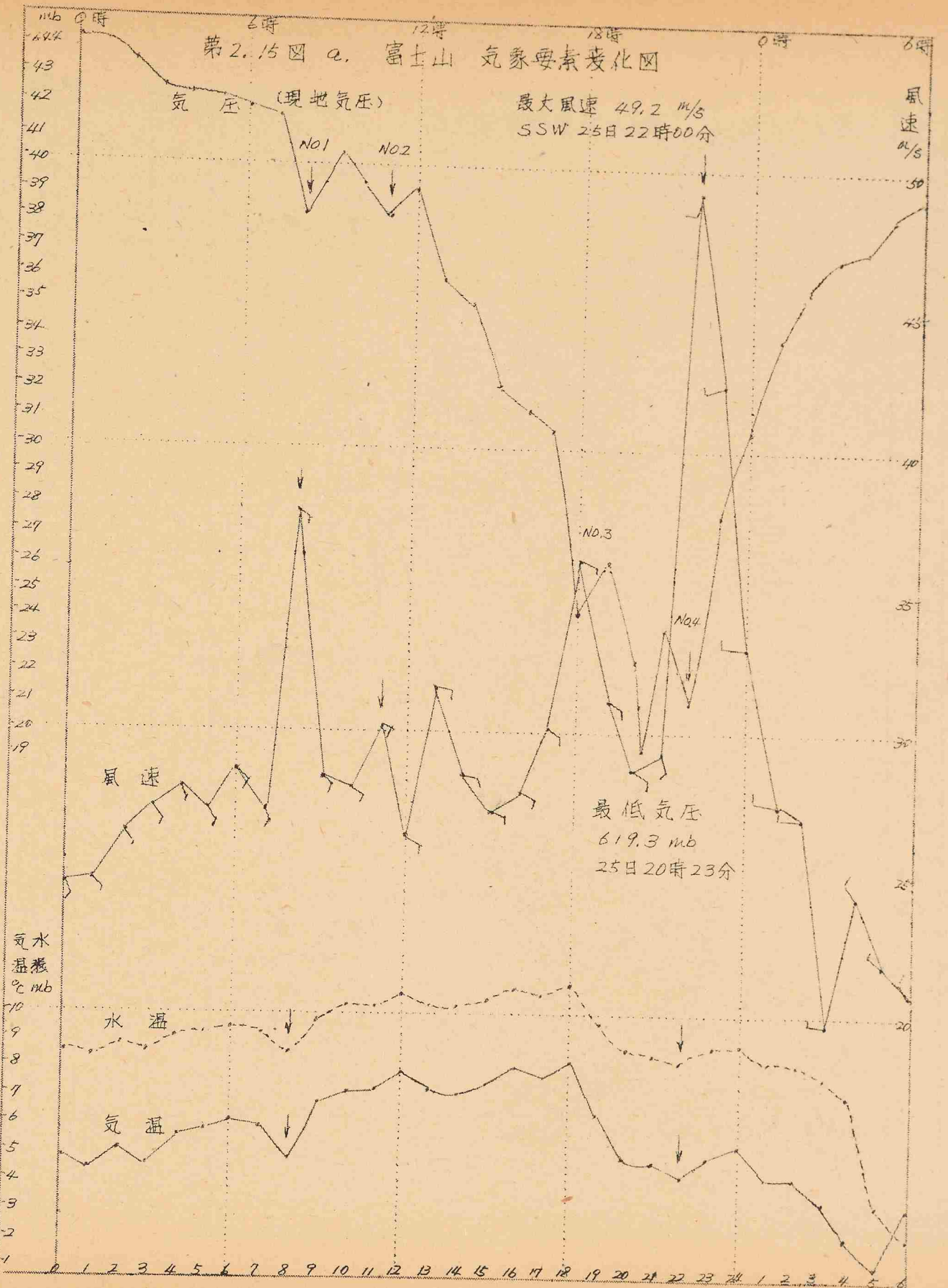
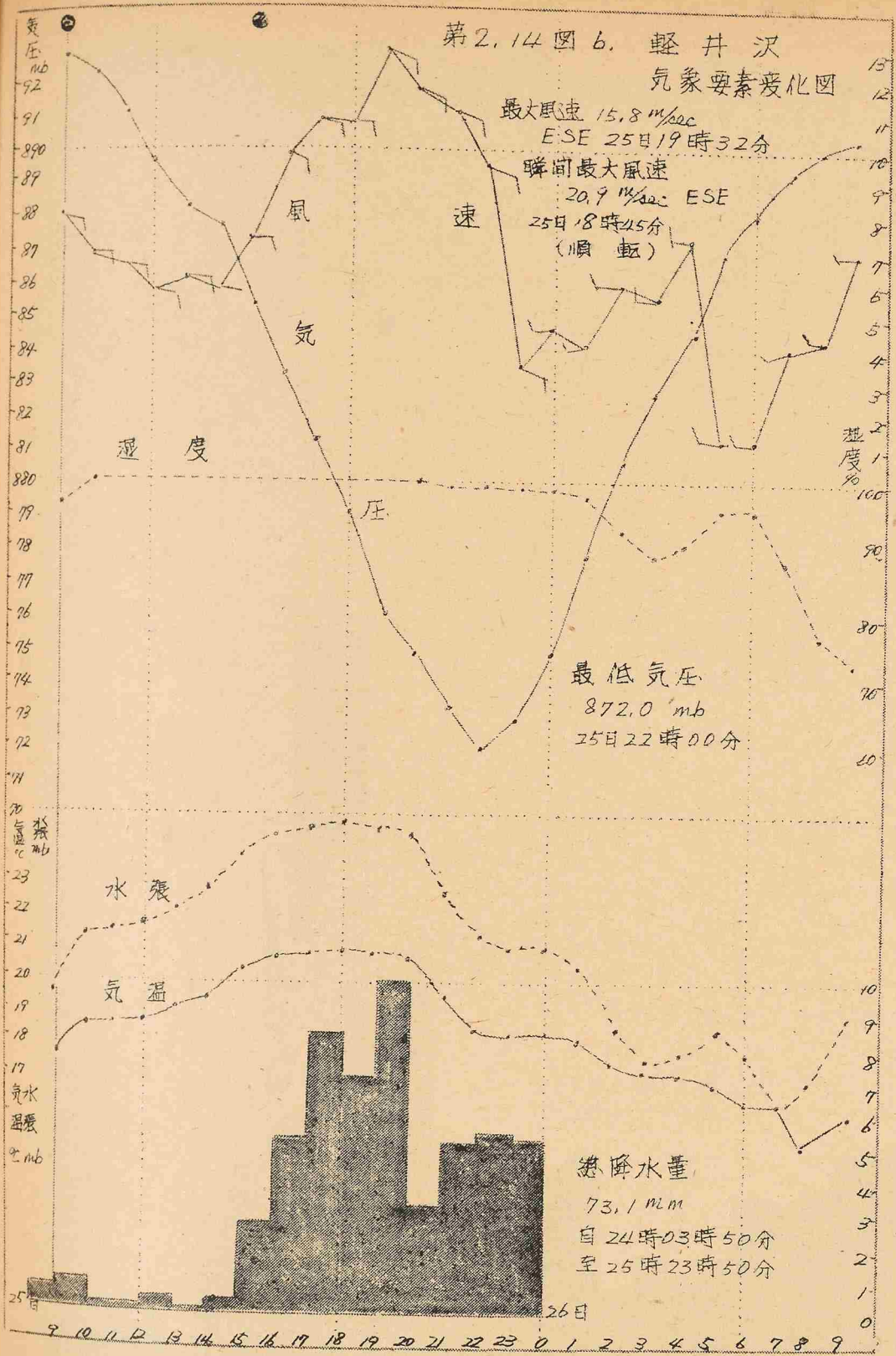
a. 潮山

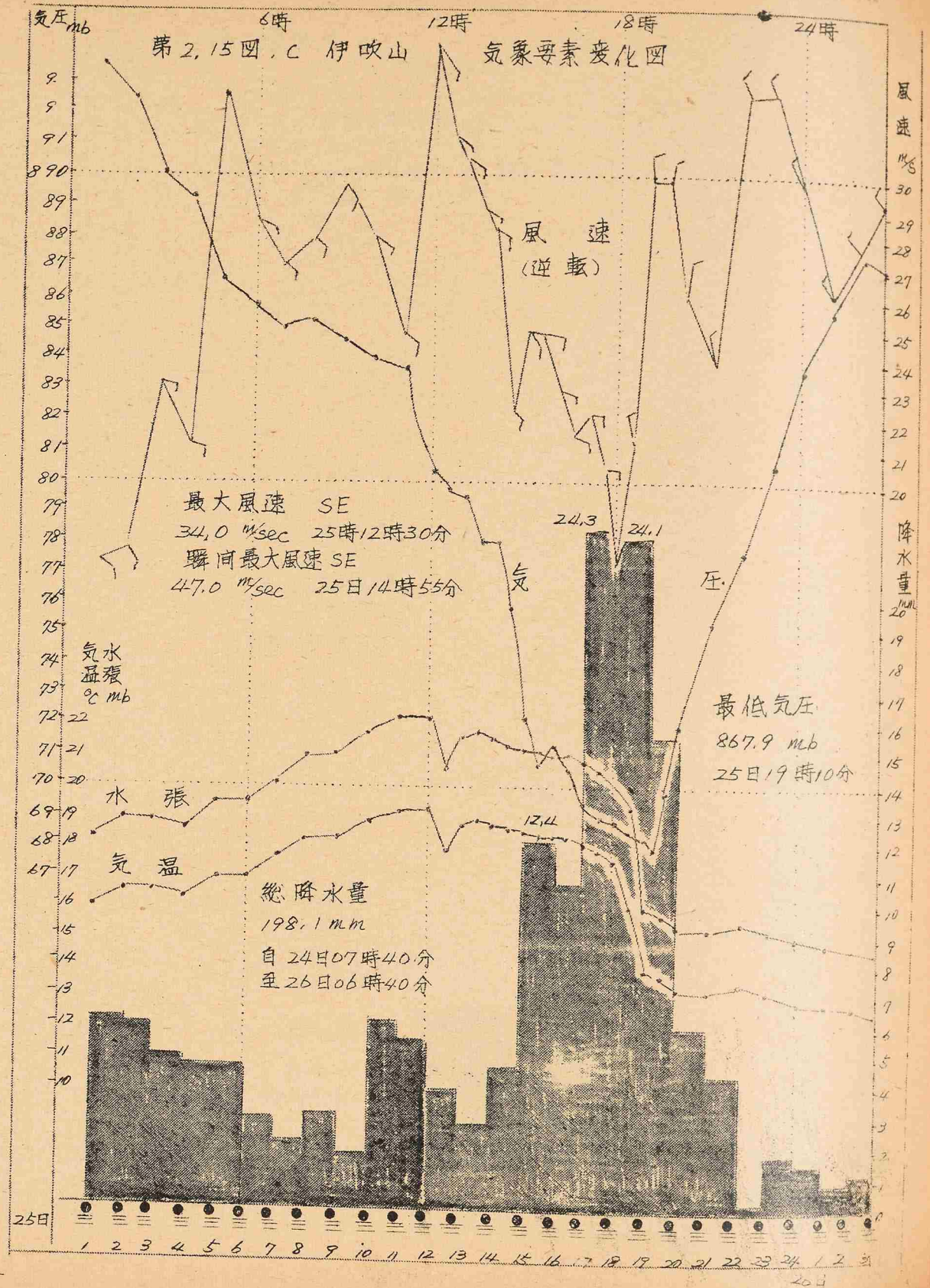
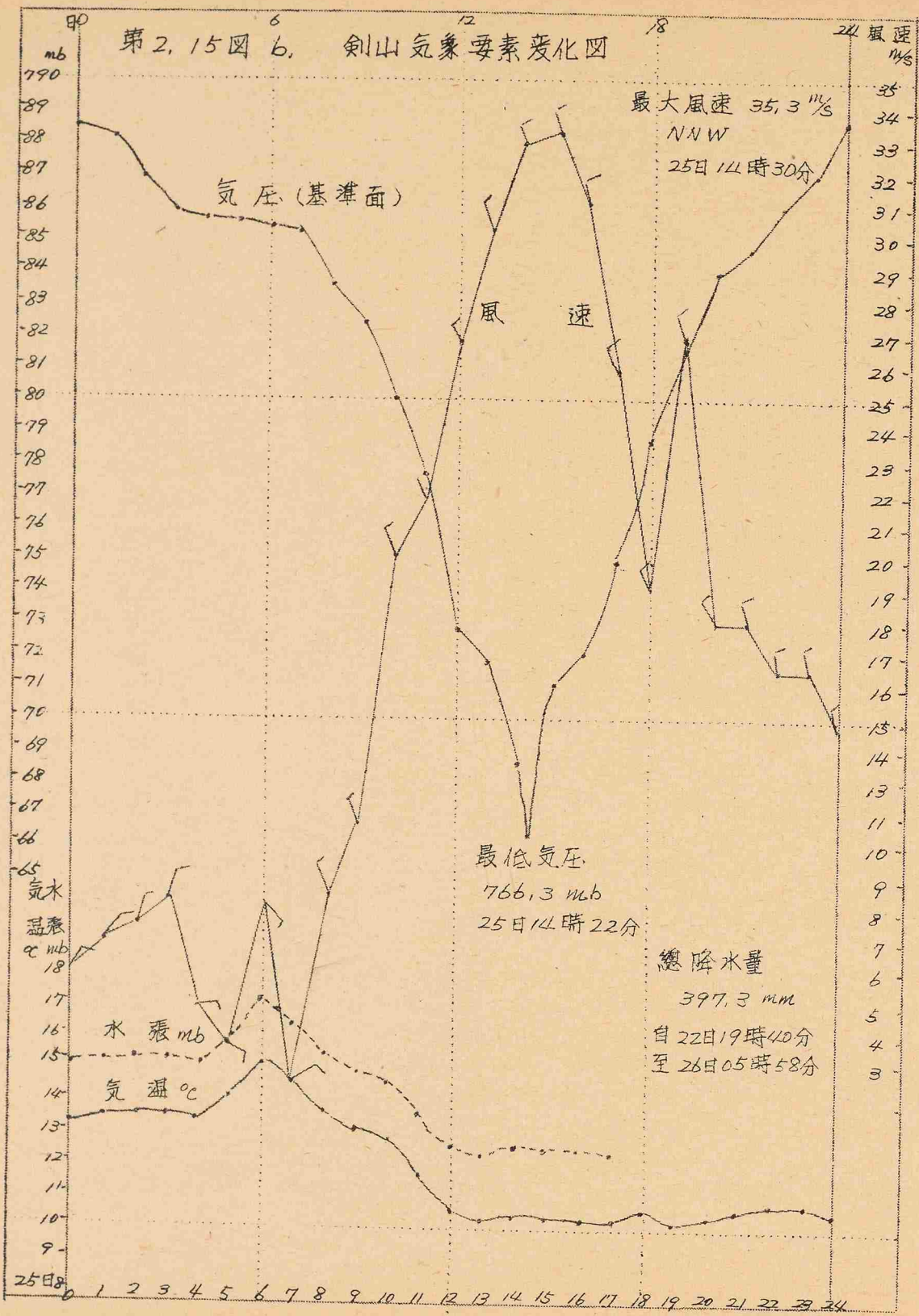
b. 尾鷲



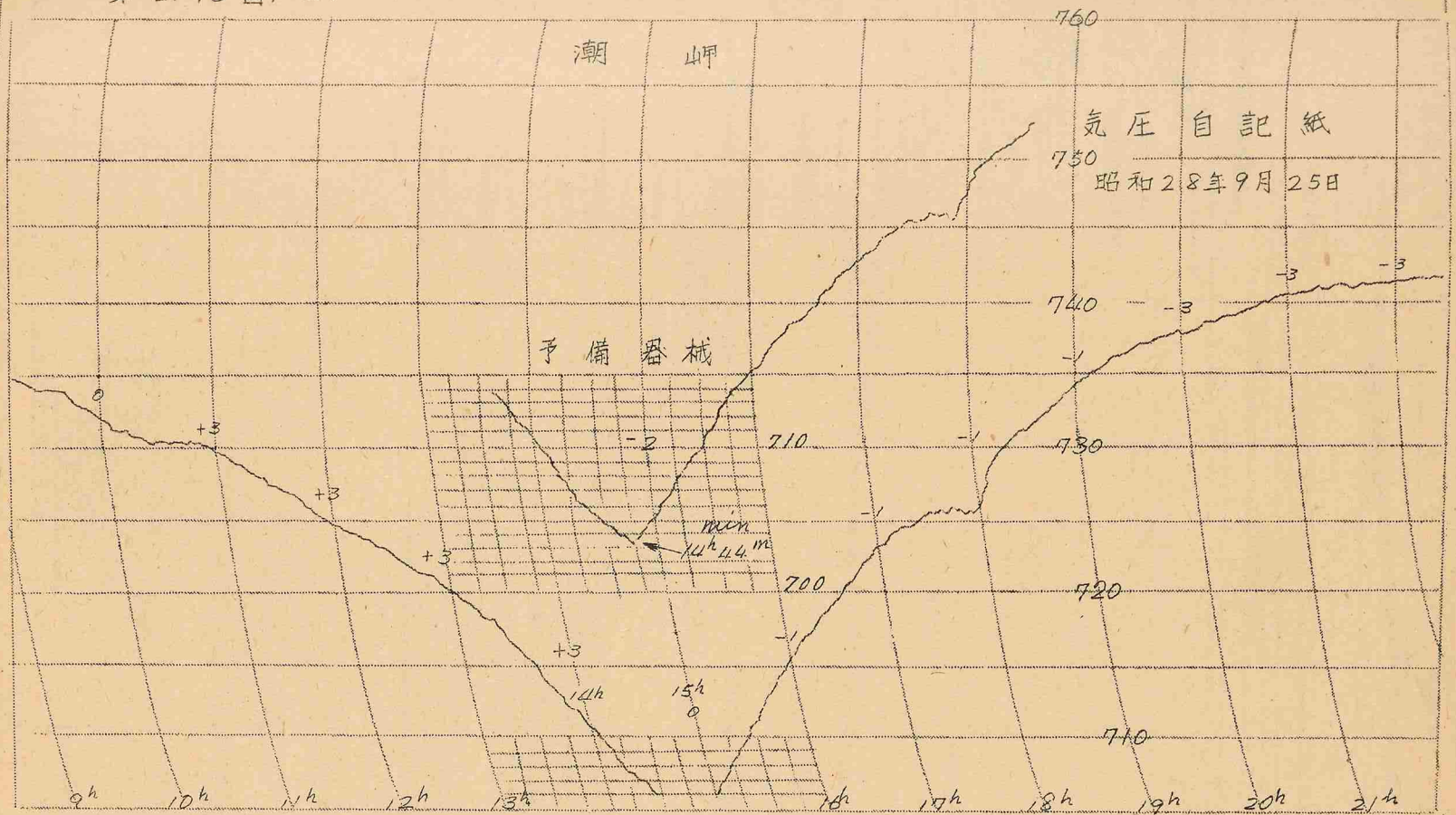




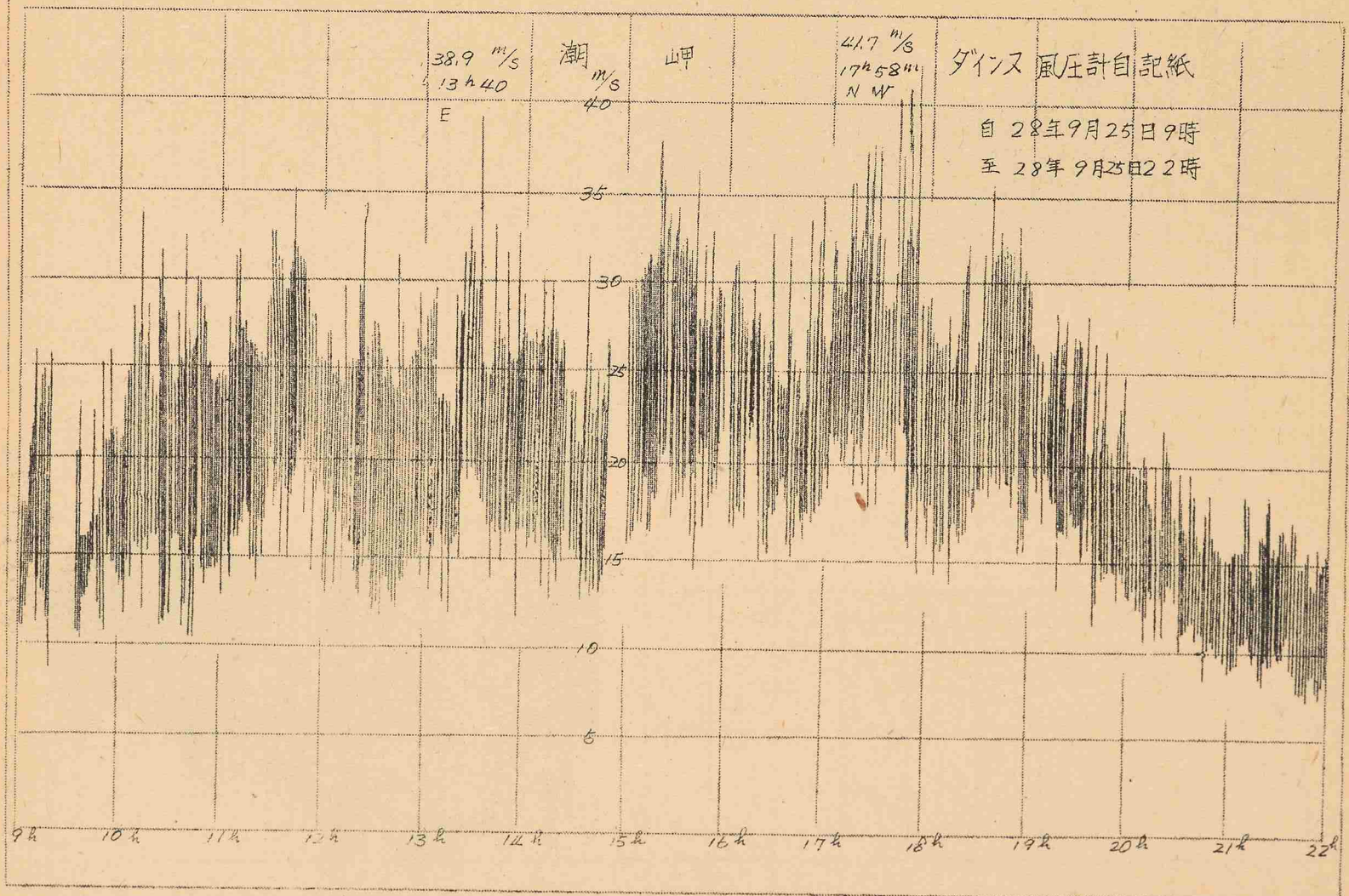


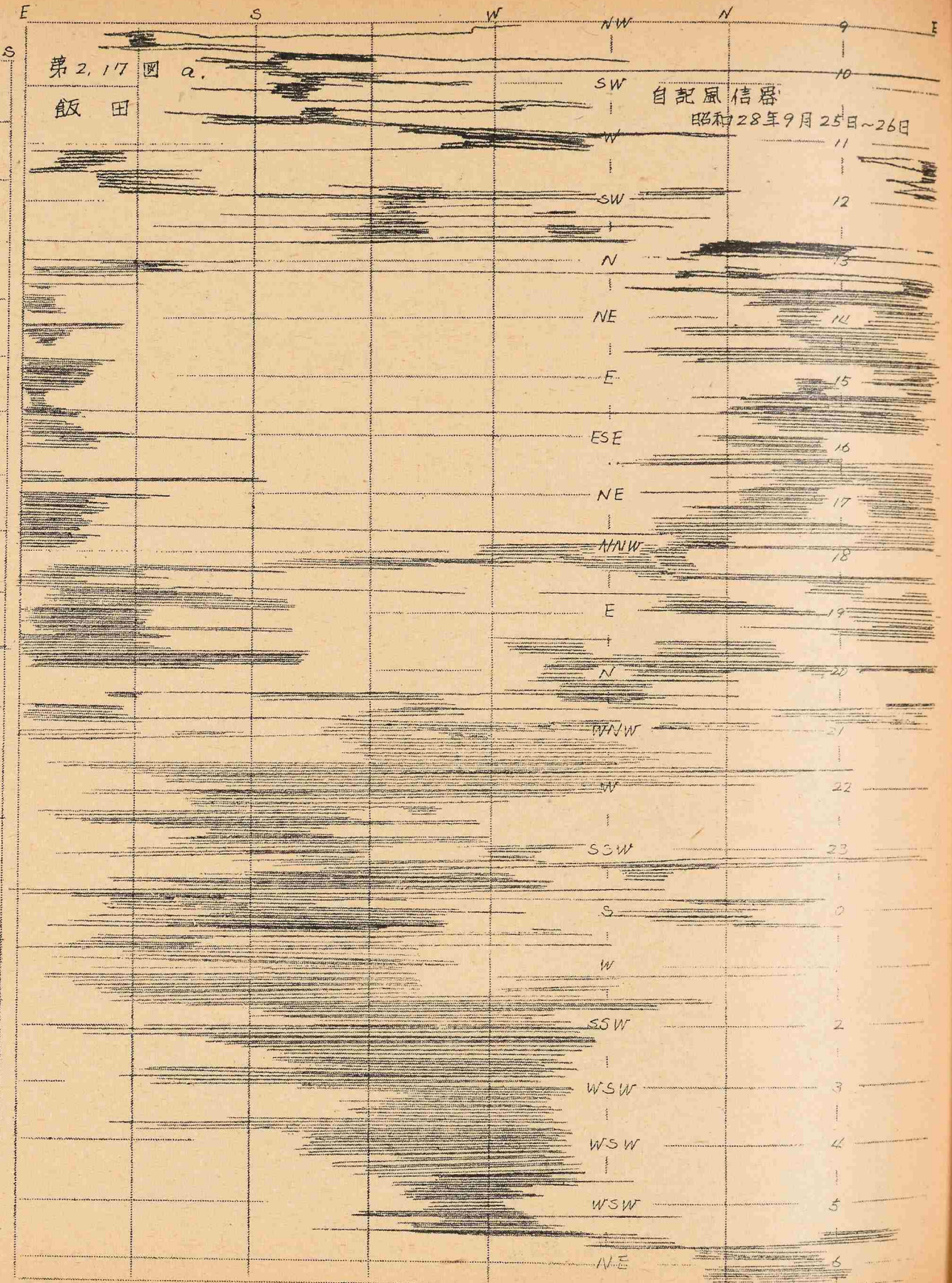
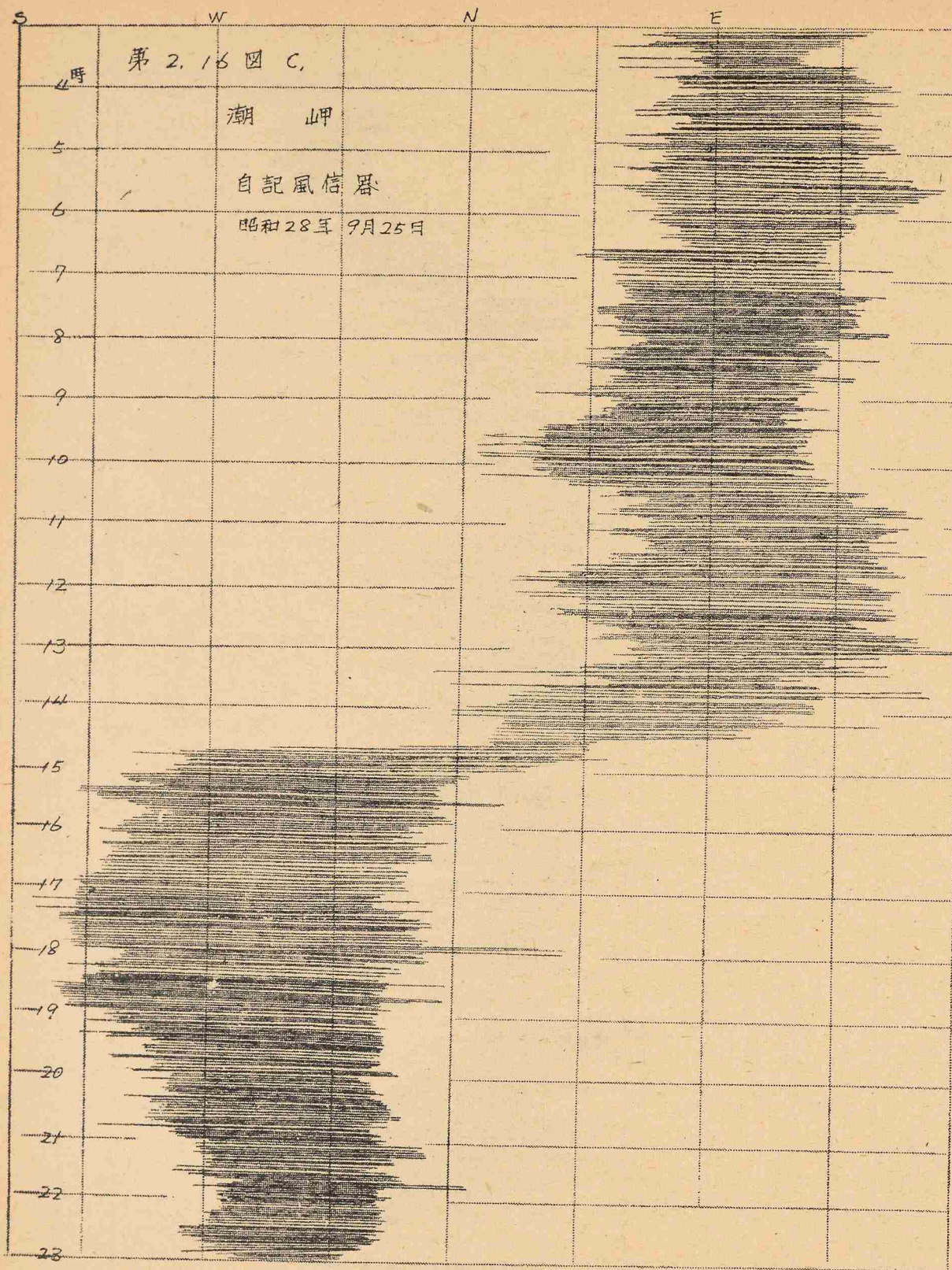


第 2. 16 図. a.



第 2. 16 図. b



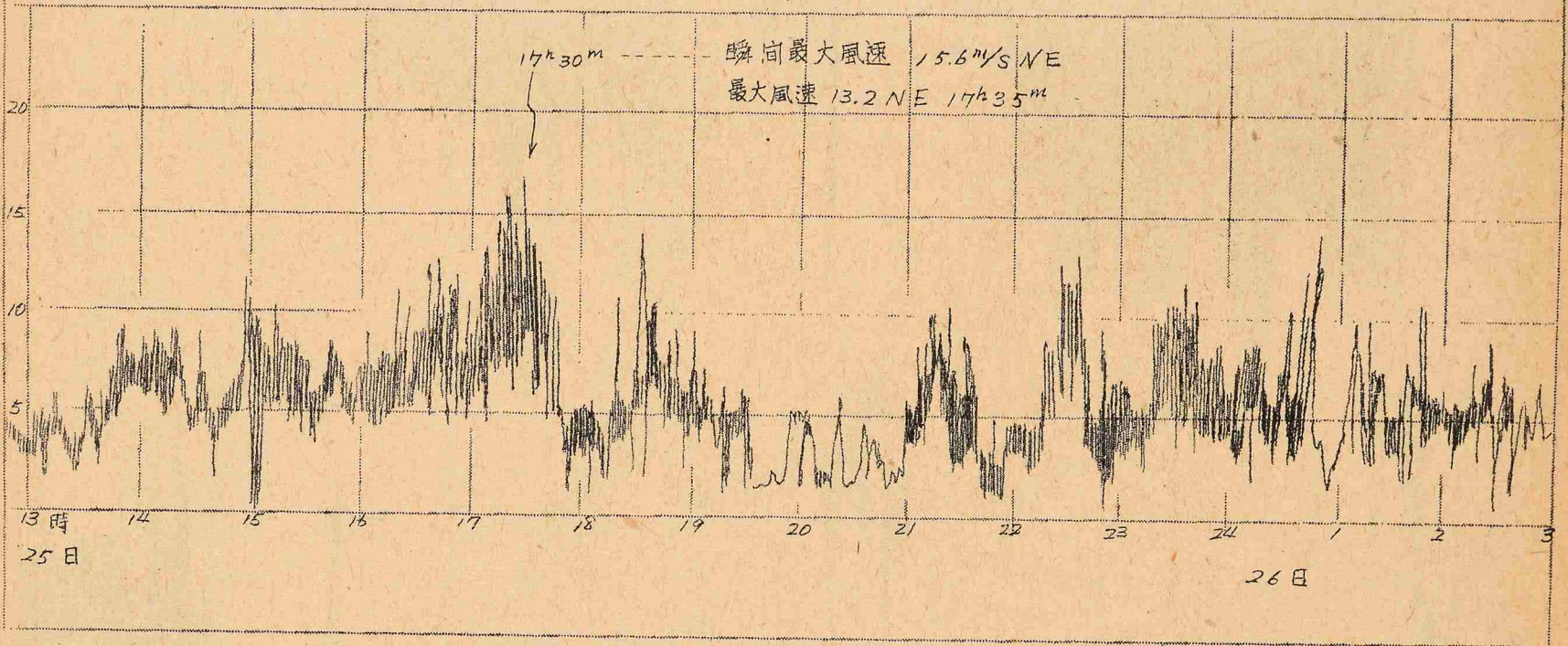


第 2. 17 図 b.

飯 田

ダイヤス風圧計自記紙

昭和 28 年 9 月 25 日 - 26 日

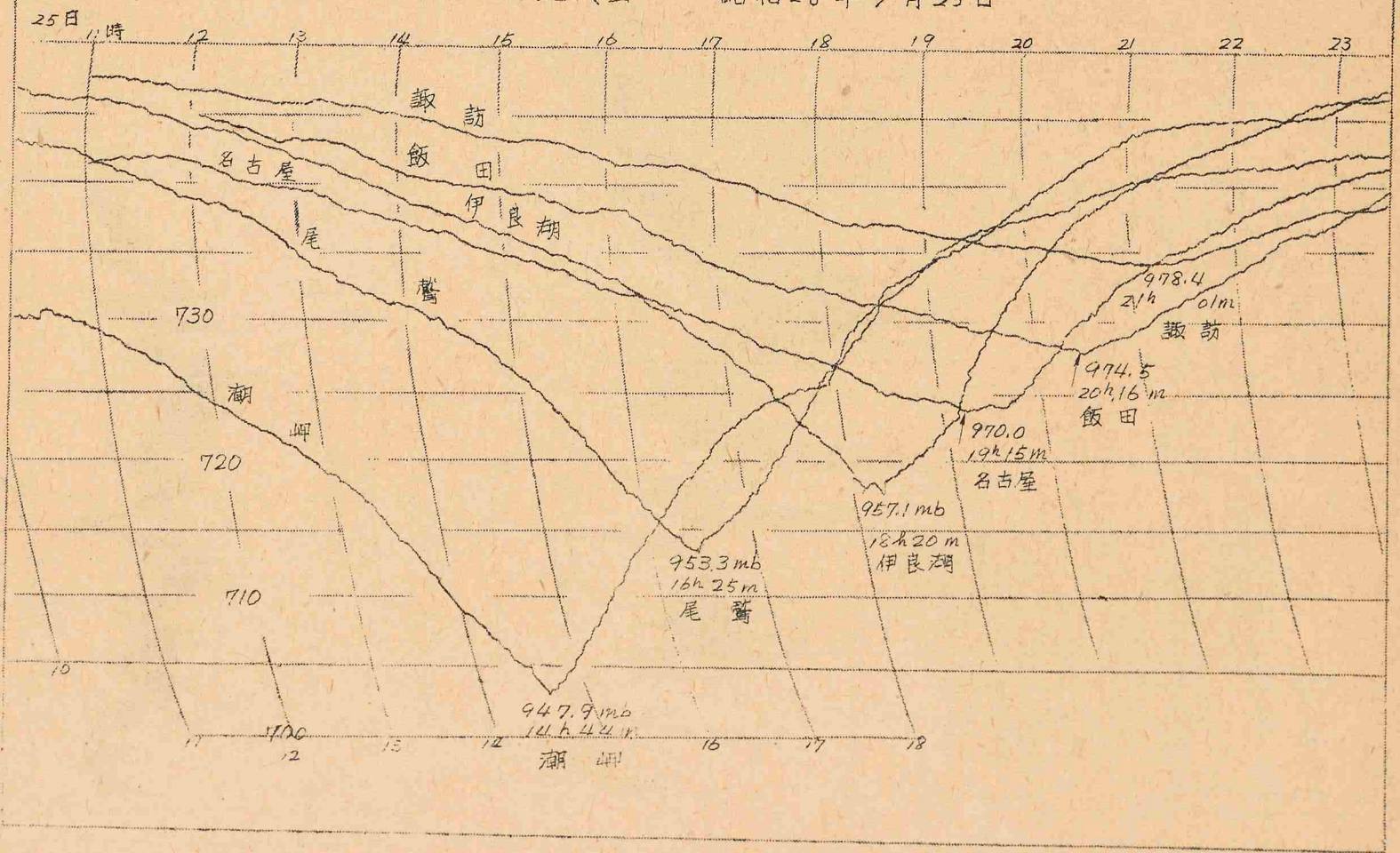


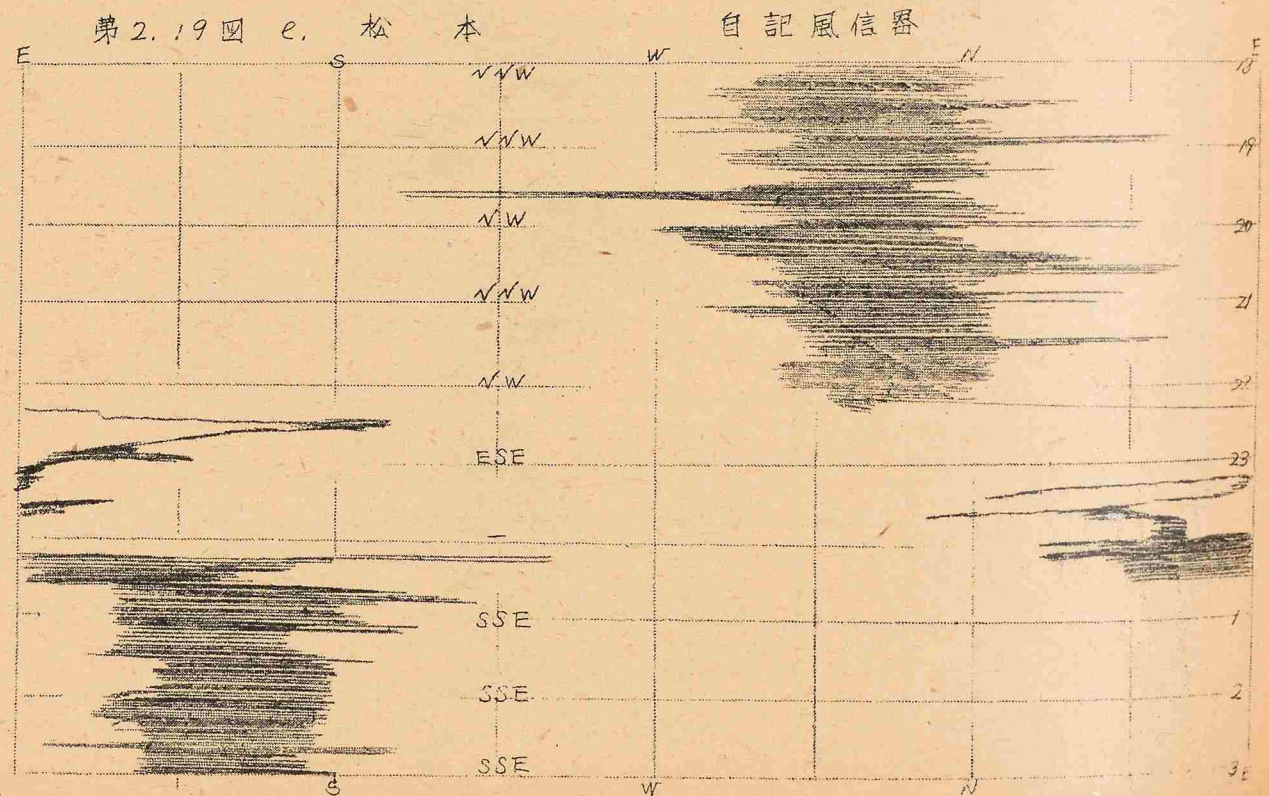
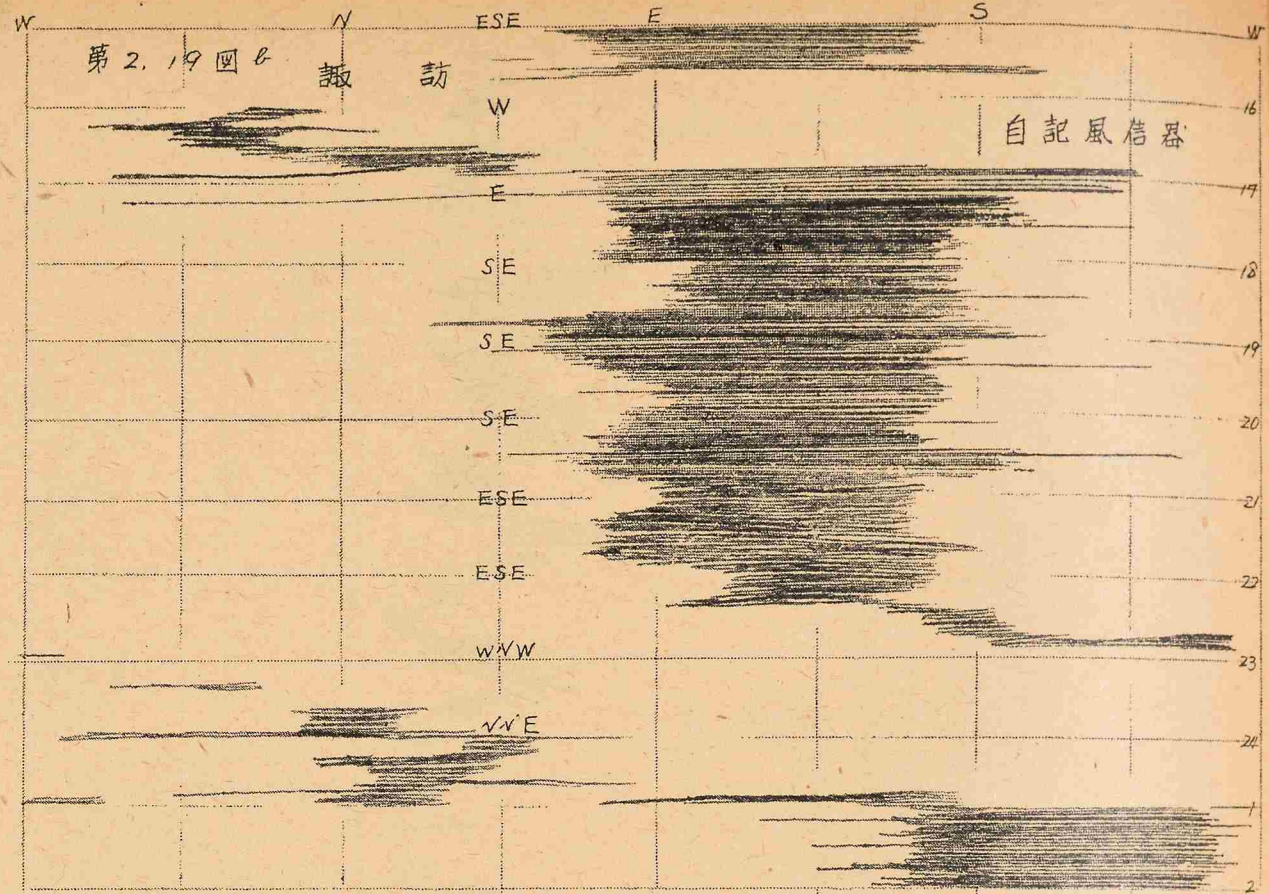
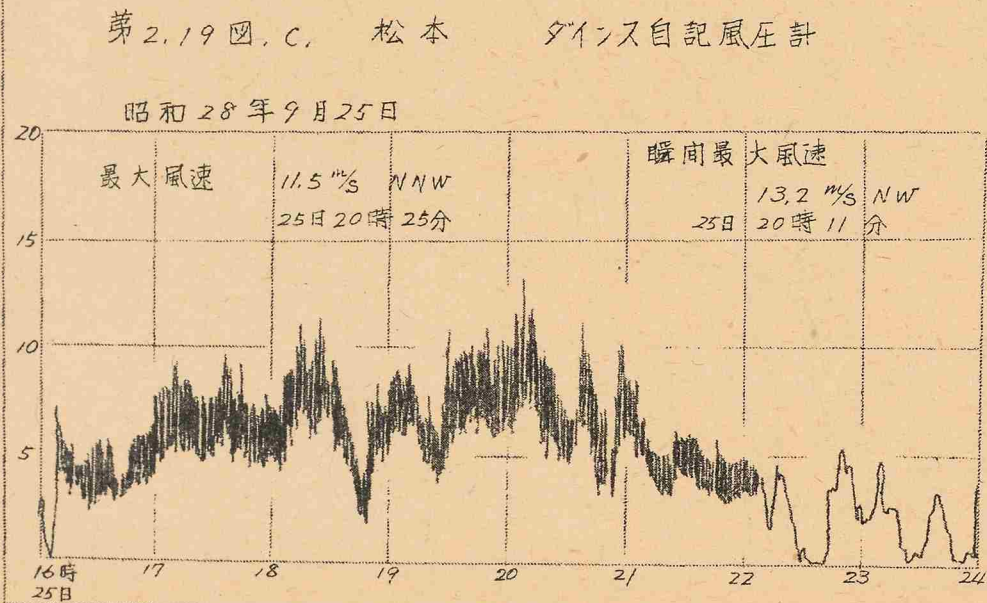
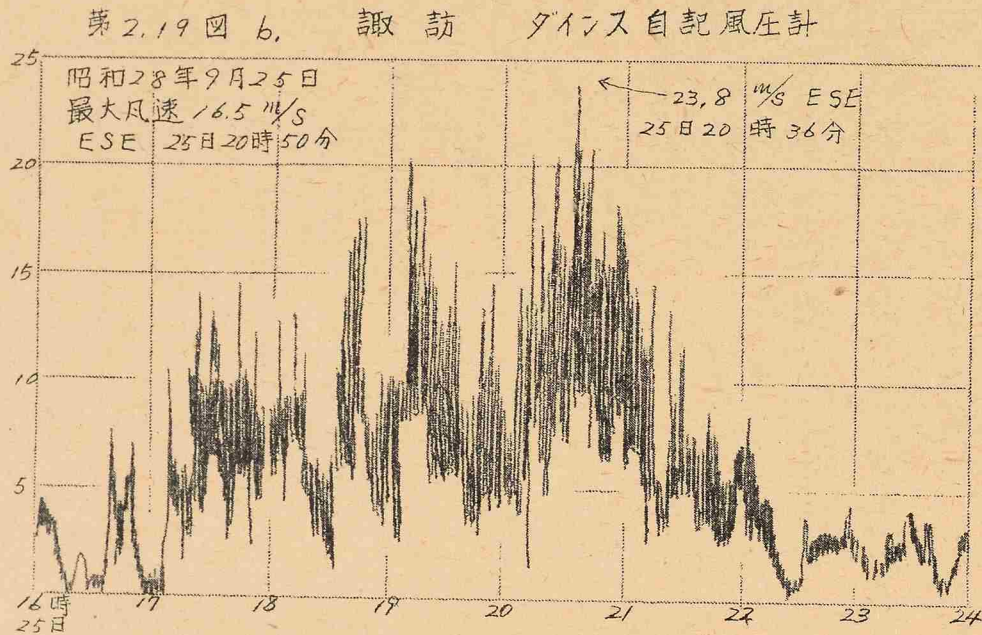
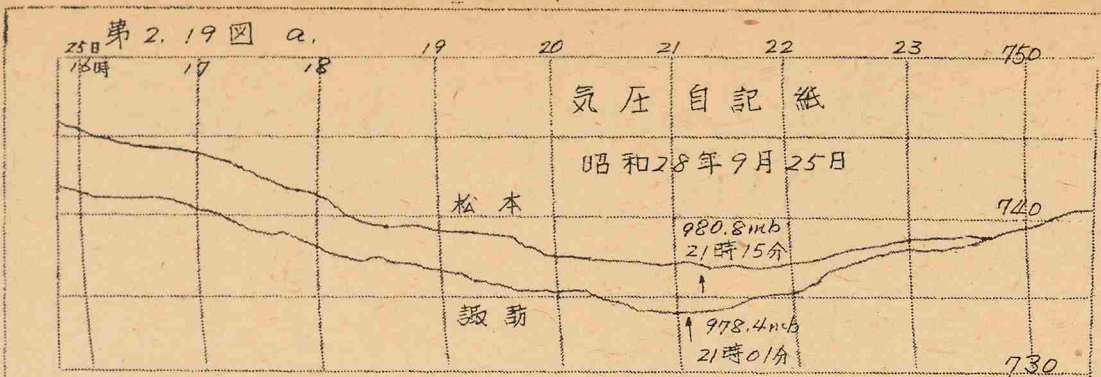
35

第 2. 18 図

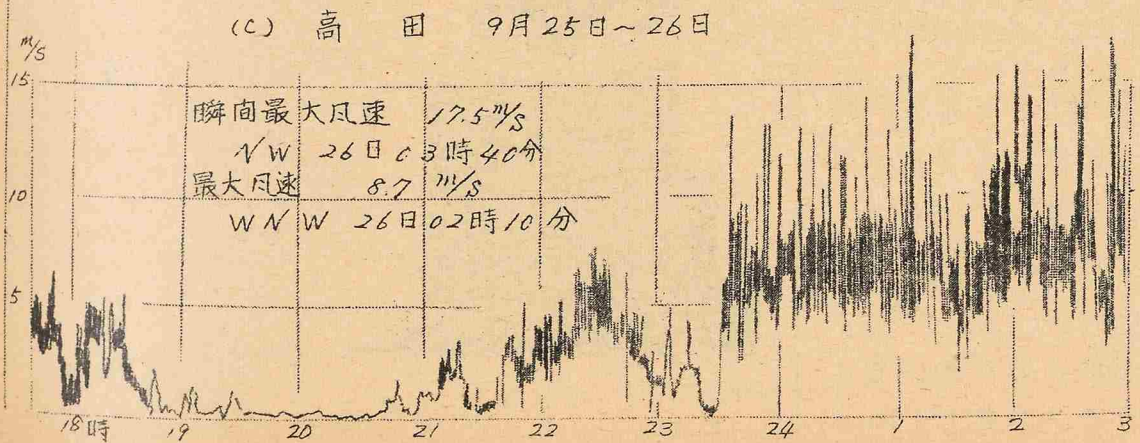
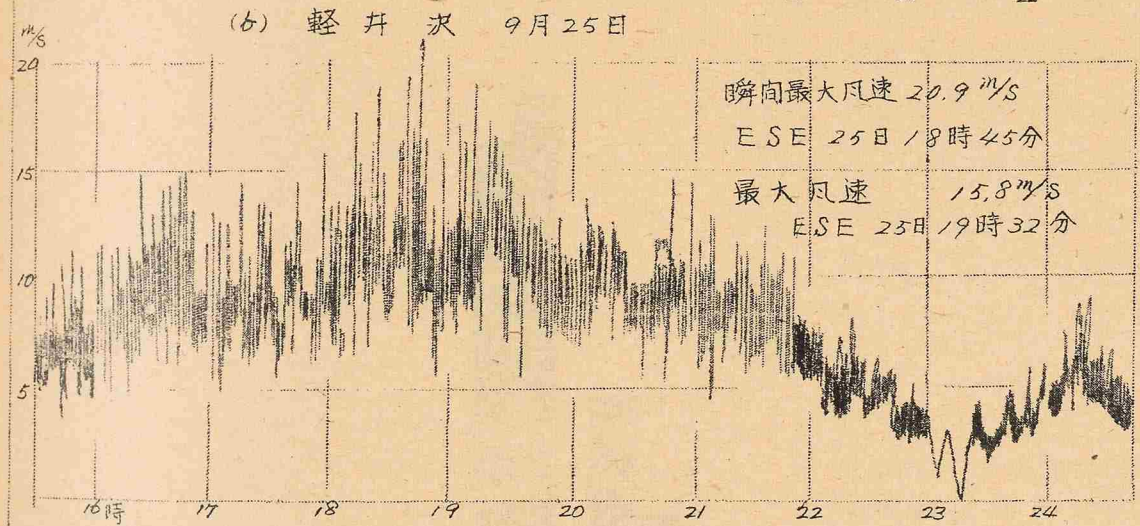
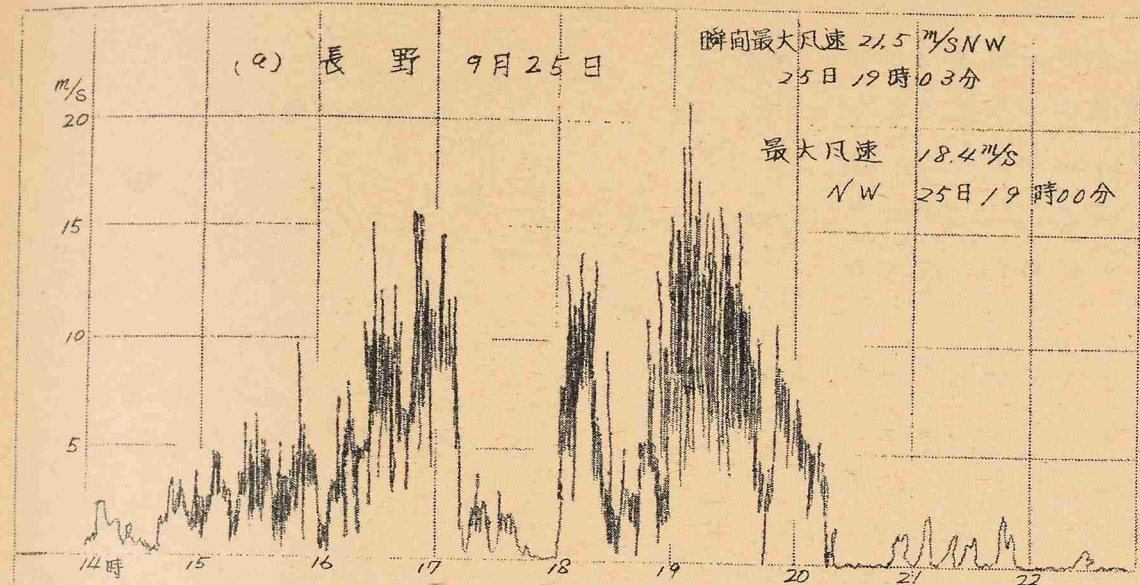
気圧自記紙の比較図

昭和 28 年 9 月 25 日

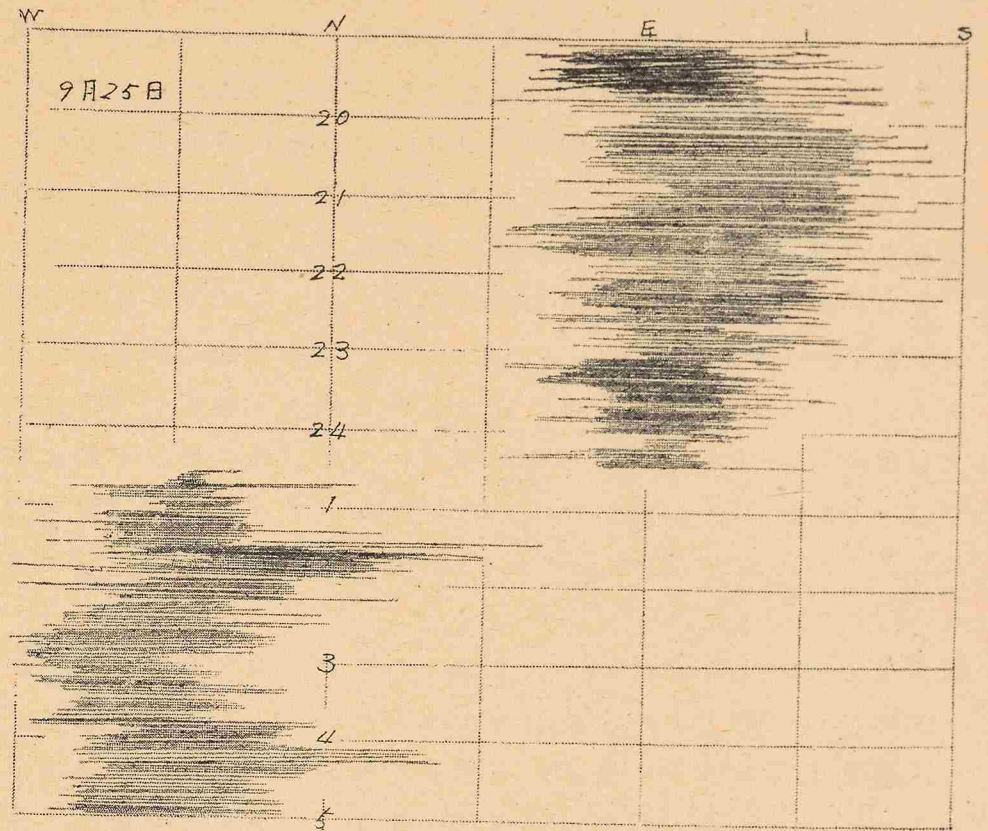




第 2. 20 図 長野・軽井沢・高田のダインス自記風圧計



第 2. 21 図 前橋の風向の变化图 (風信器)



5 2.7 北海道南方海上通過

その後台風は26日6時、宮古と八戸の間より三陸沖に出で北緯40.3度、東経142.2度に達した。陸上を通過中台風はかなり衰弱したが、太平洋に出でたらやや発達して中心示度は978 mbとなった。この頃台風は北東に毎時55 kmくらいで進んだ。9時には襟裳岬の南方60 km付近に達し、中心付近の最大風速はなお30 m/secで、中心より半径600 km以内では20 m/sec以上の暴風であった。襟裳岬では8時50分に最低気圧979.0 mb(不確実)を示し、05時40分に北東の29.2 m/secの最大風速を観測した。12時には釧路の南南東60 km付近に達した。これより速度はやや小さくなり、毎時40 kmくらいで北東に進んだ。

15時に根室付近を通過した。根室では15時00分に最低気圧980.4 mbを観測し、風向は順転(E NE → E → SE → WNW → N)しているので台風は根室のすぐ北側を通過したもようである。この南北海道各谷地では26日早朝より暴風が吹き始めたが、風力はあまり強くなく、最大風速が20 m/secをこえた所はなかった。最大風速が最も強かった所は寿都で、北北西の19.9 m/sec(26日17時10分)であった。その他根室(東北東19.6 m/sec)、浦河(北東19.1 m/sec)、苫小牧(北北西18.8 m/sec)が強い方であった。内陸地方は風弱く、最大風速は札幌では北の10.1 m/sec、帯広では西北西の11.2 m/sec、旭川では北の10.8 m/secであった。至る所では台風の最も接近した時は4-5 m/secの風で、最大風速は12.2 m/secで非常に弱かった。

釧路では台風の中心に並かつたにもかかわらず風弱く、最大風速は14.4 m/secにすぎなかった。根室は26日01時50分頃より風が強くなり、9時30分に最大風速19.6 m/secを観測したが、13時頃から急に風が弱くなり、台風が根室付近を通過したと思われる15時にはわずか3.0 m/secにすぎなかった。根室では眼らしきものは認められなかった。

5 2.8 千島列島通過から消滅まで

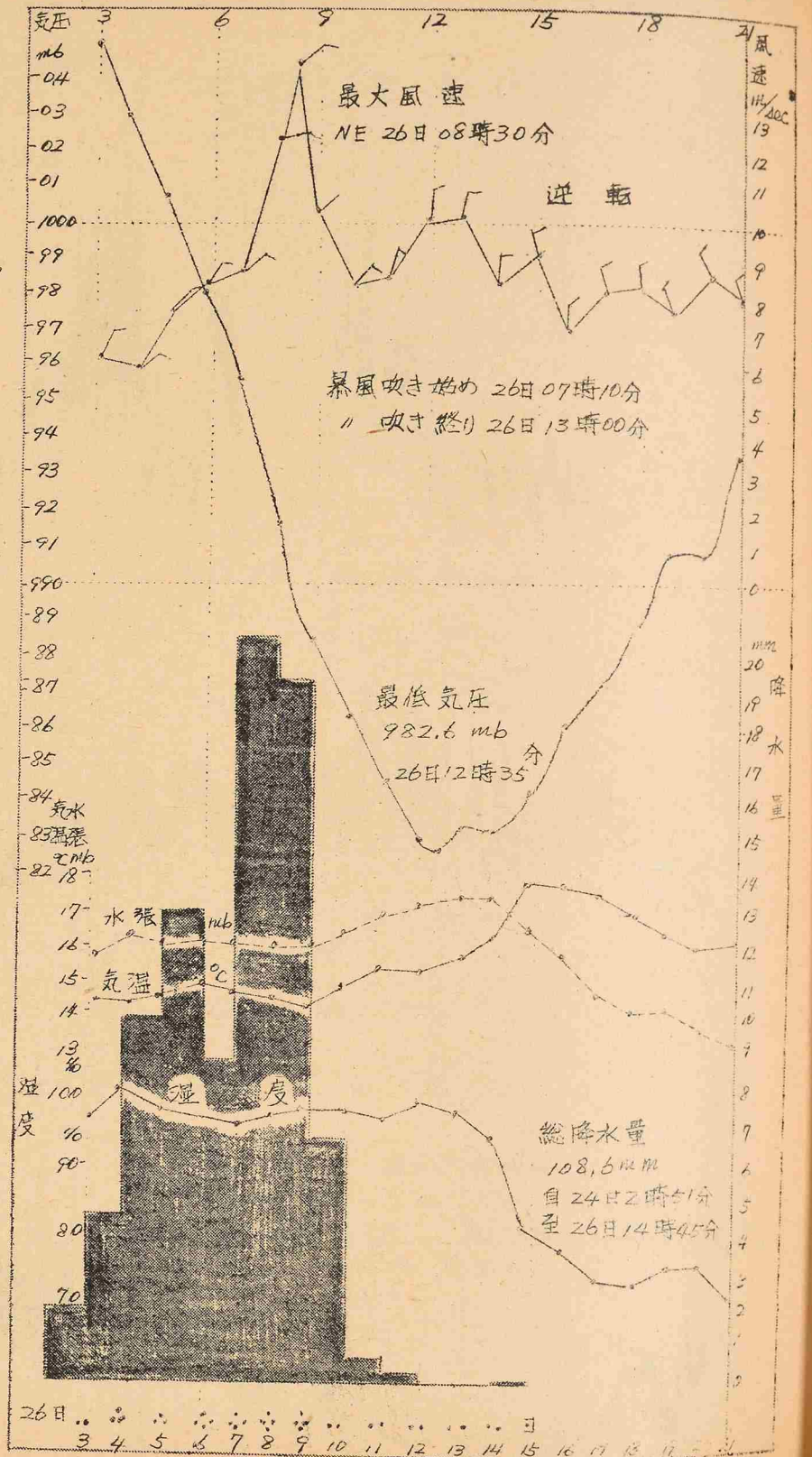
台風は16時には根室の北東40 kmに達し、中心示度は980 mbで、中心より400 km以内は20 m/sec以上の暴風であった。

時刻	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
釧路	NE 8.2	NE 8.5	E 12.2	NE 10.1	NE 8.2	NNE 8.4	N 10.0	N 10.1	N 8.2	NW 8.9	NW 6.9
根室	E 12.4	E 15.5	E 16.9	E 12.2	E 18.2	E 16.6	N 14.0	SE 7.3	SE 5.4	SE 3.0	NW 2.4

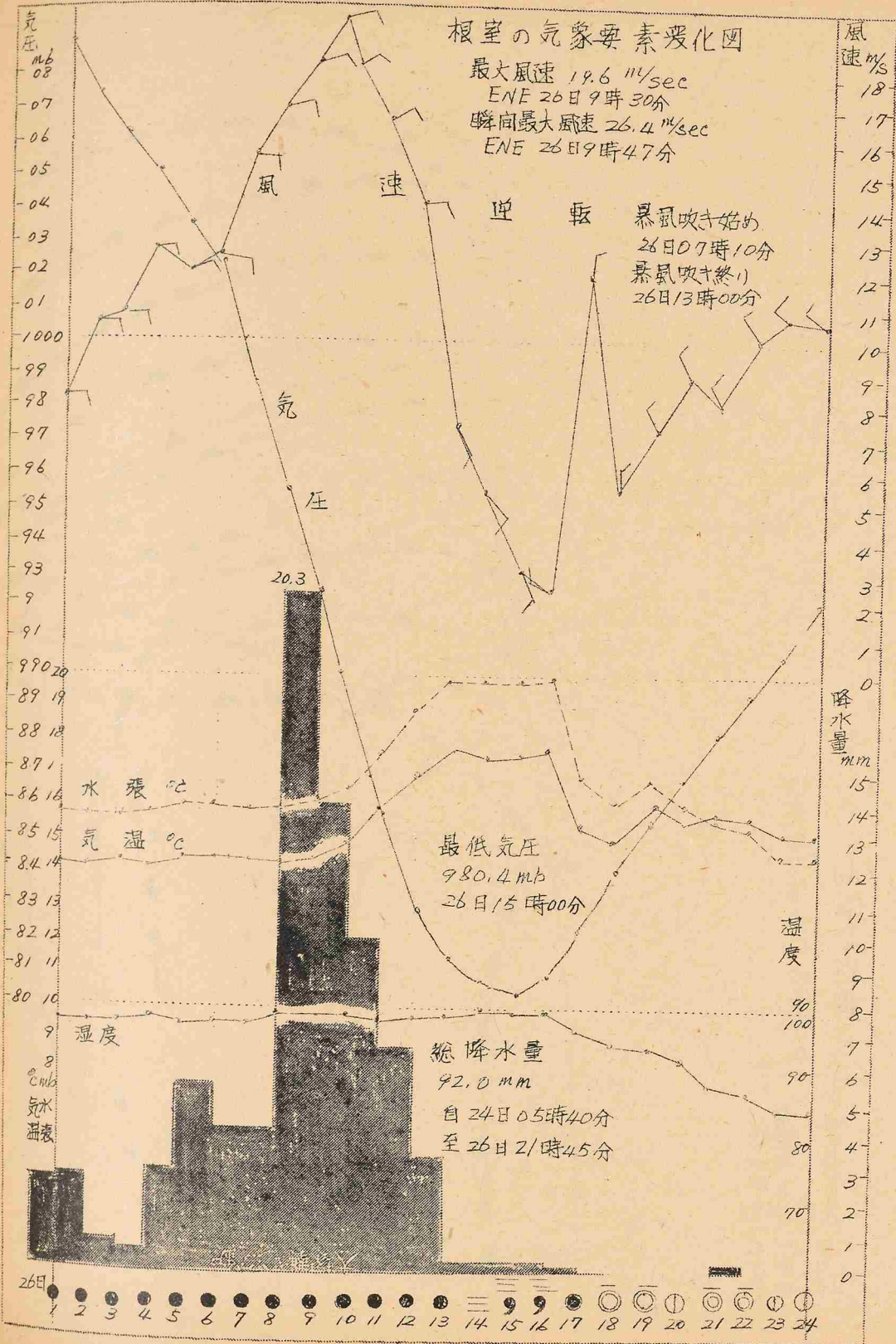
台風が三陸から太平洋上に出る頃から、この中心より顕著な温度前線と寒冷前線がそれぞれ東と南南西にのびていたが、その後次第に寒冷前線が速度をまし、27日3時から閉塞するようになった。(第2.24図参照)。台風は16時以後毎時35 kmくらいの速さで北東に千島列島に近づいて進んだ。27日9時には、新知島付近に達し、なお中心示度は980 mbで、15時には松輪島付近にあって中心示度は982 mbとなり、その後台風は次第に温帯化し、非常に衰弱した。

27日9時以後閉塞点は次第に南下し、台風の中心部より閉塞前線が長く南南東にのびているような状態となった。28日3時には北緯51度、東経151度に達し、これより温帯性の低気圧となつて真直ぐ東に進み、29日15時北緯50.3度、東経160度付近で消滅した。

第2.22図の釧路の気象要素変化図

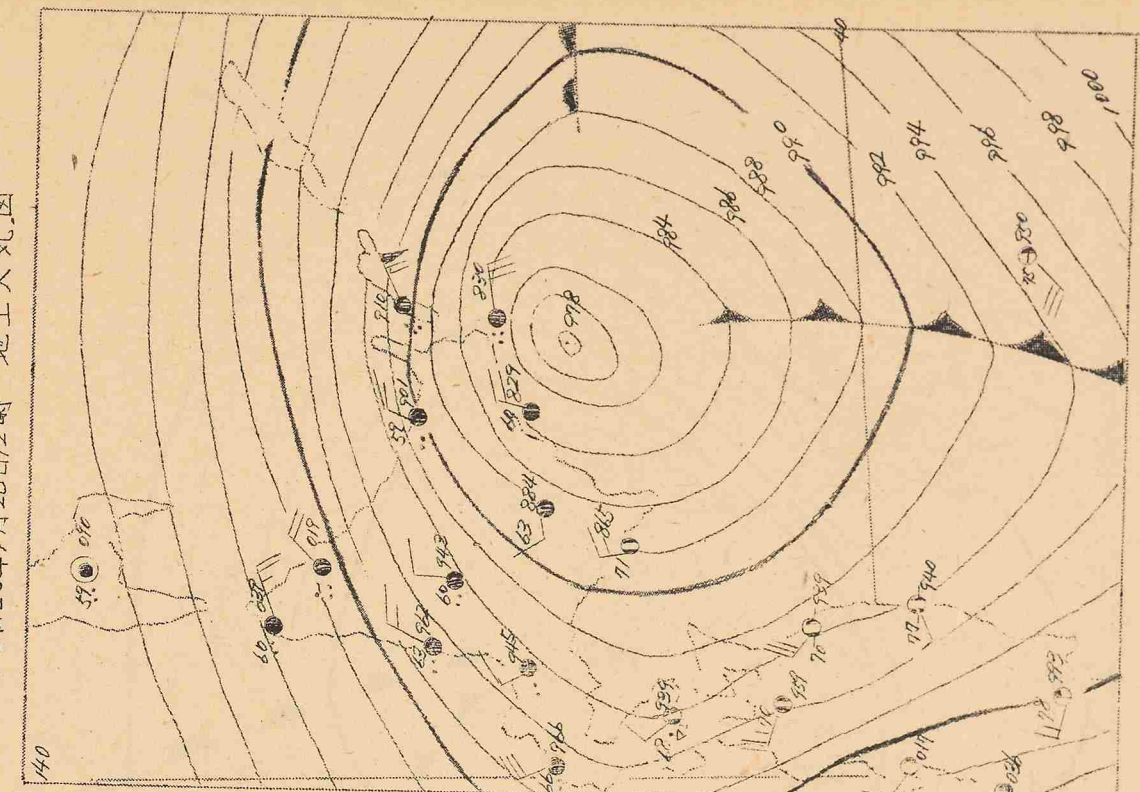
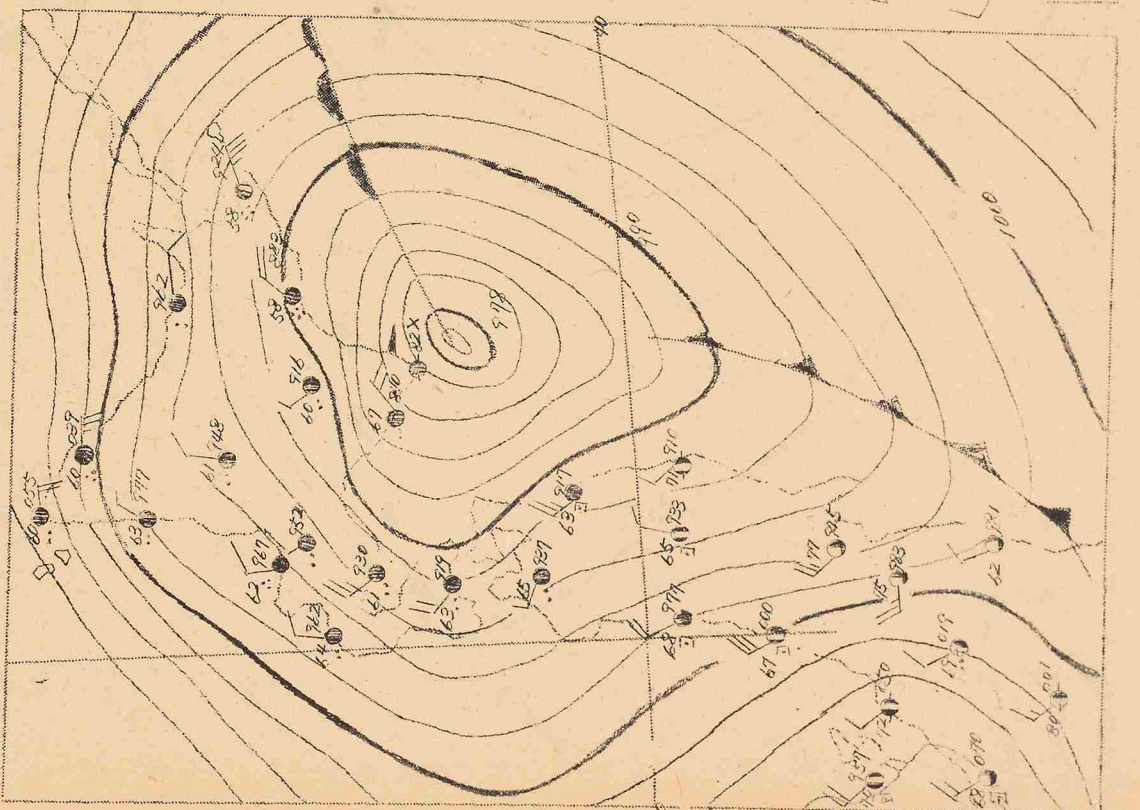


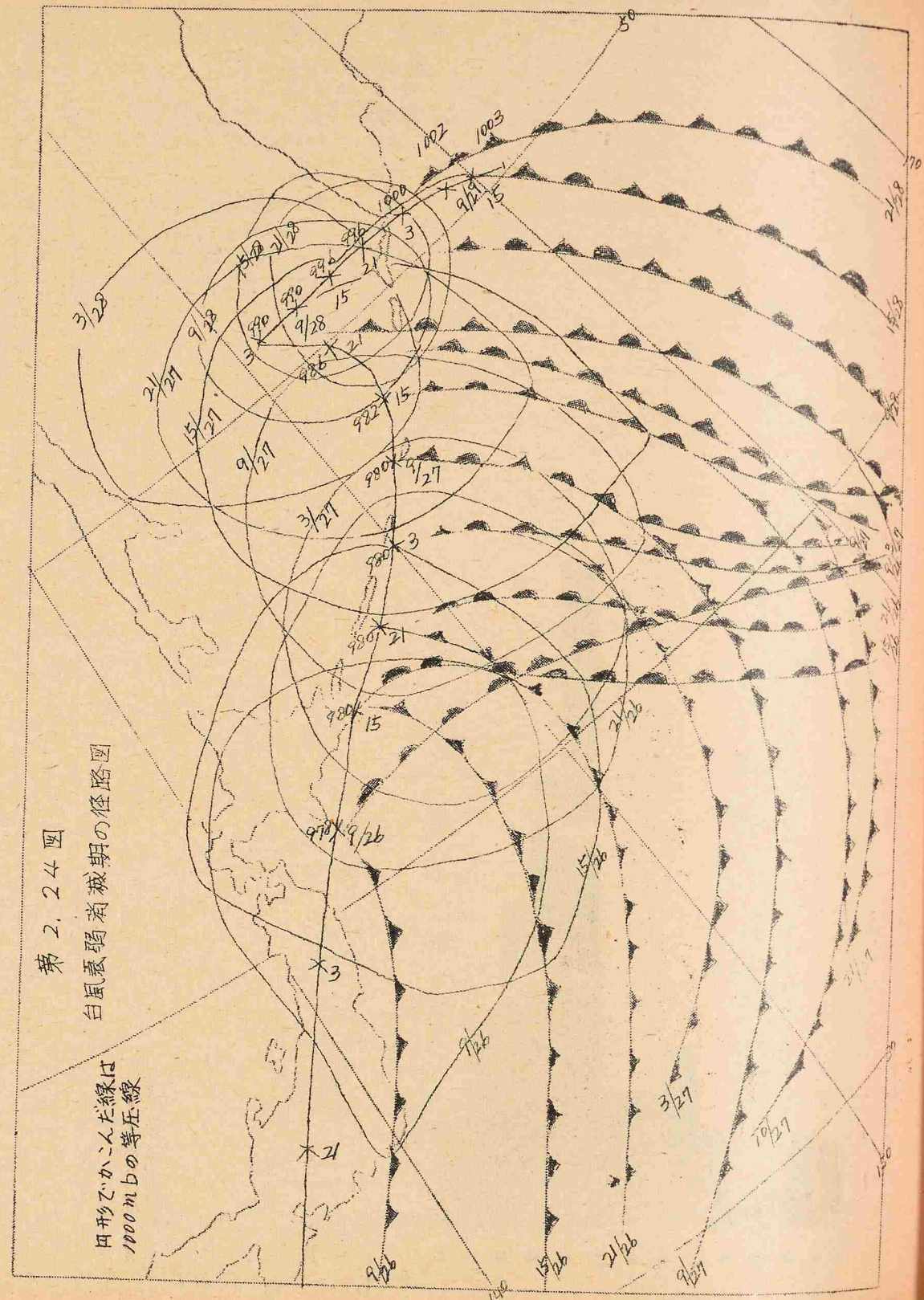
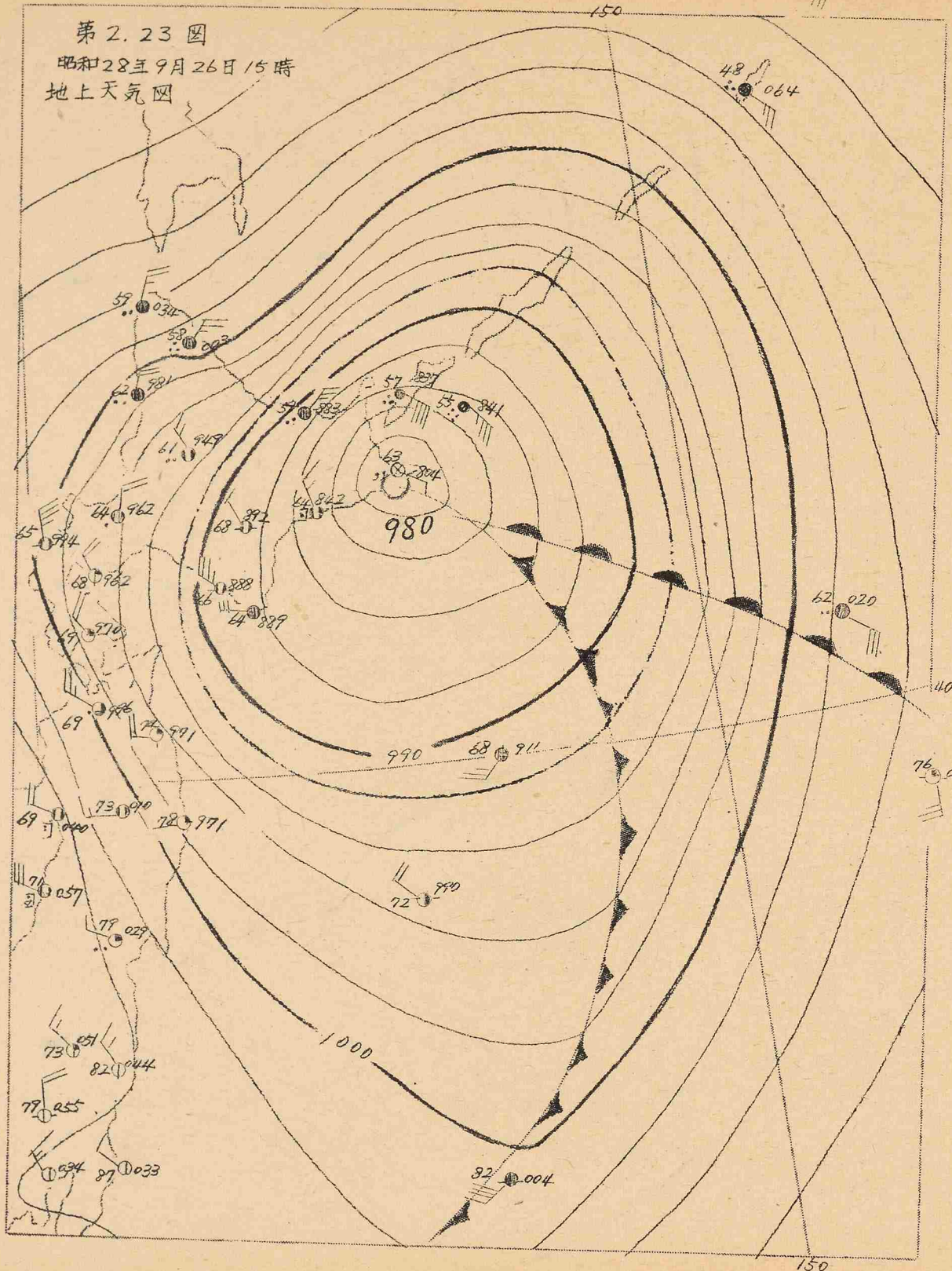
卯 22 凶 b.



第 2.23 図 a 昭和 28 年 9 月 26 日 9 時 地上天気図

第 2.23 図 b 昭和 28 年 9 月 26 日 12 時 地上天気図





第3章 各地の気象状況

§3.1 九州南部

鹿児島気象台報告

21日まで南西諸島方面に南下していた前線は22日には次第に北上し、日本海にある高気圧のため、北高南低型の気圧傾度が高まり、鹿児島では21日夜半過ぎから、宮崎方面および大隅半島の東岸では22日朝から小雨が降り始め、鹿児島では22日5時に強風注意報が出された。屋久島では10時から16時ごろにかけ風速は 15 m/sec をこえる強風が吹いた。その後前線の北上と共に屋久島を中心とする強風は弱まったが、油津を中心として17時ごろから雷を伴う強雨が始まり23日2時には 60 mm に達した。

前線帯は23日から24日にかけて南九州方面にほぼ停滞し、23日19時鹿児島20時種子島、21時宮崎で風雨注意報が発表された。その後、雨は西部では大したことはなかったが、大隅半島中部では $60\sim 70\text{ mm}$ の強い雨が降った。

その後台風の影響に伴い鹿児島では19時、種子島では20時暴風雨警報が出された。台風による暴風は屋久島では23日夜半から始まり、24日昼すぎからは大隅の一部、日南方面に拡がり、夜に入つて更に強まり、南東海岸では夜半過ぎ最も強く、油津では2時から3時頃、最大風速 18.4 m/sec 、瞬間最大風速 30.1 m/sec の北風を記録した。南海岸では台風通過後の25日早朝より朝にかけて北々西ないし北西の風が最も強く、佐多岬では平均 25 m/sec をこえた。しかし鹿児島、阿久根ではそれ程強くなく雨も少なかった。なお、大潮の時期にもあたり、高潮の被害も生じた。阿久根市では23日高潮があり、大隅東岸の内之浦では道路が決壊し、24日には枕崎市付近で普通大潮時より $70\sim 80\text{ cm}$ の高潮があった。

油津測候所報告

台風才13号の影響としては24日15時頃より 10 m/sec 前後の風が吹き始め、風向は北東→北北東→北北西と変り、夜半過ぎより風速は増し、25日2時には 15 m/sec に達し、3時30分最大風速 18.4 m/sec 、2時32分瞬間最大風速 30.1 m/sec を記録し、風向はいずれも北であった。最低気圧は台風の影響が最も近しいと思われる4時04分に 988.6 mb を観測した。これらの時間中は雨は弱く、25日02時45分に雨はやみ、青空がみえ始め、星が見え、高戸雲を圍んで月がのぞめた。5時頃より微雨が再び降り始めたが、10時15分に

はやみ、その後天気は次第に回復した。

阿久根測候所報告

北東ないし北の風がやや強かつた程度で、24日、25日の満潮時も主風は北風のため、西方に面している当地方の海岸は大して被害を受けなかつた。

§3.2 九州北部

長崎県下では24日朝より風が強くなったが、その他の県では25日になってから北寄りの暴風が吹き、福岡では25日11時45分北の 19.4 m/sec 、平戸では25日13時50分北北東の 21.7 m/sec の最大風速を観測した。しかし飯塚や日田のような内陸地方では最大風速が 10 m 以下であった。

佐賀測候所報告

台風の影響による風浪のため伊万里湾沿岸地区で満潮時刻(25日午前)に若干の被害を生じた。雨も殆んどなく、風もよわく暴風時間は4時間位であった。

長崎海洋気象台報告

24日は高曇で比較のおだやかであったが、25日は早朝より次第に北の風が強くなり、片乱雲が飛び、雨がぱらついてきた。台風がそれたので、夕刻より次第に風は収まり、雨もやんで夜半には快晴となった。

平戸測候所報告

24日0時半頃より小雨断続し、風も次第に強くなり、5時頃より暴風となつて、25日13時50分には北北東 18.7 m/sec の最大風速を示し、以後次第に弱まった。暴風観測時間は24日5時00分から25日20時10分まで約40時間に及んだ。一方小雨は25日11時40分にやみ、12時頃から北方に雲の切間を生じたが、まだ視界内には降水があり、視界悪く16時過ぎ雲量は急激に減少し、晴天となつて、18時頃より快晴となった。

§3.3 四国地方

高松地方気象台報告

台風が24日06時南大東島の東方 250 km の海上にあつた頃、 800 km もはなれた足摺岬ではすでに波高 4 m 以上のうねりが押しよせていた。18時頃には四国南岸で次第に風雨が強まり、四国各県ともすでに風雨注意報や大雨注意報が出されていたが、24日19時高知県、徳島県に、25日4時香川県

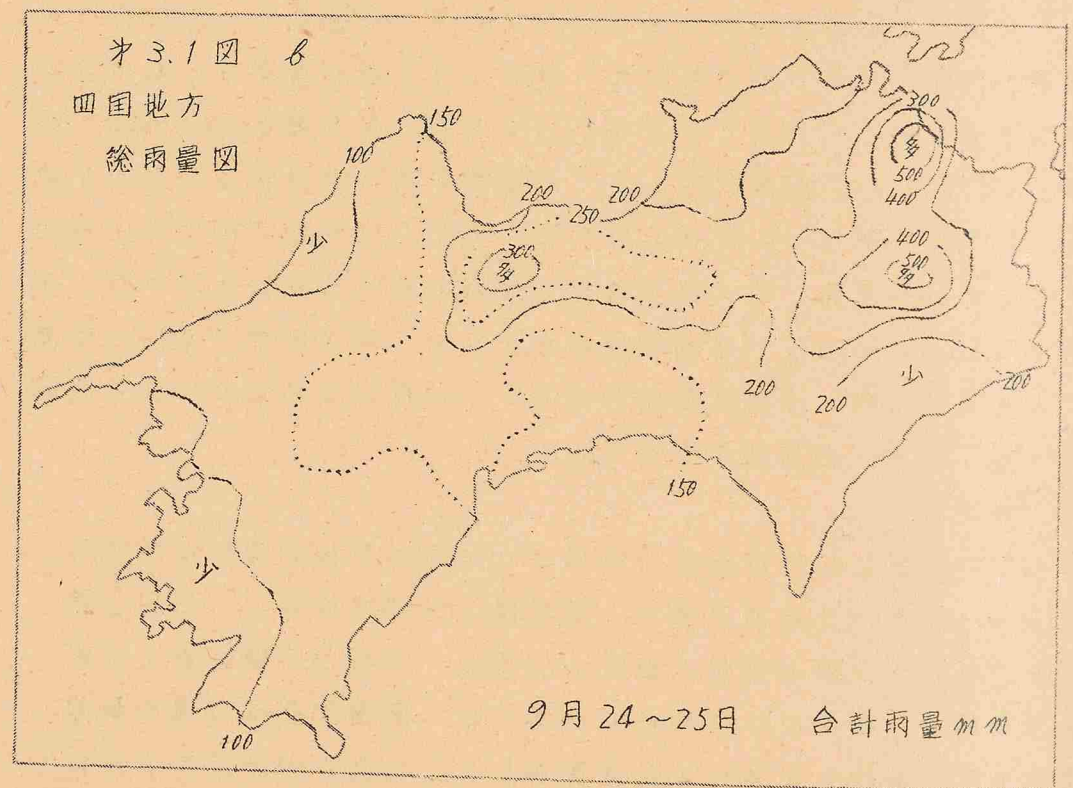
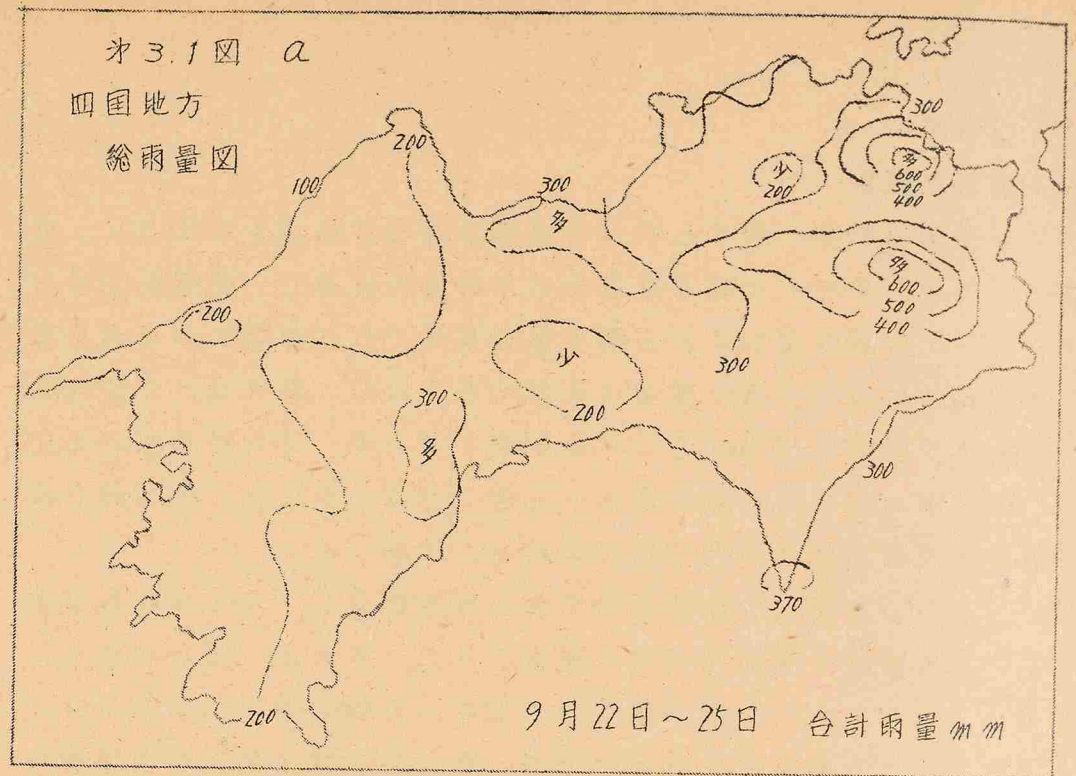
5時には愛媛県にそれぞれ暴風雨警報が出された。24日23時12分に室戸岬で瞬間風速 29 m/sec を観測し、土佐沖では大しけとなつて、雨もこのころから四国各地で急に強まった。25日7時半剣山の風向が東から北に変わり、室戸岬では10時29分瞬間最大風速 39.6 m/sec 、最低気圧 974.8 mb を観測した。10時には台風は室戸岬の南東 150 km の海上に達し、この頃から四国西部では雨は小やみとなり、東部では強い雨が続き、徳島県は暴風雨圏内に入った。その他、宿毛 33.6 m/sec 、高知 32.3 m/sec 、徳島 31.2 m/sec の瞬間最大風速を観測した。

徳島、愛媛、高知県では25日朝8時ごろ香川県では12時ごろそれぞれ満潮時に当り、海岸線一帯に高潮が押し寄せ、河口附近では河川の増水と重なり、大きな被害を起した。

これより先22日頃台風接近に伴い本邦南方海上にあつた前線が北上し、22日夜から23日朝にかけて四国全般に雨が降り、四国南部では雷を伴つた 100 mm 以上の降雨があつた。雨は一たん止んだが、24日9時ごろから四国全般に連続性の小雨が降り、それは午後まで続き、その後南部から並雨となり、22時には全般に並雨となつた。25日1時から前線が強まり、全般に強雨となつた。そして前線は北上し、四国中部から近畿南部に達し、台風の接近に伴つて、25日10時には四国の北東側のみ北上し、四国北東部では25日16時まで強雨が続き、降雨は23日は四国南東側に多く、台風が接近した24日から25日にかけての総雨量は四国山脈の中部で 300 mm 、四国北東部で 500 mm に達し、22日から25日までの総雨量は四国の8割が 200 mm 以上に達した。なお四国北部では 600 mm をこえたところがあつた。

徳島測候所報告

台風オ3号はその勢力が猛烈であつたので、台風がはるか南方海上にあつた23日頃から四国南岸沿いに停滞していた前線の活動が強くなり、強雨が断続し、23日9時にはすでに各地とも雨量は 100 mm 以上に達し、桜谷では 200 mm をこえていた。23日午後、一時雨はやんだが、24日未明から再び雨は強くなり、台風の北上に伴い、24日夜から風も加わり、25日朝から暴風雨となつた。小松島市では、3時00分に 18.7 m/sec 、板東町では7時48分に 18.0 m/sec の最大風速を観測した。その他の所では正午前後に最強風速を観測した所が多く、徳島測候所では12時30分、北西 22.5 m/sec の最大風速と、12時10分 31.2 m/sec の瞬間最大風速を観測した。また最低気圧は14時15分



強く、西部では25日朝が最も強かつた。しかし雨は県下全般に約3日間続いたので、雨量は非常に多く、総雨量は全般に 300 mm をこえ、多い所では

983.4mbであつた。県下の暴風雨は14時頃から峠をこえ下り坂となつて、20時前後に暴風雨はおさまつた。

雨が最も強かつた時刻は所によりかなり差があり、東部、南部では台風の最も接近した頃か

500~600mmに達した。徳島では23日04時45分の降り始めから25日18時52分の降り終わりまでに340.5mmに達し、阿久根台風以来の大雨であった。

台風が接近した24日、25日は大潮時に当り、雨量が著しく多かつたのと相俟つて、沿岸地方における浸水を大ならしめた。測候所付近では25日08時頃から道路上に浸水し始め、強雨の連続に従つて深さを増し、16時頃最深となり、膝位までの深さとなつた。夜に入るも減水せず、夜半頃干潮と共にようやく減水した。(徳島測候所、異常気象報告、台風第13号より)

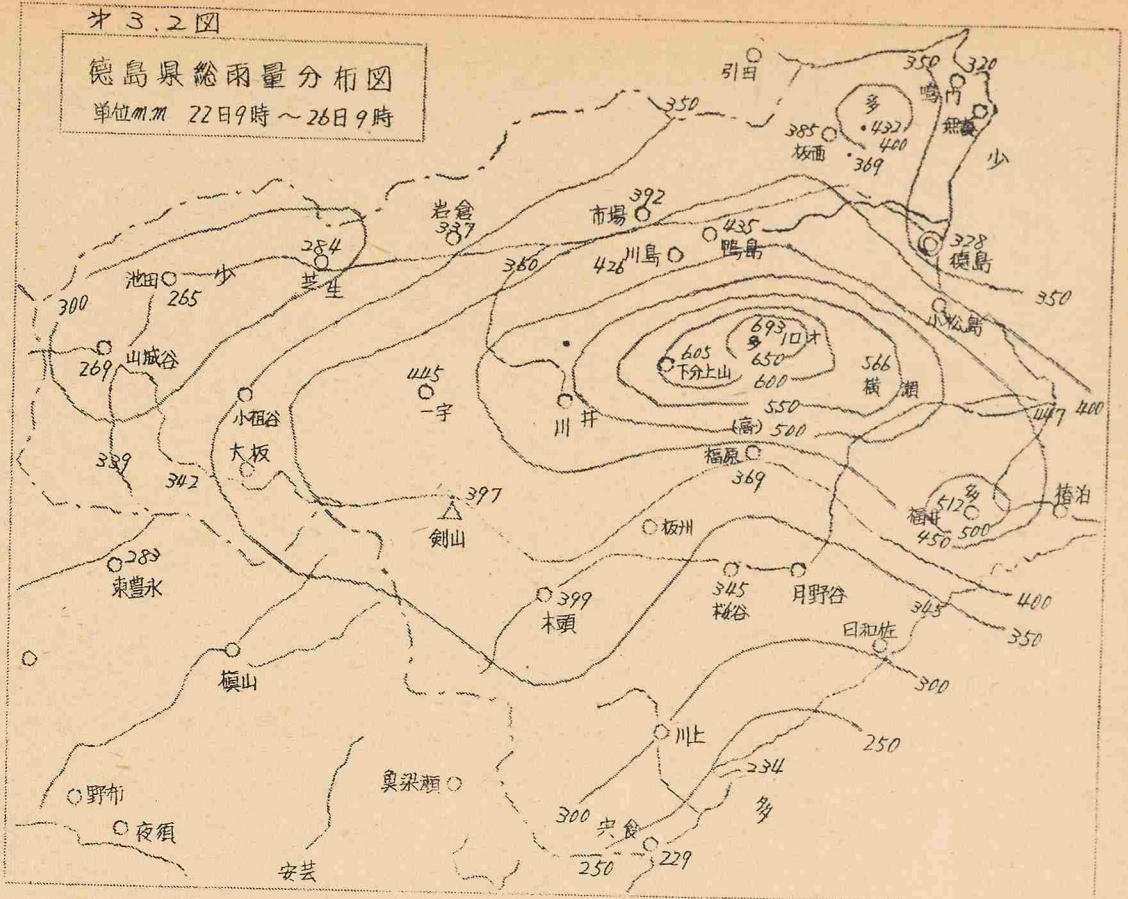
才3.1表 小松島、赤河内、板東の毎時風速表

観測所	日	24							25				
		18	19	20	21	22	23	24	01	02	03	04	05
小松島	風向	N	N	NW	NNW	N	NNE	NNE	NNE	NE	NE	NE	NE
	風速	2.4	2.6	2.4	3.4	5.9	8.9	9.3	11.3	12.9	18.7	15.5	11.8
赤河内	風向												
	風速	6.1	6.7	6.1	6.1	5.4	9.8	8.7	7.3	6.5	4.8	4.6	3.0
板東	風向												
	風速	1.1	2.6	3.6	5.4	5.4	5.7	9.1	9.8	9.1	10.8	10.5	4.8
小松島	日	25	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	
	時	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17
小松島	風向	WNW	WNW	N	N	NNW	NNW	NW	NW	NNW	WNW	WNW	WNW
	風速	8.0	3.6	4.2	13.5	14.0	11.8	13.5	13.2	15.0	14.2	14.2	13.4
赤河内	風向												
	風速	3.8	5.4	7.6	11.5	8.9	13.2	14.9	13.2	13.2	13.5	10.5	8.7
板東	風向				NE								
	風速	0.0	11.2	16.5	11.5	8.5	13.7	12.5	10.8	10.1	11.2	9.8	6.7
小松島	日	25	"	"	"	"	"	最大風速					
	時	18	19	20	21	22	23	24	18.7	NE	25日03時00分	16.5	WNW
赤河内	風向							11.5		24日23時15分	16.8		25日12時18分
	風速	3.8	3.2	3.6	2.8	0.4	0.4	0.9	18.0		25日12時18分	16.6	
板東	風向												
	風速	5.5	11.5	10.8	8.0	4.2	3.0	6.5					

小松島港湾事務所、赤河内村役場、板東町農業協同組合

高知測候所報告

台風の影響につれて土佐沖にあった前線が次第に活発となり、高知県は22日頃から強い秋雨が降り始め、当県は台風の影響を受けるおそれがあったため、23日10時風雨注意報を発表した。台風はその後依然として北上を



続けたので、24日19時全県下に暴風雨警報が発表された。しかし台風はその後やや東に偏り、紀伊半島の東に向つたので台風直接の大きな被害は受けませんが、25日3時頃から15時ごろにかけて暴風雨圏に入り、多くの被害が発生した。この原因は次のように考えられる。

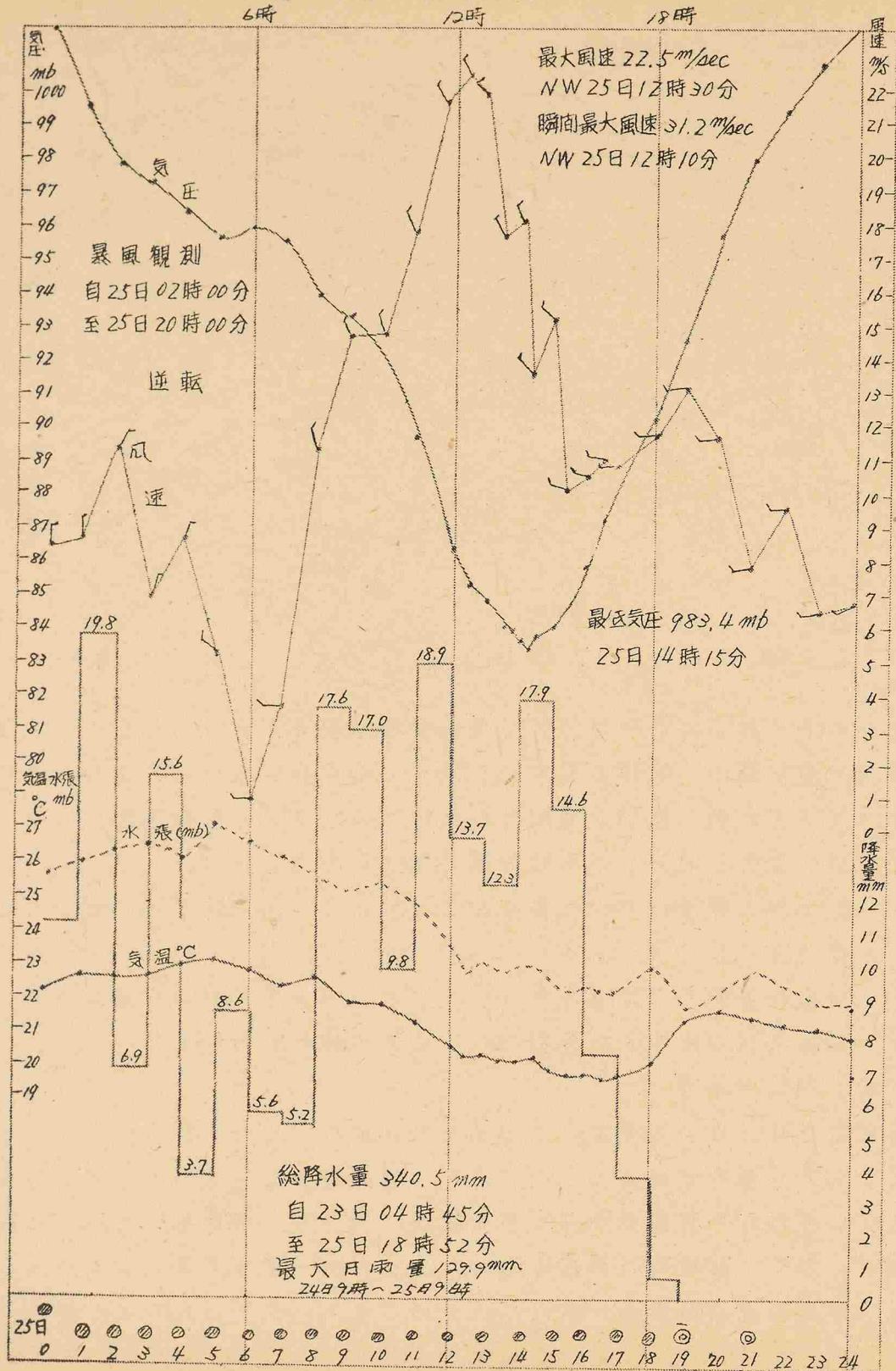
- (i) 土佐沖に停滞していた前線が活発となり、所により300mm以上の大雨となった。
- (ii) 台風が優勢で、うねりが高く、このため沿岸で堤防が破壊された。
- (iii) 高知県は台風の前線に入り北寄の風が非常に強かつた。

松山測候所報告

愛媛県では22日より前線による雨が降り始め、23日には台風は北上し西日本をおそひ懸念が濃厚になつたので、警戒態勢がとられた。25日台風は土佐沖に現われ、愛媛県南部は暴風圏内に入った。その後台風は中部地方に去つたので、直接の大被害は受けなかつたが、東予方面に豪雨が降り、また丁度潮位の高い時期に当つていたので高潮におそわれた所があり、かなりの被害があつた。雨量分布は東予300mm、中予100~200mm、南予150mm前後、高知200~300mmであつた。高潮は東中、南予とも沿岸各所に起きた。

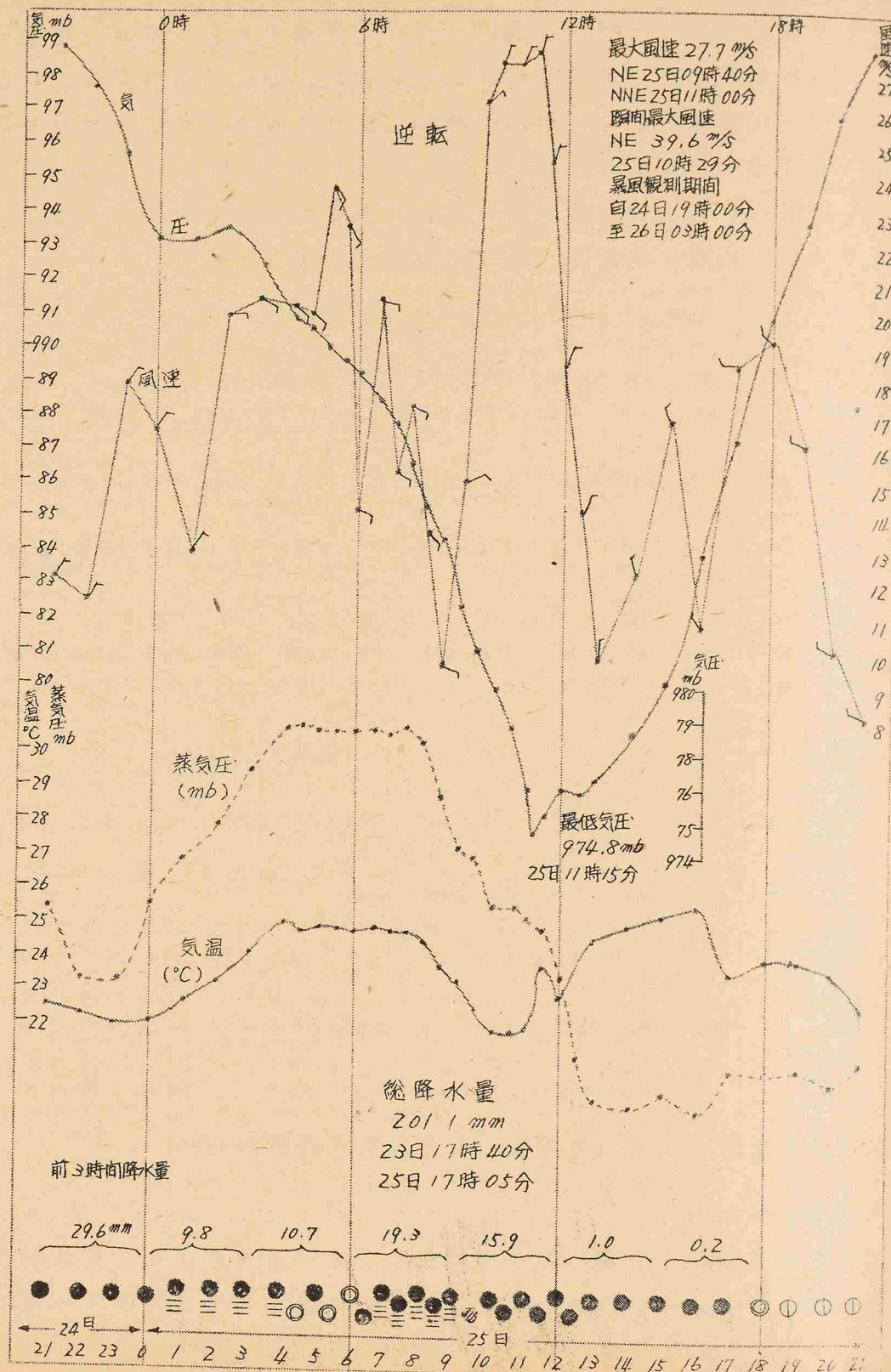
才3.3図

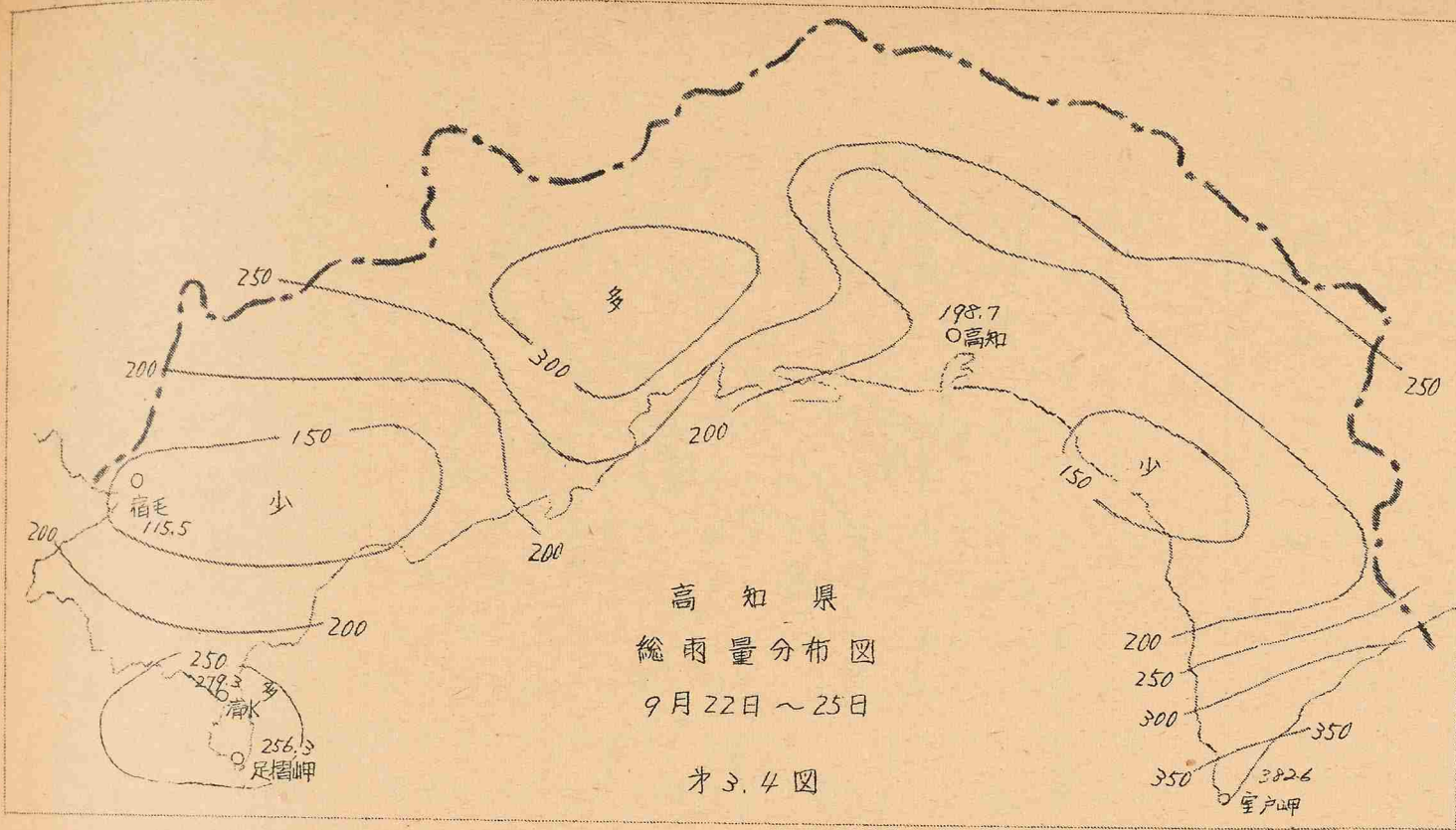
徳島の気象要素変化図



才3.5図

室戸岬気象要素変化図





東予……国領川決潰による被害。新居浜市の高潮。島崎部の高潮による被害
 国糸郡の各小河川の決潰並に高潮による海水浸入の被害。上浮穴郡では山崩れ、崖崩れによる被害。喜多郡では肱川の増水、溢水による交通杜絶、長浜、八幡浜方面の高潮による被害。台風通過後の26日未明、新居浜方面に再び高潮があった。
 南予……雨によるものの他、風も強く、各種の被害があった。

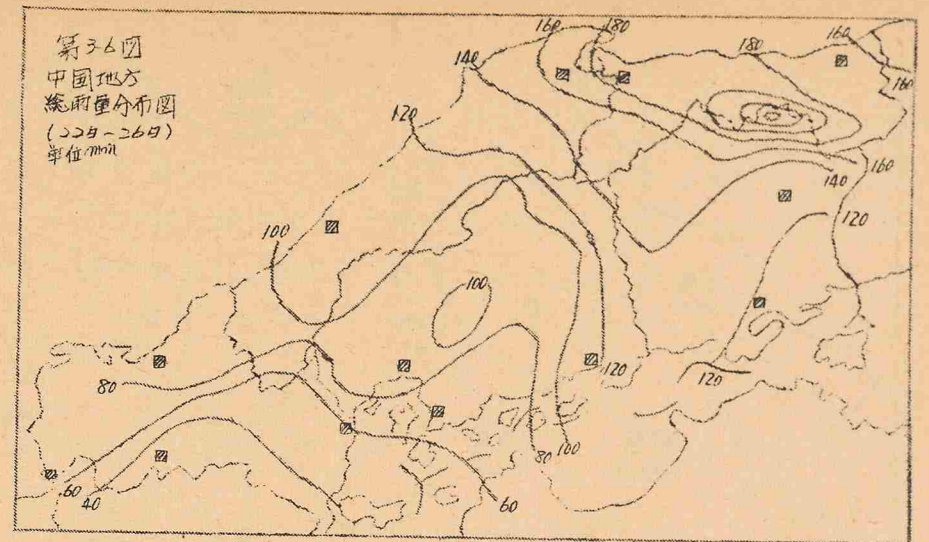
§3.4 中国地方

広島地方気象台報告

中国地方では24日夜半頃から台風の影響により風が幾分強まり、瀬戸内海沿岸では25日の正午前後の満潮時に各地に高潮が起った。この結果洪水、高潮等による被害が各地に発生し、その被害は東部ほど大きかった。22日より26日に至る総降水量は中国西部で100mm以下、東部では100~200mmで、鳥取県では200mmをこえた所もあった。台風が紀伊半島付近を通過した前後に風は最も強く、津山では最大風速北西27.1m/sec(瞬間最大北西41.9m/sec)を、広島では北の18.4m/sec(北の26.2m/sec)の強風をそれぞれ観測し、津山地方では広島風により相当の風害を受けた。

岡山測候所報告

台風13号の接近にともない25日朝より風雨強まり、岡山では8時から14時20分まで暴風を



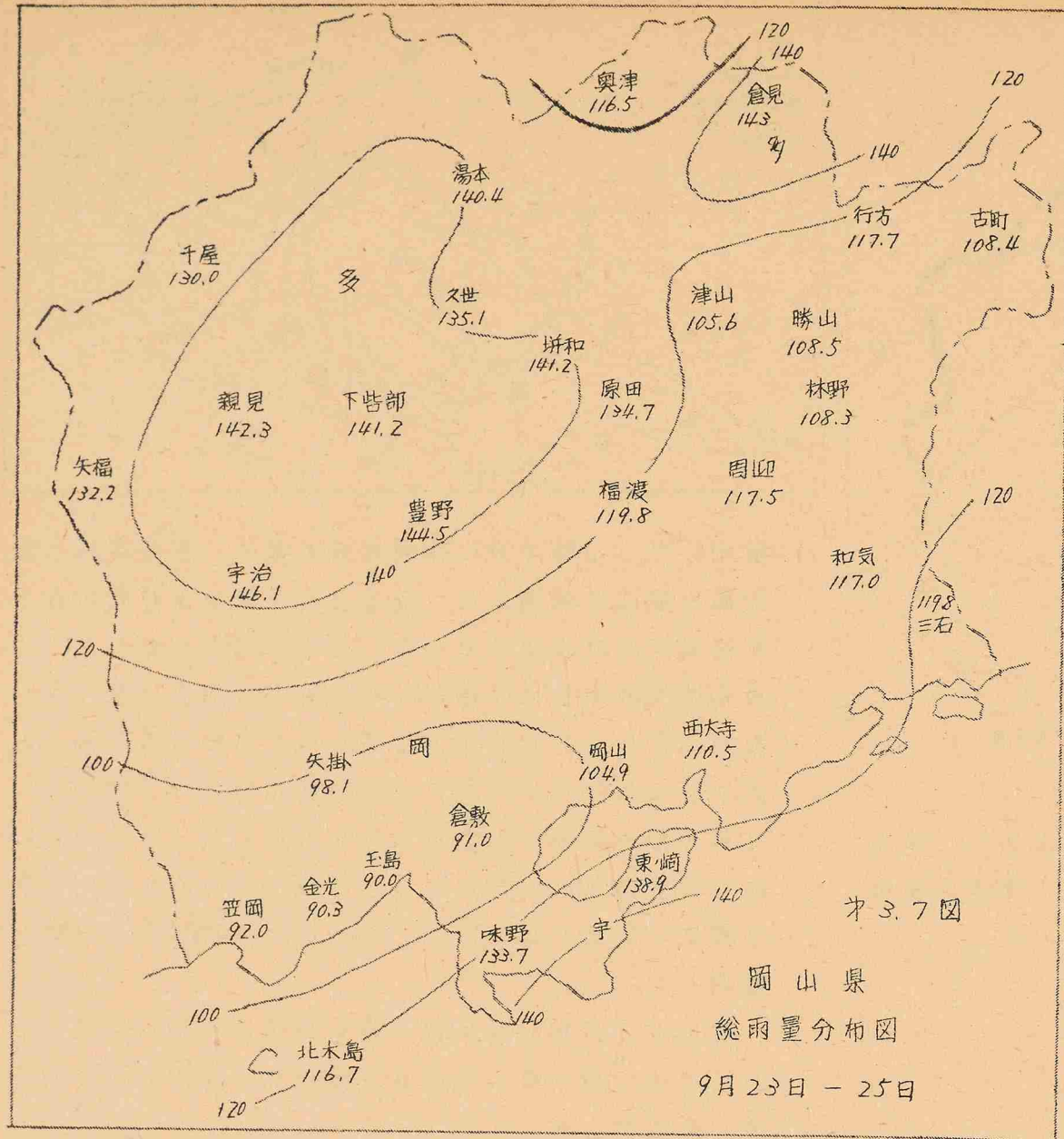
観測した。13時30分には風は最も強く、東北東14.5m/secの最大風速を観測した。雨は25日3時頃より強くなり、8時過ぎには小降りとなり、16時には全くやんだ。この岡山県内の雨量は大体100~150mmで、雨量は余り多い方ではなかったが、県下全般にかなりの被害があった。広島風は台風接近につれて長時間にわたって吹きつり農作物や家屋に相当の被害をあてえた。北吉野村付近では午前4時頃から午後7時まで20時間にわたり吹き続き、滝本では北の28.2m/sec(14時50分)の最大風速を観測した。

津山地方も相当風が強く最大風速27.1m/sec(北北西、25日14時11分)瞬間最大風速41.9m/sec(北北西、25日14時07分)を観測した。

児島市笠岡市、浅口郡の一部では高潮による浸水が起ったが、大した被害ではなかった。各河川はいずれも警戒水位以下であった。

松江測候所報告

島根県では25日早朝より山陰地方全般に北東の風が次第に強くなり、陸上では14~15m/secとなり、時勢も幾分強くなってきた。台風は当地方をそれて通ったので被害は少ない方であったが、東部では150mm以上、西



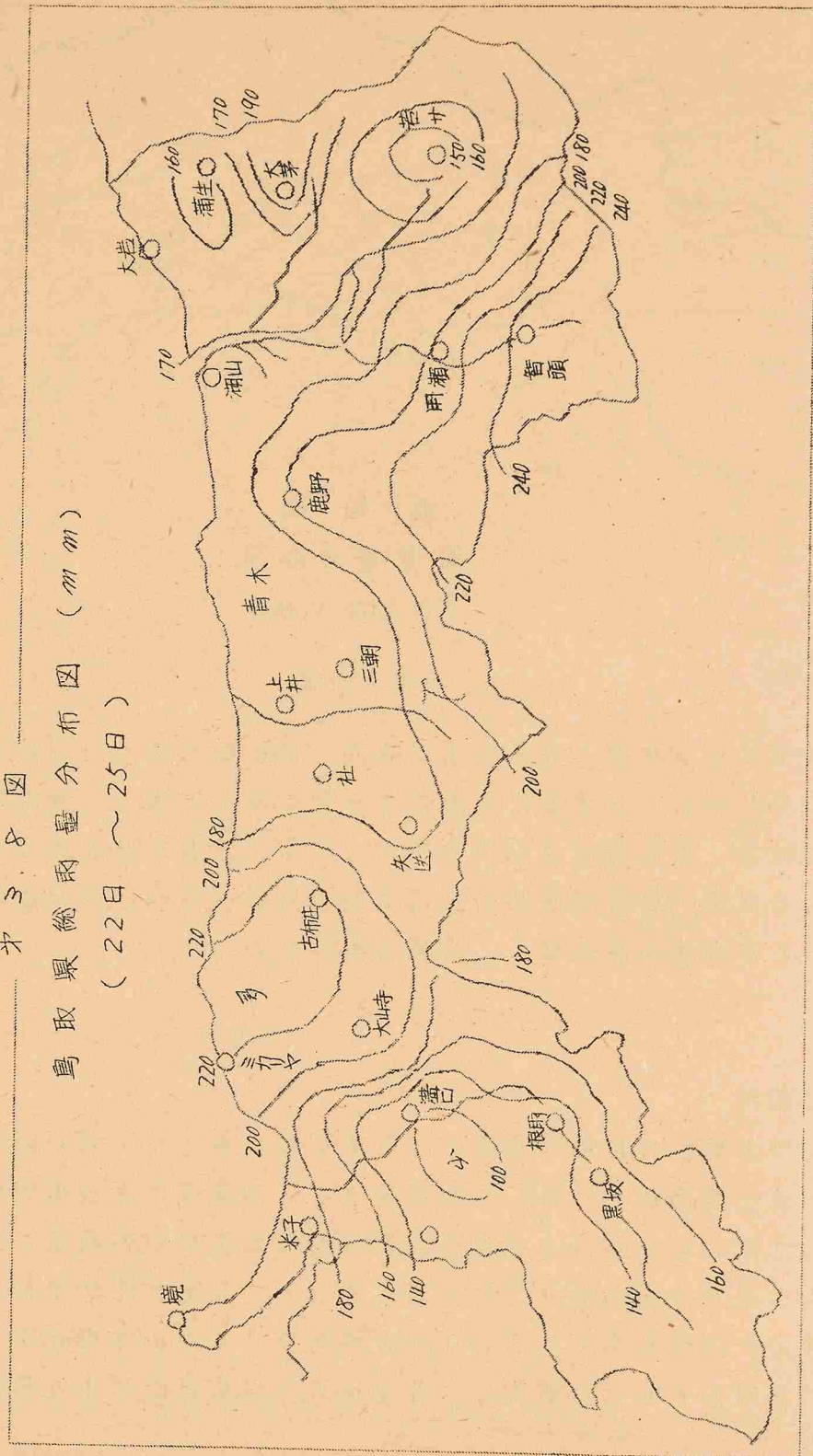
部でも 100mm 前後の降雨があり、各地で田畑の冠水、堤防の決潰等の被害があつた。

鳥取測候所報告

23日頃九州南端から太平洋を東北東にのびていた前線の活動により、鳥取県西部では22日夜半過ぎ、東部では23日未明から雨となり、25日には台風直接の風雨となつた。26日未明には全く平常になつた。本県の最大風速は 12~14 m/sec 内外、瞬間最大風速は 20~24 m/sec 内外に達し、総雨量は南東部の山間地帯に最も多く、240mm 位、つぎに大山の南側斜面の地域が多く

220mm に達し、西部の一部に 100mm 程度の小区域がある。その他は大部分 150mm と 200mm の間であつた。

鳥取県総雨量分布図 (mm) (22日~25日)



§ 3.5 近畿地方
 大阪管区気象
 台報告

大阪の 10 m/sec 以上の暴風の継続時間は勝山では 25日 13時から 19時までで約 7 時間、港では 25日 1時から 23時までのまる 1 日の長きにわたつていた。最大風速は勝山では北々西 22.0 m/sec (瞬間 28.8)。港では北西 32.5 m/sec (瞬間 32.5) でいずれも 17時 20分頃で台風が志摩半島に上陸するころで台風と大阪との距離が一番近くなつた時であつた。

台風が大阪の東方をそれて通り、風向は北よりであつたため高汐はた

いしたことはなく、25日晚の満汐時に近い 19時ごろ、ふつうの潮位より

cm高くなった程度であつた。

大阪の雨は24日4時ごろから降り始め25日21時すぎに止んでおり、総雨量は176mmに達した。この雨量は大阪としては相当の大雨であつた。とくに雨の強かつたのは14時から16時までの間で最大1時間雨量は14時10分から15時10分までの間で32.1mmであつた。24日9時から25日晩までの大阪府下の雨量は、大阪府河川課関係の観測によれば100ないし260mmに達し、南部に少く中部北部に多かつた。

つぎに近畿、中国、四国各地方の最大風速を見ると、10分間平均最大は洲本の37.0m/secで瞬間最大は洲本の42.3m/secであつた。なお平均最大が25m/sec以上の暴風域は紀伊水道から大阪湾の沿岸地方であつた。

近畿地方の22日から25日に至る総雨量中、最多雨域は紀南東部山地から北にのびるものと京都府北部にあらわれている。いずれも最多雨量は400mm以上となっているものと推定される。この大雨は台風の接近以前から本州南岸にあつた停滞前線による雨と台風通過による雨の重なつたものである。この兩者の雨のうち台風通過時の雨の方が強く、このため近畿各地に水害が起つた。とくに淀川水系に降つた雨は相当なもので木津川流域で平均230mm以上、宇治川および桂川流域でも平均200mmとなつた。このため淀川本川の枚方では最高水位が25日23時15分には6.97mに達し計画高水位を突破し破堤の危機にさらされた。この大雨に対して大阪管区气象台と近畿地方建設局は慎重な協議の上台風接近前に淀川大雨警報を出し、大雨が降りはじめからは水位情報、洪水警報を出した。

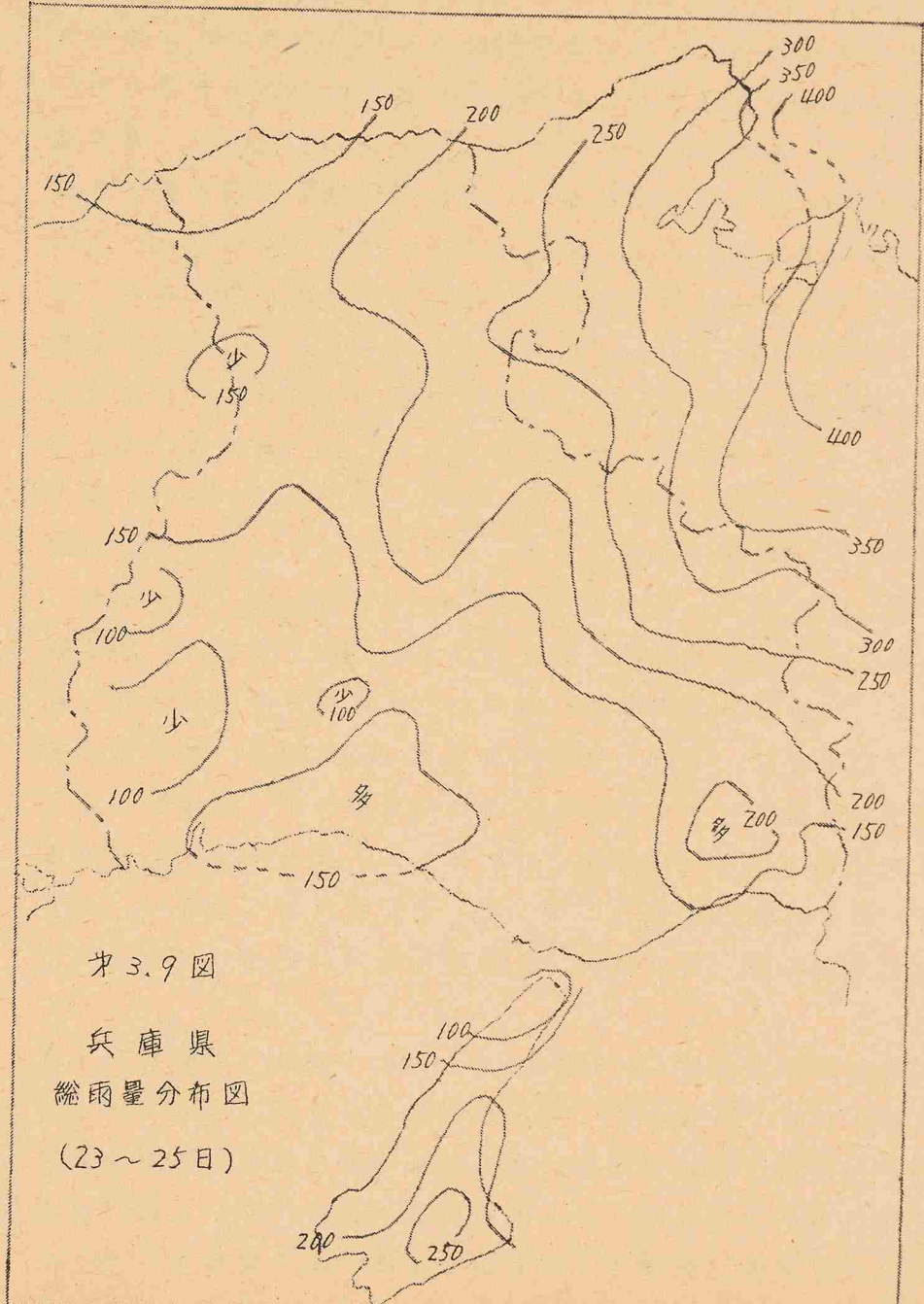
なおこの台風の特長としては、

- (1) 台風の北西側の暴風区域が広がつたこと、このため大阪では雨を伴つた北風の強風が7時間も吹き続け建築物の北側が被害を蒙つたこと。
- (2) 台風の北乃至西側で広範囲の豪雨域があつたこと、このため水害が各地で起り、とくに淀川の増水位は記録破りであつたこと。

神戸海洋气象台報告

兵庫県は台風を中心より離れていたが、そのわりあいに風は強く、20m/sec内外の風が神戸、洲本、明石、印南郡、加西部の主として明石海峡以東の海岸地帯と淡路で観測された暴風(10m/sec以上)の吹走継続時間は長く、明石以東の海岸地帯と淡路地方では10時間ないし25時間に達し、この間の

卓越風向は北寄りであつた。兵庫県における地上最大風速は洲本の北の37.0m/secで、その他はいずれも北寄りの15m/sec前後であつた。県中部と但馬地方では15時以後、西播地区では12時ないし14時に、暴風となつたが、継続時間は短く、1ないし数時間程度で佐用方面では風は19時30分から吹き始めたが風速は弱く最大風速は5.9m/secに過ぎなかつた。



才3.9図
兵庫県
総雨量分布図
(23~25日)

台風による降雨中、多雨域は猪名川の上流と氷上郡東部、養父郡北東部に在り300mm以上におよび、氷上郡鴨庄では354mmに達し、県内の最多雨を観測した。この他六甲山系や淡路島南部では200~250mmであつた。

台風のため兵庫県下では地域により豪雨があり、風も大阪湾に面した地方では強かつたので、河川の氾濫、堤防の決潰を

もたらし、田畑の冠水、床下浸水等の被害があつた。(兵庫県気象月報才192号)

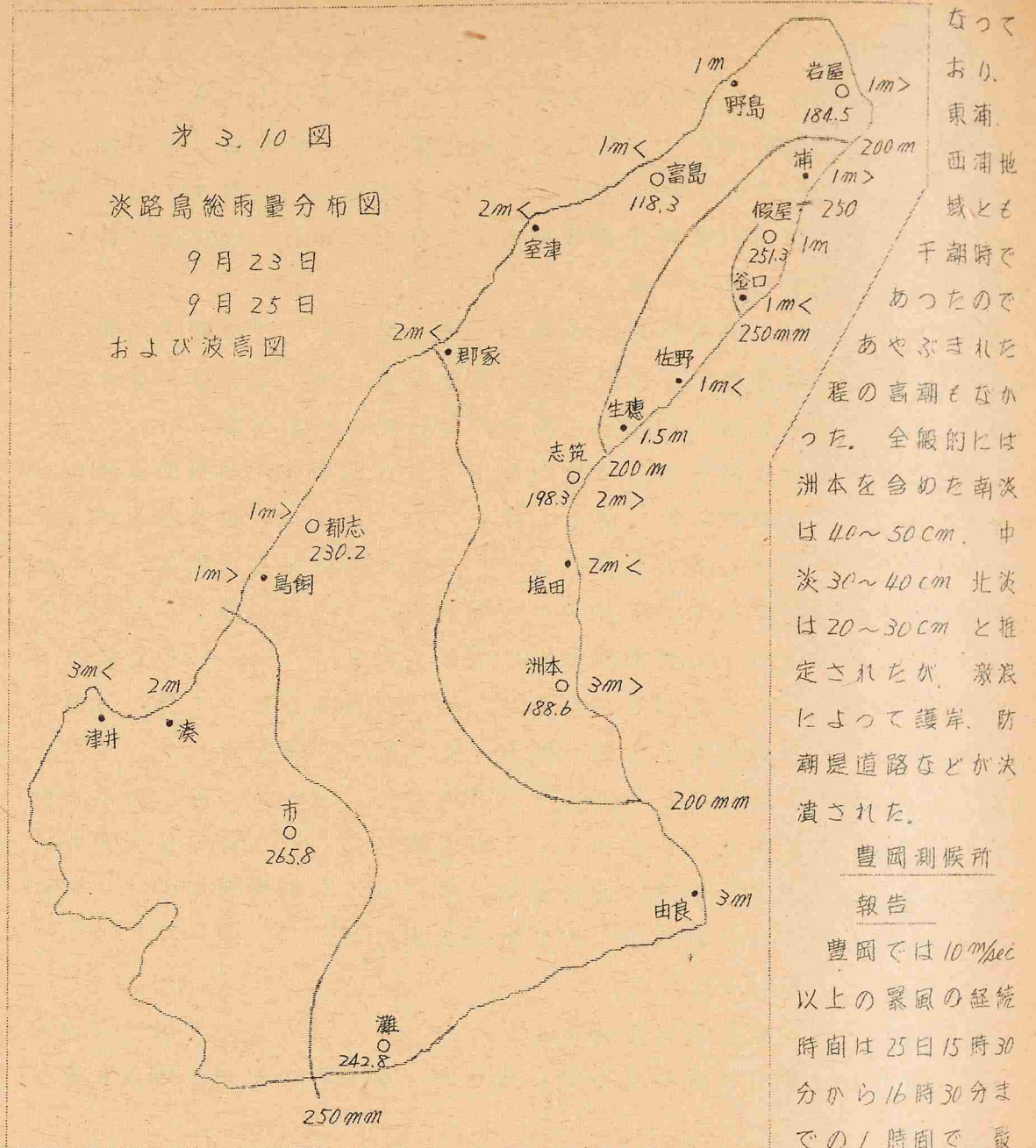
洲本測候所報告

淡路島気象状況 — 淡路島の全般的風向は NE-NNE-N-NNW-W と逆転した。大局的に見て淡路の風向は北で、風速は北ないし北西風の時に最大を観測した。

雨量は南西部に多く、250mm程度、中部は200mm、北部は150mm程度であつた。

観測状況 — 24日前線の北上により4時45分から降り始めた雨は驟雨性であつた。まだこの頃は風は弱かつたが15時頃から台風の影響を受け始め、北東の風7.6 m/secとなり、その後次第に増加の傾向を現わし始めた。20時過ぎから北東の風は10 m/secをこえ、雨もはげしくなり、波浪は益々高くなつた。22時から毎時観測を実施し始め、風雨はますます烈しくなつた。25日7時頃から北の風となり、風速は一時落ちたが、9時頃再び強くなり、10時過ぎには波浪3mをこえ、大浜海岸の怒涛は全くすぎましかつた。10時25分には降水量の積算量100mm以上となつた。10時50分より風速の10分間観測を実施した。この頃から庁舎北側の瓦は飛散し、樹の枝や葉が音を立てながらとび、風力塔の階段は北に南にキシキシと音を立ててゆれ、窓ガラスは瓦の破片でこわれ、露場内の桜の枝も折れ、さくもこわれた。11時から気圧降下は著しくなり、一時間降下量4.4mbを観測した。13時10分37.0 m/secの最大風速を、13時19分瞬間最大風速42.3 m/secを観測し、創立以来最大を記録した。13時15分有線断線、13時58分電話線も不通となり、部外との連絡は一切断絶した。14時51分最低気圧977mbを測り、風速は30 m/sec前後で、雨はますます降りしきつていた。15時10分頃から風速は次第に減少し始め、風向はわずかに北から西よりとなつた。16時10分頃からは風向は北西となり、風速は20 m/sec以下となつて、気圧は次第に上昇し、雨勢も大部弱くなつた。20時過ぎ、雨はやみ、昼間の暴風雨は全くうそのようになつた。

高潮状況 — 暴風時の風向は NE → NNE → N → NNW → WNW と逆転し、風向は海岸線に大体平行していたので、大した吹寄せの現象はなかつた。東浦地域では洲本から由良、西浦地域では湊から雁子岬に至る海岸線の潮位が他にくらべて幾分か高かつたのは、多少吹き寄せがあつたものと思われる。洲本の25日の満潮時は10時25分頃で、最高潮位は3/2cm、推定より44cmの過高を示した。台風近接の15時30分頃は北北西の風で、風速もやや弱く



なつて
あり、
東浦、
西浦地
域とも
干潮時で
あつたので
あやぶまれた
程の高潮もなか
つた。全般的には
洲本を含めた南淡
は40~50cm、中
淡30~40cm、北淡
は20~30cmと推
定されたが、激浪
によって護岸、防
潮堤道路などが決
潰された。

豊岡測候所 報告

豊岡では10 m/sec以上の暴風の経続時間は25日15時30分から16時30分までの1時間で、最大風速は北の風11.5 m/sec(25日16時00分)、瞬間最大風速は北の風16.5 m/sec(25日15時56分)であつた。台風が当地方の南方を通る場合は風は余り強くならないが大雨の降るのが通例であり、今回も豊岡の総雨量は207.6mm、1日最大雨量は111.7mm(25日)1時間最大雨量は16.4mm(25日17時から18時まで)で相当の大雨であつた。23日早朝から停滞前線の北上に依つて、近畿各地は雨が降り出し処に依つては可成りの降雨量を見たが、但馬地方は15mm~30mmで大した量ではなかつた。23日夜は停滞前線が稍々南下した

この一時雨が止んだが、24日は台風の北上に伴つて、停滞前線も北上し再び雨となった。台風の接近するに従い、停滞前線の強化に依り当地方も大雨のおそれがあるので24日16時に当地方に対して大雨注意報を發表して注意を促した。雨は夜半から強まり午前9時までに95.9mmを観測した。25日早朝台風は四国の室戸岬南沖140kmの地点に達しなおも北々東に進み、このまゝ北上を続けるとすれば25日夕刻頃当地方の東方に接近するおそれがあるので、午前7時暴風雨警報を發表して警戒を促した。午後3時頃から可成り雨は強く、1時間15mm内外の降雨量を観測した。一方各河川の増水及び流域の家屋浸水の報告が続々と連絡され円山川(立野橋)の水位は11時過ぎ早くも警戒水位5mを突破し、市内では避難命令が出された。午後10時には昭和17年(6.90)以来の6.57mと云う最近にない大增水となったがこれを境として減水し始め幸い洪水はまぬがれた。

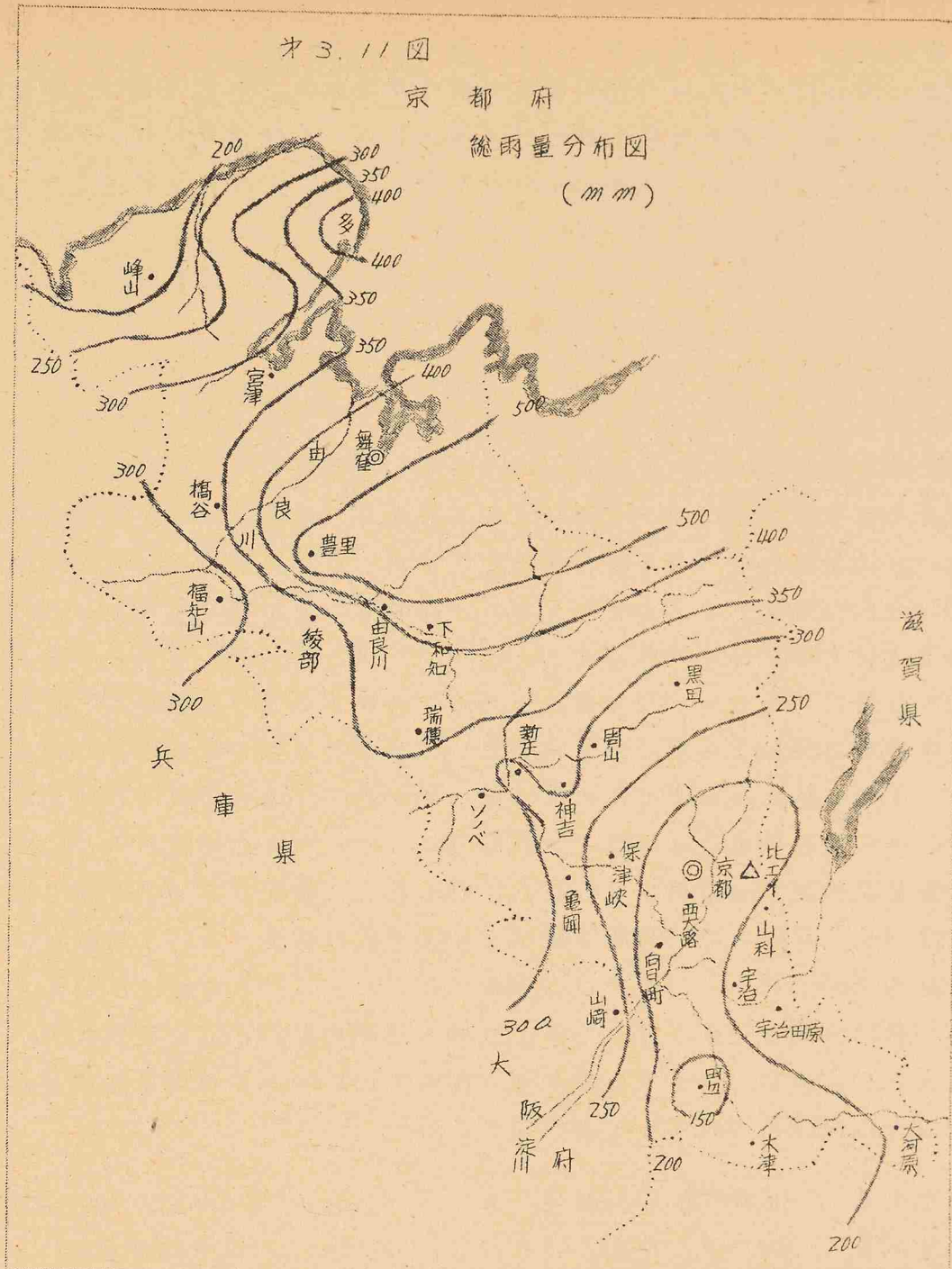
雨は午後7時以降小降りとなり台風も東海道に去ったので暴風警報を大雨注意報に切り換えた。

今回の但馬地方の降雨量は北部沿岸及び西部地方は150mm又はこれ以下中部、南部は200mm前後で局地的に300mmを越える処があつた。今年7月上旬の豪雨とは反対に円山川上流域に於て大雨を見たため、円山川は増水し、

家屋の浸水、橋梁、堤防の決潰、流失が圧倒的に多かったが降雨時間が短く急速に好天気となったため被害は割合少い様であつた。

京都測候所報告

台風13号の経路は大正15年のものに似ていたが雨量分布は少し異つていた。京都に最も接近したのは25日17時で京都の最低気圧は978.9mbであつた。台風13号の降雨は量及び降雨地域共に非常に大きく詳細な資料はないが概観したところでは明治40年以後のものと思われる。降雨分布は北部に多く南部の約3倍以上となつてゐるがこの型は京都府としては異常ではないと思われる。雨は23日台風の余波を受けて前線が活発となり各地で一時強い雨が降つたが23日の夜は晴れてきた。24日朝から降り初めを雨は、初めは弱かったが25日昼すぎから非常に強くなり京都では157mmで北部では500mm以上となつたところもあつた。京都に於いては風は昼すぎ一時少々強くなつたがその後弱くなり、台風が志摩半島にあつた17時前より再び急に強くなり、最大毎秒18.5m/sec 瞬間最大毎秒25.9m/secを記録した。



主なる河川の出水状況

(1)由良川は、上流の北桑田郡方面の諸支流および天田郡の土師川などが一齐に氾濫し、綾部大橋下流地点、何鹿郡豊望村宇大橋および福知山市宇鎔

物師町など数ヶ所において決潰し、また壟所で氾濫溢水し、綾部市、福知山市、大江町は全市殆ど浸水したが、北桑、何鹿地区は交通通信断絶のため詳細不明

(2)淀川は京都市伏見区向島(国直轄維持区域)において左岸堤防500mが決潰し、巨椋池干拓地700町歩、又これにつづく淀町、御牧および佐山村一

帯の沃野約3000町歩を濁流の海と化し、数千の人家は軒下浸水をうけた。
 (3)桂川は、船井郡八木町宇大敷において堤防兼国道九号線が決潰し、八木町を呑み、南桑田郡亀岡盆地は一面の海となり、亀岡駅は孤立して浸水は軒下一帯をあらわし、淀川の合流点では支流に逆流して附近住民は学校、競輪場などへ緊急避難する程の浸水であった。

(4)木津川は、井手町など各地で「8.15」南山城水害の応急復旧施設の一部が再び流失し、その他沿岸各地で異変を怪しうした。

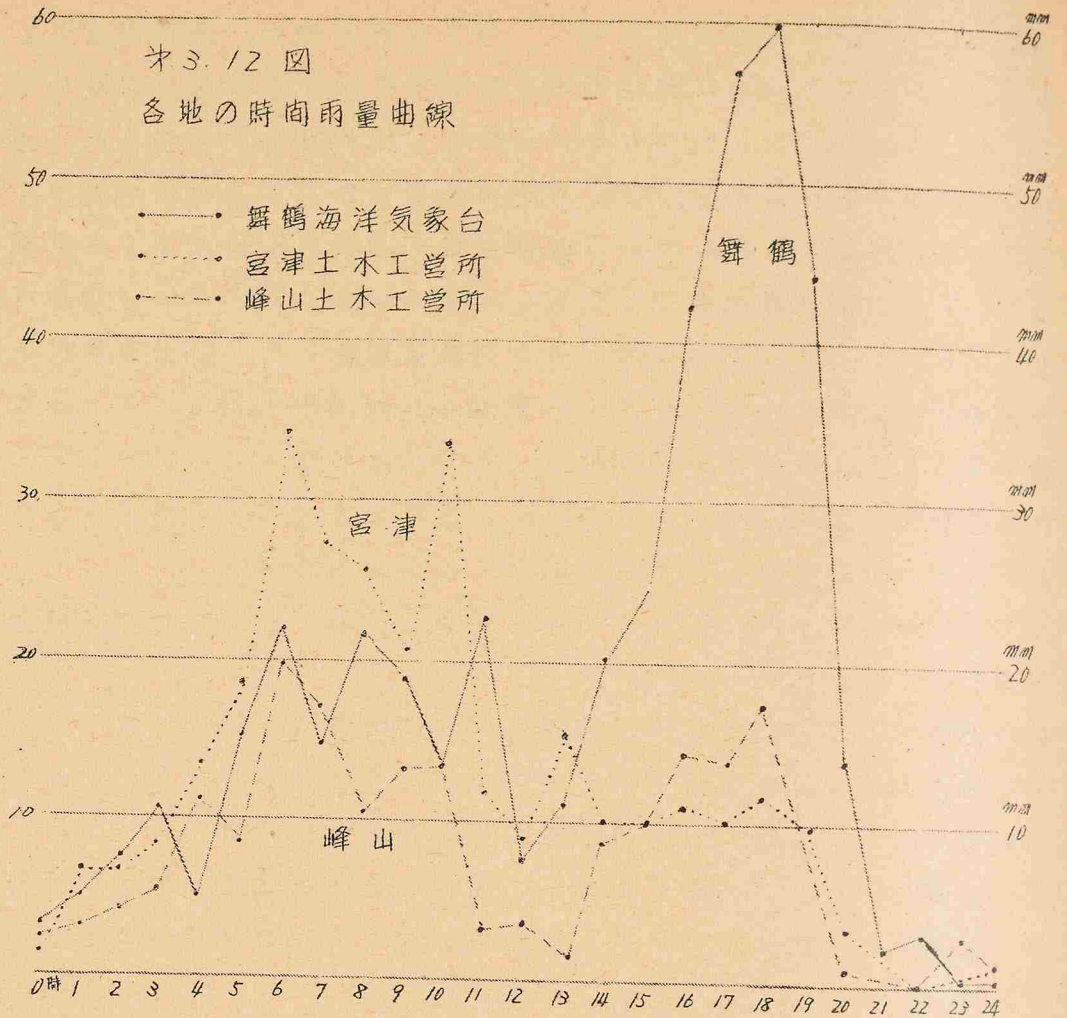
舞鶴海洋気象台報告

舞鶴の風は25日1時頃より北東風が吹き始め、6時から北北東となり、7時10分からは10 m/secをこえるようになった。15時から北に変わり、16時00分に最大風速北の25.5 m/sec、16時15分には瞬間最大風速北の40.6 m/secを観測した。これは台風が尾鷲の東方沖を通過した頃であった。その後風の衰えかけを22時過ぎより北西に転じ、22時30分には10 m/sec以下となったが、10 m/sec以上の風は14時間の長きにわたって吹き続いた。各地とも北寄りの風が長時間にわたって強く吹いたため、若狭湾の潮位は高まり、最高潮位は東舞鶴の53cm(16時10分)、宮津45cm(16時15分)(平均水面よりの高さ)でいずれも最大風速の出現時と一致していた。今回の若狭湾の潮位はJane台風の時程顕著ではない。これはJaneにくらべて風速がやく10 m/sec強く、最低気圧が20mbも低かったためと思われる。舞鶴地方で雨の降り始めたのは24日06時48分で、25日6時頃より次第に雨勢強まり、8時には1時間雨量21.7mmとなり、11時には22.8mmとなった。しかし12時一旦衰えたが再び13時15分頃より強くなり、18時には1時間雨量60.0mmを観測した。その後次第に衰えて23時25分にやむまで総雨量471.6mmの大雨を観測した。これを過去の記録と比較すると次の通りである。

1時間降水量	30.9mm	昭和24年7月	60.0mm	昭和28年9月25日17~18時
1日降水量	342.5mm	明治40年8月25日	445.6mm	昭和28年9月25日
継続降水量	600.1mm	明治40年8月23~25日	471.6mm	昭和28年9月24~25日

宮津と峯山でも毎時観測が行はれたので時間雨量の比較を才3.12図にその曲線を示す。

京都北部の総雨量中最多雨域は由良川上流の山地で、その量は600mmをこえたと推定され、雨量分布は台風ヘスターの時と似ていた。



滋賀県の気象状況

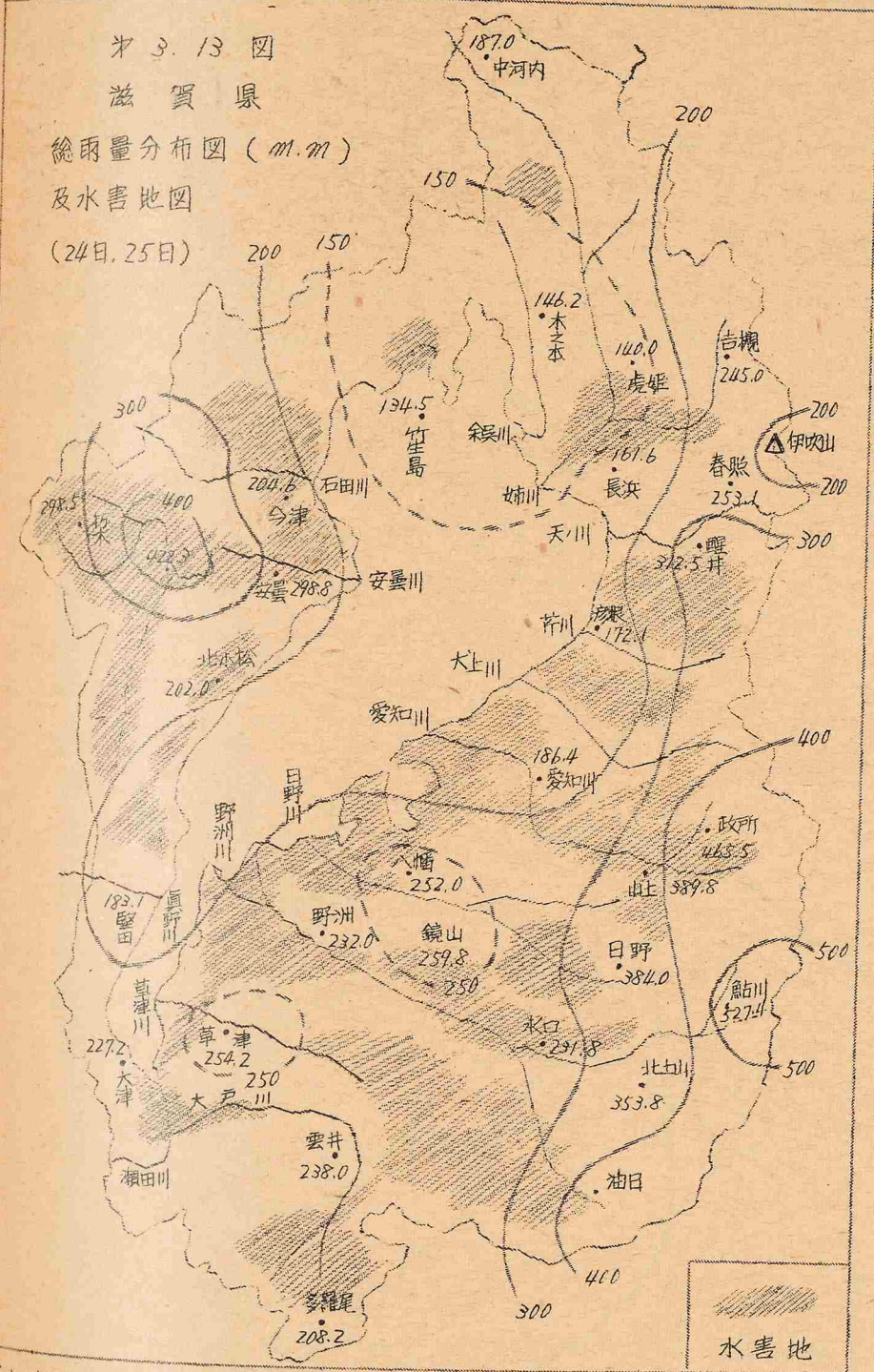
滋賀県では暴風による被害よりも豪雨による被害が大きく、山南部では2日間降水量500mmを突破した所があった。室戸、ジエーン両台風の経験により、台風は一般に南東寄りの風が強いが、台風才13号では北寄りの風であった。しかし伊吹山では南東の風が地上にくらべてやや強かった。雨量は24日9時から26日9時までの48時間で200mm以上の所が大部分で、河川のはんらんは200mm以上の所に多かつた。25年9月のジエーン台風と比較すると風速は弱かつたが、雨量ははるかに多く、被害も大きかつた。各河川のはんらんは甚大で、戦時中およびその後に出来た開拓新田は殆んど全滅となつた。

奈良測候所報告

25日正午過ぎより次第に風雨強くなり、午後2時30分頃台風が湖岬付近

に達した頃から暴風雨となり、風速30m/secに達し、雨量は25日21時までの9時間で吉野郡野迫川で430.9mm、北山村河台で530mm、川上村柏木で339.5mm、上市町で289.5mm、榛原で212.0mmを記録した。殊に夜半にな

才 3. 13 図
滋賀県
総雨量分布図 (mm)
及水害地図
(24日, 25日)



つてさらに暴風雨は強くなり各河川の水位は北山川は4.9m、吉野川は上市で4.6m、五條で7.7m、宇陀川で3.3m、大和川で5.5mを示した。各河川は急激な強雨のため増水し警戒水位を突破して、各所で破堤決潰、橋梁流失、山崩礼等の被害をみた。大和川では上流で五ヶ所破堤をみ、明治21年8月30日以来

実に65年ぶりの大災害を生じ、土木耕地等甚大な被害をうけた。県下の被害総額は96億に達した。

滋賀県に於る台風観測比較表

台風名	台風才13号			ジーン台風			室戸台風			
	昭和28年9月25日			昭和25年9月3日			昭和9年9月21日			
年月日	彦根	伊吹山	春照	彦根	伊吹山	春照	彦根	伊吹山	春照	
測候所	彦根	伊吹山	春照	彦根	伊吹山	春照	彦根	伊吹山	春照	
最低気圧	977.3 ^{mb}	867.9 ^{mb}	978.1 ^{mb}	984.8 ^{mb}	864.1 ^{mb}	989.6 ^{mb}	725.3 ^{mb}	721.9 ^{mb}	728.8 ^{mb}	
同上起時	25.17.51	25.19.10	25.17.45	3.13.09	3.13.27	3.13.32	21.08.40	21.08.30	21.08.40	
最大風速	風向	N	SE	E	SE	SE	SSE	SE	SE	
	風速	21.0 ^{m/s}	34.0 ^{m/s}	18.4 ^{m/s}	27.8 ^{m/s}	56.2 ^{m/s}	23.1 ^{m/s}	31.2 ^{m/s}	37.7 ^{m/s}	23.5 ^{m/s}
	起時	25.18.10	25.12.00	25.15.20	3.13.20	3.13.00	3.12.30	21.09.20	21.06.40	21.08.40
瞬間最大	風向	N	SE	E	SE	SE	不明	-	不明	
	風速	29.0 ^{m/s}	47.0 ^{m/s}	23.8 ^{m/s}	42.5 ^{m/s}	59.6 ^{m/s}	39.5 ^{m/s}	41 ^{m/s}	-	34 ^{m/s}
	起時	25.18.12	25.14.55	25.15.23	3.12.35	3.12.10	3.12.14	21.09.17	-	21.08
総降水量	172.4 ^{mm}	198.1 ^{mm}	280.6 ^{mm}	63.7 ^{mm}	68.2 ^{mm}	156.3 ^{mm}	17.6 ^{mm}	20.4 ^{mm}	52.6 ^{mm}	
暴風吹始	25.17.00	24.21.00	25.05.00	3.07.50	2.14.00	3.07.00	21.04	20.17	21.03	
" 吹終	25.24.00	26.10.00	26.00.00	3.16.30	3.24.00	3.16.00	21.11	21.24	21.13	

註 室戸台風の伊吹山の気圧は海面気圧に他の台風は基準海面気圧を示す

奈良県では普通今までの経験(室戸台風、ジーン台風等)により、台風といえば南寄りの風と言われていたため各家庭では南側を嚴重に警戒していたため、台風才13号の北よりの暴風で被害を増大した。

大台ヶ原山

大台ヶ原山では22日21時00分から25日23時50分までに1017.1mmといふ全国で最大量の大雨を観測した。日雨量をみても24日には337.1mm、25日には日雨量611.7mmという多量の雨であった。24日21時より25日24時までの毎時間の雨量を示すと次のようである。

	24日21時	22時	23時	24時	25日0時	02時	03時	04時	05時	06時	07時
自記雨量	6.8 ^{mm}	13.4	23.7	22.9	21.1	37.1	31.9	28.0	35.2	31.0	19.8
実測雨量	15-21 26.8						21-03 145.8				
	25日08時	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
自記雨量	22.9	11.5	36.3	54.8	54.9	78.3	117.7	84.0	110.0	39.0	5.6
実測雨量		03-09 156.4			09-12 142.3	77.1	119.8	88.2	110.4	50.0	6.4
	19	20	21	22	23	24	22日	23日	24日	25日	総計
自記雨量	8.0	4.2	0.6	1.0	0.2	0.3	29.5	39.0	337.1	611.7	1017.3
実測雨量			18-21 15.2				21-24 1.8				

和歌山測候所報告

台風才13号は25日紀伊半島の南端をかすめ、熊野灘を通過したため、和歌山県一帯では暴風雨となつた。和歌山では台風が室戸岬の南方300kmの海上にあつた25日05時40分より雨が降り始め、台風が熊野灘に入った15時05分まで降り続いた。風の最も強かつたのは台風が室戸岬南東100km以内に入った25日正午頃から4時間余りの間、風速は20 m/secをこえ、最大風速は26.2 m/sec、瞬間最大風速は37.0 m/secであつた。北偏風としては明治12年当所観測開始以来の最大であつた。

県下の降水量は24日9時より26日9時に至る48時間の総降水量は東牟婁郡陸部から高野山に至る国境付近の山間部に多く300mmをこえている。そのうちでも北山では557mm、色川、近野、高野山などは400mm以上の大雨であつた。県北部の紀の川筋でも200mm内外の大雨であつたが、台風の進路に近い紀南沿岸部はかえつて少く200mm以下であつた。時に田辺、白浜

才3.2表 和歌山県内区内観測値

地名	雨量 (mm)				25日の最大風力			記事
	23日	24日	25日	26日	風向	風力	時刻	
和歌山	17.4	76.5	116.9	-	NNE	11	14 ^時 30分	風向逆転
岩出	12.6	81.3	150.0	-	NNW		14.00	全上 校庭の大木倒れる
志保	16.2	57.0	137.1	-	NW	12	16.20	全上
高野山	14.5	93.3	333.3	-	S	6	16.過ぎ	16時頃まで殆んど風なし
東野上	10.5	90.1	124.2	0.0	NNE	8		
八幡	14.0	95.0	193.0	-	NW	25 ^時	1620~1700	1530まで無風 2000にやむ
田殿	9.9	70.6	146.9		W	11	16.30	逆転
御坊	16.9	57.8	141.9	-	N	9	15.30	24日以來風向はN 瞬間35 m/s
川上			215.7	26.1	WSW	8	16.20	
清川	8.8	55.0	116.5		SW	9~10	1700前後	1530頃 NEよりSWに急変
竜神	32.6	148.0	186.0	-	S	4	1700頃	
田辺	9.1	33.9	65.2	6.7	WNW	12	15.50	正午頃まで風なし 最低気圧 968 mb
栗栖川	8.4	86.0	137.4	-	W	9	14.30	NE-E-SE-E-NE-NW-
近野	5.2	155.5	298.0	0.5	S	8~9	17.30	E-N-S
市鹿野	10.8	89.0	189.2	-	NE	20~25 ^時	15.48	SW-SE-E-NE
日置	11.0	35.0	142.0	0.0	NNE	8~9	14.30	1300~1420 NNEの風やおさまる
潮岬	24.7	47.1	128.4	-	WNW	12	17.20	947.9 mb 瞬間41.7%
七川	11.6	113.0	235.8	-			16.50	
下里	15.2	51.5	123.6		SE	10	1400~1500	1500より風向Wに変わる
色川	20.1	110.0	313.1	-	E	約20 ^時	15.00	風向はE-W-Nと変わる
新宮	9.8	48.1	100.9		W	25 ^時	15.45	E-ESE-E-NE-SE-SSE-SE-ESE-E-NE-N-W-W-W
三里	11.3	143.8	238.6	0.5	NE	8	14.30頃	E-NE-W

は風雨ともにも弱く降水量は100mm前後にすぎなかつた。台風の経路は

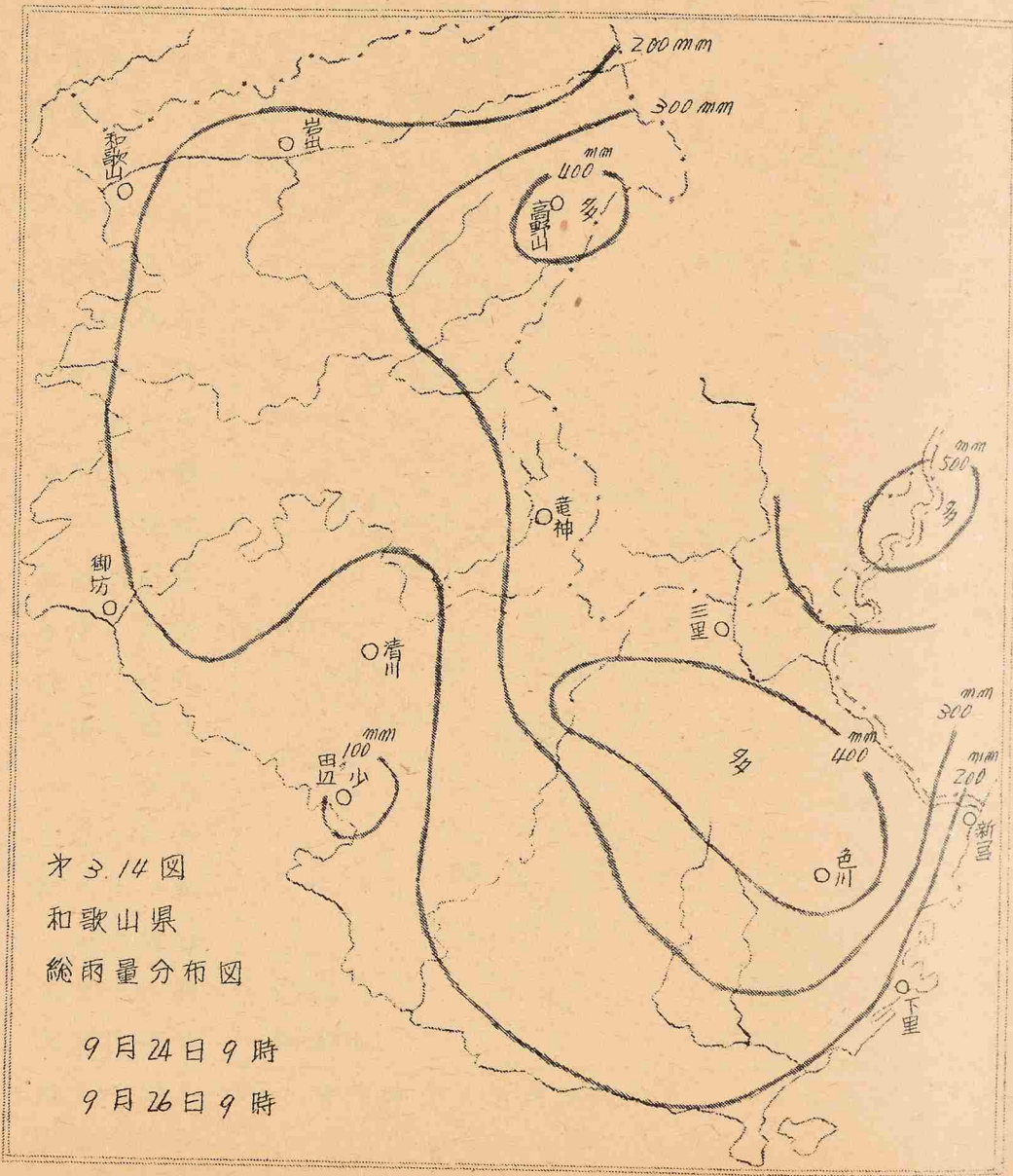
県下各地の風向変化は逆転であるべきはすであるが、実際には下里、清川、高野山等は北ないし東の風から南寄りの風となり、明らかに順転している。七川、竜神、近野では北から突然南風となり、色川は東風から突然西風となり、さらに北風となり、順転しているようである。栗栖川では風向は北東より北西、西と変つている。新宮では複雑な変化を観測している。

台風の中心に近かつた潮岬よりも、遠い和歌山の方が風力はかえつて大きく、被害も県南部より、北部が甚大であつた。

潮岬測候所報告

気象概況 22日以來東北東の10 m/sec前後の風が籠っていたが、23日9時

より風速は弱くなり5 m/sec前後となり風向は10時には東となり、蒸気圧は急増し、温暖前線が通過した。雨は22日18時から降り始め、23日9時30分



才3.14図 和歌山県 総雨量分布図

9月24日9時
9月26日9時

ヒヤまで 27.9mm の雨量があつた。海上は 22 日朝からうねりがあり、23 日朝には階級 4 となつて、次第に高まつてきた。24 日の 0 時 40 分頃から再び小雨が降りはじめたが、時々一時やんだ。風は 24 日 12 時頃から強くなり、13 時には 10 m/sec をこし、23 時には風向は東となつた。海上のうねりは 6 時には高さ 4 m (階級 6) となつた。22 時から気温上昇し、温暖前線が通過北上した。

25 日 3 時から風速は 15 m/sec を突破し、暴風雨となつた。5 時風向は東南東となり、雨は一時やんだが 7 時 35 分より並雨となつた。8 時 55 分瞬間最大風速は 30 m/sec に達し、風向は東北東となつて、気圧は急激に下降し始めた。10 時 10 分には強雨となり、10 時 30 分風速は 20 m/sec を突破し、東風となり、気圧の小さな極小が現われた。13 時 40 分、風速は 26 m/sec となつた。この頃気圧下降量はますます増大し、一時間に 13 時には 6.1 mb、14 時には 12.2 mb 下降し、14 時 44 分、最低気圧 947.9 mb を観測した。14 時 20 分から風向は逆転し、15 時 30 分に風速は 27.0 m/sec に達した。雨は 15 時 18 分には小雨となり、15 時 45 分にはやんだ。15 時 40 分湿度が急降し、蒸気圧も急減した。台風通過後の 17 時 20 分に最大風速 29.1 m/sec、17 時 50 分に瞬間最大風速 41.9 m/sec を観測した。その後 20 時には風速 15 m/sec 以下となり、21 時には天気は曇曇となり、24 時から風速は 10 m/sec 以下となつて天気は良くなつた。この間顕著な現象として次のことがあげられる

1. 風 台風が当地方に接近して通過したにもかかわらず風力は阪神地方と余り差がなく、29.1 m/sec に止まつた。

2. 台風眼 眼の現象は明瞭には認められなかつた。大島東端、榎野崎灯台で 15 時 30 分から 16 時 00 分まで南の風で風力 7 を観測したが、16 時 00 分から 16 時 40 分まで風弱まり上空に青空の一部をみたものがあつた。台風中心通過時の地上気象の急激な変化と、高層観測の結果からみて、台風眼の北縁が潮岬に極めて接近したもようであつた。これらより台風眼の半径はこの頃は 10 km 以下であつたと推定される。14 時 24 分に飛揚した高層観測では眼の内側をバルーンが上昇したらしかつた。

3. うねりと高潮 うねりは 22 日頃から認められ、うねりの方向(南)と風の方が相反していたので弱く観測されていた。台風の通過時が干潮時に近かつたので、当地方では高潮は軽減された。満潮時(7 時と 18 時)と台風通過時(15 時)の潮位は同程度であつた。

4. 風と塩害 当地方の農作物の被害は雨を伴つた東風よりも主として雨のやんだ後の西風によつてもらわされた。これは強風で乾燥し

たというばかりでなく、海からの塩害によるものである。

高潮の状況

観測所名	気象潮の最大		最高潮位		推算満潮時	午前の満潮		台風接近時の振幅	午後の満潮時の振幅	実際の潮高最高(推算潮高)
	日時分	cm	日時分	cm		時分	時分			
浦神	25.14.50	130	25.18.15	294	18.40	7.00	291	小さい 15 cm	88 cm	15 時 ~ 18 時 70 cm 増
串本(袋港)	25.15	86	25.18.22	311	18.22	6.58	305	50 cm	122 cm	6 時 ~ 8 時 60 cm 増

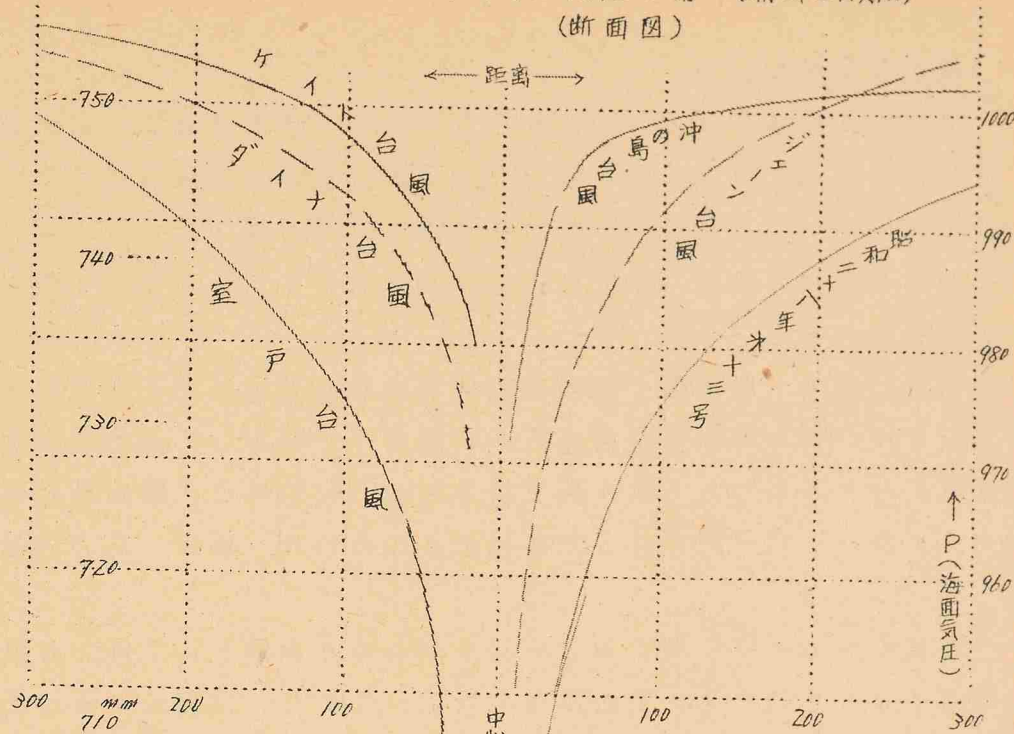
串本では台風の接近した 14 時過ぎ、最大振幅 122 cm に達したが、干潮時を過ぎて向もなくだつたため、実際の潮位は満潮時に及ばなかつた。

沿岸各地の潮込み資料によつても台風接近時の潮位の上昇は大体 1 m 内外で実際の潮高は 7 時頃の満潮時、または 18 時頃の満潮時が最高となつて被害を生じた。

波浪は 24 日朝からすでにうねり階級 6 (波高 4 m 以上) に達し、25 日 14 時から 15 時までは階級 9 に達し、数十年末の大波であつた。

波浪が極めて大きかつたにもかかわらず被害が大とならなかつた原因の一つとして、台風接近時が干潮時に近かつたことと、台風の左半円に属し、南風の吹き寄せがなかつたことがあげられる。ただし日置川河口では川

図 3.15 台風域内の気圧分布 (潮岬測候所) (断面図)



の増水が18時頃の満潮時と合致したため、河口の水位を著しく高め、甚大な被害を生じた。

風の分布状況

1. 東部沿岸地方では25日朝より東ないし南東の風が強く、15時前後に急に逆転して北西ないし西風となった。風速は東風と西風はほぼ同程度または西風が強かったが、風向の急転した前後は風力は弱まった。

2. 西部海岸地方では25日朝は東よりの風は余り強くない。午後の北西風の方が強かった。

3. 須江、湯川、勝浦等では南寄の風がかなり強かった。大島東端の榎野岬灯台では15時30分から16時まで南の風力7を観測している。台風眼の現象は認められなかった。最大風速は平均30 $\%sec$ 内外で、瞬間最大風速は45 $\%sec$ 内外と推定され、風による被害は樹木の枝折れ、倒壊、瓦の飛散程度であった。

台風の中心に近い割に風速が強くなかった原因としては、台風が紀南に接近すると共に急速に中心示度が衰えたことと、台風の進路に向って紀南地方は左半円に属したことと、地形の影響により、小渦動が発生し、あるいは風向が偏向したために風力を減じた所が多かったことなどがあげられる。

降雨の状況

23~25日の総降水量は紀南山岳部で400mm以上、海岸地方では200mm、田辺地方では120mm程度で、台風中心に近い割に降水量は少なかった。この降雨は23、24日は前線によるもので、台風による直接の降雨は25日午前のみで、午後は風向が北西に転ずるとともに雨はほとんどやんだ。雨量が平地で比較的少かったにもかかわらず河川の増水は熊野川では60年来の出水となったことは山岳地方で600mm以上の大雨が降ったことが推定された。

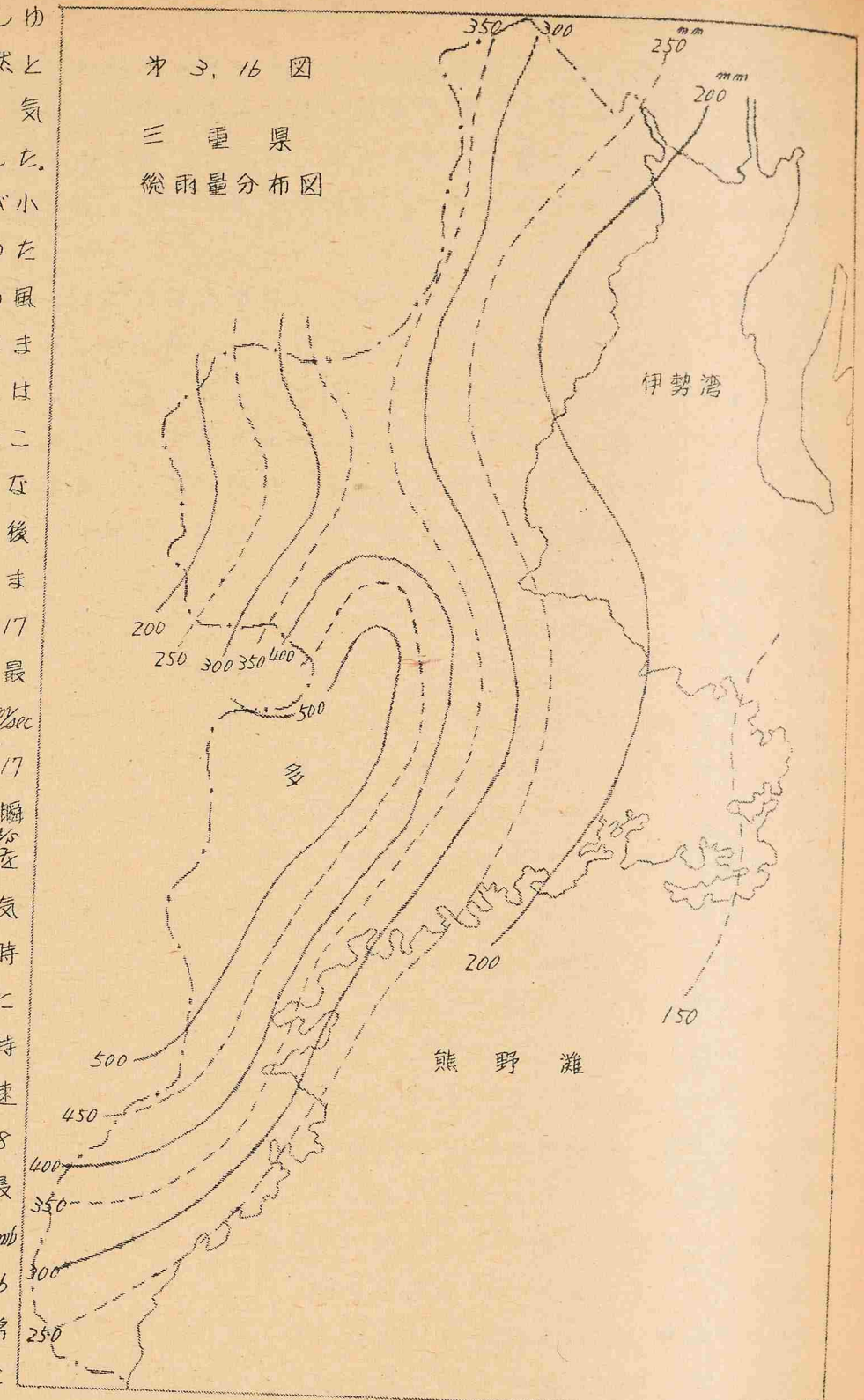
§ 3.6 東海地方

津測候所報告

台風が本県の東方を通過した頃の勢力は中心示度940mb、中心付近の最大風速は50 $\%sec$ で、当地方を通過した台風としては最も勢力の強いものであった。この台風の影響を受けた津地方では23日早朝より雨となり、風向は北東ないし東であったが、25日2時頃この台風に伴った温暖前線が通過した

ため強いしゅう雨が沛然として降り、気温も上昇した。その後雨が小降りとなった。2時頃から風速が次第にまし、3時には風速10 $\%sec$ をこえるようになった。その後風力はますます増大し、17時00分には最大風速23.6 $\%sec$ 、15時36分と17時23分には瞬間最大風速^{31 $\%s$} を観測した。気圧は25日10時頃から徐々に下降し、16時頃からは急速に下降し、18時00分には最低気圧964.6mbを観測し、26日9時頃平常に復した。この

の台風による被害は当所創立以来63年間にかつてないほど大きく、高潮による被害の最もひどかった四日市以南の本県沿岸では各地とも大波と高潮

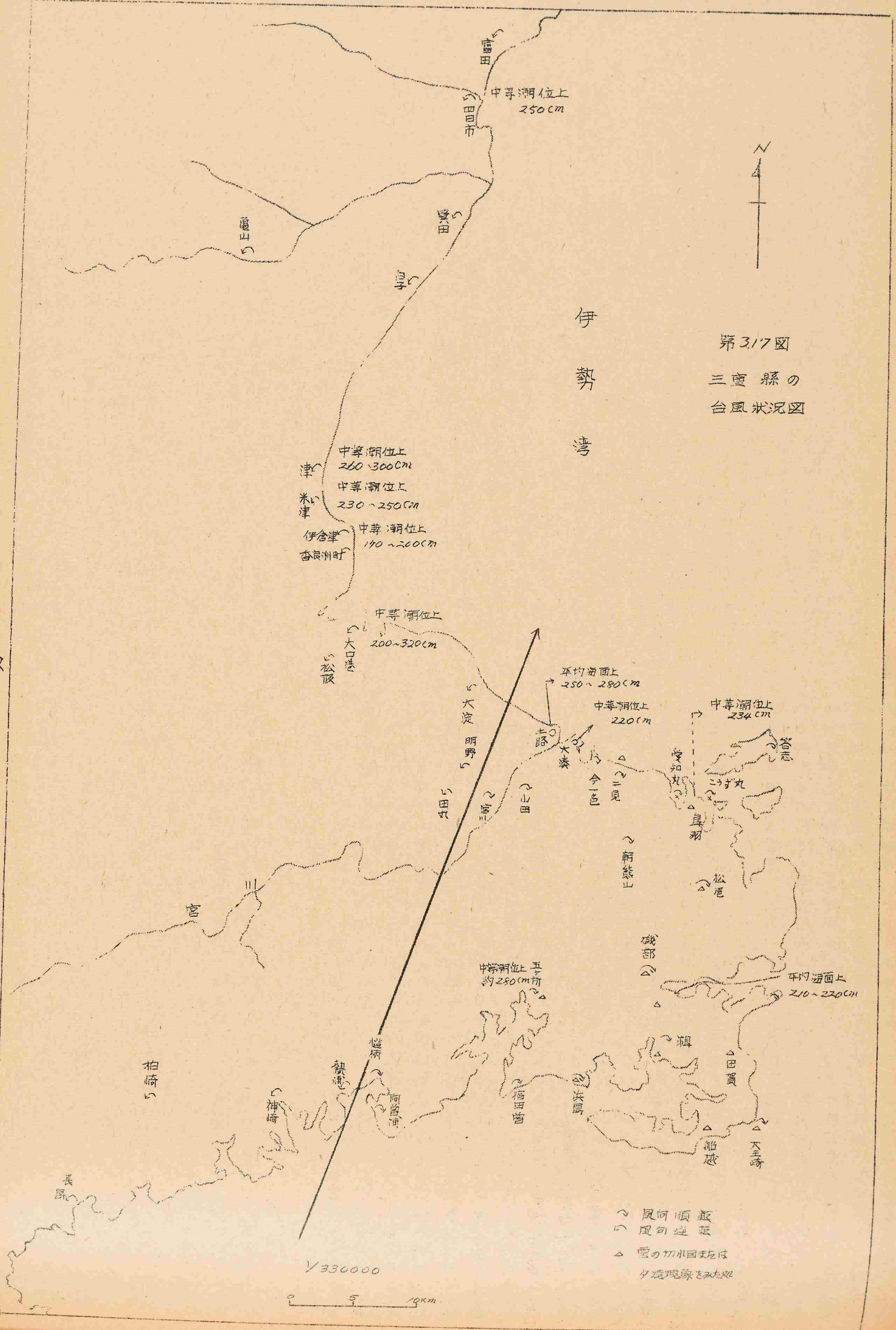


によつて甚大な被害を受けた。また水害も甚だしく、雨量は平地では大部分 200 mm 以上に達し、安濃川、雲出川、榑田川、宮川、服部川等の各河川の水位は近年数年間の高極を示した。山麓でも崖崩れ、林道の決潰等が多かつた。しかし朝熊岳（海拔 450 m）、布引山系南部の山頂では日雨量が少く観測者はその少いのを驚いたと言つていた。才 3、16 図は総降水量の等雨量線図である。

最強風速は台風の前線で起つた所が多く、その風向は東北東、東、東南東であつた。最大風速は 20~30 m/sec の処が多かつたと推定されるが、大王崎では 17 時 42 分瞬間最大風速 45.0 m/sec を観測し、また鳥羽港外のこうす丸では瞬間最大風速 50 m/sec を観測した。台風の後面は余り風が強くなく、南、南西、西等の風が弱かつた。ただし朝熊岳（海拔 450 m）では南東、南南東および西の風が強かつた。

台風進路の左側でも中心が非常に接近するまで東北東の風が吹き続き、中心が通過する頃の北、北北東または南、南南西の風は比較的弱く、吹き続いた時間も短かつた。このため中心が通過した地域では風向の順転、逆転のもようがはつきりしなかつた。進路の右側に当る鳥羽沖、大王崎、和具、神島等では台風の前中心が通過する前に非常に風が強かつたが、台風の前中心が通過するころには風は弱くなり、雨も小降りとなつた。また雲が低くなつたり晴間の出た所もあつた。天空の一部に夕焼のような赤い明るい空を観測した所がかなり多かつたようである。

高潮と波浪は三重県下に数十年来の大災害をもたらしたが、高潮による潮位の最高は 100~150 cm 程度で、波浪の高さは伊勢湾内で 2~3 m、熊野灘では 10 m 以上であつた。



第317図
三重縣の
台風状況図

~ 風向順 観
 ~ 風向逆 観
 △ 雲の初水回または
 夕處現象を以て



尾鷲測候所報告

本州南方洋上に停滞していた前線の影響により、当地方では22日から降雨が始まり、23日にはかなり強い驟雨性の降雨が連続した。24日は時々強雨をともなつた並雨が連続し、夜半からは風速も次才に加わり、台風による本格的な降雨状況となつた。

24日9時30分風雨注意報、25日05時00分暴風雨警報を発令、特に海岸地方に高潮に対する警戒を強調した。12時には暴風雨警報を更新したが、13時30分頃停電となり、名古屋との有線連絡も不能となつた。

16時25分ついに最低気圧953.3 mbを観測し、風向は逆転し、台風は当地方の東方海上を通過したことを確認した。18時過ぎより風速は次才に弱まり、19時警報解除、20時注意報を解除した。

当時潮汐現象による潮位が異常に高く、それだけでも海岸地方ではかなりの被害が予想され、台風の威力がそれに加つたため各地に多大の被害を発生した。

龜山測候所報告

龜山では24日01時23分から雨となり弱い雨が降りつづいたが、夕刻頃から時々強い雨を交へる杯になり、25日早朝から風も次才に強くなつて、25日昼頃には台風圏内に入り、その中からは風雨共に強くなり風は東から北寄に変わった。18時頃台風中心が伊勢湾に入ると共に気圧は最低を示し969 mbを観測した。その後台風の東進と共に風は次才に西寄に転じ雨勢は急速に弱へたが風は次才に強くなり20時には平均風速の最大23.6 m/sec 20時21分には瞬間最大風速33.2 m/secを観測した。その後台風の衰弱と東進に伴い急速に風も弱くなり天気も快復に向つた。

尚この向の台風及その前面での雨は209.2 mmであつた。

上野測候所報告

上野の気象状況

(1) 雨の状況

本州南方洋上で東北東に伸びていた前線は、台風の北進について次才に消滅となり、台風が急速に発達して23日朝には49 mmの前線性降雨を観測し、正午過ぎには一旦止んだが、台風が北緯20度線に達した頃

の24日6時46分から再び降り始めた。此の時連続性小雨程度であつたが夜半頃から次才に並雨となり25日夕方5時過ぎには前線が通過して一時強雨を観測した。其後雨は再び小止みとなつたが、台風の中心が室戸岬沖200 kmの洋上に達して進路を北々東に転じ出した9時過ぎには、平均10 m/secを越える東風と共に豪雨となつた。益々つづる風雨は復興途上にある各河川の堤防、橋梁を破壊、民家を押し流し、田畑を埋め、以前にも増す大被害をもたらした。やく9時向続いた豪雨は台風が伊勢湾に出て、上野がその北東象限から脱した18時頃には雨勢漸く衰え小雨となつて岡東北部に去つた23時20分(25日)全く止んだ。此の向の総降水量は219.9 mm、1時間の最大は25.9 mmで、8月14-15日の総降水量は286.4 mm、1時間の最大は81.2 mmには及ばなかつた。伊賀盆地内の雨量分布は別図の様に等雨量線は略々鈴鹿山脈に平行に走り東の方が多く伊賀川上流一帯で350 mmを越える豪雨を見た為、各河川の増水は各堤防を破り、伊賀盆地河川沿いの低地に氾濫した。

(2) 風の状況

24日末2~3 m/secの軽風であつたが台風が北緯28度線に北上して来た24日21時頃から前に吹いていた北東風は次才に強まり25日1時過ぎには始めて瞬間最大風速北東風10 m/secを突破した。其の後風速は上下に振動し25日朝4時頃前線は通過して風速は東南東に転じ、10時過ぎには一時瞬間風速16.9 m/secを観測した。風速はやく半時間週期で盛衰した。25日13時45分、台風が潮岬附近に接近した頃始めて瞬間最大で風速20 m/secを突破する暴風となり以後ゆく3時間程継続した。此の向台風が過ぎたあとで瞬間最大風速東の風で27.5 m/sec 14時18分を観測したが、風の息が大きく平均風速としては、後の北風に変わつてからの方が大きかつた。台風が潮岬に上陸し三重県南岸を進行した後は若干中心気圧が衰え930 mbになつたので風速も一時下降を見せた。その後志摩半島に上陸した17時半頃からは風向は北に転じ、再び20 m/secを越す(瞬間)大強風となつた。この風はやく3時間連続し25日18時20分には平均最大風速北々西20.1 m/secを観測した。此の向の瞬間最大風速は26.4 m/secであつた。平均の風速と

としては北偏風に転じてからの方が強かった。北東進した台風が飯田附近を通過した頃から次第に風も衰へた。

愛知県の状態

台風は18時過ぎ、知多半島を通過し、19時頃碧南市附近より上陸したので県下各地ではかりの暴風雨に見舞われた。さらに折悪しく秋分大潮の満潮時であったため、高潮による堤防決壊、家屋、田畑の浸水、破壊等甚大な被害を受けた。名古屋における最大風速は22.6 m/sec、瞬間最大風速は30.4 m/sec、伊良湖では最大風速は30.0 m/sec、瞬間最大風速は39.9 m/secであった。雨量は、25日にはかなり多く各地で日雨量100mmを突破し、24日、25日と豪雨があつた。名古屋の総降水量は178.1mmであった。

最高潮位は、名古屋検潮所では428cmに達し、過去25年間の平均最高潮位3.66mにくらべて62cmも高く、三河湾ではそれが1mに達し、60年来の高潮といわれ、そのため異常な災害を受けた。

また豪雨による被害も大きく、農地、道路、橋梁等の被害は甚大で、汽車、電車、通信機関の杜絶等さんたんたるものであつた。

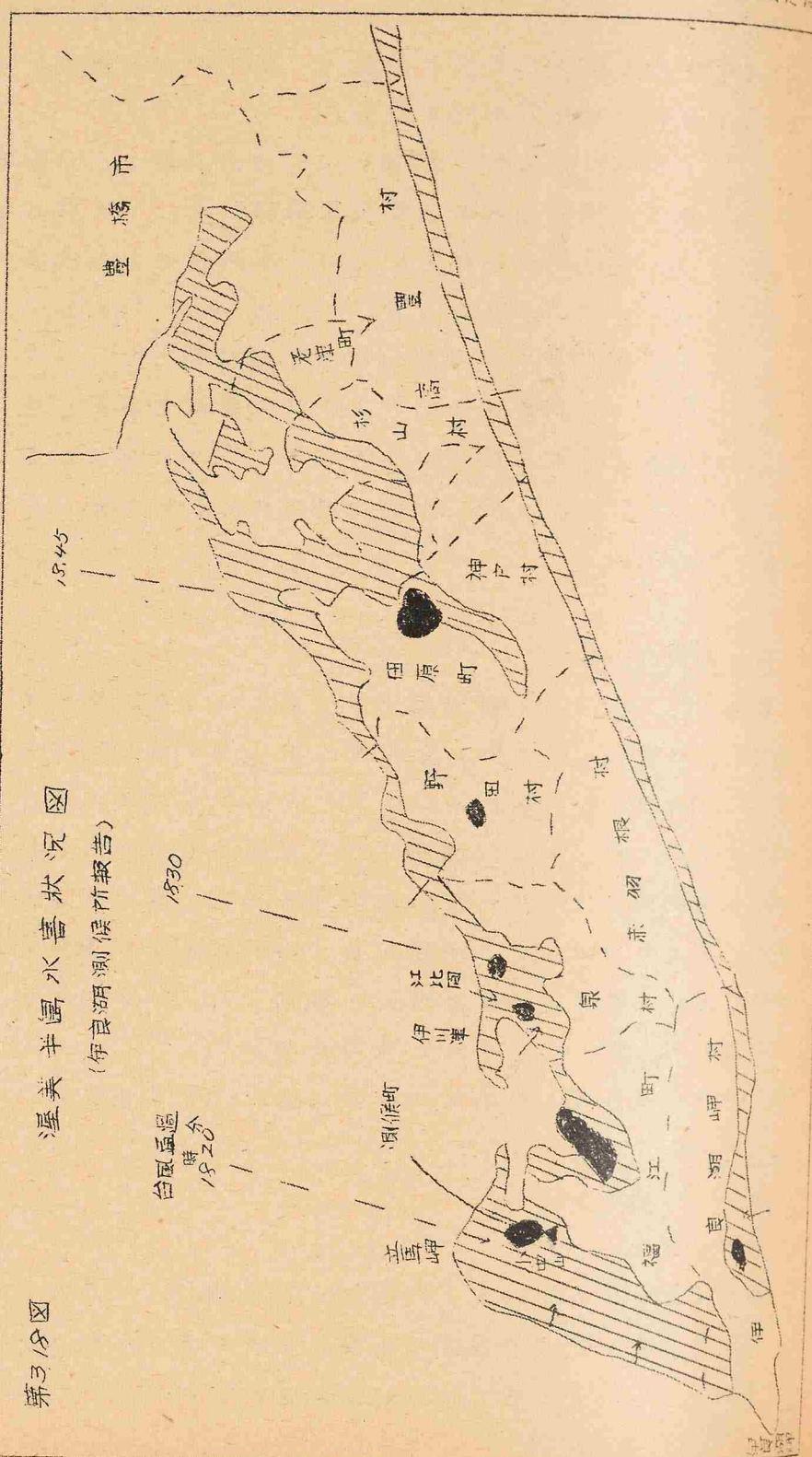
伊良湖測候所報告

当地方では25日朝から10m/sec内外の風が吹き、すでに台風の影響を受け、朝の満潮時の7時30分頃にはすでに大潮のため渥美半島一帯は着所に浸水がみられた。雨は23日から降り続いていた。測候所では6時の天気図より判断して、各機関に高潮を含めて充分警戒するようにと連絡した。その後次第に風雨強くなり、13時半には東南東の風が20 m/secをこえるようになり、歩行困難となつてきた。またこの頃すでに停電となつていた。16時15分には気象専用線は断線し、16時55分には電話線も断線し、ついに外部との連絡は完全に途絶した。この頃には片舎の屋根瓦が吹きとが、垣根は倒れ、電柱や松の木が倒れるようになった。17時30分頃風勢は最も強く、最大風速は東南東30.0 m/sec (17時30分)、瞬間最大風速39.9 m/sec (17時28分)に達し、戸外に出るのは至難となつた。18時半頃より19時半頃までに風向は順転し、西風となつた。風勢は依然として強く、倒壊家屋が始められた。台風は18時20

分頃福江沖を通過し、福江所ではこの頃雨は小降りとなり、西方の空には明るい光線がみられた。18時45分には田原沖を、19時00分頃には

蒲郡付近を通過した。各地で雨が止んだり、空が明るくなったり、風が止んだので、もう台風がすぎたかと思われれる程であつた。しかしその後一時間位の間に風は東→南→南西→西と変わり、22時頃まで20 m/sec前後の風が吹きつづいた。

台風が通過して風が西に変わった後30分から1時間位たった後満潮時となり、潮位はますます高くなり、地元民の必死の防禦もかゝなく、堤防は決壊するが、



まは堤防は役に立たなかつた。

測候所では構内に水が達したのは19時25分頃で、19時40分には家族全員片舎の2階に避難した。この頃の水深は75cmで、21時10分には125cmとなり、床上浸水となつた。その後23時20分頃より減水し始めた。

岐阜測候所報告

25日16時台風13号が尾鷲附近に達した頃から岐阜地方では北東の10 m/sec以上の風となり、雨も強く、暴風雨の様相を呈して来た。この台風の岐阜県接近により、西濃地方一帯では300 mmをこえる降水量があり、揖斐川は危険状態におちいり、支流の収田川はついに決壊し、このため県下の主だった被害を西濃地方から出した。岐阜では最大風速は北東の15.2 m/sec (16時40分)、瞬間最大風速北北東19.5 m/sec (17時39分)で風はたいして強くはなかつた。岐阜県北部の高山では最大風速は北北西の8.2 m/sec、瞬間最大風速は北北西の13.9 m/secで、風はかなり弱く雨量も大したことなく、被害は少なかつた。

静岡測候所報告

台風の北上に伴い本州南岸に沿って東西にのびていた前線は次第に活動が活発となり、県下は23日10時頃より雨が降り出し、この前線性降雨は24日まで続いた。この雨は静岡では23日9時から24日9時まで70.7 mm、24日1時30分には1時間雨量20.3 mmを観測した。その後雨は弱まったが、25日台風が接近するにつれ前線は北上し県下の北側を東西に走り、全般に暖域に入った。また24日頃まで5 m/sec前後の北北東ないし東北東であつた風も24日夜半から台風の影響を受け、東寄りとなりやや強まってきた。12時33分頃から10 m/sec以上の暴風となり、台風の接近をおもゆせるようになった。その後台風の接近につれ暴風はますます強く、台風が岡崎附近通過の19時過ぎから飯田方面に向つた20時40分頃までが最も強く、静岡では20時30分の最大風速24.1 m/sec (南)を観測し、瞬間最大風速は20時26分の30.0 m/sec (南)であつた。26日00時30分頃から急に弱くなり7 m/sec前後となり、6時半頃に全くおさまつた。風向は台風が志摩半島にあつた17時30分から順転を始め南東→南→南南西→南西→西南西

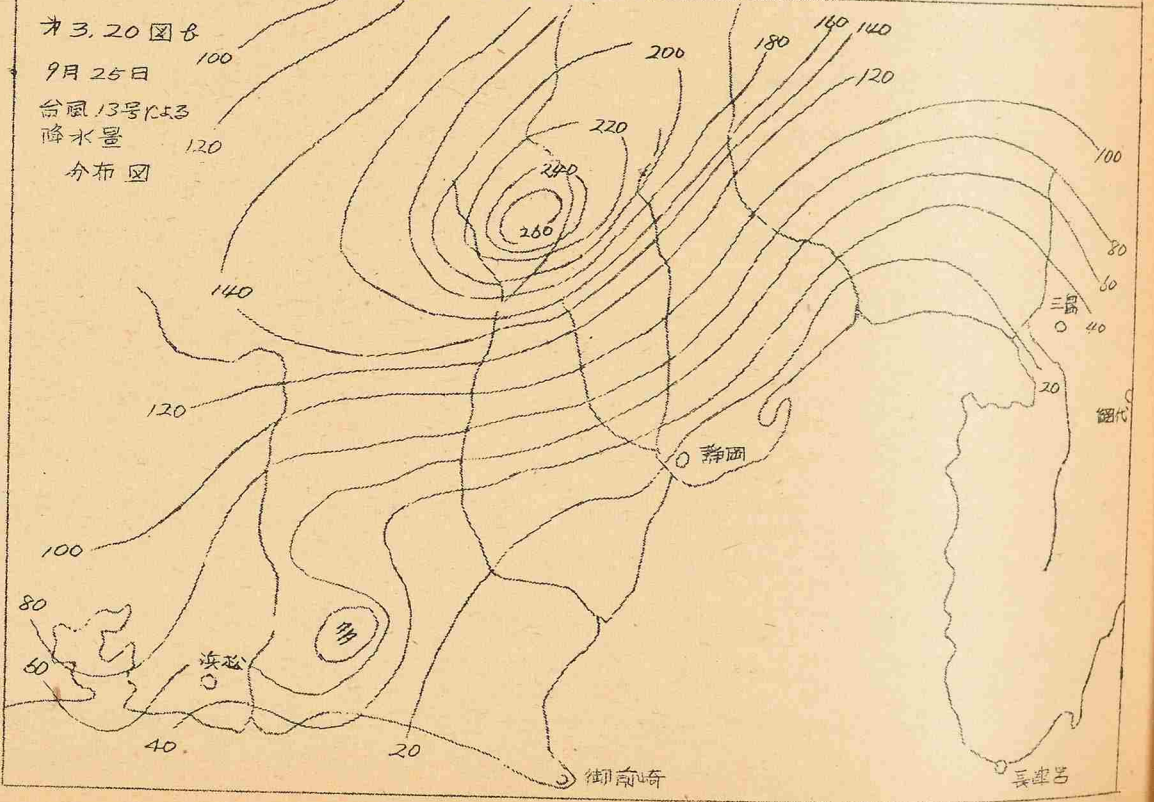
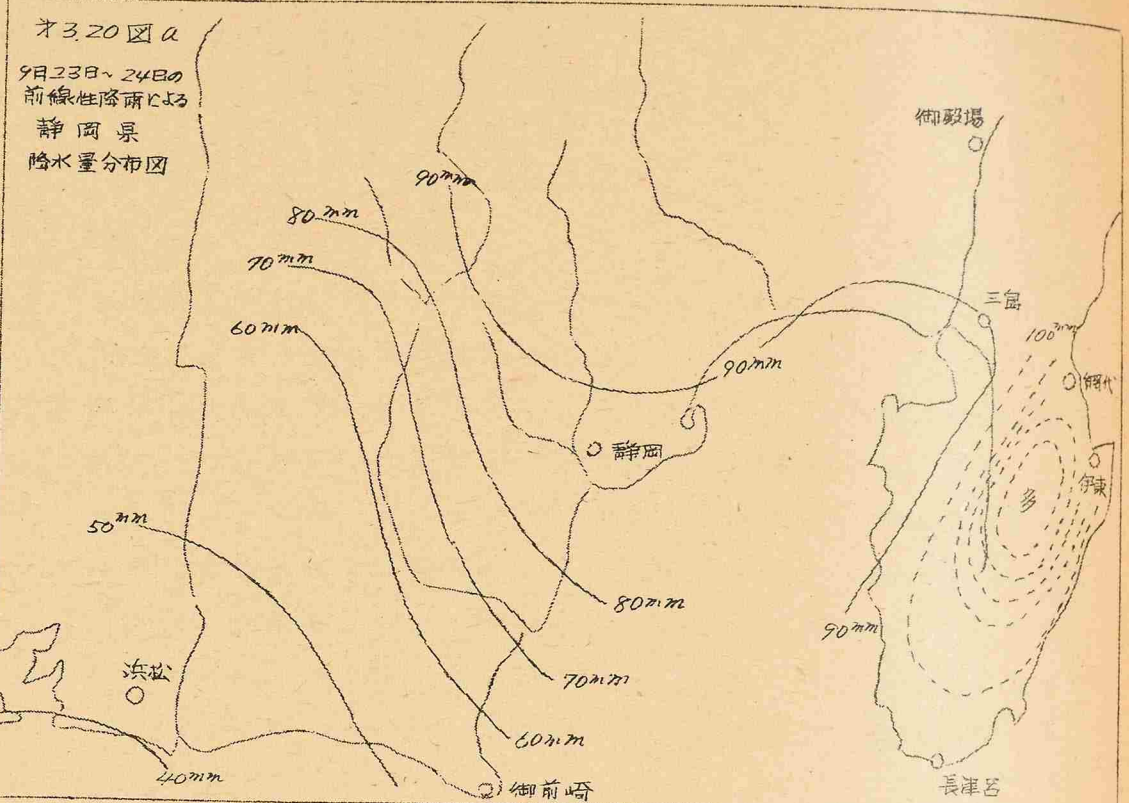
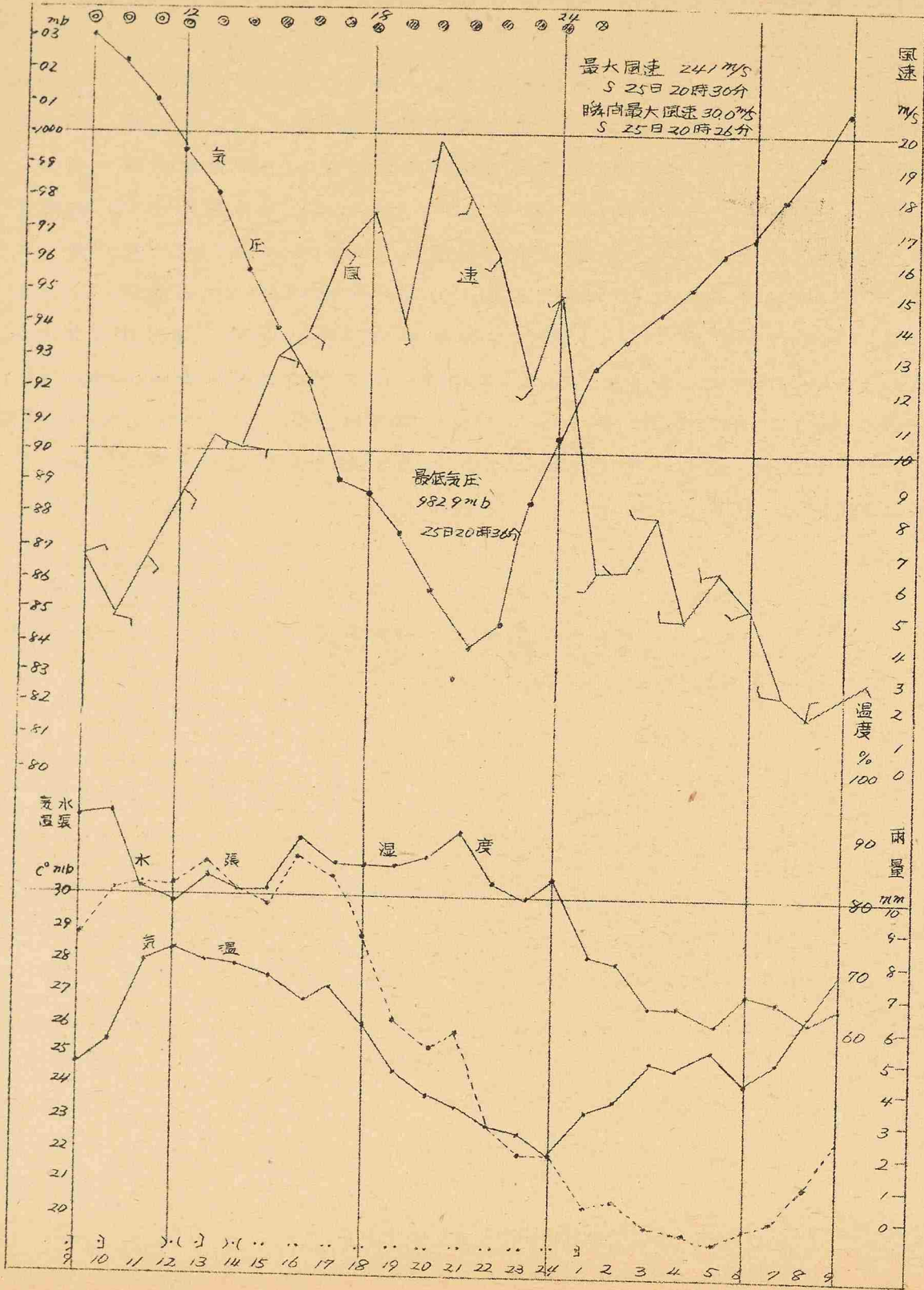
→西と変わり26日2時すぎには西の風となつた。雨量は平野部はきわめて少く、駿河湾沿岸では20 mm以下で4頭付近は262.2 mmであつた。(オ3, 19図)。

台風の本土接近とともに前線は北上し、静岡では25日9時50分前線が通過し、これまで北東ないし東北東の風で気温低く22度前後、湿度85%前後であつたものが、前線通過後暖域に入ったため風は東南東に変わり、温度は1時間ばかりの間に約3°C上昇した。このため温度は80%位となつたが、実際の水蒸気の量はぐんと増加した。その後この状態が続いたが、15時から温度は次第に下降し、なお湿度は依然85%前後であつた。台風が岡東北部に去つた24時頃より風は西南西に変わり、気温は次第に上昇し、温度は減少し始めた。26日03~05時頃は風は西の6 m/sec前後、温度は25(C)位で3°C上昇、湿度は60~65%で2%下降した。この台風の後の乾燥は台風後面の下降気流によるものと考えられ、この乾燥は稻の白穂化の原因の一つとなつた。

	最低気圧		10分間最大風速		瞬間最大風速		日降水量		
	ミリバル	日時分	風向風速	日時分	風向風速	日時分	23日	24日	25日
静岡	976.8	25.20.30	S 24.1	25.20.30	S 30.0	25.20.26	70.7	136	13.7
浜松	975.4	25.19.30	SE 23.8	25.18.00	SE 31.3	25.17.45	16.1	278	40.4
御前崎	982.4	25.20.50	SSW 31.6	25.20.00	S 38.9	25.19.27	32.3	12.7	11.0
三島	986.9	25.21.36	SW 18.8	25.23.50	SW 26.8	25.23.39	71.3	19.5	33.4
長津呂	986.8	25.21.02	SW 32.9	25.20.29	SW 43.2	25.20.35	91.3	6.5	3.1
網代	985.2	25.23.27	WSW 27.0	26.01.40	WSW 36.2	26.00.05	114.9	58.5	20.5
御殿場	986.9	25.21.36	S 14.9	25.21.20	-	-	72.9	32.1	66.6

第3.19图

静岡氣象要素変化图



浜松測候所報告

遠州地方は最大25から30 m/sec の強風と、高潮により甚大な被害を受けた。特に浜名湖周辺の高潮は満潮時と一致し、平水位をこえること2.50mの激浪がおしよせ、古老の語によると60年ぶりのものと言われている。24日夜半から次才に東北東の風が吹き出し、雨も驟雨的に降り始め、海鳴はかなりものすごく高えてきた。夜が明けるとともに風速は増してきたが、7時頃一時風は弱つて強い驟雨があつた。9時には10 m/sec ぐらいになり、瞬間風速も16 m/sec を記録した。昼少し前から10 m/sec をこえ、風向はほとんど東で、13時00分に暴風雨警報が発令された。14時過ぎからは風速も15 m/sec 近くになり、次才に暴風雨状態に入ってきた。16時にはついに風速は17 m/sec 、風向は東からやや南分を得て、東南東に転じてきた。雨もますます強く、ものすごい暴風雨となつた。17時少し前20 m/sec に達し、気圧はぐんぐん降つて17時に981.5 mb となつた。雨は17時から弱まつたが、17時45分最大風速24.7 m/sec 、瞬間風速31.3 m/sec に達した。18時からは風向は南東から南へと順転し始め、風速はややおとろえ始めた。19時30分最低気圧975.4 mb を観測した。21時頃一時20 m/sec の南西風が吹いたが、その後は次才に衰え、雨は23時過ぎに全くやんで、26日0時には雲の切れ間が見えてきた。気温は日中26度(C)位で、わりあいにむし暑く、17時頃からやや下り始めた。しかし19時からは逆に昇り始め最低気圧を示した頃、最高気温を示し、以後再び下降した。0時暴風雨警報は解除された。舞阪、新居町方面は高潮により相当の被害があつた。

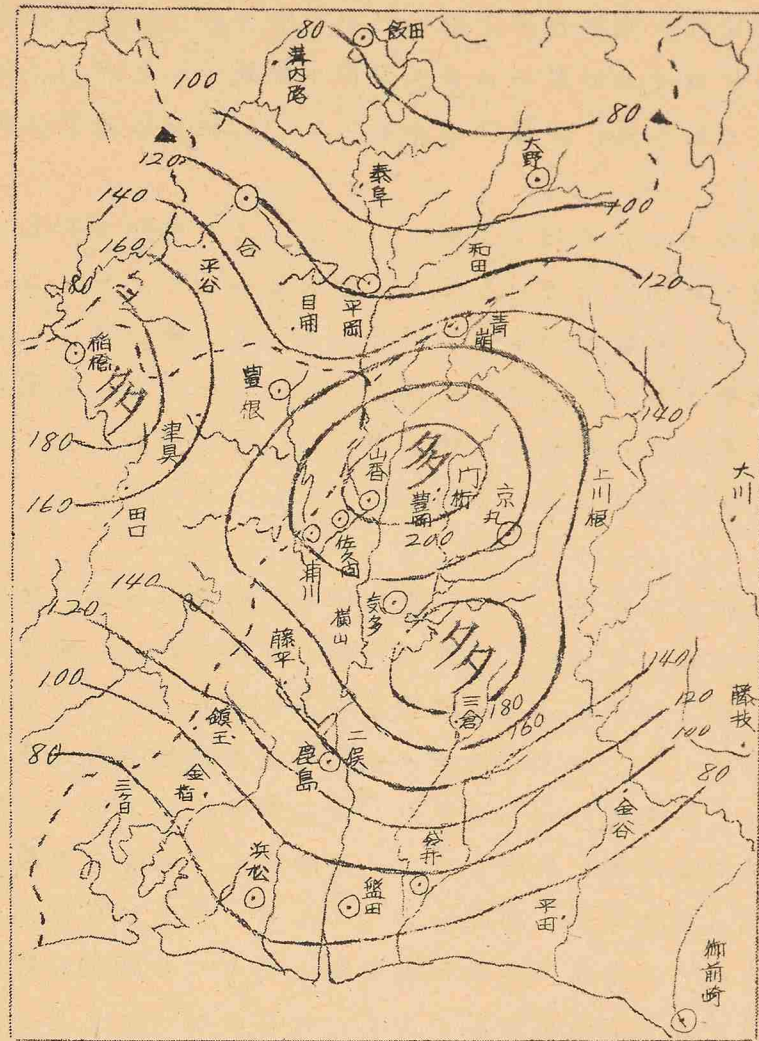
5.7 甲信地方

甲府測候所報告

23日頃、前線の北上にともない0時には、甲府ではまだ快晴であつたが、急速に天気は悪化し、3時には曇り、6時には高曇となり、7時45分に小雨が降り始めた。雨は23日夜半に一時止んだが、後25日1時20分まで降り続いた。降り終りごろには、一時雨は強まり、終了と同時に濃霧が発生して、明け方まで続いた。その後の空模様はこれまでと異なり、積雲性の黒雲が次々と南から飛来し、俄雨を降らせ、その合間には鮮やかな高積雲の突在する青空も見えたりして、何んともなく落ち付きのない状態で、

第3.2/図

浜松管内雨量分布図 (mm) (28.9.23 ~ 25)



台風圏に入ったことが明瞭となつてきた。風は昼すぎから急に強まり、日中はまだ暴風となるには至らなかつた。時々間歇的に突風が樹木をゆすり、普通の強風とは異つていた。そこで11時に台風注意報を発令した。夕刻ごろから雨は強まり、18時40分頃急に南風が強くなつて、22時10分まで約3時間半の間15 m/sec 前線の暴風が続いた。雨は19時から20時までの1時間が最も強く、19時40分最大風速南南東18.2 m/sec 、19時20分瞬間最大風速南々東24.0 m/sec を観測した。21時35分には最低気圧979.1 mb を観測し、22時すぎには風雨弱まりようやく危険を脱した。雨は26日0時12分、全く止み、その後急速に恢復し、

3時には晴れ間がみえ出した。26日は暖い快晴の日和となった。今回の台風による強風は甲府測候所創設以来第3位の記録を作った。山梨県では強風は北面ないし北北西が吹くのが常であるが、南々東風として吹いたのは非常にめずらしいことであつた。台風季の強風としては創設以来第3位であつた。

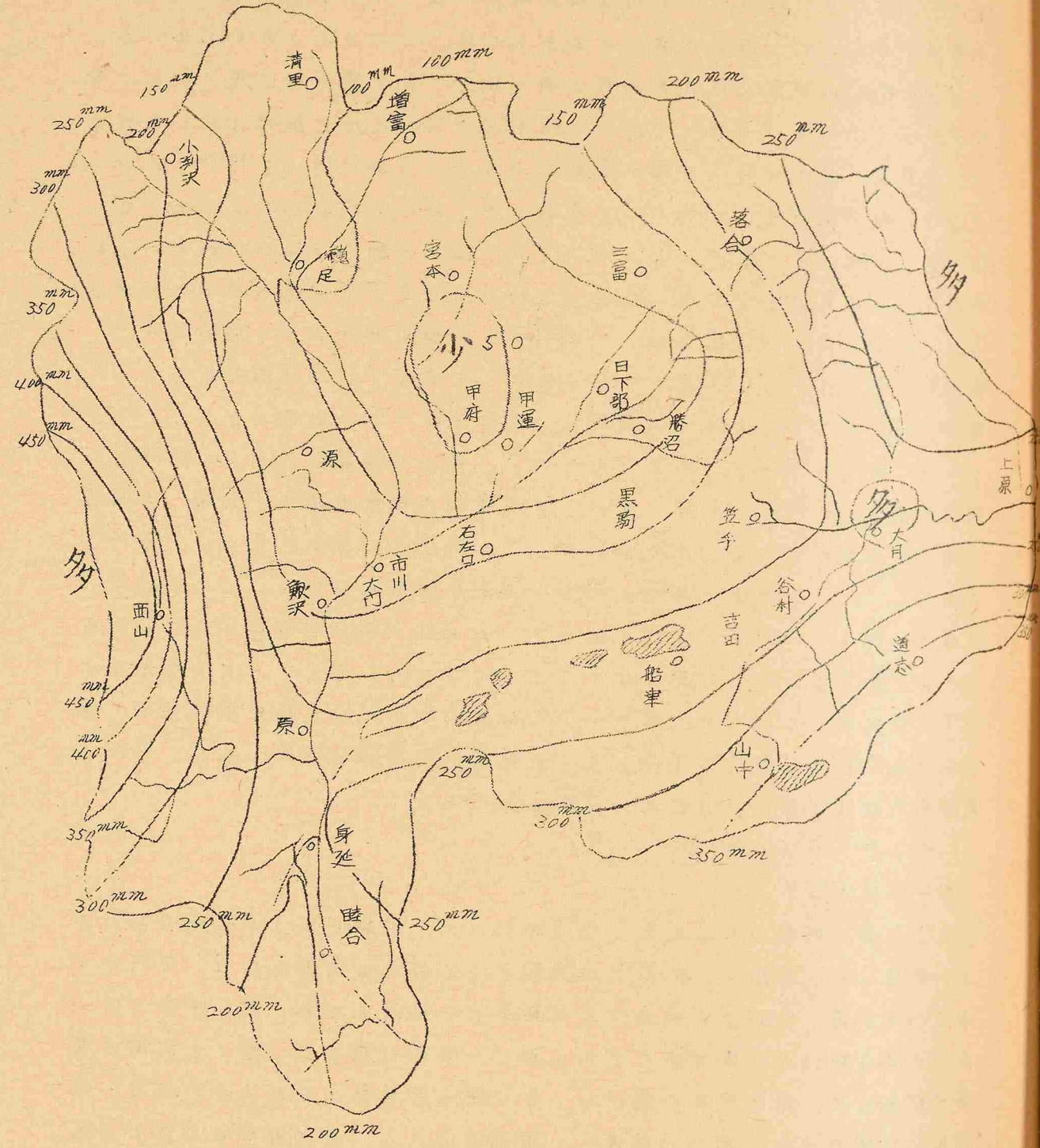
県内の雨量は西山観測所では25日15時までには281.8mmを測定し、その後雨量計が流失したため測定不能となつた。総雨量は450mmないし550mmと推測される。雨量は盆地と荒川流域に少く、特に甲府北側で最少となつていた。雨量の多い地区は県西南部アルプス地帯と、県南東部丹沢系地帯であつた。県西部山岳地帯は観測所がないのでわからないが南東の上昇気流による莫大な雨量があつたのではないかと思われる。

長野測候所報告

23日頃、本邦南岸に前線が停滞し、長野県では冷雨が降り始め、天気は悪化つき気味となつてきた。24日には前線活動も活発となり、雨量も増加してきた。同日11時50分には台風情報第1号を発表し、17時に全県下に大雨注意報を発表した。25日早朝5時に台風情報第2号を発表し、午後から夜半にかけて暴風圏内に入る見込だから対策を立てるよう警告し、9時30分には風雨注意報に切換えた。12時頃には東海、近畿一帯は暴風雨となり、台風が志摩半島を横断するころより、県下は暴風雨が吹きつり始め、16時45分全県下に暴風雨警報を発令し、嚴重な警戒をうながした。南信方面では15時頃から、中信、北信方面ではこれより1~2時間おくれで平均風速が5m/sec以上となり、台風の接近につれて一般と増加した。

台風は20時過ぎ県南部県境をへて本県に入り、21時には諏訪付近に達し、中心示度974mbを示し、その後22時には長野、軽井沢の間を通過して新潟県に向つた。この間各地の風速は別表に表わす通りであるが暴風の吹走時間は短く、3~5時間であつた。南信では16~17時頃一時的に、かなり弱まった所があつた。暴風時の風向は北信、中信地方と東信の北部では北西~北北西で、南信と東信の佐久方面では一般に東南東~南東の風であつた。しかし長野県は台風が通過したにもかかわらず風速は東海道の海岸地方にくらべて非常に弱く、最大風速で15m/sec前後、瞬

第3.22図
山梨縣 総雨量分布図



向最大風速で20m/sec前後であつた。特に松本と飯田では風弱く、松本では瞬間最大風速で13.2m/secにすぎなかつた。

雨は各地とも風の強まるのと相前後して強くなり、飯田村近では15時から毎時雨量5mm以上を測り、18時過ぎと21時半前後に一時雨勢ははげしくなった。諏訪地方では15時から17時頃まで雨が強く、その前後はそれほどでなく、19時から20時半頃までは非常に弱かった。松本方面でも15時過ぎより急に強くなり、22時頃まで毎時6~9mmを測った。しかし19時半から20時頃にかけて一時弱まった。長野地方は17時頃から雨が強くなり、21時から22時半に最も雨勢がはげしくなって、最大一時間雨量はこの頃現われた。23時頃からようやく雨は弱まった。東信の軽井沢方面も17時頃から強くふり出し、21時半頃から23時頃まで雨勢は強い方であつた。雨は南信の一部を除き大抵25日夜半までにやみ、翌26日の早朝から天気は急速に回復し、台風一過の天気となつた。雨量は南信の飯田の面方が最も多く、260mmに達し、また北アルプス寄りでは200mmをこえ、その他志賀高原方面が200mmに近かつた。盆地、平野部では比較的少く、100mm以下であつた。

3.8 北陸地方

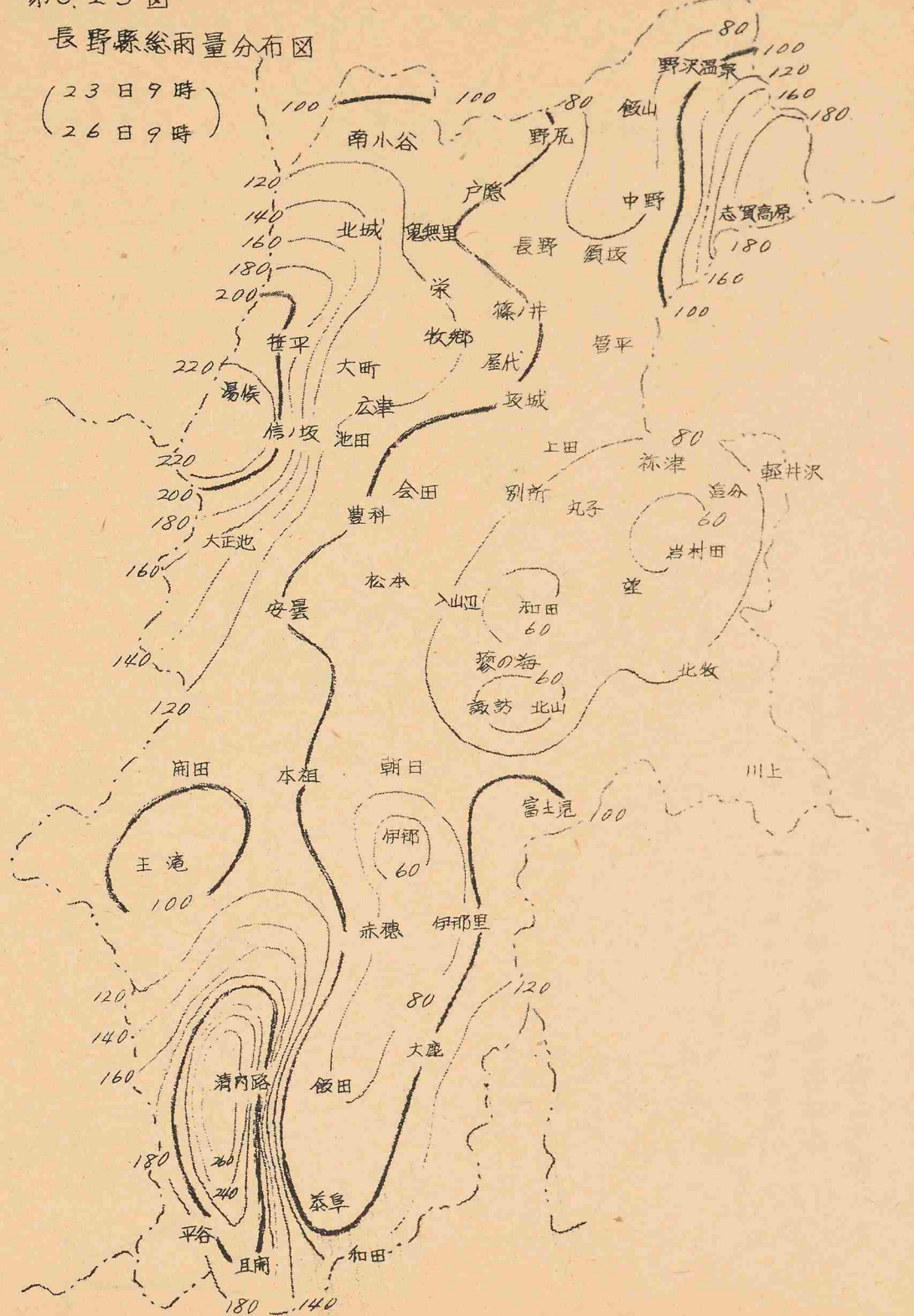
福井測候所報告

24日13時に台風情報第1号を発表したが、25日には台風の接近にともない前線が北上して暖気の浸入による豪雨の危険が大きくなった。そのため25日06時に風雨注意報を発し、11時には暴風警報を発令して県下全線に嚴重な警戒を要望した。18時台風が伊勢湾に進んだ頃は風雨が最もはげしく、台風が中心が本県を外れて北東に進行したため以後風雨は次第におさまつてきた。台風は本県の南東方を通つたので風は終始北寄り、台風に伴う北寄りの風としては相当強いものであつた。また前線の活動も極めて活発であつたため豪雨をもたらした。23日から26日までの雨量は横北で200~300mm、若狭地方では350mm以上に達し、ことに小浜の565mm、中名田の705.1mmは本県では未曾有のものであり、日雨量も25日中名田の585.4mm、高浜の350.0mmは本県では未曾有のものであつた。このため県下の死傷者351人、建物被害4488戸、家屋浸水32423戸等甚大な被害を発生し被害総額160億円罹災者3万人以上に達した。

第3.23図

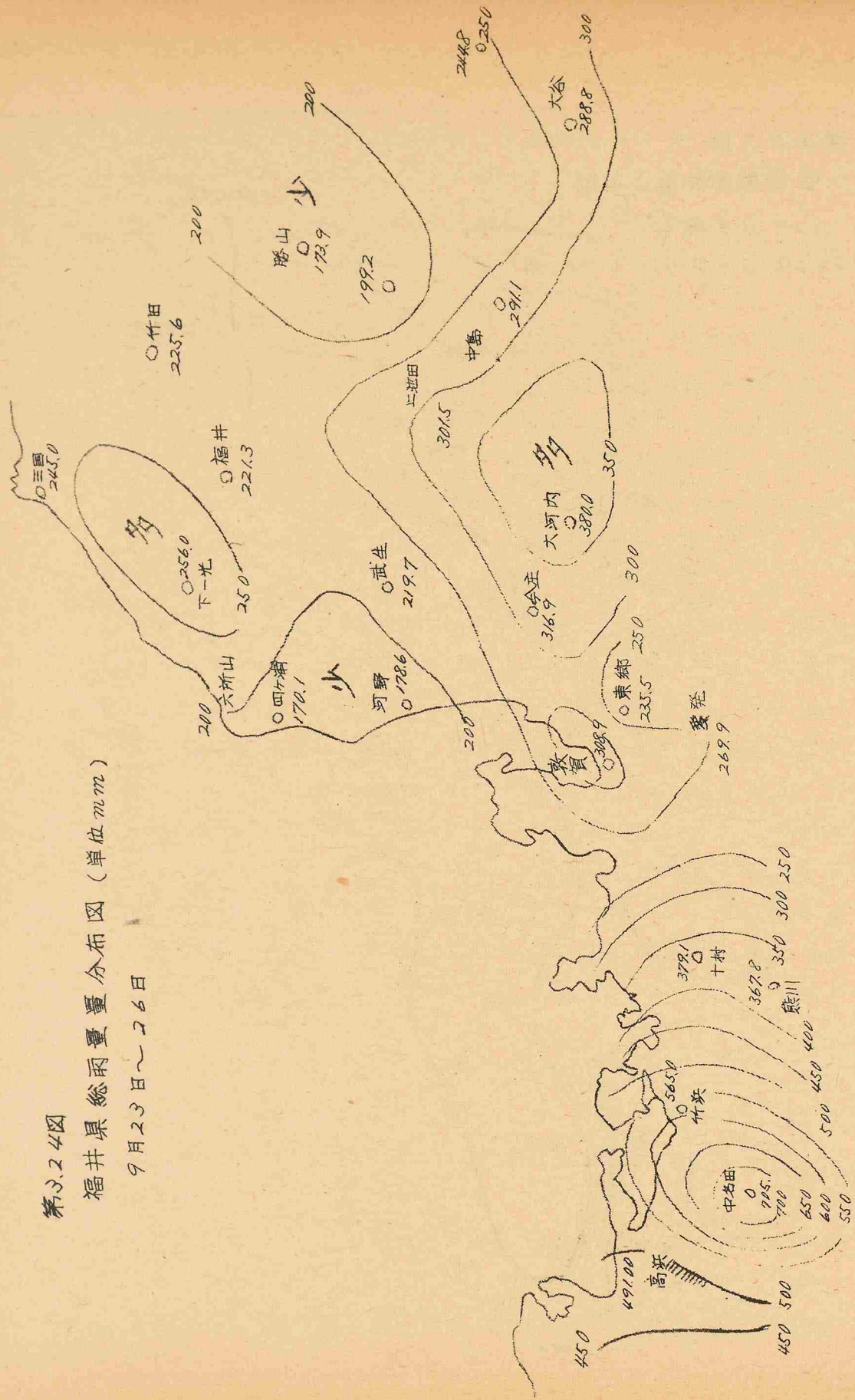
長野縣総雨量分布図

(23日9時)
(26日9時)



第3.24図 福井県総雨量分布図 (単位mm)

9月23日～26日



敦賀測候報告

当地方では風による被害より、豪雨による水害の方が大きく、創立以来の日雨量を記録した。

気圧 24日24時頃から下降し始め、25日12時から急に下降量をまし、17時00分、984mbの最低気圧を観測した。26日には旧に復した。

気温 25日の最高気温は夜中の00時00分から01時10分までに22.1度(C)を観測し、最低気温は台風の後面で北北西の暴風雨が吹きすさぶ19時57分に19.1度(C)を観測した。なおこれは平年値の16.4度(C)にくらべやや高かった。

風 24日は一般に風弱く、25日正午過ぎから北北東の風が急に強くなり、12時30分から暴風となった。その後風向は北に転じ、15時より15 m/sec以上となり、19時20分最大風速北北西の18.7 m/sec、瞬間最大風速19時13分、北の24.3 m/secを観測した。その後風向は北西となり、次第に弱くなつて、23時から10 m/sec位となり、26日03時に暴風は終つた。風は過去の台風にくらべそれ程強いものでなかつた。

雨 24日06時48分から弱雨が降り続き、24日17時から並雨となり、24日24時まで28.1mmの降雨があつた。その後次第に雨勢強まり、25日06時には6時間雨量58.9mmで豪雨性を示し、25日9時には前24時間降水量102.0mmとなり付近の河川は増水し始めた。雨勢はその後一時衰えたが、正午頃から再び強くなり、12時53分には前1時間最大22.2mmの雨量を観測し、18時から21時まで3時間に55.4mmを観測した。21時過ぎから急に雨勢衰え、26日01時48分に一時止んだ。02時46分から驟雨性の雨が始まり、14時11分まで断続的に続いたが雨量は少なかつた。

25日には0時から24時までの日降水量238.4mmで、過去の最高記録より54mm多く、創立以来の最高記録となつた。

領南地方の豪雨

福井県の降水量分布は県全体からみて領南地方は最も多く、特に小浜市を流れる南川の上流の中名田では25日は585.4mmを観測した。これは福井県においては未曾有の記録で、全国的にみても屈指の豪雨である。

25日の降水量と過去の最高記録と比較すると、過去の記録を破った所は3ヶ所もあり、特に中名田は最高記録の2倍以上に達しており、高浜では100mmも多かつた。25日中名田から大雨報告の電報が通信杜絶するまで3回敦賀測候所におくられ、それによると25日9時から11時の2時間に81mm/1時から13時の2時間に85mmも降り、如何にはげしい豪雨であつたかがわかり、暴風雨警報や情報を発表するのに大いに役に立つた。

最高日降水量比較表

	創立年月	最高日降水量	最高の起時	台風13号の25日の日降水量
敦賀	明治 30. 10	182.7 ^{mm}	昭 20. 10. 8	173.8 ^{mm}
彦根	昭和 15. 4	170.0	昭 19. 10. 7	150.7
十村	昭和 3. 5	245.5	昭 19. 10. 7	213.3
熊川	明治 31. 1	277.4	大 6. 09. 30	222.1
小浜	明治 43. 1	183.7	昭 17. 9. 20	(148.5)?
中名田	明治 43. 1	247.3	昭 19. 10. 7	585.4
高浜	明治 31. 1	250.0	明 40. 8. 25	350.0
耳	昭和 15. 6	197.8	昭 19. 10. 7	235.8

	敦賀	彦根	十村	熊川	小浜	中名田	高浜	東郷	栗野	耳	小浜(狭)
23日	31.8 ^{mm}	31.2	21.9	6.3	28.9	19.5	12.7	46.5		36.0	20.0
24日	102.0	88.0	142.1	138.0	88.0	80.2	131.0	75.8	120.0	118.1	160.0
25日	173.8	150.7	213.3	222.1	(148.5)	585.4	350.0	113.2	209.4	235.8	350.0
計	307.6	269.9	377.3	366.4	(265.4)	685.1	493.7	235.5	(329.4)	389.9	530.0

富山測候所報告

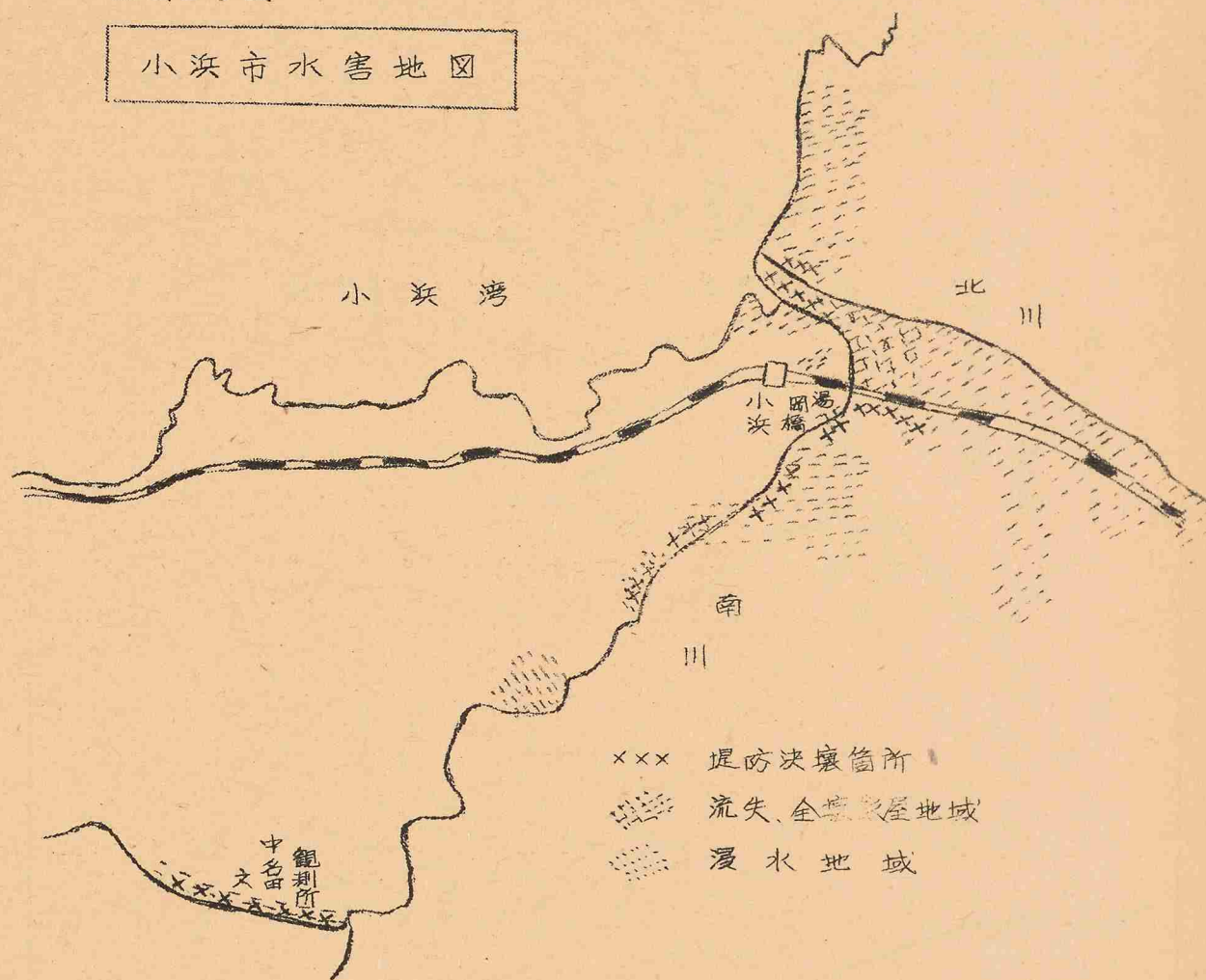
24日まで富山の風は北北東の4~5 m/sec位の風が吹続いていたが、台風接近にともない25日13時から北北東10 m/secに達し、その後22時まで暴風雨が続いた。この間15時から19時の間18 m/sec以上の風となり、最大風速は台風が宇治山田市附近にあつた17時20分頃で、北北東の21.2 m/secであつた。富山湾では北北東に大きく開口しているので風浪が発達するのに最適の条件をなしていたので、大時化となり、北ないし北北東の風浪に対しては新湊方面は最悪の条件となつて、同市方面に異常

な大浪害を発生した。北東の暴風雨に対して地勢上小矢部川東斜面は白山山脈の風衝面に相当し、小矢部川上流域に異常な大雨があり大水害をもたらした。

河川名		平水量(位)	警戒水位	今回の最高水量	日時
黒部川	彦根	6000個	30,000個	49,400個	26日4時
常願寺川	大日橋	1.6 m	3.0 m	3.2 m	26日5時
神通川	鴨島	1.8 m	3.8 m	4.55 m	26日5時
庄川	小牧	5000個	30,000 m	52,920個	25日23時
小矢部川	石動	0.9 m	2.8 m	4.5 m	26日0時

第3.25図

小浜市水害地図



るが風雨極めて弱く当所としては上越国境村近の副低通過後の暴風を考慮し、22時20分暴風警報を發布した。

気圧最低後急速に上昇し初め、26日0時22分から北西の暴風雨が来襲し、1時50分には平均最大風速北西23.1 m/sec ついで1時54分瞬間最大風速北西29.4 m/sec を実測しており、この際当所の木柵約56mが倒壊したのをはじめ各地に被害を惹起したもようである。暴風圏内にあつた3時頃までは20 m/sec 前後の暴風雨の洗礼を受け、その後風勢弱まり5時30分に暴風警報を解除し風雨注意報に切り換えた。秋雨は10時27分まで続いたがその後は急速に天気は回復した。今回の総降水量は45.4mm(実測)で台風本来の降水量は極めて少なく19.4mm程度であり、このため雨による被害は皆無であつた。また風による被害も台風の危険半円に入らなかつたため農作物の被害は殆んどなく主として風浪害が大部分を占めており本島の被害状況は次表の通りであつた。

佐渡支庁両津地区警察29日現在調

非在家被害	道路損傷	流 水	農作物被害	
			倒 伏	塩 害
6 戸	248 件	20 石	1840 町	170 町

5.3.9 関東地方

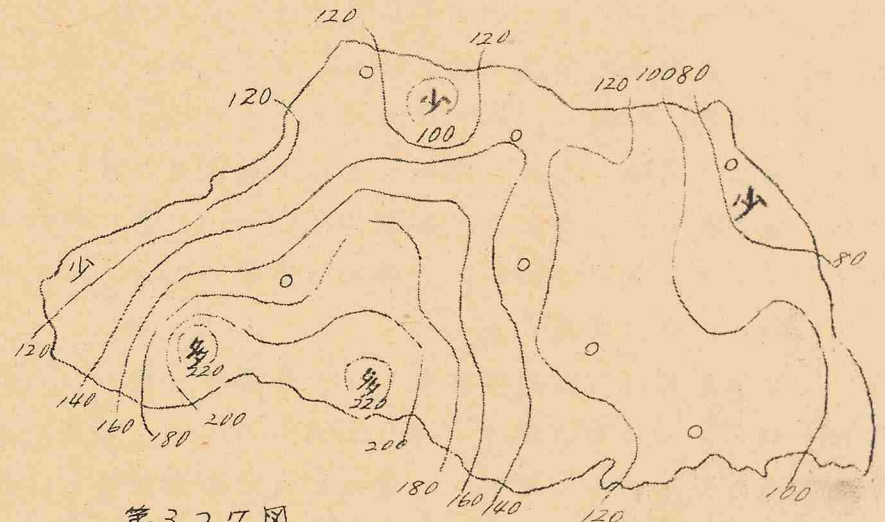
熊谷測候所報告

熊谷では23日7時12分から雨が降り始め、24日早朝には時々雨が強くなり、時には強雨となつたが、その後小雨が続き、24日夜半頃から本格的に強くなつた。25日9時頃から風向は東北東から東南東になり、風速は4~5 m/sec になつた。雨は10時から12時頃までが最も強く、11時に13.6mmの降雨があつた。14時45分に雨はいつたんやんだが、16時38分また降り始め17時22分に強雨になつた。18時には風速は10 m/sec に達し、暴風雨になつた。風向は南東から南南東となり、ますます強く、21時40分瞬間最大26.5 m/sec を観測した。雨は21時過急に弱まり、21時05分全くやんだ。気圧は23時16分に最低980.6mbを示してその後上昇に転じ、風も23時過ぎより弱まり、26日1時には2.5 m/sec になつた。この頃から雲は曇らぎ1時30分には上層雲を

通して明るい月がみられるようになった。

縣下の降雨状況

県下における今回の降雨は23日早朝県南東部に始まり強雨域も次第に北西に移動し、24日までは県南東部に多く75mm内外の降雨があり、県北西部では20mmにも達しなかつた。24日9時から25日9時までには最多雨域は県の中央部に移り、越部川、入向川流域に多く、70mm内外で県東部は最も少く、栗橋付近では10mm内外であつた。25日9時頃から県南東部を除く県下一帯にわたり台風特有の驟雨が始まり秩父山系の榎川村では一時間雨量22.2mm(9時~10時)、名東村では18mmを観測した。南東部では前日同様、日中の降雨は非常に少なかつた。秩父山系の豪雨は正午頃から衰えたが三峯山村近では更に一段と雨勢を増し、1.5時から20時までの5時間に92.2mm(毎時平均18mm)を観測した。しかしこの雨は21時頃から急速に衰えて夜半に終息した。この日の雨量は三峯山の162.6mmが最も多く、県東部では10mmにみたない所もあつた。23日以来の総降水量は第3.27図の如く県南西部の山岳一帯に多く220mmを突破し、最も少なかつたのは栗橋町で80mmに満たなかつた。



第3.27図

埼玉縣総雨量分布図

9月22日~9月25日

単位 mm

暴風状況

風は県南東部で最も強く18 m/sec 内外で北西に行くにしたがつて弱く

なり、中央平野部では13 m/sec
内外、秩父盆地では10 m/sec 内外
であつた。なお最大風速の時刻は秩
父方面に始まり次に南東に移動し
て、26日1時頃には県下の強風は
ほとんど終つた。瞬間最大風速は秩
父では17時27分21.8 m/sec

地名	最大風速		時刻
	風速 m/s	風向	
栃木	4.0	NE	20時40分
秩父	11.8	ESE	17時40分
本庄	13.2	E	18時50分
熊谷	14.5	SSE	21時50分
大宮	17.4	SSE	22時00分

(東南東)、熊谷では21時40分に26.5 m/sec (南南東)であつた。

横浜測候所報告

23日前線活動の活発とともに横浜では早朝から雨が降り始め、風もや
ゝ強くなつた。23日夜半から24日早朝にかけては雨勢は一層強くなり
可成りの降水を観測した。一時間最大雨量30.5ミリを測り、その後は弱
まつて、小雨が断続する程度となつた。25日台風が室戸岬沖に接近する
頃から気圧は下降を始め、25日12時前、今までの北寄の風が南東に変
り、気温は6°C急昇し、風速も10 m/sec をこえるに至つた。風速は18
時以後急速に増大し強い雨が断続し始めた。19時風速は下降し、気圧は
下降が一時ゆるやかになつたが、再び気圧の急降とともに風速も増大した。
雨は21時25分にやみ、まもなく最低気圧98.55 mb (23時13分)
を観測し、またこの頃最大風速22.3 m/sec (22時35分)を観測した。
この頃から風向は南に順転し、気圧は上昇を始めたが、26日0時気圧が
やゝ下降するや風速も弱まつた。しかし間もなく気圧は上昇し、風速も増大
した。台風の遠ざかるにしたがつて風速は弱まり、4時以後は10 m/sec
以下となり、天気も曇曇となつた。9時には気圧は1001 mb で、風弱く
快晴となり、全く天気は回復した。

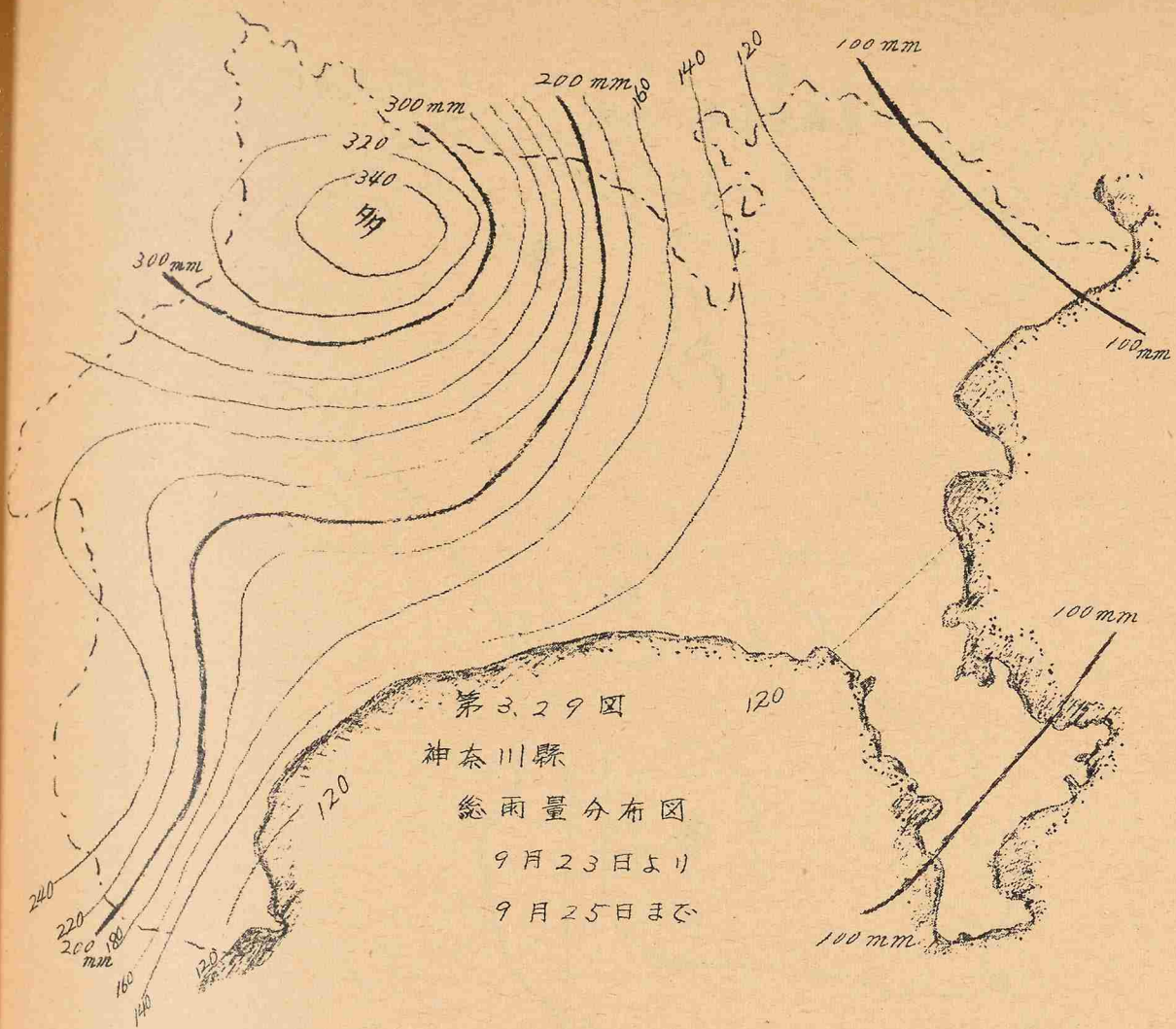
横浜港における高潮は、台風接近時には丁度落潮に変わり、最接近時の
夜半頃には干潮(26日00時55分)であつたため、高潮による被害は
割合に少なかつた。それでも夕刻から夜にかけての満潮時には相当の高潮
となり、防波堤をこえた風浪は岸壁に激突し、その波頭が陸上の一部建物
を洗う状態が工業地帯に続き、一時はかなりの被害も予想されたが、落潮
とともに次にその危険は減少した。台風のもたらした潮位の上昇は夜半
過ぎからで、3時頃にはその最高を示し、およそ1m 前後の上昇であつた。

塩風害、今回の台風は雨量が少く、塩風害が予想され、被害はキティ台
風の被害分布に似ており、被害は小さかつたが、その面積はかえつて大き
かつた。海岸地方ではしぶきにより直接被害のおよんだ地方もあつた。第
328図は被害分布図で影の部分には被害地を示す。塩風害は送電線に障害
をあたえ、高压罫子の絶縁低下に
よつて停電を起した。この現象は
珍しいものである。これらの被
害は特別高压線路に多く、15万
から6万ボルトに最も多く、3万
から1万ボルトでは少なかつた。
この事故は罫子に附着した塩分が
台風通過後の好天に洗われずに残
り、これが27日ごろからの天気
変化とともに吸湿し、28日、29日
未明の雨で短絡等の事故が発生し、送電を中止し、罫子洗浄をせざるを得
ないようになつたもので、東京電力神奈川支店工務課調べによると、全県
下の特別高压線路に被害が及んでいるとのことであつた。



東京管区气象台

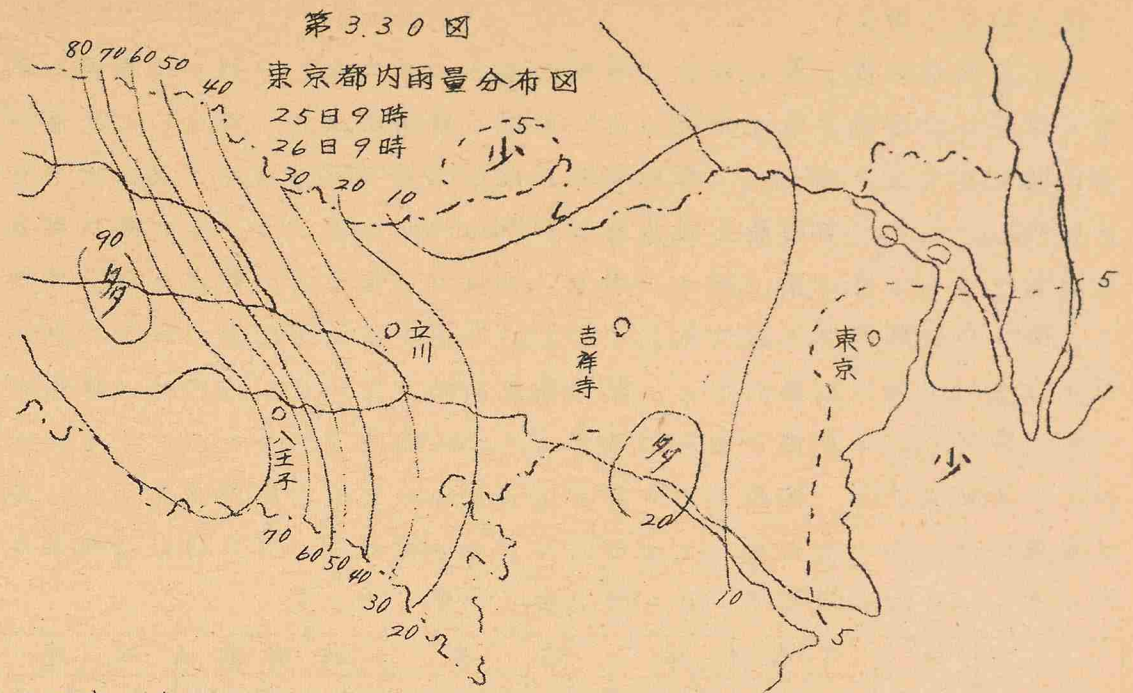
23日は全般的に雨で東京地方では23日2時頃から雨が降り始め、終
日降り続いた。24日も前日未の雨が降り続き、23日24日の雨日の総
降水量は90.9 mm となつた。台風が志摩半島を横断している頃、東京地
方では南東の風が10 m/sec をこえ、雨も強く降り出した。16時には東
京地方に暴風雨高潮警報が発表された。22時前後は、東京地方の風雨が
最も強く、21時40分には、最大風速南の19.9 m/sec、21時36分
には、瞬間最大風速南の35.4 m/sec の風が吹き、22時47分には数寄
屋橋ビル屋上の『味の素』の鉄骨大広告塔(重量1500貫)が根本から折
られ真逆さまに都電通りに落とされた。23時19分には最低気圧984.6
mb を観測した。26日の東京は早朝から台風一過の素晴らしい秋晴れとな
り、この日の最高気温は31.9度(C)で平年より7.9度も高かつた。この
間台風による雨量は少く、25日の雨量は4.1 mm であつた。



第3.29図
神奈川県
総雨量分布図
9月23日より
9月25日まで

大島測候所報告

台風の接近にともない本州南岸にあつた不連続線は北上し、当地方は暖気の中にあつたせいか、降水量は少く、台風の直接影響による総降水量はわずか15.7mmで、時々どどと降る程度であつた。風は25日8時から10m/secをこえ、測候所としても強いと感ぜられるようになったのは、11時頃からで、台風が朝岬南西100Kmに達したころからであつた。台風は中部山岳地帯を通り、北陸に向つたが、風力はおとろえるどころかますます強くなり、22時40分頃最大風速南西の30.3m/secを観測し、26日5時にようやく20m/sec以下となつた。



第3.30図
東京都内雨量分布図
25日9時
26日9時

第3.7表 東京都内各観測所付近の災害表

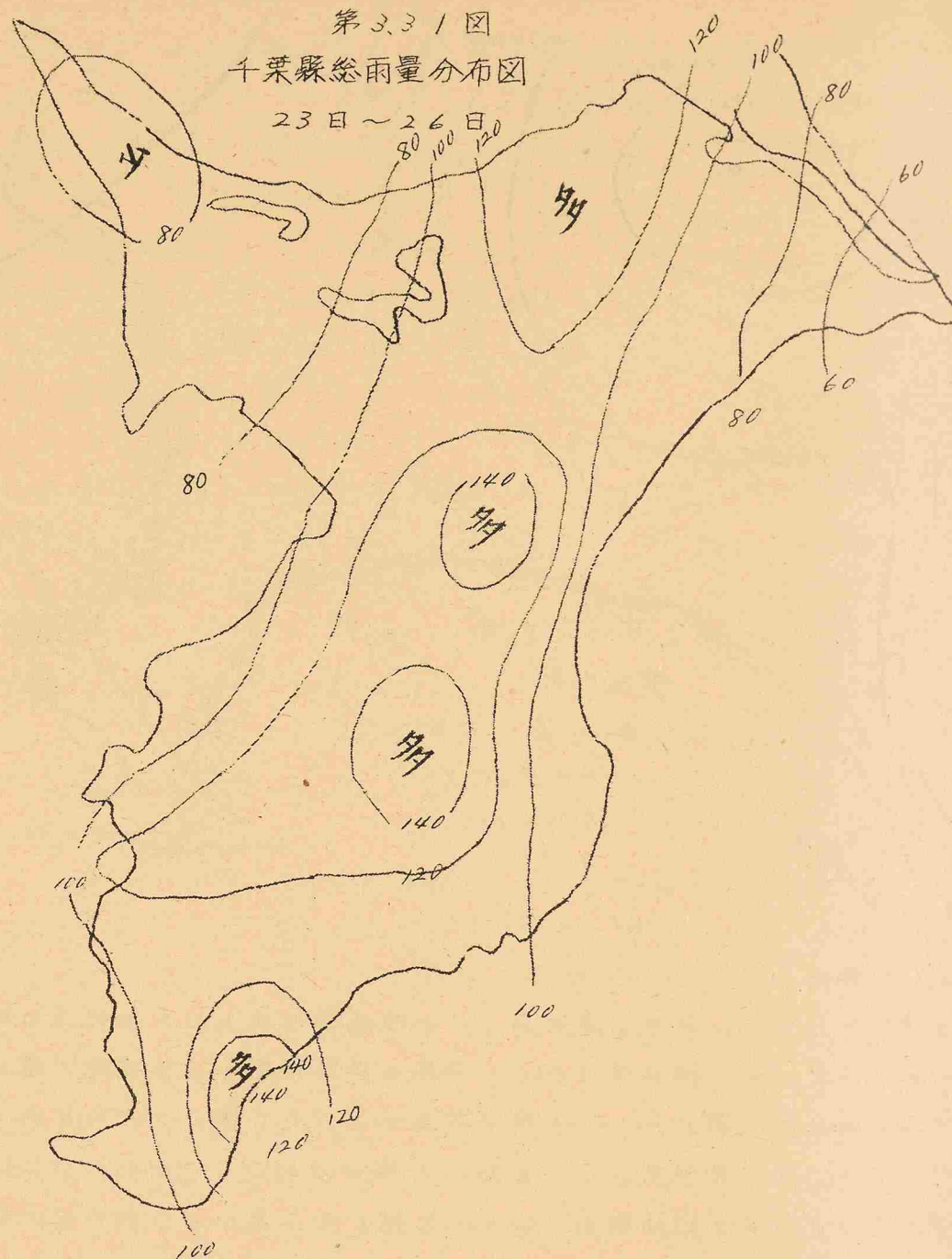
場所	被害農作物の種類	被害の程度	家屋等の被害その他	気象の記事	その他の記事
吉祥寺	柿、栗	小	電柱折損 22本 傾斜 8本	最大風速 19.3 m/s 23日-26日の雨量 123.7 mm	フタバナス等の落果樹は前半部の葉が殆んど枯れ去つた。
府中	水稻、柿、ハケン、ウド、タケノコ	小	家屋に若干の被害	最大風力は8	樹木倒伏あり
町田	無し	—	無し	最大風力は7	稲が倒れた
立川	大根、白菜	小	家屋の倒壊若干	最大風速は25 m/s	—
羽村	水稻、陸稻、とうもろこし	小	屋根はがさる	最大風力は10	樹木の被害は数十本
五日市	水稻、陸稻、粟、きび	小	倉庫屋根とぶ	最大風力は10	—
小沢	きび	小	無し	最大風速 10-15 m/s	—
高砂	稻、野菜	小	塀が倒れた程度	最大風力は9	稲が倒れた
足立	水稻、野菜	中	屋根塀の破損	最大風速 20-25 m/s	—
深川	無し	—	江東区曹住町停電 道路浸水深さ 50cm以上	最大風力は9	潮風の為 風力計錆びつく
村山	無し	—	—	最大風力は10	樹木若干倒る
赤塚	無し	—	無し	最大風力は6	—
八王子	栗、柿	中	無し	最大風力は10	—
大泉	水稻、陸稻、大根、人参	大	煙突、立木、塀の倒れたものあり	最大風力は9	—
浅川	水稻、陸稻	中	—	最大風速は18 m/s (S.E.)	—
世田谷	水稻、陸稻、大根、白菜、茄子	中	—	最大風力は9	—
新島	陸稻5段歩被害 作村面積の15%	小	貨物用棧橋流失 各用棧橋半壊	最大風速 23.5 m/s	—

銚子測候所報告

25日朝から蒸し暑く時々、驟雨性の雨があつた。夕刻から南東の風が強くなった。台風が最も接近した26日の時前後には、南ないし南西の風が内陸地方で20 m/sec、瞬間最大風速は25 m/sec 内外、海岸地方では25 m/sec 内外、瞬間最大風速は35 m/sec内外に達した。その後台風の遠ざかるにつれて風は西に廻り、明方には風速も衰えた。総雨量は比較的少く、降り方は驟雨性であつた。しかし台風が本邦はるか南の洋上にあつた23日は、前線の活動により一般に関東南部では100 mm内外の降雨があつた。県下では北東部の海岸地方で20 mm内外であつたが、中部以西では50 mmをこえ、県南部や中部では100 mmに近い降雨があつた。本県は強風域外にあつたため、24日は50 mm程度で、25日には雨のやみ間が多く10 mm前後で、26日は全く回復した。

	最低気圧		最大風速		瞬間最大風速	
	ミリバール	日時分	風向 風速	日時分	風向 風速	日時分
銚子	987.6	26.00.23	SSW 23.2 ^{m/s}	26.00.10	SSW 30.1 ^{m/s}	25.23.45
富崎	990.3	25.21.36	SW 27.8	25.21.47	SW 36.4	25.21.58
勝浦	989.6	26.00.35	SW 27.0	25.23.00	SW 33.5	26.01.20
布佐	984.1	26.00.50	SW 18.7	26.00.00	SW 29.1	26.00.13
柏	985.0	25.23.55	S 17.1	25.23.00	S 24.7	25.23.05

第331図
千葉県総雨量分布図



富崎測候所報告

千葉県南部では25日早朝台風が四國に近づてからの前線による雨が一時止んで晴間が出たが、午後から時々弱い霖雨が降り、15時頃風向が南東から南々東に変わり、次第に順転し、南西に転じた。風力は17時頃から次

第に増大し、18時には烈風となり、台風が飯田市付近から高田市東方にぬけるまでの向が最も強かつた。21時38分、瞬間最大風速36.4 m/sec、21時47分には最大風速南西の27.8 m/secを観測した。鎭山では23時50分最大風速南南西17.1 m/sec、26日00時03分瞬間最大風速南南西21.6 m/secを観測した。その後は風勢は衰え、26日9時には全く平常になつた。雨は不連続線によるものが82.8 mmで暴風期間中の雨はわずかに7.8 mmであつた。被害は農作物以外は余り大きくなかつた。

水戸測候所報告

本県では幸いに雨量少く、水戸では総降水量は80.4 mm(23日08時より25日23時15分まで)であつた。風は25日午後から東の風が次第に強くなり、風向が南となつた19時頃から強風となり、26日未明まで続いた。

	最低気圧		最大風速		瞬間最大風速			総降水量 m.m
	mb	日時分	風向 風速	日時分	風向 風速	日時分		
水戸	981.5	26.01.00	SW 18.4	26.01.00	SW 25.9	25.23.23	80.4	
湊	985.6	26.00.50	SE 21.3	25.21.12	—	—	128.1	
日立	—	—	SW 18.4	26.00.50	—	—	94.7	
神峯山	—	—	SSW 24.4	26.00.00	S 30.7	25.21.30	—	
筑波山	887.5	25.23.58	SE 23.8	25.10.00	SSE 35.2	25.18.23	20.4	

筑波山測候所報告

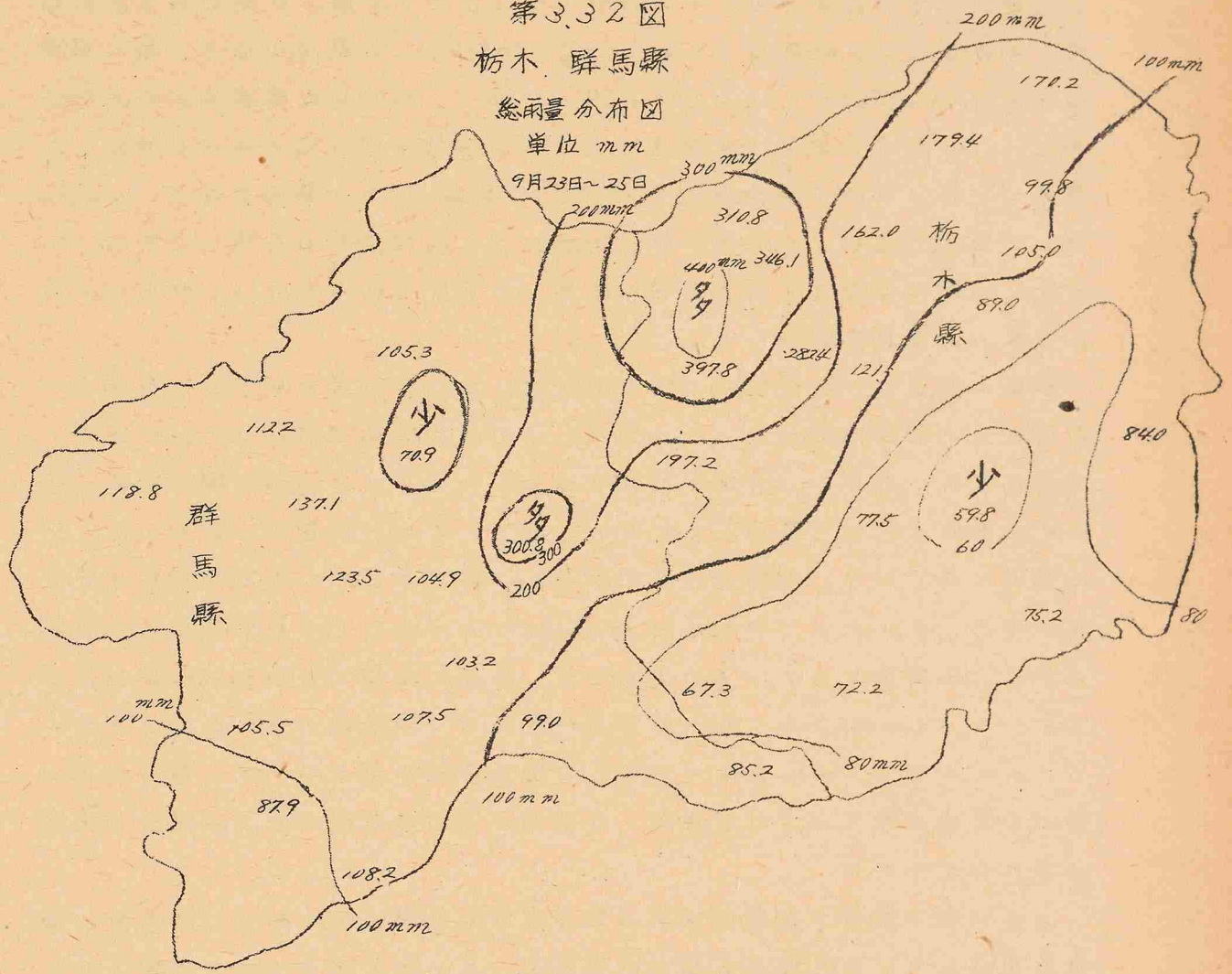
24日24時頃から気圧が次第に降り始め、25日20時20分頃までさがり続き、その約20分後、急速に上昇し再び下降し、変動多いうちに23時58分最低を記録した。風速は20時20分気圧上昇と同時に急速に10 m/sec位弱くなり、その後再び強くなつた。気温は大體変化無かつた。

宇都宮測候所報告

宇都宮では温暖前線が北上通過した18時頃から生温い南の強風が強くなり始め、雨も午後8時頃から本降りとなつて、10時過ぎには平均最大17 m/secの暴風となり、11時15分には瞬間最大風速21.2 m/secの最強風速を観測した。22時頃を峠として風も雨も急に衰え始め、1時過ぎには巻層雲を通して月影が見えるようになった。一方山岳地方でも夕刻前後台風前面の温暖前線の北上により、中宮詞では5時から10時までの

5時間に170 mmの豪雨が降り、23日、降り始めてから25日午前1時まで合計398 mmであつた。日光町では268 mm、足尾では201 mm、宇都宮では57 mmの総降水量を観測した。豪雨域は日光山塊に限られ、これより北東山系(塩原、那須等)にはおよばなかつた。しかし日光方面の豪雨も極く局部的であつたため、全面積にわたつた平均雨量としては、キティ台風に及ばなかつた。そのため特に洪水は起らなかつた。平地雨量は予想通り100 mm以下であつたため小河川は洪水からまぬかれた。

第3.32図
栃木、群馬縣
総雨量分布図
単位 mm
9月23日~25日



§3.10 東北地方の気象状況

仙台管区气象台報告

台風はかなり衰弱しながら東北地方を縦断したので、その勢力は弱く、

被害も予想より少なかった。

台風は26日0時過ぎに新潟県より入り、福島、山形、宮城の県境付近を通り、盛岡の南を通って、宮古と八戸の中間より太平洋に出た。この間各地の風は台風が通過した経路に近い山形、若松、盛岡等内陸地方で弱く、小名浜、酒田、石巻、八戸、青森等海岸地方で強かった。しかし宮古は中心に近かったにもかかわらず、最大風速では東北地方で最も弱く、 10.8 m/sec で、 10 m/sec 以上の暴風を観測したのは26日03時40分からわずか10分間にすぎなかった。一方八戸では25日18時20分から26日15時50分まで20時間以上にわたって 10 m/sec の暴風が吹き、最大風速は北東の 19.1 m/sec (26日01時00分)、瞬間最大風速は北西の 23.7 m/sec (26日07時08分)であった。酒田では台風が通過した後の26日04時50分頃より突然 20 m/sec 以上の暴風となり、 10 m/sec 以上の風は26日20時40分まで続いた。大体経路の右側では東ないし南寄りの最大風速を台風接近中に観測し、左側では北東ないし西寄りの風を台風通過後に観測した。

今回の雨は23日午後から降り始めた。23日は東北地方では南部の小名浜村近の海岸地域は 50 mm 前後、その他の南部地域は 20 mm 内外で、中部の秋田、盛岡、八戸地方は割合多く、 $40 \sim 50 \text{ mm}$ を観測した。24日には雨はほとんど各地とも小降りとなり、各地の雨量は少なかった。25日は再び強くなり、福島の内陸部が多く、特に中部の山岳地帯が最も多く、板谷では 182 mm 、二本松では 186 mm であった。その他宮城県北西部が多く、小野田では 121 mm であった。中部、北部の日本海側は割合に少く $30 \sim 40 \text{ mm}$ であった。岩手県北部より、青森県の東部にかけて多く、 70 mm から 90 mm となっていた。降水量は予想より少く、各大河川の増水も警戒水位すれすれ程度か、またはその水位を幾分かこえた程度で大害に至らなかった。

26日朝4時03分頃宮城県の海岸地方は高潮におそわれ、相当数の浸水家屋が出た。また塩釜方面では道路上一尺の水におおわれたが間もなく減水した。

この頃は三陸海上に多数のサンマ漁の船が出ていたが、早くから警戒をうながしたので、遭難船皆無という好成績をあげた。

青森測候所報告

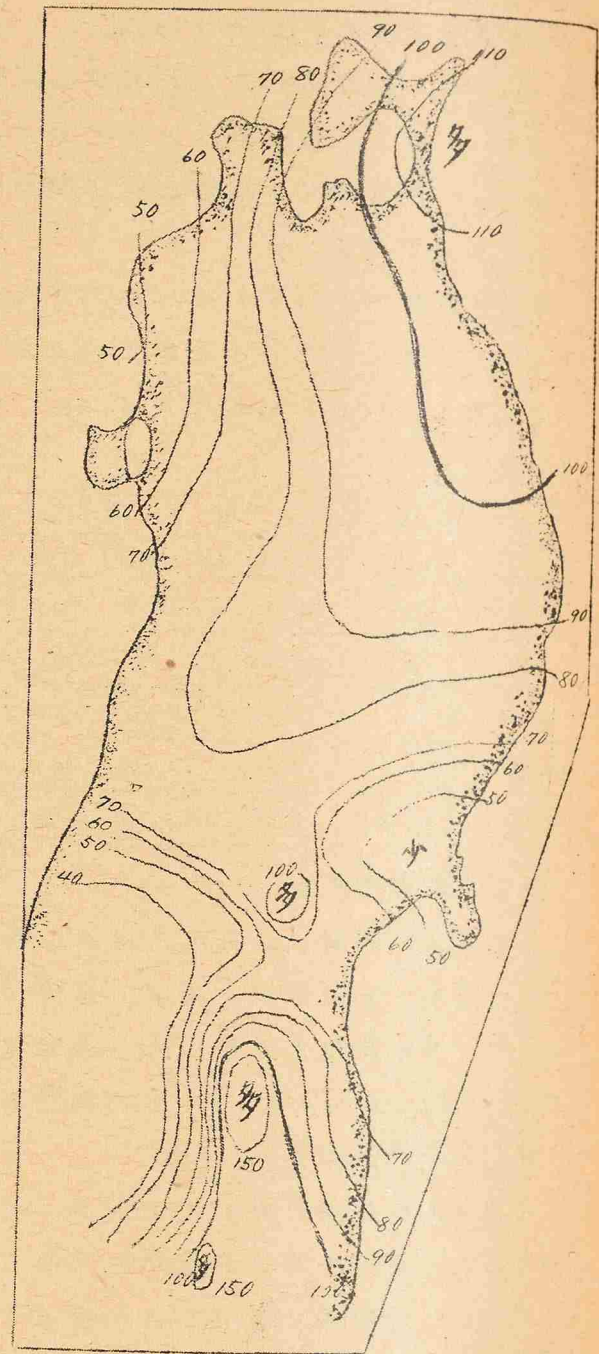
青森県では総額約6億円におよぶ被害を受けたが、その反面下北半島では風浪によつて約300万円におよぶ昆布が打揚げられ思わぬ収穫をあげた。

青森県地方では23日15時頃から24日10時頃まで、全般に $10 \sim 30 \text{ mm}$ 内外の降雨があつた。直接台風による降雨は25日15時頃からである。暴風は24日11時頃から始まり他地方に比べて、早やかつたのは北高南低型の気圧配置にともなう当地方の地形的影響によるもので、当地の東風は敏感であつた。25日21時頃から風雨強くなり、26日3時50分には暴風雨警報が出された。台風が宮古北方から太平洋に出からは、風向は北東から北西に変わり、青森では26日4時00分北東の 19.6 m/sec の最大風速を観測した。7時頃からは風雨は急速に弱まり、9時は警戒は解除され、強風注意報に切替えられた。

5.3.11 北海道地方

台風は26日6時に三陸沖に出てから北海道南方海上を北東に進み、15時にはほとんど根室の真上を通過したので、北海道では26日には各地ともかなり風が強くなった。根室、寿都では最大風速 20 m/sec 近くまでなつたが、札幌、帯広、旭川

第3.3.3図
東北地方
総雨量分布図 (mm)



等の内陸部ではやつと 10 m/sec をこえた程度で、内陸部は風弱く、海岸地方が強かつた。しかし海岸地方でも函館、森、小樽等は風が弱かつた。最大風速の最も大きかつたのは寿都の 19.9 m/sec (北北西、26日17時10分)、根室の 19.6 m/sec (東北東、26日09時30分)、浦河の 19.1 m/sec (北西、26日15時10分)、苫小牧の 18.8 m/sec (北北西、26日08時00分)等であつた。根室と苫小牧は台風の前線で、寿都、浦河は台風の後面で、最大風速を示していた。その他の地方は大体 15 m/sec 前後であつた。瞬間最大風速では根室の 26.4 m/sec (東北東、26日09時47分)が最も強く、その他苫小牧の 25.1 m/sec (北北西、26日07時23分)、寿都の 23.2 m/sec (北北西の26日15時50分)が強い方で、その他は $15\sim 20\text{ m/sec}$ 前後であつた。暴風の経続時間は一般には短い所が多かつたが、苫小牧、浦河等では台風がまだ東北地方にあつた頃から 10 m/sec 以上の風が吹き始め、24時間以上にわたつて吹き続いた。

函館では26日08時50分頃から2時間ぐらいだけ、 10 m/sec 以上の暴風を観測したにすぎず、台風が最も接近した頃は $4\sim 5\text{ m/sec}$ 位の風であつた。森では6時と15時頃、札幌では15時だけ 10 m/sec 以上の風になつたが、その他の時間は 10 m/sec 以下であつた。釧路は台風を中心に近かつたにもかかわらず風は弱く 10 m/sec 以上の風を観測したのは毎時の観測では8、9、12、13時だけで、最大風速も 14.4 m/sec にすぎなかつた。根室では26日01時50分頃から風が強くなり、9時30分には 19.6 m/sec の最大風速を観測した。その後13時頃より急に風が弱くなり、台風が最も接近した15時にはわずか 3.0 m/sec であつた。北見枝幸では26日3時から27日3時まで24時間にわたつて 10 m/sec 以上の風が吹いたが、最大風速は北北東の 15.2 m/sec (26日16時20分)であつた。雄武では25日15時20分から27日05時30分まで約40時間位 10 m/sec 以上の風が吹き続いた。

台風による直接の雨は大体25日夕刻頃から始まり、同日21時には北部を除いてほとんど降雨域に入つた。降雨の強くなつたのは26日未明で特に南西部が強かつた。26日10時頃には強雨域は太平洋側の東部およびオホーツク海側に移つた。しかしこの頃には渡島半島の一部では晴天が出て、雨も断続的となつてきた。このようにして太平洋側の地方は26日

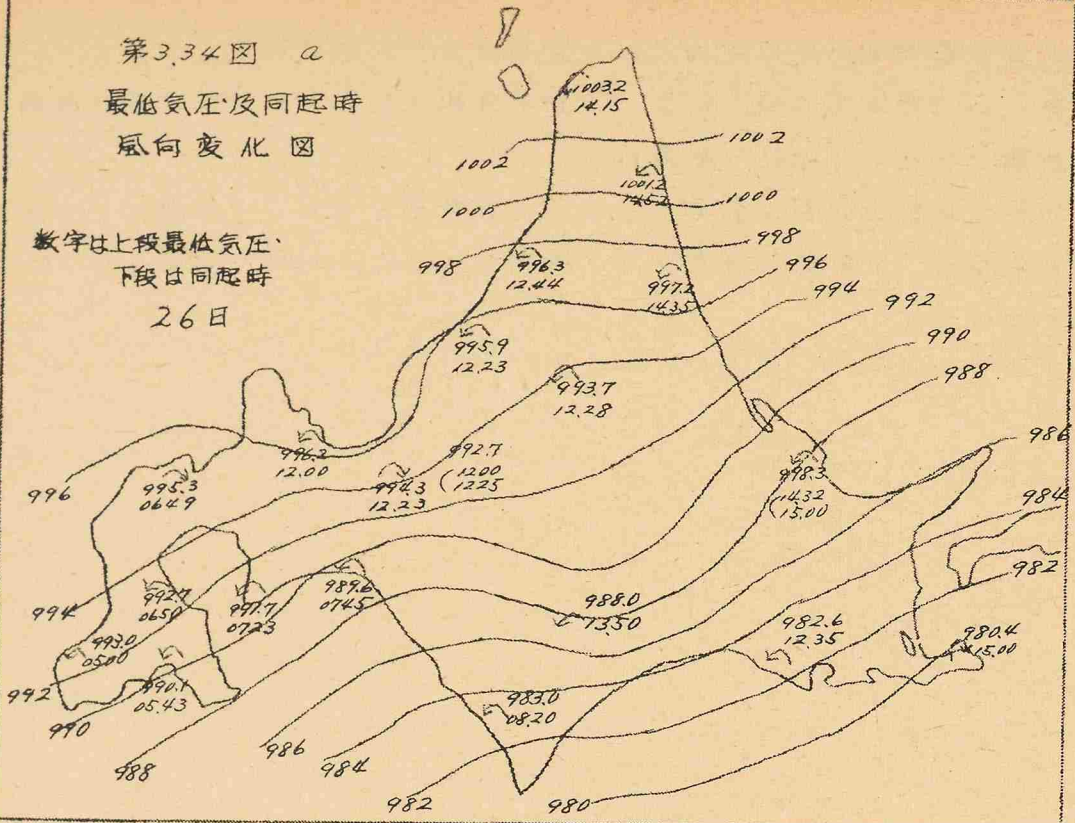
夕方までに東部をのぞいてほとんど雨はやみ、天気は回復してきなが、26日夜半からは寒気団の侵入により、太平洋側の地方をのぞいて時々戯雨がある状態となり、27日一杯続いた。

総降水量では札幌、森、釧路が 100 mm を突破したが、その他は 100 mm 以下であつた。北部は雨量少く、稚内では 24.1 mm 、羽幌では 24.3 mm であつた。

第3.34図 a

最低気圧及同起時
風向変化図

数字は上段最低気圧
下段は同起時
26日

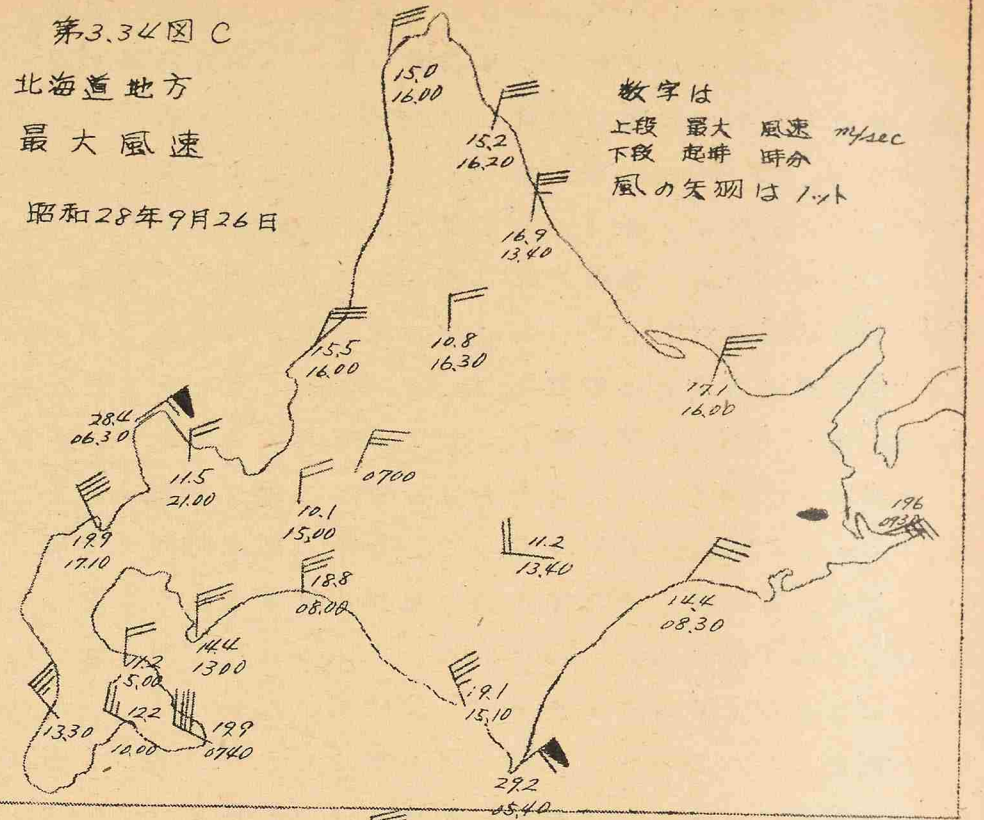


第3.34図 C

北海道地方
最大風速

昭和28年9月26日

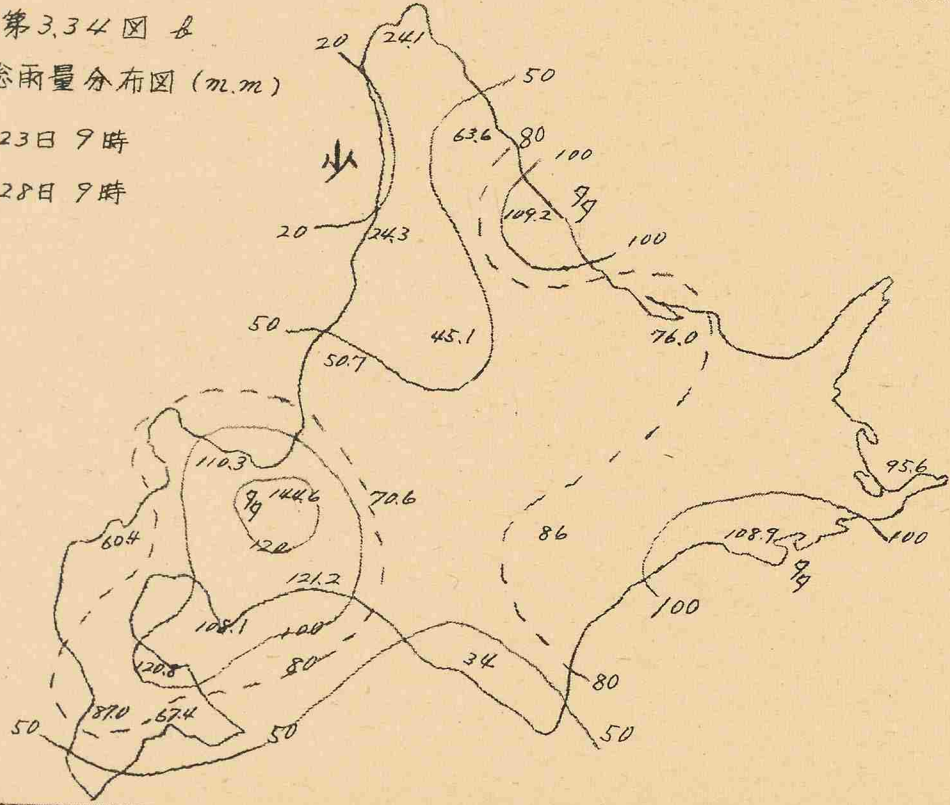
数字は
上段 最大風速 m/sec
下段 起時 時分
風の矢羽は1/10



第3.34図 b

総雨量分布図 (mm)

自 23日 9時
至 28日 9時

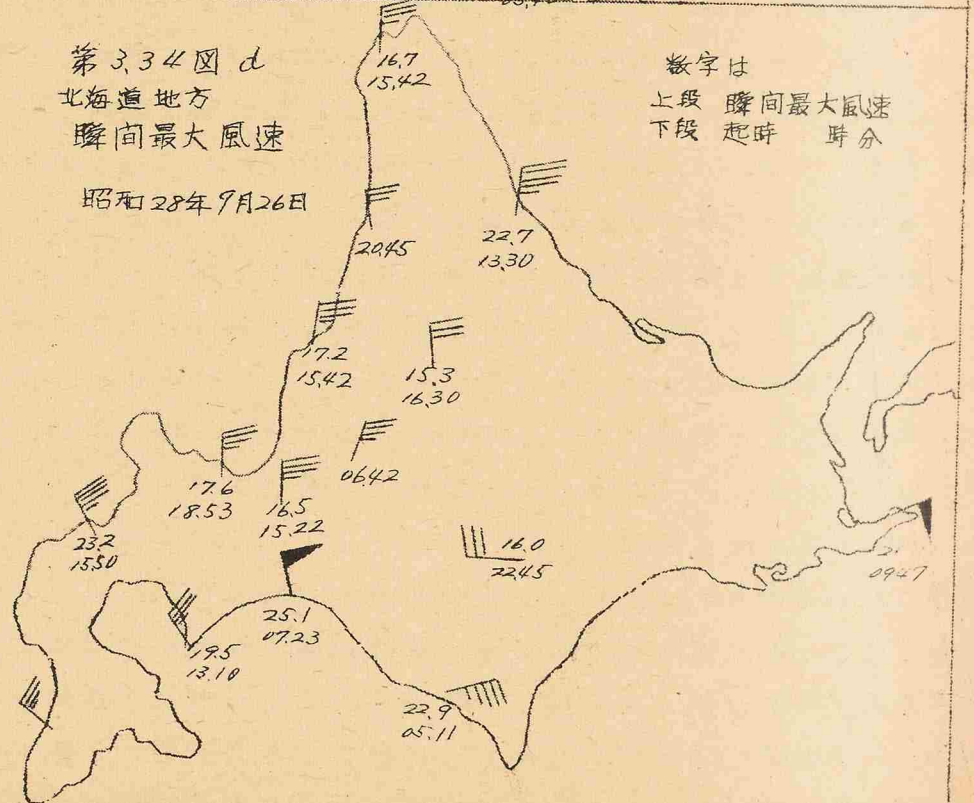


第3.34図 d

北海道地方
瞬間最大風速

昭和28年9月26日

数字は
上段 瞬間最大風速
下段 起時 時分



第 4 章 暴 風 状 況

各地の暴風状況

オ4、2表は全国の気象官署の観測記録で、オ4、3表は灯台の観測記録である。各要素別に図示するとオ4、1図～オ4、4図に示す通りである。

最も気圧の低かつたのは潮岬の 947.9 m (14時44分)であつた。この値はオ4、4表にみられるように過去の台風とくらべてみると、聖ヤ、枕崎、アイルス台風の際に観測された最低気圧に次ぐ値を示し、

キチイ、ジエーン、キジア台風よりも低い値を示しており、如何に勢力の大きい台風であつたかわかる。潮岬について最低気圧が低かつたのは大王崎 953.1 m 、尾鷲 953.3 m 、伊良湖 957.1 m で、こゝらは 950.0 m 台で、津 964.6 m 、龜山 969.1 m は 960.0 m 台を示し、その他は皆 970.0 m 以上であつた。(オ4、1図、オ4、2図)

風についてはオ4、3図によると台風進路の右側の最大風速は南寄りの風で、左側は北寄りとはつきりわかれている。一般に右側の方が風速は強かつたが、左側のうち紀伊水道から淡路島、阪神、舞鶴地方に通ずる風の強い地帯があつた。これは更に能登半島中部を至て佐渡が島から、酒田の方に向つていた。このことは瞬間最大風速についても同様のことが言える。この他津山では左側のため非常に強い風が吹き、ここだけは右側の強い所が出現してゐた。こゝら、台風進路の左側の強い風の吹いた所では台風通過前に最大風速を観測してゐた。

最も風の強かつた所は10分間平均最大風速では洲本の 37.0 m/sec で、次は大王崎の 34.1 m/sec 、長津呂 32.9 m/sec 、御前崎の 31.6 m/sec 等で、その他 30 m/sec を突破したのは大島と伊良湖であつた。瞬間最大風速では大王崎の 45.0 m/sec が最も強く、長津呂 43.2 m/sec 、洲本 42.3 m/sec 、潮岬 41.7 m/sec 、舞鶴 40.6 m/sec 、津山 41.7 m/sec 、神戸 40.0 m/sec 等が強い方であつた。

つぎに山岳官署の観測ではオ4、5表に示されるように最大風速では

士山の 47.5 m/sec が最も強く、剣山では 35.3 m/sec 、伊吹山では 34.0 m/sec であつた。また伊吹山の瞬間最大風速は 47.0 m/sec であつた。その他の観測所からは報告がなかつた。

なお台風の進路に近かつた所でも地形等の影響により非常に風の弱い所があつた。例えば中部地方の内陸部では風が弱く、殊に台風進路の左側にあたる高山、高田、松本等は弱かつた。松本では瞬間最大風速でも、 13.2 m/sec にすぎず、高山、高田では最大風速は 10 m/sec 以下であつた。長野ではごく短時間強い風が吹いたにすぎなかつた。飯田では最大風速は 13.2 m/sec にすぎないが風向計がぐるぐると回転してゐた。その他風の弱い所は四国の高松と穴吹付近で、これは地形の影響によるものと思われるが、最大風速が剣山では 35.3 m/sec 、徳島は 22.5 m/sec であつたにもかかわらず穴吹ではわずか 5.5 m/sec で、高松は 9.8 m/sec であつた。次に各地域別の暴風状況を第4.1表に示す。

第4.1表 各地域別暴風状況表

地域	最大風速		瞬間最大風速	
	風速	特に強かつた所	風速	特に強かつた所
九州	南部	15%前後 油津18.4% 枕崎18.8%	20%前後 油津30.1% 枕崎24.2%	
	中部	10%前後 大分12.2	15%前後 牛深16.9 大分16.8	
	北部	15%前後 福岡19.4 平戸18.7	20%前後 福岡23.7 平戸21.7	
四国	南部	20%前後 室戸岬27.7 指毛21.4	30%前後 室戸岬39.6 指毛33.6	
	中部 北部	10~15% 徳島22.5 佐田岬29.5	15~20% 徳島31.2 佐田岬32.9	
中国	全域	10~15% 津山27.1 広島18.4	20%前後 津山41.9 広島26.2	
近畿	北部	15%前後 舞鶴25.5 茨根21.0	25%前後 舞鶴40.6 茨根29.0	
	阪神	25%前後 洲本37.0 神戸26.8	40%前後 洲本42.3 神戸40.0	
	南部	25%前後 潮岬29.1 和歌山26.2	40%前後 潮岬41.7 和歌山37.0	
畿中	中部	20%前後 奈良21.4 大阪22.0	25~30% 奈良29.7 京都25.9	
	東海	20~25% 御前崎31.6 伊良湖30.0	30%以上 御前崎38.9 伊良湖39.9	
中部地方	中部	10~15% 長野18.4 甲府18.2	15%前後 諏訪23.8 長野21.5	
	北陸	15%前後 伏木21.1 富山21.2	25%前後 伏木28.0 福井27.3	
関東	豆南諸島	20%前後 大島30.3 新島23.5	35%前後 大島38.9 新島35.7	
	南部	20~25%前後 富崎27.8 勝浦27.0	35%前後 富崎36.4 東京35.4	
東部	北部	15%前後 布佐18.7 水戸18.4	20~25% 水戸25.9 前橋29.2	
	中部	15%前後 酒田20.4 石巻18.0	20%前後 石巻24.0 酒田23.6	
北海道	北部	15~20% 青森19.6 八戸19.1	20%前後 青森24.4 八戸23.7	
	南部	15~20% 浦河19.1 根室19.6	25%前後 根室26.4 浦河22.9	
北海道	中部	10%前後 帯広11.2 旭川10.8	15%前後 帯広16.0 旭川15.3	
	北部	15%前後 雄武16.9 網走17.1	20%前後 雄武22.7 稚内16.7	

風速の単位は m/sec

第4.2表 台風13号の各地の暴風観測表

観測所	最低気圧		最大風速		瞬間最大風速		順数	暴風吹始		暴風吹終	
	hPa	日時分	方向	風速	日時分	方向		風速	日時分	方向	風速
尾久島	992.0	25.03.45	ENE	17.3	24.21.00	ENE	24.0	24.20.57	逆	-	-
種子島	990.2	25.03.53	NNW	18.5	25.14.30	ENE	20.7	24.23.23	逆	23.23.00	25.02.00
枕崎	990.9	25.04.36	NNW	18.8	25.09.30	NNW	24.2	25.05.51	逆	24.13.00	25.22.00
鹿児島	991.3	25.04.06	NW	13.5	25.04.02	NW	18.4	25.04.00	逆	25.01.10	25.20.10
都城	991.4	25.04.50	N	10.1	25.10.40	N	13.7	25.10.14	-	25.01.20	25.10.40
油津	988.6	25.04.04	N	18.4	25.03.30	NNE	30.1	25.02.32	逆	24.16.20	24.23.20
高崎	989.7	25.04.21	NNE	13.0	25.01.40	N	19.4	25.01.40	逆	24.15.70	25.05.40
阿久根	994.4	25.04.54	N	14.0	25.12.34	N	17.6	25.06.12	逆	25.00.00	25.02.00
牛深	995.2	25.03.57	NNE	12.0	25.00.20	N	16.9	25.04.09	逆	24.10.25	25.15.30
人吉	992.3	25.04.26	WNW	9.8	25.04.20	WNW	11.7	25.03.49	-	24.20.10	25.04.30
阿蘇山	882.1	25.04.29	NE	21.4	25.04.19	NE	26.3	25.04.17	逆	-	-
熊本	995.5	25.04.00	NNW	9.4	25.09.00	NNW	12.0	25.09.00	-	24.10.00	25.22.10
温泉岳	882.6	25.09.53	NNE	25.9	25.09.00	NNE	35.0	25.09.20	逆	-	-
長崎	997.6	25.05.00	NNE	11.7	25.12.10	NNE	13.1	25.12.13	逆	24.06.50	26.02.20
佐世保	999.2	25.04.29	NE	13.5	25.02.05	NNE	19.5	25.07.40	逆	24.13.20	25.17.09
豊江	1000.7	25.05.00	NNE	13.2	25.01.00	NNE	18.4	25.04.30	逆	24.21.10	25.09.40
平戸	1000.0	25.04.15	NNE	18.7	25.13.50	NNE	21.7	25.13.40	逆	24.09.00	25.13.00
原	1003.0	25.14.02	N	10.8	25.00.45	N	15.0	25.09.20	-	24.05.00	25.20.10
佐賀	997.6	25.05.34	N	12.0	25.11.20	N	18.8	25.13.30	逆	-	-
福岡	998.8	25.04.32	N	19.4	25.11.45	N	23.7	25.11.34	逆	25.09.30	25.13.30
飯塚	998.1	25.11.50	N	9.8	25.13.40	N	19.1	25.11.47	逆	25.00.50	25.21.50
日田	997.6	25.07.13	E	7.3	24.23.20	E	11.6	24.23.15	逆	-	-
大分	994.3	25.11.57	NW	12.2	25.15.30	NW	16.8	25.15.09	逆	-	-
防府	998.0	25.11.02	NNW	10.8	25.16.20	NNW	17.0	25.16.59	逆	25.11.40	25.17.00
萩	994.8	25.11.57	N	10.5	25.12.50	N	17.8	25.13.52	逆	25.15.50	25.16.30
萩	997.6	25.14.00	NW	13.0	25.16.00	NW	20.5	25.14.10	逆	25.12.00	25.12.50
羊和島	988.6	25.11.52	NNW	12.2	25.16.30	NW	15.7	25.13.28	逆	25.09.00	25.18.20
指毛	985.2	25.12.20	NNW	21.4	25.08.40	NNW	33.6	25.08.30	逆	25.16.30	25.19.30
足摺	982.9	25.11.23	NW	13.5	25.08.10	NNE	24.3	24.23.45	逆	25.05.30	25.16.30
清水	983.6	25.12.30	NE	12.2	24.23.40	-	-	-	逆	24.13.50	25.15.30
高知	998.9	25.12.45	N	21.0	25.12.40	N	32.3	25.12.30	逆	24.23.30	25.10.50
室戸岬	994.8	25.11.15	NE	27.7	25.09.40	NE	39.6	25.10.29	逆	25.08.00	25.14.20
剣山	766.3	25.14.22	NNW	35.3	25.14.30	-	-	-	逆	24.20.00	25.19.00
尤吹	988.4	25.14.22	WSW	5.5	25.14.40	WSW	16.6	25.14.40	-	-	-
徳島	983.4	25.14.15	NW	22.5	25.12.30	NW	2	25.12.10	逆	-	-
高松	989.1	25.15.40	NW	9.8	25.19.30	NE	12.9	25.19.10	逆	25.10.30	25.15.10
身度津	990.4	25.15.42	NW	14.7	25.17.30	N	19.1	25.17.51	逆	-	-
松山	991.0	25.13.17	E	12.7	25.07.10	NE	19.5	25.11.38	逆	25.09.00	26.01.10
広島	990.5	25.14.00	N	18.4	25.15.07	N	26.2	25.14.50	逆	25.05.00	25.10.10
呉	991.7	25.14.25	NE	11.3	25.07.15	NE	17.4	25.07.00	逆	25.09.25	25.18.50
松永	990.0	25.14.22	NNE	7.8	25.07.40	NNE	12.6	25.07.39	逆	25.07.15	25.07.15
岡山	987.3	25.14.23	ENE	14.5	25.13.30	NNW	22.4	25.13.15	逆	-	-

観測所	最低気圧		最大風速			瞬間最大風速			順数	暴風吹始め		暴風吹終
	シバル	日時分	風向	風速	日時分	風向	風速	日時分		逆数	日時分	
津山	987.0	25.14.20	NNW	27.1	25.14.11	NNW	41.9	25.14.07	逆	25.12.25	25.17.25	
茨田	996.7	25.13.40	NNE	14.9	25.17.00	NNE	21.5	25.16.23	逆	25.12.00	25.19.00	
西郷	997.3	25.15.22	NE	16.1	25.10.43	NE	21.1	25.11.59	逆	25.03.50	25.17.10	
松江	996.4	25.15.00	NE	11.5	25.08.20	NE	15.4	25.05.29	逆	25.08.00	25.08.20	
鹿	995.4	25.15.14	NNE	13.0	25.15.10	NNE	18.5	25.11.40	逆	25.12.40	25.15.20	
米子	995.0	25.15.16	NE	14.4	25.08.00	ENE	24.9	25.07.20	逆	24.11.50	25.19.30	
鳥取	994.4	25.16.15	NE	11.8	25.16.30	NE	20.2	25.16.21	逆	25.15.40	25.16.30	
豊岡	992.4	25.16.19	N	11.5	25.16.00	N	16.5	25.15.56	逆	25.15.30	25.23.00	
姫路	984.5	25.16.00	NNE	16.0	25.12.00	NE	25.3	25.13.20	逆	25.08.00	25.16.00	
神戶	979.5	25.15.30	N	26.8	25.15.00	N	40.0	25.14.34	逆	25.00.40	25.20.00	
洲本	977.0	25.14.51	N	37.0	25.13.10	N	42.3	25.13.19	逆	24.17.30	25.18.10	
大阪	977.4	25.17.10	NNW	22.0	25.17.25	NNW	28.9	25.17.46	逆	25.12.05	25.19.10	
京都	978.9	25.17.05	NNW	18.5	25.17.49	NNW	25.9	25.12.30	逆	25.12.30	25.20.10	
舞鶴	989.9	25.16.15	N	25.5	25.16.00	N	40.6	25.16.15	逆	25.07.10	25.22.30	
彦根	977.3	25.17.51	N	21.0	25.18.10	N	29.0	25.18.12	逆	25.17.00	25.24.00	
彦根	978.1	25.17.45	E	18.4	25.15.20	E	23.8	25.15.23	逆	25.05.00	26.00.00	
甲斐山	867.9	25.19.10	SE	34.0	25.12.00	SE	47.0	25.14.55	逆	24.21.00	26.10.00	
奈良	975.2	25.16.24	WNW	21.4	25.18.00	NNW	29.7	25.17.55	逆	25.13.50	25.19.30	
和歌山	974.6	25.14.30	NNE	26.2	25.14.30	N	37.0	25.14.45	逆	25.11.00	25.18.00	
潮岬	974.9	25.14.44	WNW	29.1	25.17.20	NW	41.7	25.17.58	逆	24.13.00	25.23.30	
大井原	800.0	25.16.13	NW	20.4	25.19.50	-	-	-	-	-	-	
尾鷲	983.3	25.16.25	ENE	22.0	25.15.50	NE	33.0	25.16.28	逆	25.01.00	26.18.50	
津	964.6	25.18.00	E	23.6	25.17.00	E	31.1	25.15.56 17.23	逆	25.03.50	25.23.30	
上野	972.3	25.17.33	NNW	20.1	25.18.20	E	27.5	25.14.18	逆	25.09.40	25.20.20	
龜山	969.1	25.18.07	WNW	23.6	25.20.00	WNW	33.2	25.20.21	逆	25.05.30	25.22.10	
石屋	970.0	25.19.15	NNW	22.6	25.19.40	N	30.4	25.19.31	逆	25.10.00	26.00.30	
岐阜	975.7	25.18.33	NE	15.2	25.16.00	NNE	19.5	25.17.39	逆	25.15.00	25.19.30	
高山	982.5	25.19.54	NNW	8.2	25.21.00	NNW	13.9	25.20.47	逆	-	-	
敦賀	984.3	25.17.00	NNW	18.7	25.19.20	N	24.3	25.19.13	逆	25.12.30	26.03.00	
福井	986.3	25.17.58	N	19.0	25.18.00	N	27.3	25.17.53	逆	25.11.30	25.21.40	
金沢	989.2	25.19.22	NW	11.5	25.23.43	NE	13.6	25.15.19	逆	25.23.30	26.00.00	
輪島	988.4	25.21.32	NNE	14.6	25.20.20	NNE	23.6	25.20.44	逆	25.08.00	25.23.10	
伏木	985.9	25.20.27	N	21.1	25.18.40	N	28.0	25.18.39	逆	25.06.20	25.21.25	
富山	985.5	25.20.15	NNE	21.2	25.17.20	NNE	26.0	25.17.10	逆	25.13.00	25.22.00	
高田	981.9	25.22.25	WNW	8.7	26.02.10	NW	17.5	26.03.40	逆	-	-	
福井	981.9	25.23.30	NW	23.1	26.01.50	NW	27.4	26.01.54	逆	26.00.22	26.16.20	
新河	979.8	25.23.47	WNW	16.3	26.03.00	WNW	24.7	26.02.50	順	26.02.10	26.07.20	
伊賀	957.1	25.18.20	ESE	30.0	25.17.30	ESE	39.9	25.17.28	順	25.06.10	27.14.50	
松本	975.4	25.19.30	SE	24.7	25.17.45	SE	31.3	25.17.45	順	25.11.30	26.05.00	
静岡	982.9	25.20.36	S	24.1	25.20.30	S	30.0	25.20.26	順	25.12.40	26.00.30	
御前	982.4	25.19.30	SSW	31.6	25.20.00	S	38.9	25.19.27	順	25.06.00	26.20.00	
三島	986.9	25.21.56	SW	18.8	25.23.50	SW	26.8	25.23.39	順	25.15.00	26.03.20	
富士山頂	695.9	25.20.23	SSW	49.5	25.22.00	-	-	-	-	-	-	

観測所	最低気圧		最大風速			瞬間最大風速			順数	暴風吹始め		暴風吹終
	シバル	日時分	風向	風速	日時分	風向	風速	日時分		逆数	日時分	
長津	986.8	25.21.02	SW	32.9	25.20.29	SW	43.2	25.20.35	順	25.16.50	26.09.20	
代	985.2	25.23.27	WSW	27.0	26.01.40	WSW	36.2	26.00.05	順	25.22.10	26.04.10	
津	871.5	25.21.43	SE	24.1	25.18.40	SE	34.3	25.18.27	逆	25.10.10	25.24.00	
甲府	979.1	25.21.35	SSE	18.2	25.19.40	SSE	24.0	25.19.20	順	25.18.40	26.09.00	
飯	978.4	25.21.01	ESE	16.5	25.20.50	ESE	23.8	25.20.36	順	25.18.30	25.21.20	
飯	974.5	25.20.16	NE	13.2	25.17.35	NE	15.6	25.17.30	順	25.17.10	25.17.45	
松本	980.8	25.21.15	NNW	11.5	26.20.25	NW	13.2	25.20.11	逆	25.18.20	25.20.30	
長野	981.2	25.22.00	NW	18.4	25.19.00	NW	21.5	25.19.03	逆	25.16.20	25.19.40	
野	872.0	25.22.00	ESE	15.8	25.19.32	ESE	20.9	25.18.45	順	25.16.10	25.21.50	
秩父	979.4	25.22.17	ESE	11.8	25.17.40	ESE	21.8	25.17.27	順	25.15.15	25.22.43	
熊谷	980.6	25.23.16	SSE	14.5	25.21.50	SSE	26.5	25.21.40	順	25.17.40	26.23.50	
横	985.5	25.23.13	S	22.3	25.22.35	S	33.6	25.22.34	順	25.10.00	26.03.35	
東	984.6	25.23.19	S	19.9	25.21.40	S	35.4	25.21.36	順	25.18.00	26.01.20	
大	987.3	25.22.02	SW	30.3	25.22.40	SW	38.9	25.21.15	順	25.06.00	26.07.30	
三	992.2	25.18.28	W	18.8	26.03.10	S	35.7	25.15.49	順	25.12.50	26.16.20	
新	971.6	25.18.27	SW	23.5	25.21.30	SW	30.0	25.21.41	順	25.18.10	26.16.10	
八	978.8	26.00.00	SW	21.6	25.22.00	SW	35.0	25.18.17	-	25.08.00	26.22.00	
崎	1000.0	25.14.00	SSE	28.6	25.10.00	-	-	-	-	24.23.30	26.09.20	
川	970.3	25.21.36	SW	27.8	25.21.47	SW	36.4	25.21.38	順	25.16.50	26.08.30	
崎	989.6	26.00.35	SSW	27.0	25.23.00 26.01.30	SW	33.5	26.01.20	順	25.18.00	26.07.30	
相	985.0	25.23.56	S	17.1	25.23.00	S	24.7	25.23.05	順	25.19.13	26.01.00	
和	984.1	26.00.31	SW	18.4	26.00.00	SW	29.1	25.00.13	-	-	-	
銚	987.6	26.00.50	SSW	23.2	26.00.10	SSW	30.1	25.23.45	順	25.16.00	26.05.00	
水	985.0	26.01.00	SW	18.4	26.01.00	SW	25.9	25.23.23	順	25.22.00	26.04.00	
茨	972.0	25.23.58	SE	23.8	25.10.00	SSE	35.2	25.18.23	逆	25.05.00	26.04.00	
山	983.6	26.00.17	S	17.7	25.22.40	SSE	21.2	25.23.15	順	25.19.30	26.00.30	
中	978.1	26.00.15	NE	13.4	25.21.20	ENE	21.6	25.20.06	逆	25.16.50	26.05.40	
前	981.2	25.23.00	E	17.6	25.18.00	ESE	29.2	25.21.25	-	25.13.33	25.23.10	
白	983.5	26.01.20	S	16.5	25.23.50	S	27.3	25.23.44	順	25.19.40	26.01.40	
小	985.0	26.01.55	SSE	19.7	25.21.40	SSW	24.7	26.01.50	順	25.18.30	26.16.40	
若	980.9	25.23.49	NW	12.5	26.09.30	SE	19.7	25.22.37	順	25.19.50	26.13.10	
松	982.6	26.02.16	WNW	14.0	26.07.00	WNW	18.3	26.08.35	順	26.06.40	26.13.30	
山	981.0	26.01.50	SSW	12.7	26.05.20	SW	15.6	26.04.50 05.30	順	26.03.40	25.06.00	
仙	982.1	26.03.13	SE	15.8	25.22.40	WNW	20.9	26.09.00	順	25.22.12	26.12.50	
石	983.2	26.03.00	ENE	18.0	25.18.10	SE	24.0	26.01.46	順	25.14.00	26.19.10	
川	980.7	26.01.33 01.57	NW	20.4	26.05.00	NW	23.6	26.04.45 04.52	順	26.04.50	26.20.40	
秋	982.1	26.03.30	WNW	13.2	26.11.22	NNW	19.5	26.06.11	逆	26.07.00	26.17.00	
田	983.6	26.04.47	NNE	13.4	26.00.20	W	14.1	26.10.58	-	26.00.20	26.03.10	
盛	981.0	26.05.00	SE	10.8	26.03.50	SE	18.8	26.03.46	逆	26.03.40	26.03.50	
吉	980.7	26.05.35	NE	19.1	26.01.00	NW	23.7	26.07.08	逆	25.18.20	26.15.50	
八	987.8	26.04.00	NE	14.2	26.04.00	-	-	-	逆	25.19.00	26.14.00	
深	988.4	26.05.15	NE	19.8	26.04.00	NE	24.4	26.03.29	逆	25.09.30	26.17.20	
南	987.4	26.06.30	NNW	13.7	26.07.00	NNE	20.0	26.00.35	逆	25.18.10	26.13.40	
田												

観測所	最低気圧		最大風速		瞬間最大風速		順軟	暴風吹始		暴風吹終	
	シバル	日時分	風向	風速	日時分	風向		風速	日時分		日時分
函館	990.1	26.05.43	WNW	12.2	26.10.00	-	-	-	逆	26.09.00	26.10.00
江差	993.0	26.05.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
森	992.7	26.06.50	N	11.2	26.15.00	-	-	-	逆	-	-
寿都	995.3	26.06.49	NNW	19.9	26.17.00	NNW	23.2	26.15.50	順軟	26.08.30	27.15.50
札幌	994.3	26.12.23	N	10.1	26.15.00	N	16.5	26.15.22	順軟	-	-
苫小牧	991.7	26.07.23	NNW	14.4	26.13.00	NNW	19.5	26.13.10	逆	26.09.00	26.15.00
浦河	989.6	26.07.45	NNW	18.8	26.08.00	NNW	25.1	26.07.23	逆	26.02.10	27.13.40
帯広	993.0	26.08.20	NW	19.1	26.15.10	ENE	22.9	26.05.11	逆	26.02.10	27.06.00
小樽	998.0	26.13.50	WNW	11.2	27.13.40	WNW	16.0	26.22.45	-	26.18.30	27.13.50
旭川	996.2	26.08.00	N	11.5	26.21.00	N	17.6	26.18.53	逆	26.13.00	26.21.30
留萌	993.7	26.12.28	N	10.8	26.16.30	N	15.3	26.16.30	逆	-	-
稚内	995.9	26.12.23	NNE	15.5	26.16.00	NNE	17.2	26.15.42	逆	26.14.30	27.00.10
枝幸	996.3	26.12.44	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚内	1003.2	26.14.15	NNE	15.0	26.16.00	NNE	16.7	26.15.42	逆	26.03.30	26.22.00
枝幸	1001.2	26.14.52	NNE	15.2	26.16.20	-	-	-	逆	26.03.00	27.03.00
雄武	997.2	26.14.35	N	16.9	26.13.40	N	22.7	26.13.30	逆	25.15.20	27.05.00
網走	998.3	26.14.38	NNE	17.1	26.16.00	-	-	-	逆	26.12.30	27.01.40
根室	980.4	26.15.00	ENE	18.6	26.09.30	ENE	26.4	26.09.47	順軟	26.01.50	27.00.10
釧路	982.6	26.12.35	NE	14.4	26.08.30	-	-	-	逆	26.07.10	26.13.00
琉球	997.5	24.14.51	N	16.5	24.12.12	N	17.9	24.13.05	逆	-	-

第4.3表 灯台における暴風観測表

灯台名	最低気圧		最大風速		風向	順軟	暴風観測	
	シバル	日時分	風速	風向			自日時分	至日時分
工佐沖の島	986.1	25.12.15	29.8 ^{m/s}	NNW	25.12.30	順軟	25.02.40	26.02.50
佐田岬	990.0	25.13.55	29.5	NW	25.14.30	逆軟	25.04.30	26.23.10
大王崎	953.1	25.17.28	34.1	SE	25.17.20	順	24.18.50	25.22.50
細倉島	986.9	25.22.00	26.7	NE	25.20.00	逆軟	25.06.30	26.07.00
磯崎	182.0		29.8	NNW	26.02.00	順軟 後逆軟	25.16.40	27.04.50
温屋崎	983.6	26.02.06	31.9	S	26.00.30	順軟	25.18.15	26.07.16
金華山	982.8	26.03.25	17.9	S	26.02.00	順軟	25.22.20	26.06.29
熊崎	982.5	26.04.53	19.7		26.03.30	順軟	24.09.10	26.04.50
虎矢崎	987.0	26.06.58	25.8	ENE	26.01.33	逆軟	24.02.30	28.06.10
鷹山崎	991.9	25.09.00	19.9	WNW	26.07.40	逆軟	26.01.58	26.20.08
薬師山	979.0	26.08.50	29.2	NE	26.05.40	逆軟	24.09.20	28.02.30
神威崎	987.1	26.06.48	28.4	NE	26.06.30	逆軟	26.00.30	27.00.40

第4.4表 過去の台風における最低気圧との比較表

	室戸台風	枕崎台風	アイオン	ルース	台風第13号	キティ	ジェーン
	1934年 9月21日	1945年 9月17日	1948年 9月16日	1951年 10月14日	1953年 9月27日	1949年 8月31日	1950年 9月3日
第1位	室戸岬 ^{mb} 911.9	枕崎 ^{mb} 916.6	大島 ^{mb} 942.9	枕崎 ^{mb} 945.0	潮岬 ^{mb} 947.9	八丈島 ^{mb} 956.8	和歌山 ^{mb} 961.9
第2位	洲本 941.6	鹿児島 922.8	長津呂 948.3	阿久根 946.0	大王崎 953.1	新島 958.5	洲本 963.4
第3位	徳島 942.3	都城 938.9	伊東 959.2	鹿児島 948.2	尾鷲 953.3	大島 960.2	神戸 964.3
第4位	大阪 954.3	細島 941.7	富崎 959.8	人吉 949.1	伊良湖 957.1	酒白 963.3	舞鶴 962.9

第4.5表 山岳測候所及び位置の高い測候所の観測表

測候所	標高 (m)	最低気圧		最大風速		瞬間最大風速		暴風吹始 日時分	暴風吹終 日時分	順軟		
		mb	日時分	風向	風速	風向	風速					
阿蘇山	1142.8	882.1	25.04.29	NE	21.4 ^{m/s}	25.04.10	NE	26.3 ^{m/s}	25.04.17	24.10.00	25.22.10	逆
温泉沢	853.0	882.6	25.09.53	NNE	25.9	25.09.00	NNE	35.0	25.09.20	24.06.50	26.02.20	逆
剣山	1946.0	766.3	25.14.22	NNW	35.3	25.14.30	-	-	-	25.09	26.08	逆
伊吹山	1317.7	867.9	25.19.10	SE	34.0	25.12.00	SE	47.0	25.14.55	24.21.00	26.10.00	逆
富士山	3773.0	595.9	25.20.23	SSW	49.5	25.22.00	-	-	-	不明	不明	不明
筑波山	870.0	872.0	25.23.58	SE	23.8	25.10.00	SSE	35.2	25.18.23	25.05.00	26.04.00	順
野井沢	935.6	842.0	25.22.00	ESE	15.8	25.19.32	ESE	20.9	25.18.45	25.16.10	25.21.50	順
船津	860.5	871.5	25.21.43	SE	24.1	25.18.40	SE	34.3	25.18.27	25.10.10	25.24.00	逆
中岳祠	1336.3	878.1	26.00.15	NE	13.4	26.21.20	ENE	21.6	25.20.06	25.16.50	26.05.40	逆
大台ヶ原		800	25.16.13	NW	20.4	25.19.50	-	-	-	不明	不明	不明

第 4 / 回

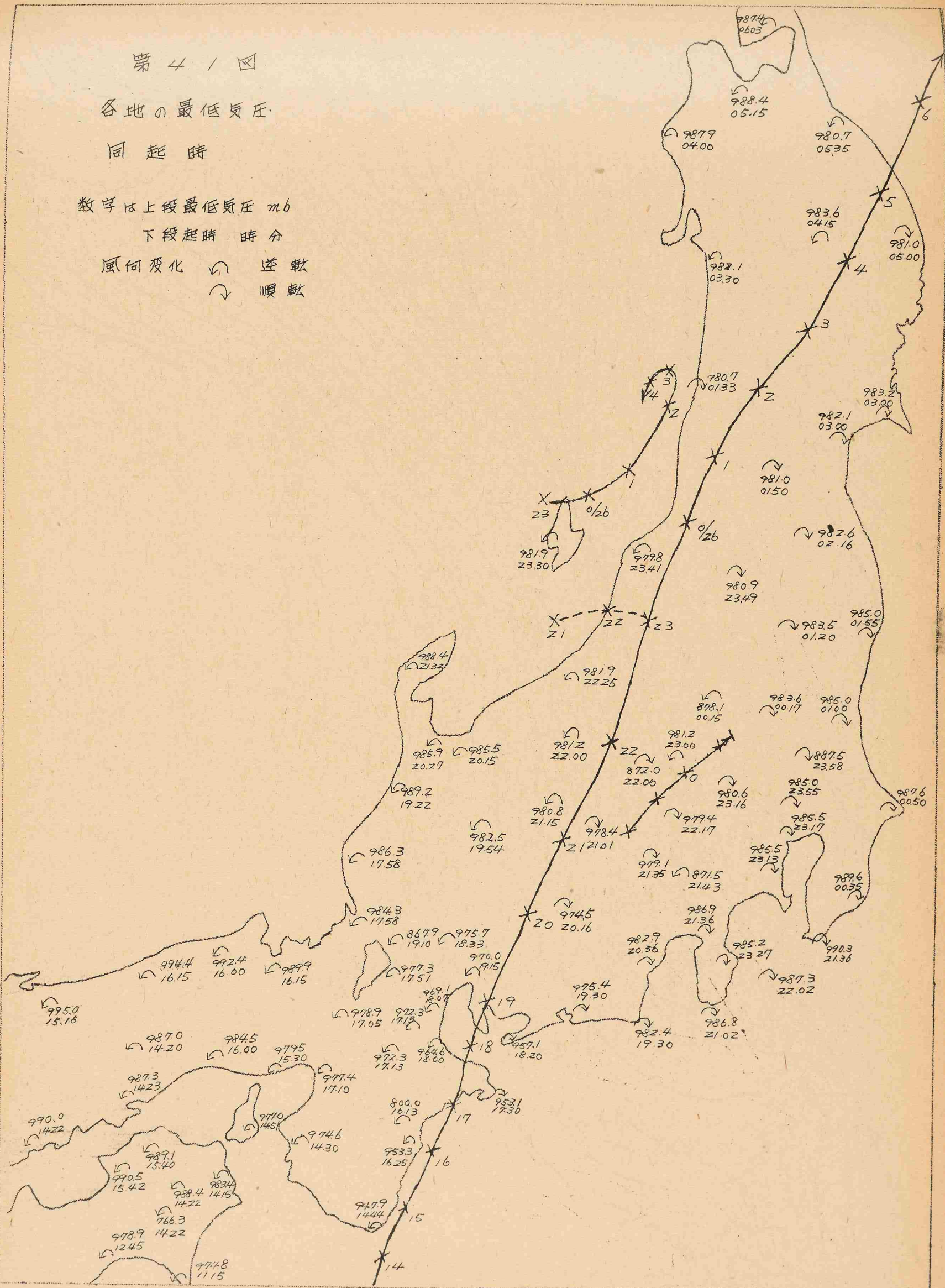
各地の最低気圧

同起時

数字は上段最低気圧 mb

下段起時 時分

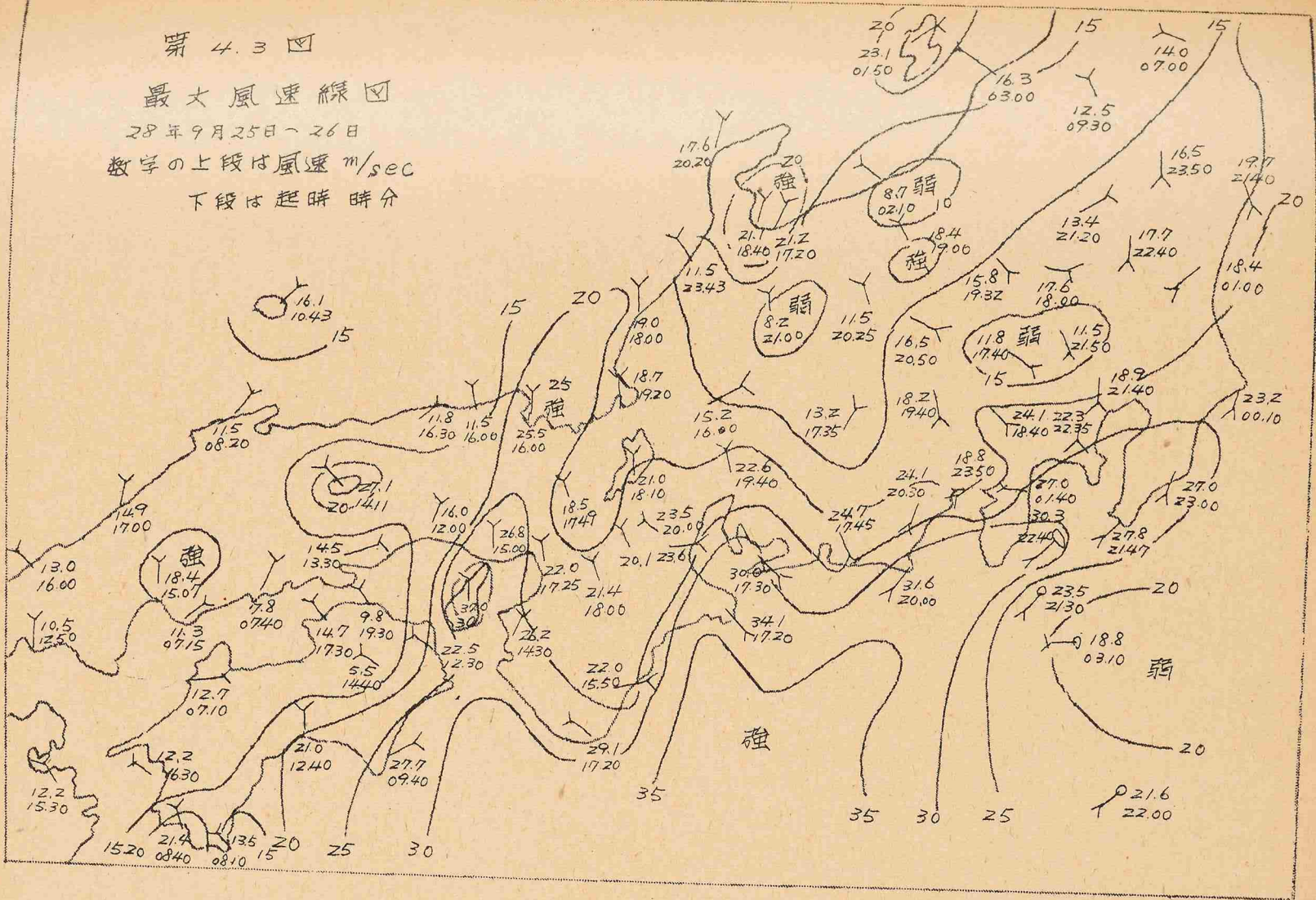
風向変化 ↶ 逆転
↷ 順転



第 4.3 回

最大風速線図

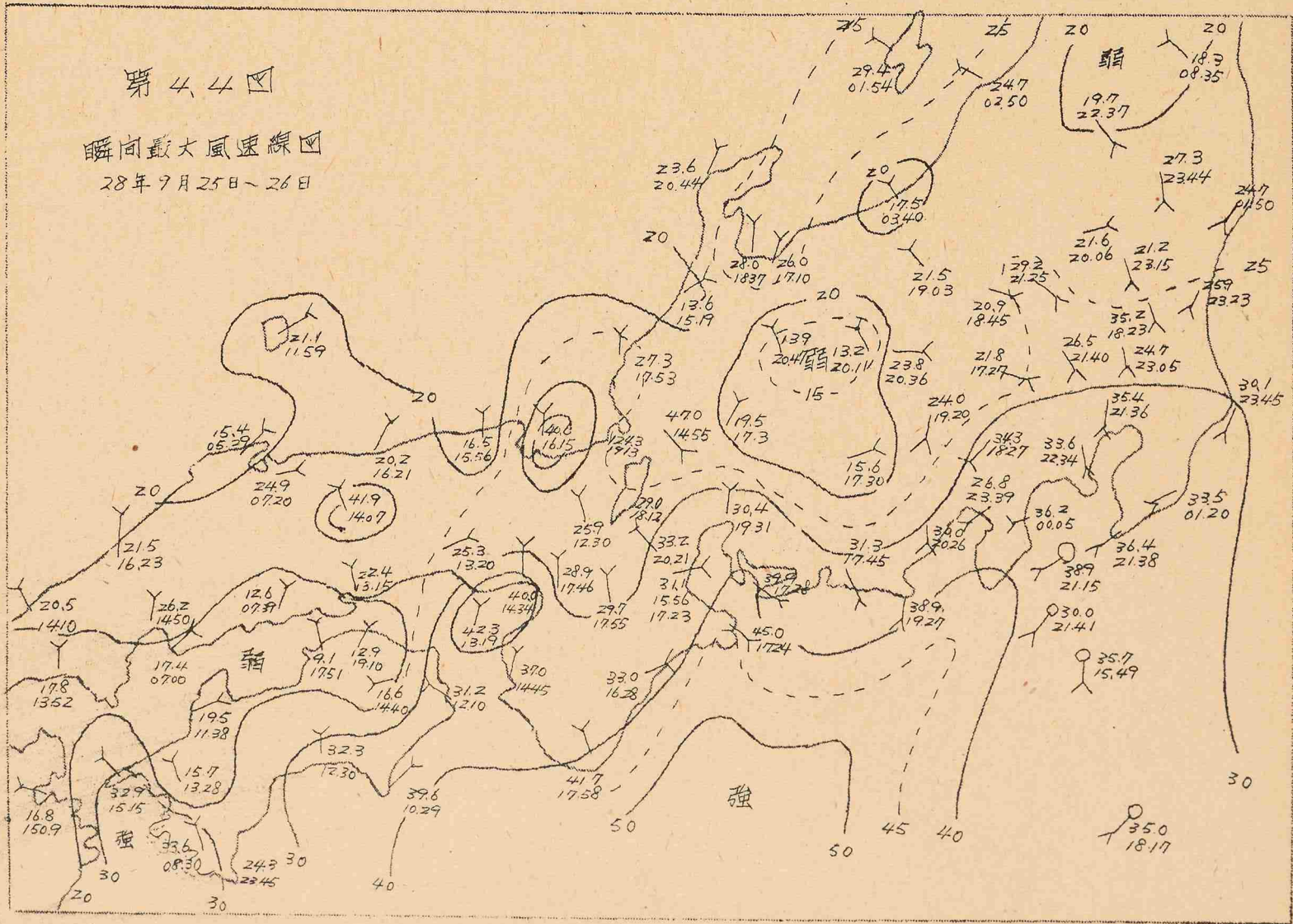
28年9月25日~26日
 数字の上段は風速 m/sec
 下段は起時 時分



第 4.4 回

瞬間最大風速線図

28年9月25日~26日



第 5 章 降雨状況と河川状況

§5.1 降雨状況

台風第13号による降雨は22日から27日まで及び、台風が本土に接近し、そして上陸した24日、25日には各地で豪雨となり大被害を生じた。

第5.1表は全国の気象官署と灯台における降水に関する表である。総降水量と降り始め、降り終りの時刻は降雨期間の取り方によりまちまちであるので、日雨量表を示した。後述の総雨量図も22日から27日までの日雨量の合計で示してある。

附録第2表に全国区内観測所、電力、鉄道等の日雨量表を示し、第3表には全国各地の毎時雨量表を示してある。

総雨量図(第5.1図)により全国の降水分布を見ると、紀伊半島南東部に最多雨域があり、大台ヶ原山では1017.3mmの総降水量を観測した。その他若狭湾沿岸部、四国東部、長野県南部等に多雨域がある。その他九州の南東岸には200mmをこえた所があり、四国、近畿地方は大部分200mm以上であつた。雨量の比較的少なかった所は山口県から九州の大部分と静岡県沿岸部および新潟県から東北、北海道地方の大部分で、これらは皆100mm以下であつた。

雨の降り方はすでに第2章の中でのべたように台風が南方海上を北上していた頃、身島附近から沖縄方面にのびていた前線が22日頃から北上しこれともなう雨が22日より九州南部から始まつた。この降雨は次第に北にひろがり24日早朝には北海道まで達したが、雨量としては一部を除いて大したこともなく、この後台風自体による降雨が始まり、この間連続している所もあり、また一度雨がやみ、再び降り始めを所もあつた。

第5.2図~第5.6図は22日から27日までの日雨量図である。等雨量線は30mm、50mm、100mm、150mm、200mmの順で、200mm以上は100mm毎に引いてある。次に各日について日雨量の分布状況を示す。

22日 前線にともなう雨で、四国南部と九州南東部および九州北部から山陰にかけて30mm以上の降雨域となり、100mmをこえている所も数ヶ所みられる(第5.2図)。

23日 雨域もかなり拡がり前線の北上にともない30mm以上の降雨域は四国の大部分、関東地方の大部分と北陸、山陰地方にみられ、四国と関東西部では100mm以上の所があつた。(第5.3図)

24日 本格的に台風性の風となり、四国、紀伊半島では大部分日雨量100mm以上となり、所により200mmを突破している。この他近畿地方北部と関東地方西部に多雨域が現われている。東北地方ではほとんど30mm以下で、東北地方北部から北海道にかけては10mm以下であつた。(第5.4図)

25日 台風は本土に上陸したが、上陸する前の25日昼頃、第5.7図にみられるように温暖前線が和歌山県から奈良県、滋賀県、岐阜県を通り、中部地方にのびていたので、近畿谷地ではかなりの豪雨となり、谷地に大被害をもたらした。前日にくらべ25日の雨域の大勢は四国、中国の中部以東にうつり近畿、中部地方、関東地方北部に多雨域が現われている。大台ヶ原では日雨量611.7mm、舞鶴では324.4mmを観測した(第5.5図)

26日 雨は東北、北海道方面にうつり、30mm以上の雨域はオーツク海に沿う地方と、東北の所々に現われており、その他は皆30mm以下であつた。(第5.6図)

各地における降雨状況は第3章の各地の気象状況の中で説明する。

各地の降雨観測表

	日時	日時	日時	日時	日時	日時	合計	総降水量			一日最大降水量		一瞬間最大降水量	
	22.9	23.9	24.9	25.9	26.9	27.9		mm	降り始め	降り終り	mm	自日時 ~ 至日時	mm	自時分 ~ 至時分
	23.9	24.9	25.9	26.9	27.9	28.9		mm	mm	mm	mm	mm	mm	
屋久島	21.9	46.2	17.7	0.0	-	-	85.8	63.9	23.17.15	25.14.20	46.2	23.09 ~ 24.09	23.0	24.05.00 ~ 06.00
種子島	51.5	57.5	38.8	-	-	-	147.8	97.7	23.03.01	25.04.15	38.8	23.09 ~ 24.09	18.0	24.05.14 ~ 06.14
枕崎	0.9	0.2	0.1	0.0	-	-	1.2	0.0	25.03.40	25.14.12	0.1	24.09 ~ 25.09	0.0	
児島	1.7	0.3	3.1	0.0	-	-	5.1	3.3	24.00.43	25.05.07	3.3	24.00 ~ 24.24	1.3	24.13.38 ~ 14.38
都城	32.9	10.0	27.0	0.0	-	-	69.9	32.9	24.05.50	25.09.20	27.0	24.09 ~ 25.09	11.9	24.08.30 ~ 09.30
油谷	77.3	40.7	25.6	0.3	-	-	143.9	143.6	22.06.00	25.10.35	77.3	22.09 ~ 23.09	20.6	22.16.55 ~ 17.55
阿久根	3.1	3.0	0.0	0.0	-	-	6.1	0.0	24.10.50	25.15.04	0.0		0.0	
人吉	6.4	12.8	1.3	0.0	-	-	20.5	20.5	22.19.	25.11.10	12.8	23.09 ~ 24.09	6.1	23.15.00 ~ 16.00
阿蘇山	7.8	6.8	12.2	3.1	-	-	29.9	13.0	24.08.50	25.18.15	12.2	24.09 ~ 25.09	3.1	24.15.10 ~ 16.10
熊本	5.1	9.4	0.4	0.0	0.3	-	15.2	0.4	25.00.08	25.16.20	0.4	24.09 ~ 25.09		
牛深	8.7	0.9	0.0	0.0	-	-	9.6	0.0	24.12.25	25.14.35	0.0		0.0	
温泉	33.6	0.1	2.8	0.5	-	-	37.0	3.3	24.14.30	25.15.34	2.8	24.09 ~ 25.09	2.8	24.06.50 ~ 07.50
長崎	39.3	0.2	0.5	0.1	-	-	40.1	0.6	25.03.48	25.17.30	0.5	24.09 ~ 25.09	1.5	25.06.00 ~ 07.00
佐世保	57.3	2.5	8.2	3.1	-	-	71.1	11.3	24.10.33	25.17.12	8.2	24.09 ~ 25.09		
富江	28.0	0.7	4.6	0.0	-	-	33.3	4.6	24.21.55	25.09.10	4.6	24.09 ~ 25.09	1.9	24.06.00 ~ 07.00
平戸	60.1	6.1	2.1	0.2	-	-	68.5	2.3	24.00.00	25.11.40	2.1	24.09 ~ 25.09	0.5	24.00.00 ~ 01.00
蔵原	6.7	0.2	0.1	-	0.0	-	7.0	0.0	25.00.55	25.04.30				
佐賀	43.2	9.6	0.0	0.2	-	-	53.0	0.2	25.05.45	25.17.40	0.2	24.22 ~ 25.22	0.1	25.13.24 ~ 14.24
福岡	103.6	6.1	1.4	1.1	-	-	112.2	2.5	25.02.08	25.16.04	2.5	25.02 ~ 25.17	1.1	25.05.08 ~ 06.08
飯塚	66.2	3.9	1.5	3.7	-	-	75.3	4.9	25.05.35	25.18.24	3.7	25.09 ~ 26.09	1.4	25.11.00 ~ 12.00
日田	40.9	7.1	3.9	3.3	-	-	55.2	7.2	24.07.00	25.18.40	3.9	24.09 ~ 25.09	2.3	25.02.42 ~ 03.42
犬伏	49.0	4.1	5.4	0.4	-	-	107.9	58.3	24.04.26	25.18.25	54.4	24.09 ~ 25.09	7.5	24.13.30 ~ 14.30
下野	63.5	3.3	1.3	0.1	-	-	68.2	1.4	24.12.07	25.19.07	1.3	24.09 ~ 25.09	0.3	25.07.47 ~ 08.47
府	22.0	10.7	10.4	0.2	-	-	43.3	7.7	24.11.32	25.18.03	6.4	24.09 ~ 25.09	1.4	25.06.00 ~ 07.00
萩	69.4	7.2	13.6	4.1	-	-	94.3	14.1	25.04.50	25.17.10	13.6	24.09 ~ 25.09	7.1	25.06.11 ~ 07.11
指毛	14.3	22.0	79.2	0.0	-	-	115.5	79.2	24.08.40	25.08.20	79.2	24.09 ~ 25.09	11.9	24.22.00 ~ 23.00
足摺	101.1	28.9	126.0	0.3	-	-	256.3	154.1	23.11.04	25.14.08	126.0	24.09 ~ 25.09	19.8	25.02.50 ~ 03.50
清水	97.1	48.0	134.1	0.1	-	-	279.3	279.3	22.10.40	25.14.20	134.1	24.09 ~ 25.09		
高知	26.8	45.1	125.8	1.0	-	-	198.7	162.4	24.03.10	25.16.20	125.8	24.09 ~ 25.09	24.7	25.04.50 ~ 05.50
尾山	0.0	185.2	72.4	125.0	-	-	382.6	201.1	23.17.40	25.17.05	164.4	24.09 ~ 25.09	48.7	25.00.48 ~ 01.48
剣山	28.3	32.1	253.5	83.4	-	-	397.3	397.3	22.19.40	26.05.58	253.5	24.09 ~ 25.09	33.4	24.23.00 ~ 24.00
尤吹	30.5	29.5	217.3	82.6	-	-	359.9							
徳島	27.9	58.9	129.9	111.0	-	-	327.7	340.5	23.04.45	25.18.52	129.9	24.09 ~ 25.09	21.0	24.05.00 ~ 06.00
高松	23.8	18.5	142.5	66.8	-	-	151.6	219.3	24.02.40	25.17.35	142.5	24.09 ~ 25.09	28.0	24.02.00 ~ 03.00
多度津	18.8	45.7	98.8	45.6	-	-	208.9	163.9	23.04.30	25.21.20	98.8	24.09 ~ 25.09	10.6	25.13.00 ~ 14.00
松山	14.2	15.9	69.5	0.9	-	-	100.5	100.5	22.21.45	25.18.20	69.5	24.09 ~ 25.09	10.0	24.23.35 ~ 00.35
佐田	25.9	2.0	59.6	0.2	-	-	88.7	61.6	24.03	25.09	59.6	24.09 ~ 25.09	10.8	24.00.30 ~ 01.30
牟和	14.2	18.3	86.6	0.4	-	-	119.5	91.5	24.02.38	25.21.13	86.6	24.09 ~ 25.09	15.5	24.03.24 ~ 04.24
上佐														
佐津島														
佐島	4.4	47.9	46.4	0.7	-	-	99.4	49.5	24.06.35	25.14.12	46.4	24.09 ~ 25.09	5.4	24.01.36 ~ 02.36
呉	5.2	21.4	42.7	0.9	-	-	70.2	45.8	24.06.03	25.16.18	42.7	24.09 ~ 25.09	3.2	25.03.00 ~ 04.00
松山	7.5	11.4	98.7	7.9	-	-	125.5	108.6	24.06.15	25.15.34	98.7	24.09 ~ 25.09	17.6	25.03.50 ~ 04.50
函山	15.3	20.7	70.1	14.1	-	-	120.1	92.6	24.06.00	25.16.45	70.1	24.09 ~ 25.09	9.8	25.03.20 ~ 04.20
津山	17.5	18.8	71.8	16.2	-	-	124.3	88.8	24.05.52	25.18.29	71.8	24.09 ~ 25.09	9.6	24.13.11 ~ 14.11
津田	69.9	17.3	14.0	4.0	-	-	105.2	105.0	22.21.35	25.21.20	69.9	22.09 ~ 23.09		
西郷	17.0	23.0	21.2	24.3	-	-	85.5	85.5	23.00.42	25.23.55	24.3	25.09 ~ 26.09	6.2	25.18.00 ~ 19.00
松江	68.0	32.2	35.4	25.7	1.1	-	166.3	161.3	23.00.43	26.02.24	68.0	22.09 ~ 23.09	18.7	23.05.15 ~ 06.15
境	69.9	37.9	52.6	26.3	28.7	-	215.4	81.4	24.00.30	26.02.55	62.0	24.09 ~ 25.09	21.3	23.06.00 ~ 07.00
米子	47.0	46.3	62.7	29.9	4.2	-	189.8	185.9	23.00.35	26.22.47	62.7	24.09 ~ 25.09	20.0	23.10.40 ~ 11.40
鳥取	19.9	31.6	83.1	37.9	0.4	-	172.9	121.0	24.08.48	26.02.02	83.1	24.09 ~ 25.09	14.6	24.04.27 ~ 05.27
鹽田														
岡	8.9	17.5	95.9	111.7	4.0	-	238.0	207.6	24.07.40	26.09.00	111.7	25.09 ~ 26.09	16.4	25.17.00 ~ 18.00
姫路	13.6	13.4	101.4	50.0	-	-	178.4	151.4	24.05.22	25.20.10	161.4	24.09 ~ 25.09	28.1	24.09.45 ~ 10.45
神戶	8.2	14.2	49.0	116.2	0.0	-	186.6	169.4	24.05.00	25.21.15	116.2	25.09 ~ 26.09	34.4	25.14.25 ~ 15.25
洲本	12.0	29.8	91.6	64.2	-	-	188.6	163.8	24.04.45	25.20.43	91.6	24.09 ~ 25.09	17.4	25.08.00 ~ 09.00

	日時	日時	日時	日時	日時	日時	合計	総降水量			一日最大降水量		1時間最大降水量	
	23.9	24.9	25.9	26.9	27.9	28.9		mm	開始時	終り	mm	自日時 ~ 至日時	mm	自日時分 ~ 至時分
大阪	0.8	18.4	60.0	113.4	0.0	-	193.1	176.1	240.445	25.21.15	113.9	25.09 ~ 26.09	32.1	25.14.10 ~ 15.10
京都	2.5	29.1	44.7	110.6	0.2	-	187.1	156.8	240.555	26.02.45	109.7	25.09 ~ 26.09	18.4	25.12.00 ~ 13.00
奈良	12.3	19.0	146.1	324.4	5.2	-	507.0	471.6	240.648	26.10.20	450.1	24.22 ~ 25.22	60.0	25.17.00 ~ 18.00
和歌山	2.8	10.8	44.3	127.8	0.6	-	186.3	172.4	240.740	25.23.45	147.8	24.22 ~ 25.22	27.0	25.16.40 ~ 17.40
三重	3.8	7.5	97.9	175.2	-	-	284.4	280.6	24.07.20	26.03.00	175.2	25.09 ~ 26.09	25.7	25.15.50 ~ 16.50
伊吹山	1.0	4.8	66.2	131.9	0.2	-	198.1	198.1	24.07.40	26.06.40	131.9	25.09 ~ 26.09	24.3	25.16.00 ~ 17.00
奈良	0.2	15.5	29.5	118.4	0.4	-	164.0	149.3	24.05.15	25.22.30	118.4	25.09 ~ 26.09	-	-
和歌山	8.5	17.4	76.5	116.9	-	-	219.3	194.5	24.05.40	25.21.20	116.9	25.09 ~ 26.09	27.3	25.13.00 ~ 14.00
潮岬	26.3	24.7	47.1	128.4	-	-	226.5	200.0	24.00.40	25.20.15	128.4	25.09 ~ 26.09	58.0	25.11.00 ~ 12.00
大台原	29.5	39.0	337.1	611.7	-	-	1017.3	1017.1	22.21.00	25.23.50	611.7	25.09 ~ 26.09	117.7	25.13.00 ~ 14.00
尾鷲	24.2	58.3	95.7	229.5	-	-	407.7	335.6	25.02.20	26.21.20	229.5	25.09 ~ 26.09	60.0	25.15.30 ~ 16.30
大玉崎	-	-	-	-	-	-	-	371	24.15	26.09	27.5	25.09 ~ 26.09	7.8	25.15.50 ~ 16.50
津	2.0	15.2	86.1	121.3	-	-	224.6	224.6	23.05.21	25.21.20	121.3	25.09 ~ 26.09	22.4	25.17.00 ~ 18.00
上野	0.4	6.4	67.4	151.0	0.0	-	225.2	219.9	24.06.40	25.23.20	151.0	25.09 ~ 26.09	25.9	25.17.00 ~ 18.00
蘆山	1.0	7.8	60.1	146.4	-	-	215.3	209.2	24.01.23	26.00.30	146.4	25.09 ~ 26.09	32.0	25.17.50 ~ 18.50
名古屋	0.8	17.5	42.4	131.3	-	-	192.0	178.1	24.00.45	25.22.10	166.6	25.00 ~ 25.24	65.6	25.18.45 ~ 19.45
伊良湖	0.0	12.7	68.3	62.8	-	-	173.8	143.8	23.05.55	25.21.35	68.3	24.09 ~ 25.09	15.4	25.17.00 ~ 18.00
岐阜	1.8	20.7	67.5	119.8	-	-	207.8	182.0	24.03.30	25.21.40	117.9	25.09 ~ 26.09	24.3	25.06.55 ~ 07.55
高山	5.7	29.2	26.3	81.1	0.1	-	142.4	114.3	24.03.05	26.09.35	81.1	25.09 ~ 26.09	14.5	25.20.10 ~ 21.10
敦賀	-	31.8	102.0	173.8	-	-	307.6	278.4	24.06.48	26.14.11	178.3	25.09 ~ 26.09	22.2	25.11.53 ~ 12.53
福井	0.3	32.4	65.4	117.9	5.6	-	221.6	221.1	24.07.50	26.20.14	117.9	25.09 ~ 26.09	26.8	25.10.30 ~ 11.30
金沢	0.0	25.5	40.0	147.3	1.6	-	214.4	187.2	24.09.16	26.05.10	147.3	25.09 ~ 26.09	24.0	25.22.00 ~ 23.00
輪島	0.1	62.3	29.0	75.5	-	0.0	166.9	104.0	24.13.20	26.06.54	75.5	25.09 ~ 26.09	17.6	25.20.30 ~ 21.30
伏木	0.0	43.8	31.3	112.1	0.5	-	187.7	112.1	25.09.07	26.06.11	112.1	25.09 ~ 26.09	38.9	25.21.20 ~ 22.20
富山	0.0	40.4	28.9	84.2	3.7	-	157.2	84.2	25.11.40	26.04.50	84.2	25.09 ~ 26.09	34.0	25.21.40 ~ 22.40
高田	-	2.8	13.9	70.6	16.3	0.0	103.6	101.6	24.06.34	27.08.40	70.6	25.09 ~ 26.09	12.2	25.17.18 ~ 18.18
相川	-	32.4	20.6	24.6	0.2	0.0	77.8	45.4	24.12.17	26.10.27	24.6	25.09 ~ 26.09	6.3	25.00.16 ~ 01.16
新湊	-	16.5	26.5	10.8	5.3	0.0	59.1	10.3	25.18.56	26.07.20	10.8	25.09 ~ 26.09	3.1	25.02.00 ~ 03.00
浜松	0.0	16.1	27.8	40.4	-	-	84.3	84.5	23.08.05	25.23.10	40.6	25.09 ~ 26.09	15.0	25.06.48 ~ 07.48
御前橋	0.0	32.3	12.7	11.0	-	-	56.0	56.0	23.03.20	25.23.20	32.3	23.09 ~ 24.09	9.0	25.06.00 ~ 07.00
静岡	0.0	70.7	13.6	13.7	-	-	98.0	98.0	23.10.37	26.00.05	70.7	23.09 ~ 24.09	3.6	25.17.00 ~ 18.00
三島	0.3	71.3	19.5	33.4	-	-	124.5	124.2	23.09.00	25.22.00	33.4	25.09 ~ 26.09	9.4	25.12.00 ~ 13.00
富士山頂	x	x	x	x	x	x	x	139.9	23.19.20	26.03.10	-	-	-	-
長津呂	-	91.3	6.5	3.1	-	-	100.9	4.9	25.02.43	25.22.10	3.0	25.09 ~ 26.09	1.2	25.17.17 ~ 18.17
網代	1.8	114.9	58.5	20.5	-	-	195.7	195.6	23.04.25	26.00.13	114.9	23.09 ~ 24.09	31.9	24.05.00 ~ 06.00
船津	0.8	34.4	38.9	132.9	-	-	212.0	162.7	24.22.15	25.23.20	132.9	25.09 ~ 26.09	23.6	25.17.20 ~ 18.20
甲府	-	15.7	10.5	21.1	-	-	47.3	21.8	25.04.50	26.00.12	20.8	25.09 ~ 26.09	6.2	25.16.00 ~ 17.00
諏訪	-	7.8	17.5	35.5	-	-	60.8	53.9	24.06.55	25.22.15	35.5	25.09 ~ 26.09	8.2	25.15.00 ~ 16.00
飯田	-	7.5	14.2	59.4	-	-	81.1	81.1	23.12.30	26.02.20	59.4	25.09 ~ 26.09	9.0	25.16.00 ~ 17.00
松本	-	20.6	18.3	55.5	-	-	94.3	87.4	24.03.32	25.22.40	55.5	25.09 ~ 26.09	8.7	25.21.00 ~ 22.00
長野	-	21.7	21.7	40.3	0.0	-	83.7	76.7	24.05.01	25.23.50	40.3	25.09 ~ 26.09	13.0	25.21.00 ~ 22.00
軽井沢	-	10.3	18.14	54.5	-	-	83.2	73.1	24.03.50	25.23.50	54.5	25.09 ~ 26.09	10.1	25.19.00 ~ 20.00
前橋	-	24.1	23.0	51.1	-	-	103.2	103.2	23.09.32	26.00.29	51.1	25.09 ~ 26.09	22.3	25.10.11 ~ 11.11
秩父	0.6	28.8	46.7	96.6	-	-	172.7	172.7	23.07.35	25.23.13	96.6	25.09 ~ 26.09	21.4	25.18.00 ~ 19.00
熊谷	0.1	41.7	41.9	56.3	-	-	140.0	140.0	23.07.12	25.21.52	56.3	25.09 ~ 26.09	13.6	25.09.00 ~ 10.00
横浜	1.6	99.5	11.8	13.8	-	-	126.7	124.4	23.04.40	25.21.35	99.4	23.09 ~ 24.09	30.5	23.23.48 ~ 00.48
東京	0.9	85.2	8.6	4.1	-	-	98.8	98.8	23.02.10	25.22.04	4.1	25.09 ~ 26.09	2.0	25.21.00 ~ 22.00
大島	10.3	113.6	11.3	9.3	-	-	144.9	15.7	24.18.05	26.00.53	9.3	25.09 ~ 26.09	2.1	25.10.16 ~ 11.16
新島	0.0	106.0	15.2	4.2	-	-	125.4	4.2	25.12.23	25.12.43	4.2	25.09 ~ 26.09	1.0	25.20.40 ~ 21.40
三宅島	22.3	42.3	12.8	7.2	-	-	84.6	11.8	25.05.07	25.23.24	7.2	25.09 ~ 26.09	4.0	25.09.50 ~ 10.50
八丈島	41.0	28.6	0.2	2.3	-	-	72.1	2.1	25.01.16	25.21.21	2.3	25.09 ~ 26.09	0.7	25.18.00 ~ 19.00
富崎	1.2	60.0	22.9	7.9	-	-	92.0	90.6	23.05.30	26.00.13	7.8	25.09 ~ 26.09	0.5	25.17.19 ~ 18.19
勝浦	6.7	49.1	53.7	3.0	-	-	112.5	3.0	25.13.30	26.01.07	3.0	25.13 ~ 26.01	1.2	25.22.18 ~ 23.18
柏	0.6	58.5	14.3	12.9	-	-	85.7	21.7	24.22.10	25.23.30	21.4	24.22 ~ 25.22	5.9	25.19.09 ~ 20.09
鋸子	2.0	14.2	24.9	5.5	-	-	46.6	5.5	24.22.50	26.00.15	5.5	25.15 ~ 25.24	4.6	25.20.00 ~ 21.00
水戸	0.0	61.8	14.5	4.2	-	-	80.5	80.5	23.08.02	25.23.15	14.5	24.09 ~ 25.09	2.9	25.03.00 ~ 04.00
筑波山	0.5	31.9	11.4	13.5	-	-	60.3	26.4	24.21.50	26.02.45	14.4	24.09 ~ 25.09	4.8	25.19.55 ~ 20.55

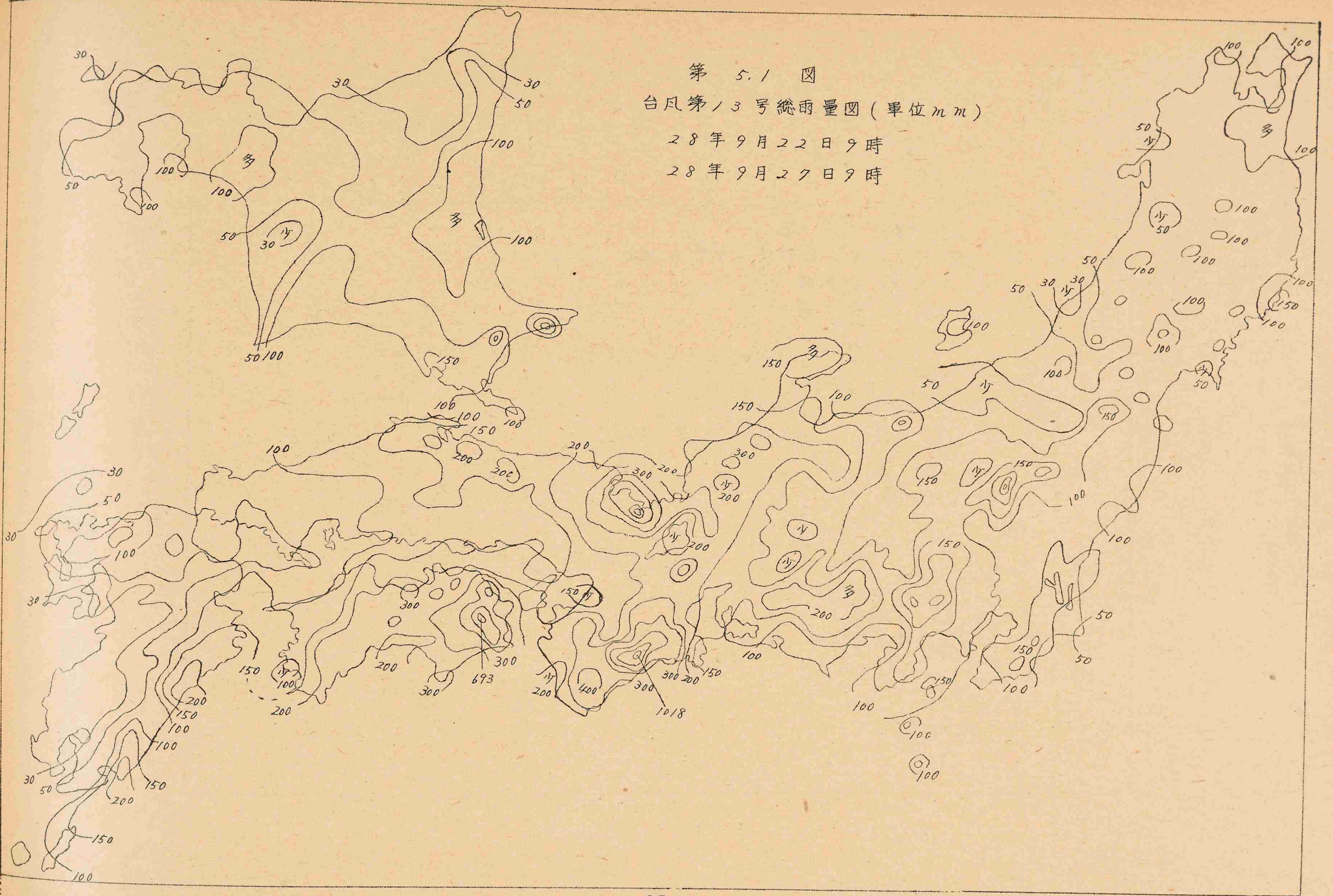
	日時	日時	日時	日時	日時	日時	合計	總降水量			一日最大降水量		1時間最大降水量	
	22.9	23.9	24.9	25.9	26.9	27.9		mm	降始	降終	mm	自日時 ~ 至日時	mm	自時分 ~ 至時分
	22.9	24.9	25.9	26.9	27.9	28.9		mm	降始	降終	mm	自日時 ~ 至日時	mm	自時分 ~ 至時分
宇都宮	-	22.4	10.6	25.8	-	-	59.8	59.8	23.10.26	25.22.40	25.8	25.09 ~ 26.09	10.0	25.19.38 ~ 20.38
中宮祠	0.0	4.20	6.16	29.57	-	-	39.3	39.3	23.10.49	26.03.15	295.1	25.09 ~ 26.09	4.95	25.19.00 ~ 20.00
白河	-	23.0	18.3	7.15	-	-	112.8	112.8	23.12.43	26.03.15	7.15	25.09 ~ 26.09	2.92	25.14.28 ~ 15.28
小名浜	-	53.5	17.7	27.3	-	-	98.5	98.5	23.11.10	25.22.20	53.5	25.09 ~ 26.09	1.44	25.15.25 ~ 16.25
若松	-	5.4	15.5	16.8	0.5	0.0	38.2	16.8	25.08.55	26.12.50	16.8	25.09 ~ 26.09	6.4	25.22.02 ~ 23.02
福島	-	17.6	25.8	6.10	0.0	-	104.4	104.4	23.14.20	26.09.15	6.10	25.09 ~ 26.09	1.23	25.16.10 ~ 17.10
山形	-	14.5	19.0	7.9	0.1	0.0	41.5	27.0	24.11.22	26.14.48	7.9	25.09 ~ 26.09	3.1	25.21.30 ~ 22.30
仙台	-	25.6	7.0	29.9	0.0	0.0	62.5	63.4	23.15.37	26.15.03	29.9	25.09 ~ 26.09	9.7	25.17.45 ~ 18.45
石巻	-	23.5	7.1	17.7	-	0.1	48.4	48.3	23.16.10	26.01.40	17.7	25.09 ~ 26.09	8.4	25.18.30 ~ 19.30
磐城	-	23.0	18.3	7.15	-	-	112.8	70.6	25.12.40	26.04.42	39.4	26.00 ~ 26.24	14.1	26.01.00 ~ 02.00
古田	-	45.5	2.7	44.8	0.0	-	93.0	47.5	24.14.50	26.08.25	44.8	25.09 ~ 26.09	11.0	25.02.00 ~ 03.00
酒田	-	22.3	17.0	31.7	8.2	-	79.2	49.3	24.13.08	26.15.20	31.7	25.09 ~ 26.09	7.4	25.09.01 ~ 10.01
秋田	-	38.8	2.4	30.4	2.1	0.0	73.7	33.0	25.02.40	26.16.50	17.8	25.22 ~ 26.22	3.7	26.05.00 ~ 06.00
深川	-	11.9	0.0	43.5	0.3	0.1	55.8	50.6	25.09.50	26.18.30	43.6	25.09 ~ 26.09	5.6	25.23.00 ~ 24.00
八戸	-	38.1	7.1	58.8	0.0	-	104.0	104.0	23.17.40	26.08.40	58.8	25.09 ~ 26.09	10.2	25.20.20 ~ 21.20
青森	-	23.1	0.1	7.16	1.2	0.0	96.0	71.8	25.08.45	26.17.30	71.6	25.09 ~ 26.09	9.7	26.00.30 ~ 01.30
田名部	-	28.8	0.9	80.9	0.0	0.9	111.5	80.9	25.10.30	26.09.45	80.9	25.09 ~ 26.09	15.2	25.03.00 ~ 04.00
函館	-	13.5	1.2	50.5	0.1	2.1	67.4	50.6	25.12.45	26.12.05	50.5	25.09 ~ 26.09	10.7	26.02.00 ~ 03.00
江森	-	3.3	-	70.6	0.0	13.1	87.0	120.8	25.14.13	26.10.10	108.4	25.09 ~ 26.09		
都	-	3.2	0.0	38.7	9.6	8.9	60.4	18.5	26.09	28.09	9.6	26.09 ~ 27.09	5.9	26.04.50 ~ 05.50
鹿	-	17.3	0.0	93.3	19.4	14.6	144.6	108.4	25.16.36	27.00.30	93.3	25.09 ~ 26.09	15.7	26.07.20 ~ 08.20
小	-	20.5	4.8	80.9	0.8	1.1	108.1	80.9	25.14.20	26.11.08	80.9	25.09 ~ 26.09	2.7	25.17.30 ~ 18.30
浦	-	44.6	0.2	73.3	3.1	0.0	121.2	76.4	25.15.17	27.15.16	73.3	25.09 ~ 26.09	13.2	25.03.40 ~ 04.30
河	-	2.4	0.8	29.9	0.0	0.5	33.6	29.9	25.13.12	26.09.50	29.9	25.09 ~ 26.09	7.0	26.05.15 ~ 06.15
小	0.1	3.4	5.2	73.7	3.7	0.1	86.2	81.0	24.13.25	26.13.20	73.7	25.09 ~ 26.09	11.3	25.05.40 ~ 06.40
旭	-	5.6	-	57.7	22.2	24.8	110.3	104.5	25.17.08	27.16.30	57.7	25.17 ~ 26.17	10.1	26.13.50 ~ 14.50
留	-	1.6	-	27.2	5.7	10.6	45.1	38.6	25.18.45	27.23.52	27.2	25.09 ~ 26.09		
科	-	5.1	0.0	21.5	9.8	14.3	50.7	30.5	25.19.30	27.00.10	21.5	25.09 ~ 26.09		
雄	-	2.5	0.1	10.2	3.6	7.9	24.3	24.1	25.22.45	27.22.08	12.5	26.09 ~ 27.09	2.2	26.12.10 ~ 13.10
枝	-	0.0	0.0	20.7	4.5	1.4	63.6	62.2	25.21.40	27.09.10	41.5	26.09 ~ 27.09		
雄	-	0.4	-	41.7	64.5	1.0	109.2	109.2	25.20.42	27.15.40	64.5	26.09 ~ 27.09	7.6	26.13.10 ~ 14.10
綱	-	0.0	0.0	38.4	32.0	5.6	76.0	70.4	25.19.40	27.06.20	38.4	25.09 ~ 26.09		
根	-	0.0	10.1	50.5	34.1	0.9	95.6	92.0	24.05.40	26.21.45	50.5	25.09 ~ 26.09		
創	-	0.3	9.5	90.7	8.1	0.3	108.9	108.6	24.02.51	26.14.45	94.2	25.21 ~ 26.21	20.5	25.07.04 ~ 08.04
岩	-	4.4	-	45.1	12.2	8.9	70.6	66.6	24.22.00	26.05.11				
船	-							132.4	23.09.50	26.08.40	77.4	25.03 ~ 26.03	11.6	25.15.20 ~ 16.20
倉	-							73.0	24.09.00	25.03.00	55.9	24.03 ~ 25.03	9.0	25.15.30 ~ 16.30
崎	-							134.2	24.00.00	26.04.25	90.2	25.09 ~ 26.09	17.8	24.18.50 ~ 13.50
山	-							115.8	23.16.47	26.04.25	76.7	25.09 ~ 26.09	23.1	25.01.20 ~ 02.20
崎	-							62.6	25.10.13	26.09.55	62.5	25.10 ~ 26.10	16.4	25.02.48 ~ 03.48
山	-							67.8	25.12.40	26.10.20	67.8	25.12 ~ 26.12	15.2	26.02.48 ~ 03.48
崎	-							50.5	25.12.00	26.07.20	50.5	25.12 ~ 26.12	17.6	26.03.30 ~ 04.30
崎	-							17.6	25.17.20	26.10.03	17.6	25.17 ~ 26.17	1.6	26.04.00 ~ 05.00

82-

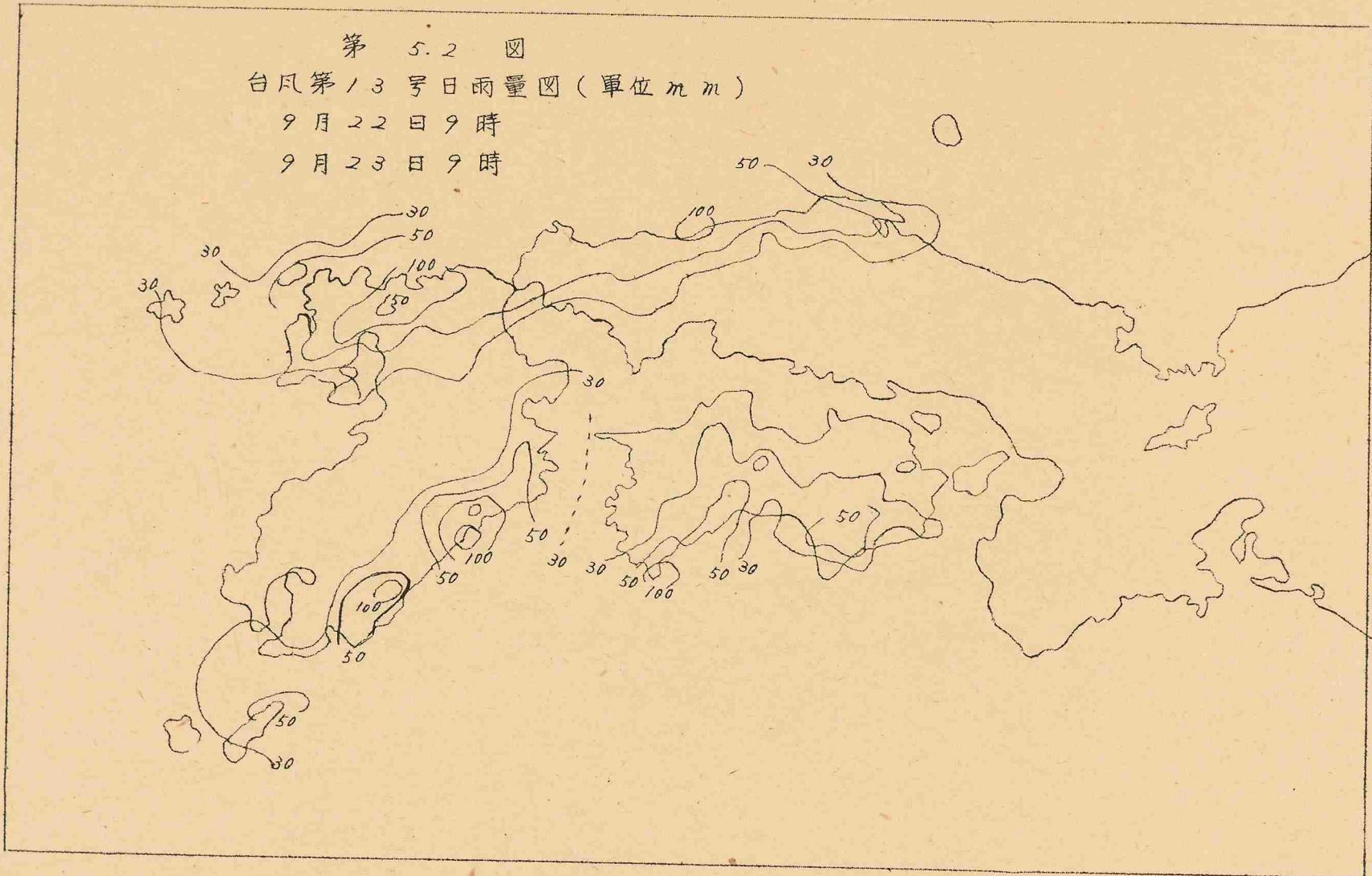
第 5.1 圖
 台風第 13 号 總雨量圖 (單位 mm)

28 年 9 月 22 日 9 時

28 年 9 月 27 日 9 時



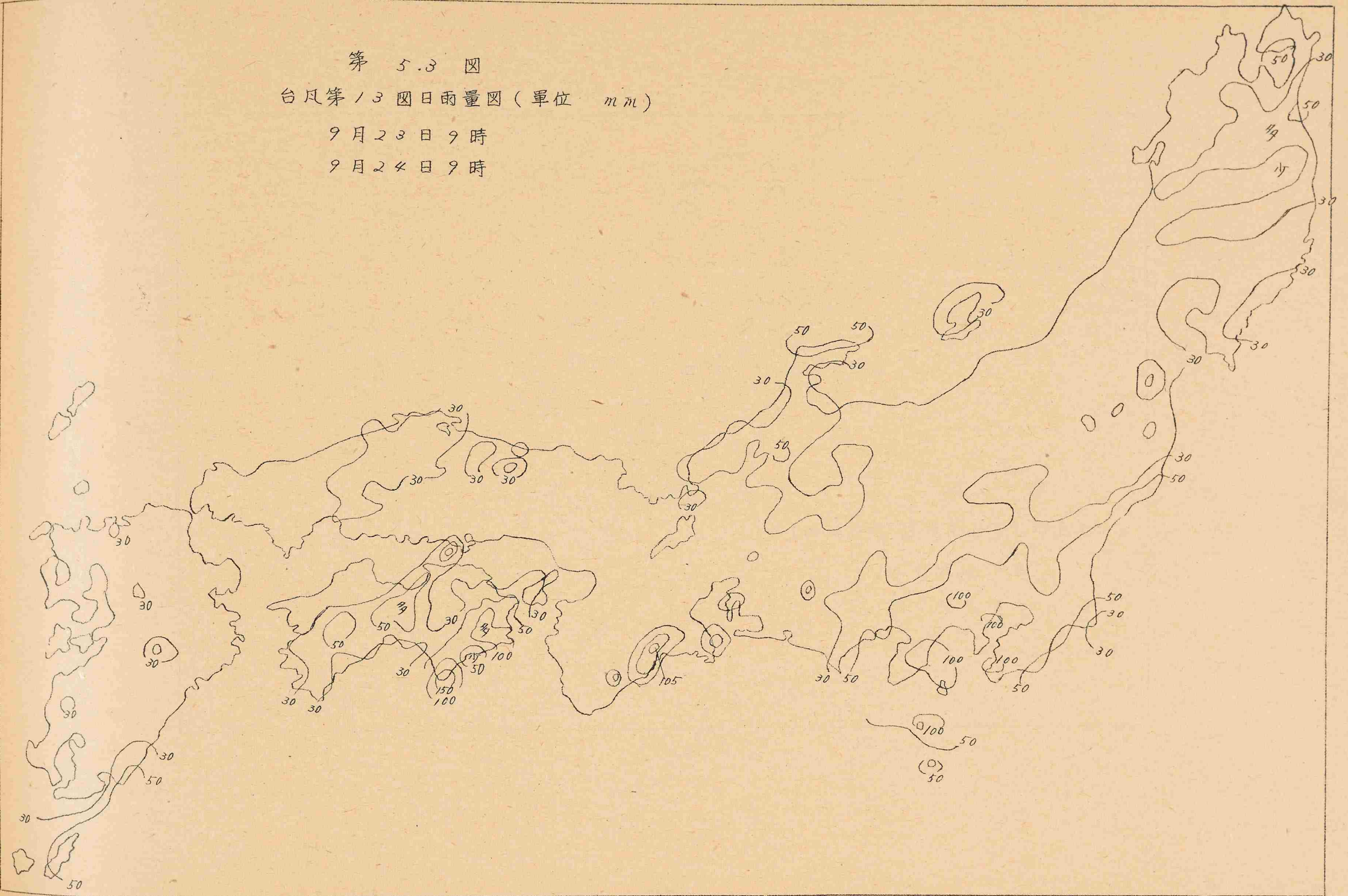
第 5.2 圖
台風第 13 号日雨量圖 (單位 mm)
9 月 22 日 9 時
9 月 23 日 9 時

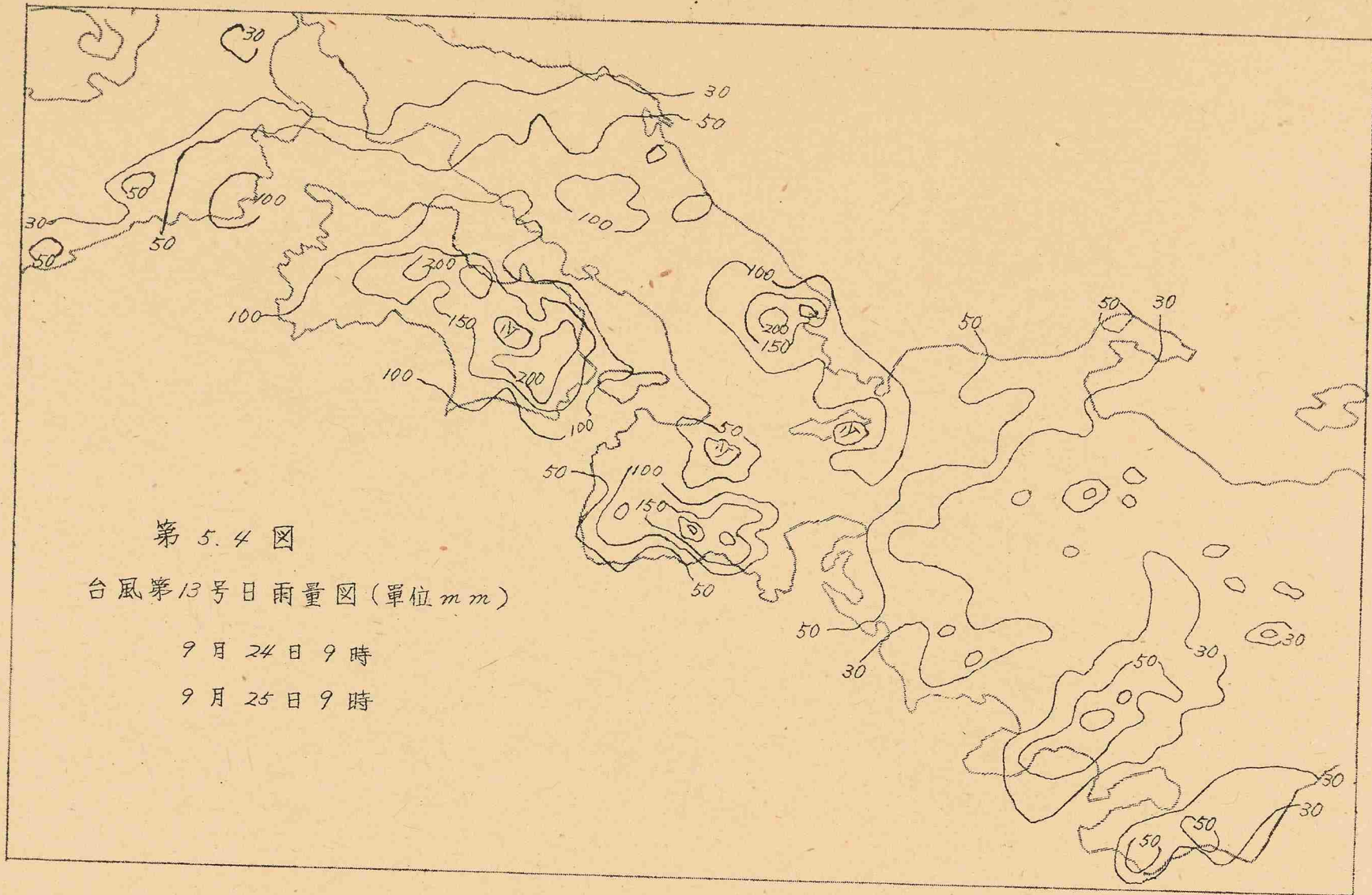


第 5.3 圖
 台風第 13 圖日雨量圖 (單位 mm)

9 月 23 日 9 時

9 月 24 日 9 時



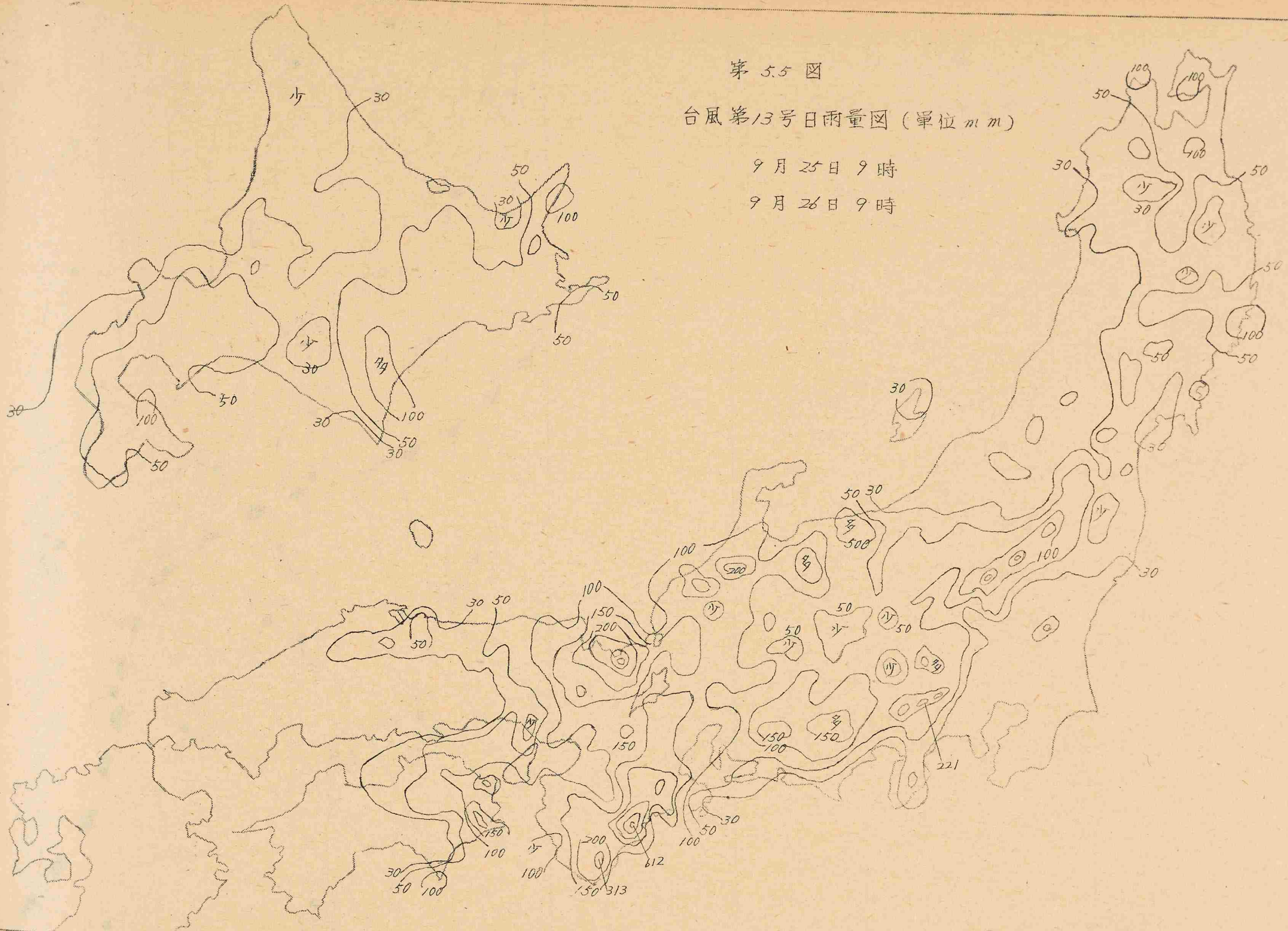


第 5.5 圖

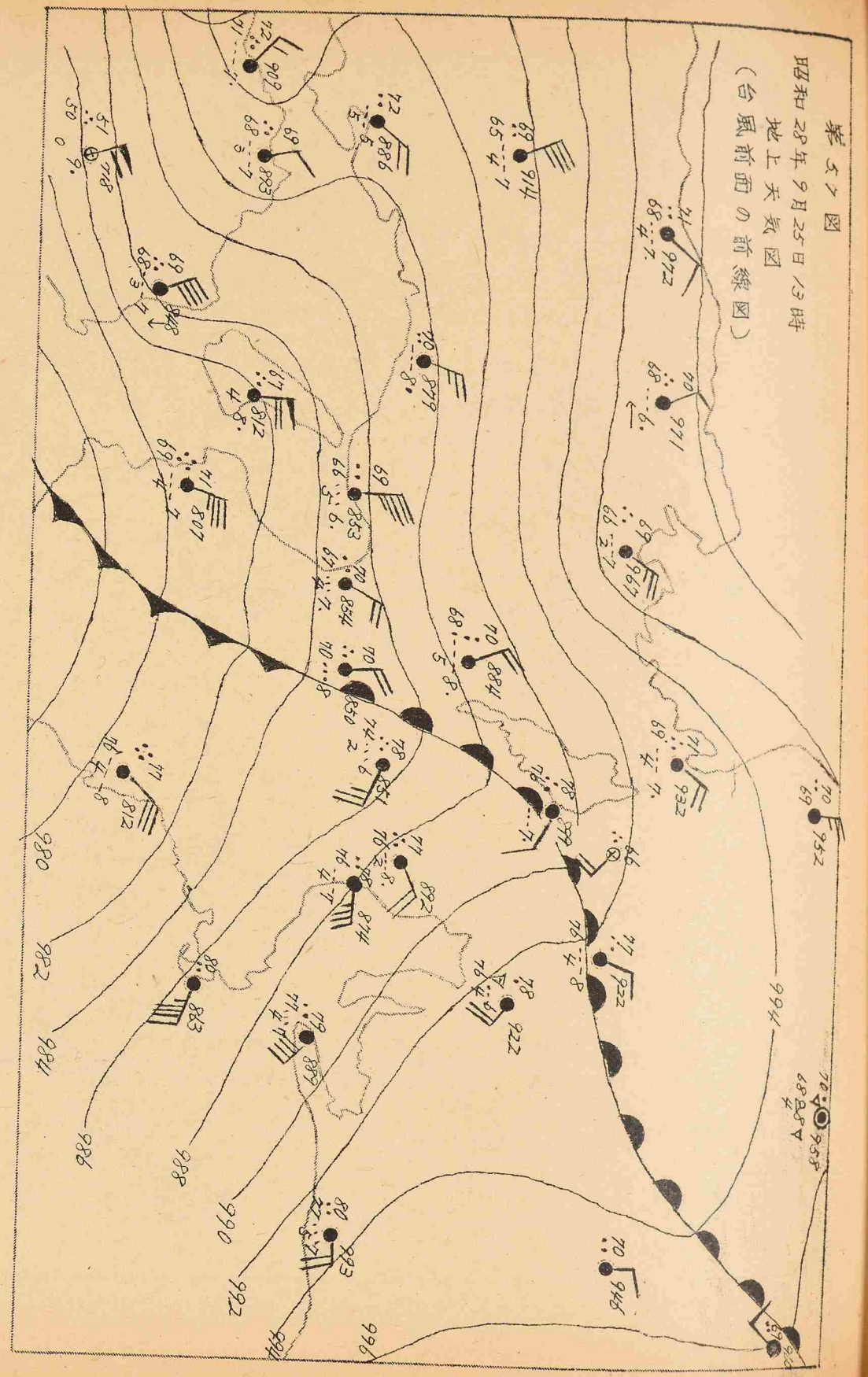
台風第 13 号日雨量圖 (單位 mm)

9 月 25 日 9 時

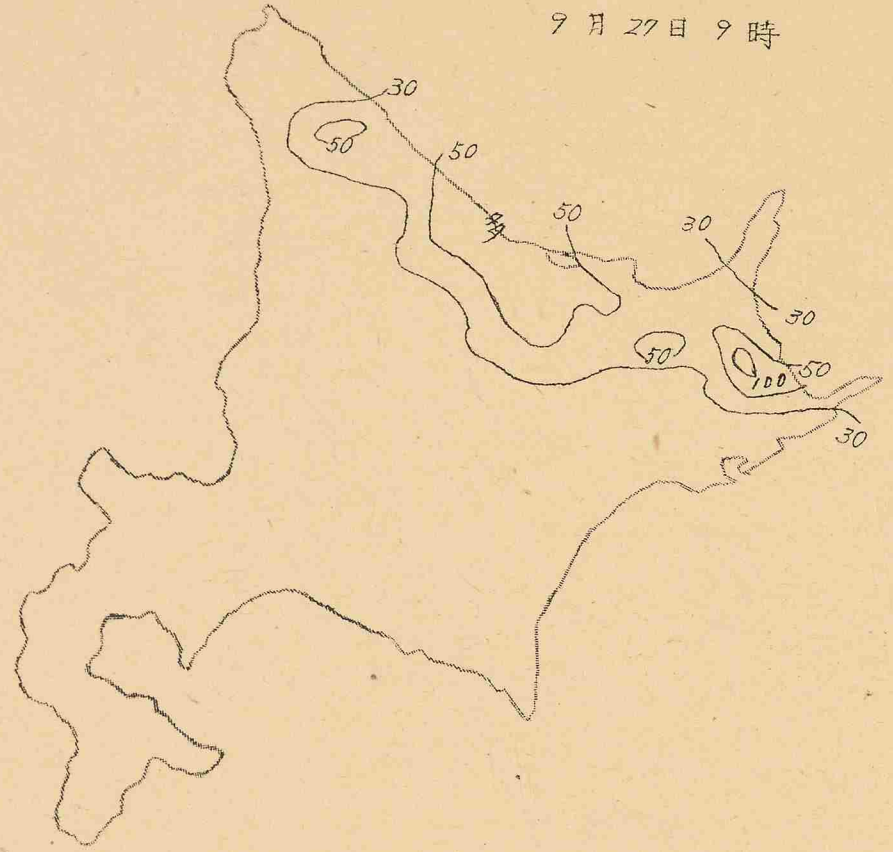
9 月 26 日 9 時



第 5.7 図
昭和 28 年 9 月 25 日 13 時
地上天気図
(台風前線の前線図)



第 5.6 図
台風第 13 号日雨量図
9 月 26 日 9 時
9 月 27 日 9 時



§5.2 河川状況

§5.2.1. 近畿地方の出水状況 ※

台風オノ3号は始め大阪湾通過の予想で昭和25年のジェーン台風と同様大阪湾沿岸の高潮が懸念されたが、途中から急に進路が東に偏ったため近畿地方は大雨となり、淀川、由良川を始め近畿の各河川は何れも大洪水となった。特に淀川は、枚方では最高水位6.97mで既往最高の5.67mより1mも高く、未曾有の大洪水で危枝一発のところで本川の破堤、氾濫を免れた。これは宇治川その他上流の小支川の氾濫により本川の最大流量が減少したことや瀬田川洗北をピーク時に全閉し、宇治川の流量を減少したこと等によるものと考えられる。

各地の最大洪水流量は次の通りである。

量水標	起時	最大流量	摘	要
水津川筋	加茂	25. 21. 30分	4,700 ^{m³/s}	流量曲線式による
〃	八幡	26. 00. 00	4,150	計算による
桂川筋	桂	26. 01. 00	3,100	流量曲線式による
〃	羽束師	25. 23. 00	3,400	計算による
本川筋	枚方	25. 23. 15	7,500	実測による

※ §5.2.1. は近畿地方建設局発行による「近畿水害速報」より一部を転載したものである。

加茂の最大流量は昭和24年の台風ヘスターの時と同じく4700^{m³/sec}で、八幡でも同一であった。八幡の最高水位時刻は25日23時30分で、台風ヘスターの際より50cm最高水位が高く、堤防天端高に近くなっている。これは最大流量は同じでも、台風ヘスターの時は桂川の出水が12時間おくれ下流水位が低かったため、今回は桂川の出水を同時のため、その背水となり、八幡の水位がこのように高くなったものと思われる。

桂の最大流量は3,100^{m³/sec}で、台風ヘスターの時より780^{m³/sec}多く、羽束師では計画高水流量2,780^{m³/sec}を突破している。最大流量の時刻では桂は26日1時、羽束師では25日23時で、水津川とほぼ同一時刻である。

本川枚方の最大流量は実測の結果7500^{m³/sec}で計画高水流量6,950^{m³/sec}を550^{m³/sec}も突破している。今度の洪水では宇治川筋向島における破堤のため、本川の最大流量が相当減少している。これは25日23時30分に八幡の水位が最高になった約2時間前に水位はほぼ天端高となり、八幡地点で溢流しはじめたが、丁度この時向島が破堤したため八幡の水位は急激に低下した。

羽束師の水位が破堤時刻より後も急激に低下しないのは背割堤が長くのびているためと、合流点よりの距離が長いからであると思われる。

破堤直後の宇治川筋の淀量水標付近の逆流量は約520^{m³/sec}で、この流量と向島地点へ流下してくる宇治川流量が破堤した所より堤内へ流出し、本川最大流量を1200^{m³/sec}くらい調節したことになる。この調節量の総量は59,500,000^{m³}で、これを湛水面積で除して、湛水地域の最高水位を逆算すると、平均水深はやく2.4mとなり、実際とよく合致する。この破堤がなく全部本川に流出したとすれば枚方の最大流量は8,700^{m³/sec}となり、最高水位は計画高水位より1.34mも高くなったものと推定される。

第5.2表 淀川水系雨量総括表

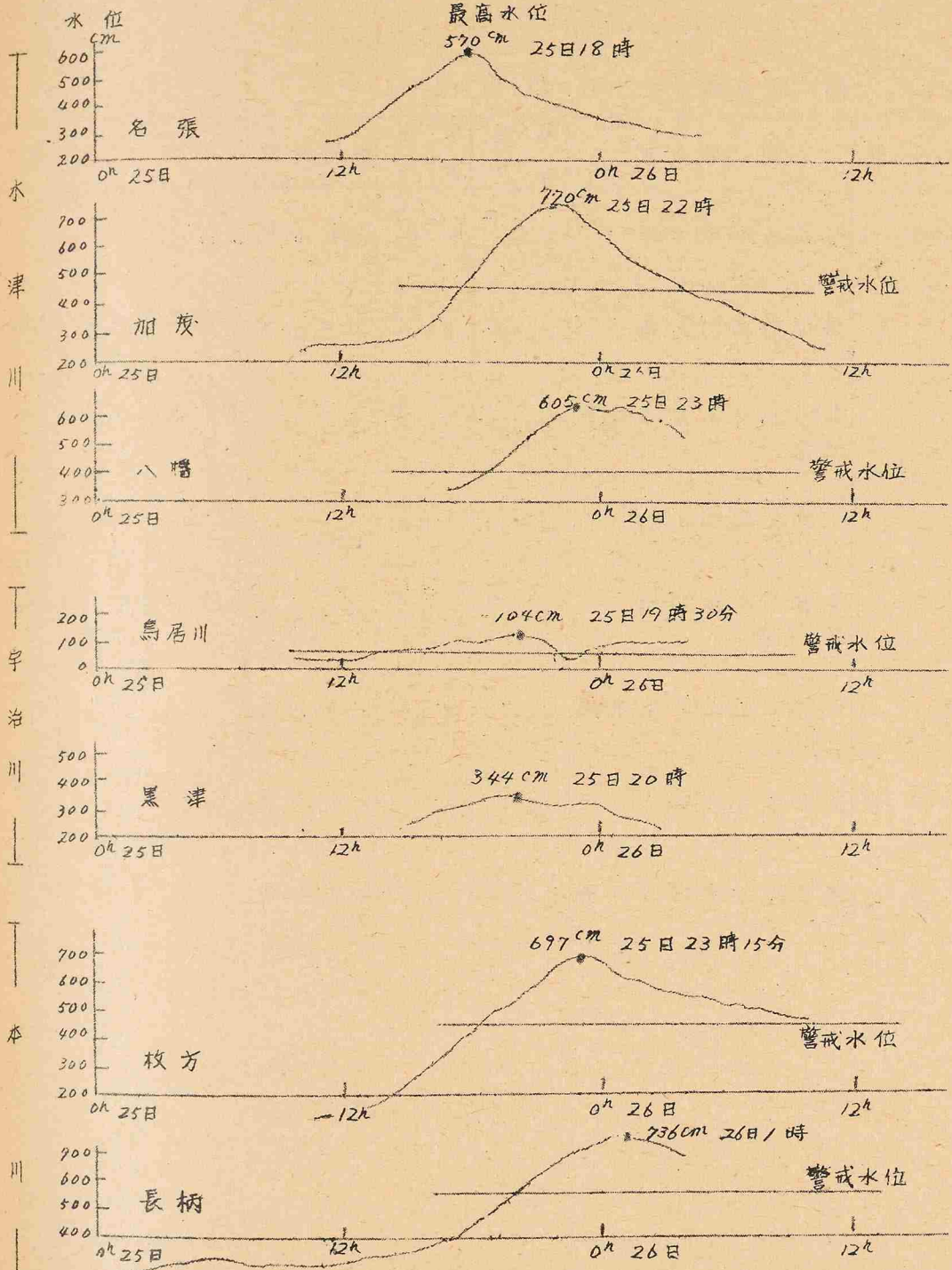
河川名	観測所	降雨時間		総雨量	最強時	1時間		既往最大雨量			
		開始	終了			最大量	3時間最大量	日雨量	起時	連続量	起時
琵琶湖	市場	日 24. 6	時 25. 15	269	25.12~15	m m	100	230.8	昭 23.8.2	486.6	昭 23.7.30~8.4
	本庄	24. 6	25. 15	136							
	瀬田川	24. 6	25. 23	294	25.14~17	50.9	130	188.3	昭 10.8.10	228.6	昭 10.8.25~9.5
	水口	24. 10	25. 23	231	25.16~18	46.0	84	270.6	昭 19.10.7	616.4	昭 29.9.3~11
	老根	24. 9	26. 0	173	25.16~19	24.0	65	538.3	昭 29.9.7	1007.5	昭 29.9.3~11
大戸川	雲井	24. 7	25. 15	135	25.18~21		28	430.0	昭 29.9.7	250.9	昭 29.9.3~11
	本之本	24. 7	26. 0	139							
大戸川	雲井	24. 7	25. 15	135				168.4	昭 28.8.14	222.9	昭 28.8.11~15
水津川	榛原		26. 0	226	25.15~18		65	42.5	昭 5.7.31	51.0	昭 5.7.30~31

第5.3表 淀川水系最高水位表

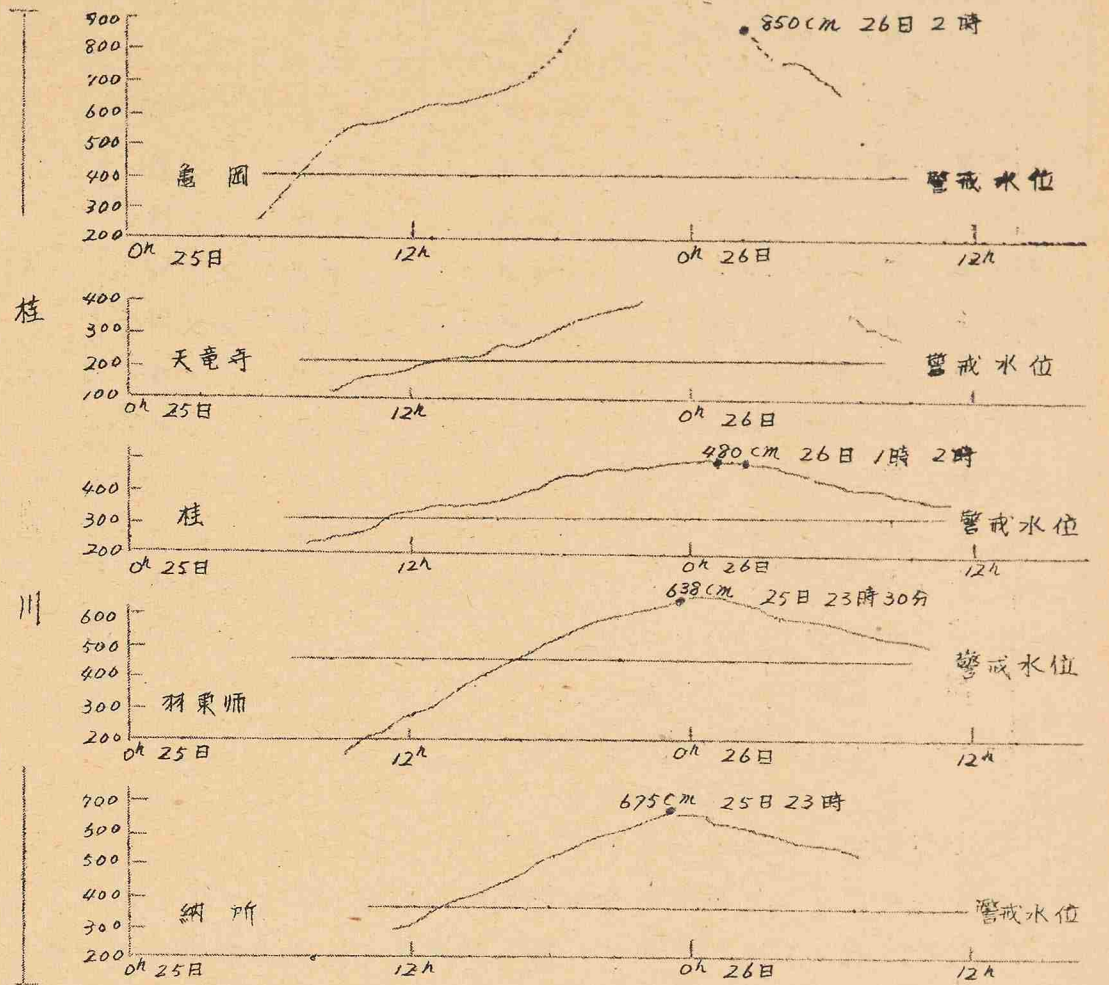
河川名	観測所	降雨時間		総雨量	最強時	1時間最大量	3時間最大量	既往最大雨量				
		開始日時	終了日時					日雨量	起時	連続量	起時	
水津川	曹名河	雨張	25.15	275	25.12~15	89	246.2	昭12.9.13	377.5	昭5.1.30~31		
		保	24.05	26.0	252	25.13~16	30.5	81	193	大6.09.30	341.6	大6.9.29~30
	河	保	24.10	26.0	308	25.12~15	89					
		波	24.09	25.21	391							
	上	植	26.0	384	25.15~18		140	352.3	昭37.9.16	314.2	昭19.10.6~7	
		竜	24.06	25.23	235	25.15~18	78	258.0	昭28.8.14	311.8	昭10.8.24~94	
	大河	野	24.06	26.0	246	25.15~18	25.9	70	286.7	"	昭28.8.11~15	
		原	24.09	25.18	186	25.15~18	67					
	西	茂	24.06	25.23	155	25.15~18	30.5	50				
		田	24.09	25.20	175	25.16~19	63	198.5	昭28.6.26	249.0	昭36.7.6~9	
桂川	黒田	田	24.07	25.15	188	25.16~19	79	175.4	昭37.9.16	275.9	昭13.7.1~5	
		山	24.06	25.15	210	25.12~15	70	176	昭43.9.6	297.4	昭20.10.7~10	
	新	庄	24.07	25.15	218	25.12~15	77					
		鹿	24.06	26.03	284	25.12~15	27.0	72	195.8	昭10.6.28	317.0	昭13.7.1~5
	比	ヶ	畑	24.06	25.15	139	25.12~15	50	180.7	昭10.6.28	331.4	昭13.7.1~5
		畝	山	24.09	25.18	187	25.15~18	22.6	50	230	昭10.6.28	276.2
淀川	枚方	阪	24.05	25.23	163	25.12~15	18.3	49	266	昭10.6.28	350.0	昭36.6.30~78
		方	24.09	25.19	84	25.12~15	9.9	21	230	昭10.8.10		
大和川	柏原	奈	25.09	25.19	145	25.12~15	51	183.2	昭10.6.29	390.3	昭38.6.10~24	
		良	24.05	25.23	150	25.15~18	34.0	65				
紀川	大黒	台ヶ原	23.22	25.22	988	25.12~15	44.0	77				
		山	25.21	230	24.17~18	30.0	-					
由良川	福知山		25.21	205	25.14~17	29.0	63					
樺石川	池田		25.21	205	25.14~17	29.0	63					
大河	大甲			126	25.14~17	18.2	44					
長保川	三	方		144	25.15~18	8.9	18					
		野		123								

水系名	河川名	観測所	台風13号水位		警戒水位	計画水位	既往最高水位	
			最高水位	日時分			年	月日
淀川	琵琶湖	三保ヶ崎 島尾川 千所	1.30m	27.16				
			1.02	27.16	0.50		m大 1.43	大 6.10.1
			1.55	25.19.30				
"	大宇治川	黒瀬向三 淀川 宇治	3.44	25.20	3.00		3.24	昭27.6.23
			1.42	27.18				
			2.58	26.07	2.00	4.10.2	3.70	大 6.10.1
			17.53	25.22		16.9.12		
			6.58	25.22		5.1.55		
"	木津川	名張 月ヶ瀬 島ヶ原 大河 加茂 木津 田八	5.90	25.18			5.47	大 6.9.30
			9.37	25.19	6.00		9.33	昭24.7.29
			7.20	25.20	3.50		7.00	昭28.8.15
			(6.00)	25.18	5.50		12.60	昭24.7.29
			7.70	25.22	4.50	9.0.13	8.97	大 6.10.1
			4.82	25.22.30	3.00	5.3.66	4.29	大 6.10.1
			6.50	25.23	3.50	6.5.31	5.41	昭19.10.8
			6.05	25.23	4.00	6.3.10	5.91	大 6.10.1
"	桂川	鹿野 大鹿 桂 羽束 納所	9.18	25.23	4.50		6.49	昭13.7.5
			4.06	26.01	1.80	25.05	3.10	"
			4.84	26.01	3.00		3.99	"
			6.38	25.23.30	3.50	5.8.71	5.26	"
"	淀川	枚方 大長 柄	6.97	25.23.15	4.50	6.0.70	5.67	昭19.10.8
			7.34	26.00	4.50	7.4.20		
			7.36	26.01	5.50	7.4.20	7.42	大 6.10.1
猪名川	小戸	食濟	3.40	25.19	2.50	4.14		
			4.90	25.18	3.58	5.8.3	6.26	昭13.7
由良川	福知山	山	7.80	25.23.30	3.00	6.5.12		
			20.15	25.19	21.80	23.30		
大和川	保	川	4.98	25.14	4.00	5.00	4.20	昭16.8
			6.59	25.24	4.00	6.2.34	6.05	大 6.10

淀川水系水位 (1)



淀川水系水位 (2)



3. 5. 2. 2 淡路島における河川水位状況

(洲本測候報告)

河川名	警戒水位	最高水位	観測時間
洲本川	3.10 m	3.10 m	25日 19時
千草川	2.50	1.60	25日 18時
三原川	2.00	2.40	25日 15時
成相川	2.00	1.80	25日 11時
大日川	2.00	2.50	25日 20時
志筑川	1.50	1.30	25日 15時
浦川	1.50	1.30	25日 15時
鳥飼川	1.80	1.90	25日 16時
都志川	1.40	0.93	25日 16時
那家川	1.50	1.45	25日 11時

3. 5. 2. 3 京都府の河川状況

京都測候所報告

主なる河川の出水状況

- (1) 田良川は、上流の北桑田郡方面の諸支流および天田郡の土師川などが一斉に氾濫し、綾部大橋下流地点、何鹿郡豊里村宇大橋および福知山市字鋸物師町など数ヶ所において決壊し、また隧道で氾濫溢水し、綾部市、福知山市、大江町は全市殆んど浸水したが、北桑、何鹿地区は交通通信断絶のため詳細不明。
- (2) 淀川は、京都市伏見区向島(国直轄維持区域)において左岸堤防500mが決壊し、巨椋池干拓地700町歩、又これにつづく淀町、御牧および佐山村一帯、沃野約3000町歩を濁流の海と化し、数千の人家は軒下浸水をうけた。
- (3) 桂川は、船井郡八木町宇大鏡において堤防兼国道九号線が決壊し、八木町を呑み、南東田郡亀岡盆地は一面の海となり、亀岡駅は孤立して浸水は軒下に達した。保津峡谷も、危険に瀕し、京都市右京区、乙訓郡向日町、長岡町一帯をあらわし、淀川の合流点では支流に逆流

して付近住民は学校、競輪場などへ緊急避難する程の浸水であった。
 (4) 木津川は、井手町など各地で「8.15」南山城水害の急復旧施設の一部が再び流失し、その他沿岸各地で暴威を逞しうした。

第 5. 4 表 京都府水位表

河川名	観測地	警戒水位	最高水位	観測時間	備 考
由良川	北桑田郡平屋村	2.50 m	5.10 m	25日 15時	
"	綾部郡綾部大橋	2.50 m	7.20 m	25日 20時	既往最高水位(大10.9.26)より0.90m高い
"	福知山市字呉服音無瀬橋	3.50 m	7.60 m	25日 24時	既往最高水位(大10.9.26)より1.98m高い
桂川	北桑田郡周山村	2.50 m	7.00 m	25日 19時 20分	
"	南桑田郡亀岡町保津橋	4.50 m	8.00 m	25日 21時	既往最高水位(昭20.10.9)より1.51m高い
鴨川	京都市上京区荒神橋	1.20 m	2.45 m	25日 19時	
宇治川	宇治市宇治橋	1.50 m	3.40 m	25日 20時	明治29.9.10以降最高
木津川	相楽郡木津町泉大橋	3.000 m	4.82 m	25日 22時	

§.5.2.4 滋賀県の河川状況

第5.5表 a 河川関係雨量観測表

河川名	観測地	24日	25日	計	河川名	観測地	24日	25日	計
野洲川	貼川	88.7	438.7	527.4	天野川	春照	97.9	155.2	253.1
"	土山	100.1	253.7	353.8	"	醒井	104.5	208.0	312.5
"	水口	80.2	151.6	231.8	姉川	伊吹山	66.2	131.9	198.1
草津川	草津尾	83.7	170.5	254.2	"	長浜	61.1	100.5	161.6
大井川	多羅	66.2	142.0	208.2	"	虎姫	55.0	85.0	140.0
"	雲井	89.4	148.6	238.0	余曇川	木之本	58.1	88.1	146.2
日野川	日野	80.0	304.0	384.0	石田川	今津	84.6	120.0	204.6
"	鏡山	67.9	191.9	259.8	安曇川	朽川	130.5	168.0	298.5
"	八幡	77.0	175.0	252.0	"	安曇	100.5	198.3	298.8
安知川	政所	100.5	365.0	465.5	真野川	堅田	73.5	109.6	183.1
"	山上	77.8	312.0	389.8	"	北小松	73.0	129.0	202.0
"	安知川	42.0	144.4	186.4	野洲川	野洲	52.0	180.0	232.0
大上川	彦根	44.3	127.8	172.1	"	大津	63.2	164.0	227.0
					杣川	油日	121.8	325.3	447.1
	中河内	78.0	109.0	187.0		治田	89.2	151.1	240.3
	竹生島	60.5	74.0	134.5		吉槻	80.0	165.0	245.0
	環田川	54.8	199.5	254.3		中洲	98.5	189.3	287.8
	市湯	138.0	284.3	422.3					

第5.5表 b 各河川水位表

河川名	郡	村町	大字	最高水位	警戒水位	河川名	郡	村町	大字	最高水位	警戒水位
野洲川	野洲	野洲	野洲	3.13	1.70	高時川	伊香	福永	高月	2.20	1.30
"	甲賀	水口	新城	3.70	1.70	余曇川	"	伊香	西山	1.10	
"	"	三雲	酒田橋	3.00	1.30	"	東浅井	朝日	尾上	1.50	
安曇川	高島	島川	細川	6.00	1.50	大井川	伊香	塩津	塩津	1.46	
"	"	"	梅川	4.00	1.50	天野川	"	見長	野登	1.80	
"	"	"	坊	4.00	1.20	姉川	東浅井	大郷	六橋	2.00	
"	"	"	中村	4.50	1.20	"	"	七尾	今庄	1.20	
"	"	"	坂下	5.00	1.20	高時川	"	大郷	錦織	2.60	
"	"	"	平	3.00		姉川	"	虎坂	蘇	2.20	
天神川	逆瀬	里田	里田	2.30		草野川	"	下野	西山	1.54	
"	"	真野		2.00		日山川	"	形	環	2.20	
"	"	和辻		1.50		栗山川		栗山	中沢	2.70	
安知川	神護	水原寺	紅葉橋	2.60		草津川		草津	草津	2.50	
"	安知川	豊原	八幡橋	2.90		芥川	彦根	大浜		2.00	0.90
"	神崎	北辺	御身橋	3.30		大上川	大上	多原	敏満寺	1.90	
日野川	蒲生		別所橋	2.00	1.10	"	彦根	宇尾		1.00	0.70

§.5.2.5 奈良県の河川状況

第5.6表 各河川の最高水位表(深河川課調)

河川名	観測地	警戒水位	最大水位	備考	河川名	観測地	警戒水位	最大水位	備考
吉野川	上市	2.02	4.60	警戒水位突破	飛鳥川	八木	1.90	2.35	
"	五條	3.62	2.70	"	葛下川	葛	1.03	1.60	
大和川	藤井	2.96	6.75	"	北山川	河合		4.90	
"	笠目	3.00	4.20	"	吉野川	柏木		7.50	
"	大泉	1.86	2.70	"	竜田川	竜田	1.53	1.75	
寺川	茶之庄	2.30	3.65	"	富雄川	笠目	1.74	2.40	
葛城川	曲川	1.91	3.20	"	佐保川	長安寺	2.95	4.30	
高田川	築山	2.35	2.40	"	五月川	月瀬		10.00	
曾我川	曾我	2.21	3.20	"	宇陀川	榛原	2.40	3.30	
高取川	池尻	2.50	2.35	"	十津川	上野地	1.60	1.00	
葛城川	久瀬	1.88	3.60	"	天川	川合		7.80	

§.5.2.6 和歌山県の河川状況

第5.7表 和歌山県毎時水位(25日6時~26日10時)

川名	観測所	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
紀ノ川	橋本	140	160	170	210	230	250	260	280	310	360	400	450	510	580	620
	全高島				260	295	315	325	335	360	383	401	434	447	500	538
	全船戸			232	246	261	295	336	355	370	405	440	470	510	545	570
熊野川	新宮						560	630	680	760	830	880	940	985	1010	
川名	観測所	21	22	23	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
紀ノ川	橋本	610	570	480	420	310	-	-	300	260	230	210	200	190		
	全高島	580	-	-	620	640	-	-	-	-	363	300				
全船戸	610	624	634	659	644	604	579	505	475	433	403	380	360			
熊野川	新宮	1030	1010	990	950											

§ 5.2.7 三重県の河川状況

第 5.8 表 三重県水位観測表

9月25日台風13号による水位(河川課調)

河川名	観測地			平水位	9月25日	
	郡市	町村	大字		水位	月日
木曾川	桑名	長嶋	押付	0.525	3.57	26
長良川	"	"	十日外面	0.15	2.87	"
揖斐川	"	城南	上之輪	0.15	3.00	"
員辨川	"	"	安永	3.94	2.40	"
鈴鹿川	鈴鹿	龜山	阿野田	0.10	2.15	25
"	"	井田川	和泉	0.20	3.80	"
"	"	"	庄野	0.15	2.84	26
"	"	"	高岡	0.55	3.60	"
"	四日市	"	塩浜	0.20	2.30	"
新宮川	南牟婁	御船	成川	0.39	4.30	25
鈴鹿川派川	三重	桶	南川	0.20	4.00	26
"	"	"	北五味塚	0.68	3.30	"
内部川	"	河原田	河原田	0.24	2.51	"
三滝川	四日市	"	北町	(-)0.15	2.55	"
朝明川	三重	大矢知	松寺	(-)0.50	1.50	"
安樂川	鈴鹿	井田川	和泉	0.23	2.90	25
雲出川	一志	八知	比津	0.33	3.20	"
"	"	竹原	竹原	0.18	5.00	"
"	"	家城	家城	0.08	5.30	"
"上流	"	川合	須ヶ瀬	(-)0.15	5.30	"
"下流	"	"	"	0.25	5.90	"
"	"	小野江	小野江	0.28	5.50	"
"	"	香良州	馬場垣内	0.50	3.20	"
八平保川	"	竹原	八平保	0.50	3.70	"
中村川	"	中郷	台ヶ野	0.17	3.50	"

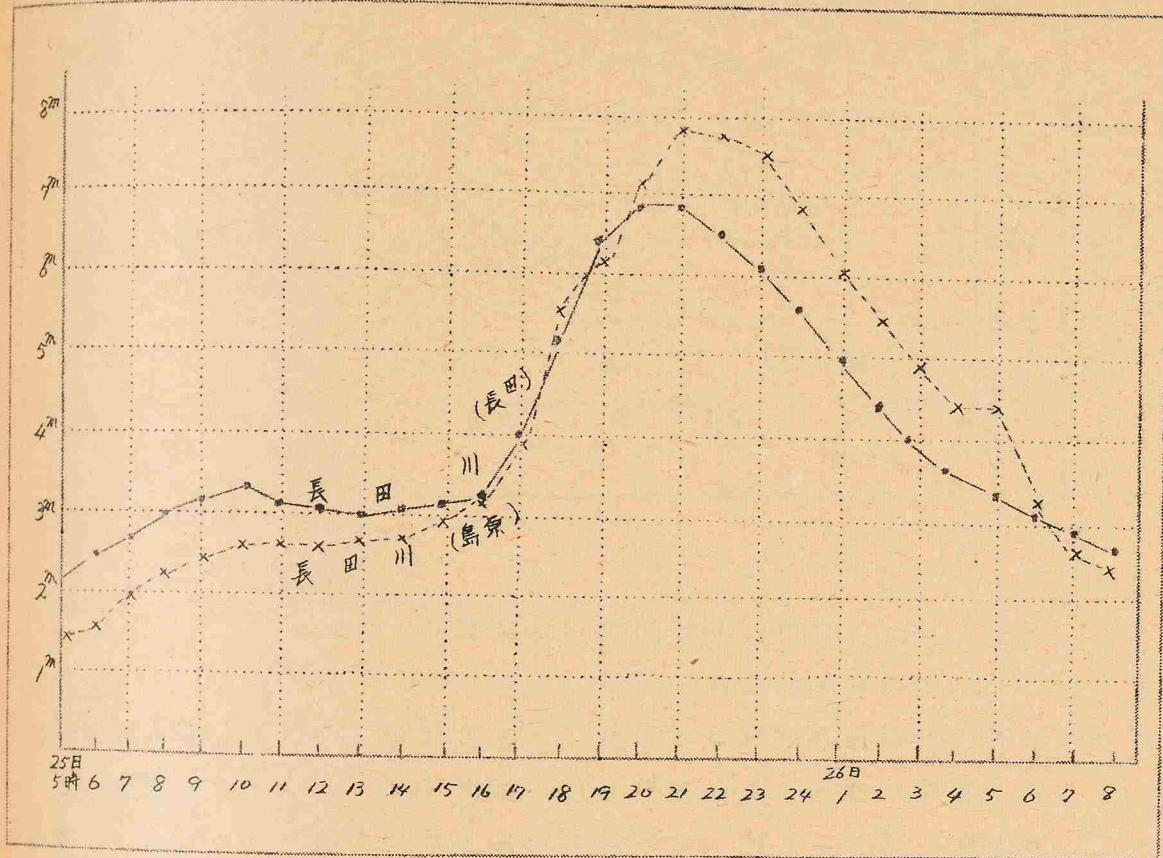
河川名	観測地			平水位	9月25日	
	郡市	町村	大字		水位	月日
長田川	阿山	島ヶ原	一	0.12	2.80	25
"	上野	"	長田	0.31	6.85	"
拓植川	阿山	河合	四徳院	0.40	推定3.80	"
服部川	上野	"	荒木	0.10	3.50	"
名張川	名賀	名張	新町	0.15	5.90	"
川上川	"	種生	種生	0.12	2.80	"
阪内川	松阪	"	本町	増水	2.43	"
柳田川	飯南	柳田	豊原	"	4.40	"
"	多気	相可	相可	0.15	2.30	"
拔川	"	青宮	竹川	0.11	3.05	"
宮川	"	大杉谷	久豆	0.41	11.00	"
"	"	三瀬谷	佐原	0.	19.00	"
"	宇治山田	"	宮川	(-)0.20	5.60	"
大内山川	度会	滝原	野後	0.20	9.20	"
赤羽川	北牟婁	長島	松本	0.	3.20	"
船津川	"	船津	中里	5.30	8.40	"
銚子川	"	相賀	相賀	3.86	8.82	"

伊賀盆地の出水

上野測候所報告

第5.9図

長田川の長田及び島ヶ原量水標の水位変化図(毎時)



第5.9表 伊賀地方各河川水位状況表

河川名	量水標位置	台風13号 最高水位	既往最高水位		危険 水位	平均 水位	江-治風 最高水位	へ29-台風 最高水位
			水位	年月日				
長田川	阿山郡島ヶ原村	7.80	6.97	昭 2.10.3	5.73	0.70	2.85	6.70
長田川	上野市長田	損壊不明	5.70	" 6.10.6	3.88	0.31	3.05	4.80
植植川	上野市佐奈具	"	3.18	" 2.10.6	3.00	0.40	1.75	3.20
名張川	名賀郡名張町	5.90	5.47	天 6.9.30	4.80	0.15	1.84	5.45
服部川	上野市中瀬	3.50	3.64	昭 2.10.3	1.80	0.10	4.35	2.70
川上川	名賀郡種生村	2.80	3.45	天 6.10.10	2.30	0.12	2.18	3.50
服部川	上野市三田	損壊不明	-	-	3.40	0.50	3.00	3.40

§ 5.2.8 愛知県河川状況

第5.10表 愛知県河川水位表

河川名	観測所	警戒水位	13号水位	河川名	観測所	警戒水位	13号水位
水曹川	西中野	4.90	5.30	巴川	足助	4.50	5.50
"	島水	5.30	6.12	矢作川	平井	3.50	3.90
庄内川	水野	3.00	4.60	"	米津	3.70	4.08
矢田川	瀬古	1.30	1.40	矢作古川	上横須賀		5.26
曉川	西一色	1.09	2.55	豊川	三上	6.00	6.06
逢妻女川	千足	0.92	0.95				

§ 5.2.9 富山県河川状況

(富山測候所報告)

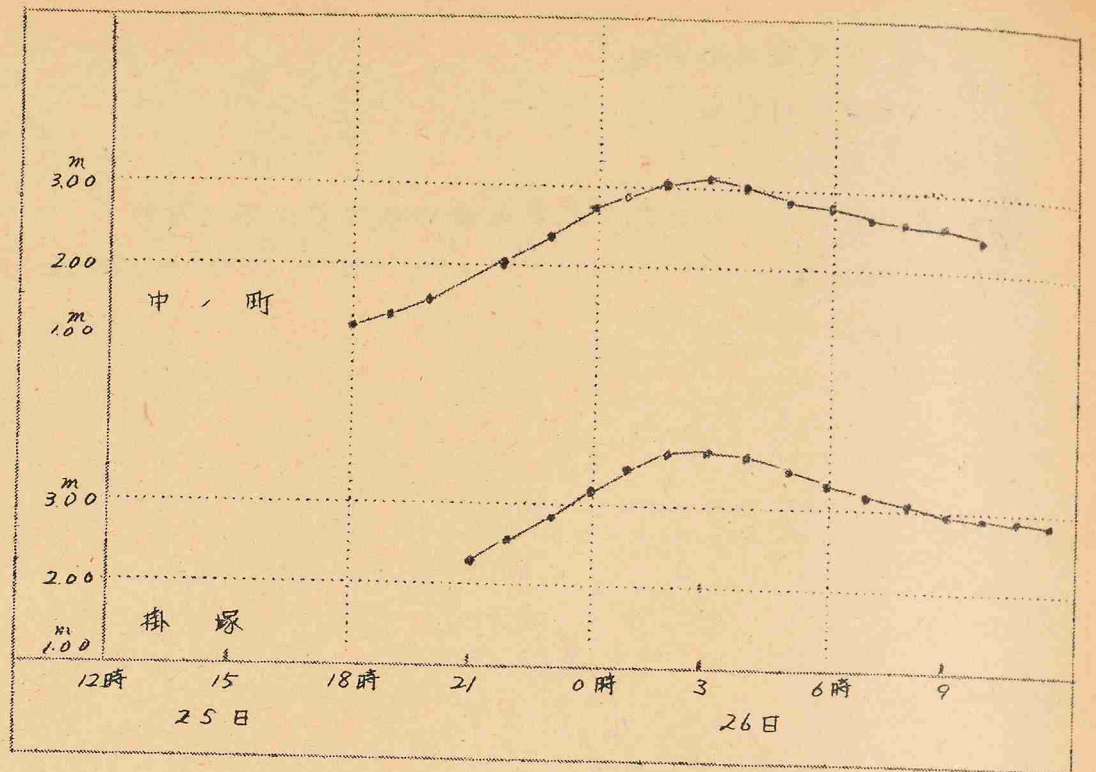
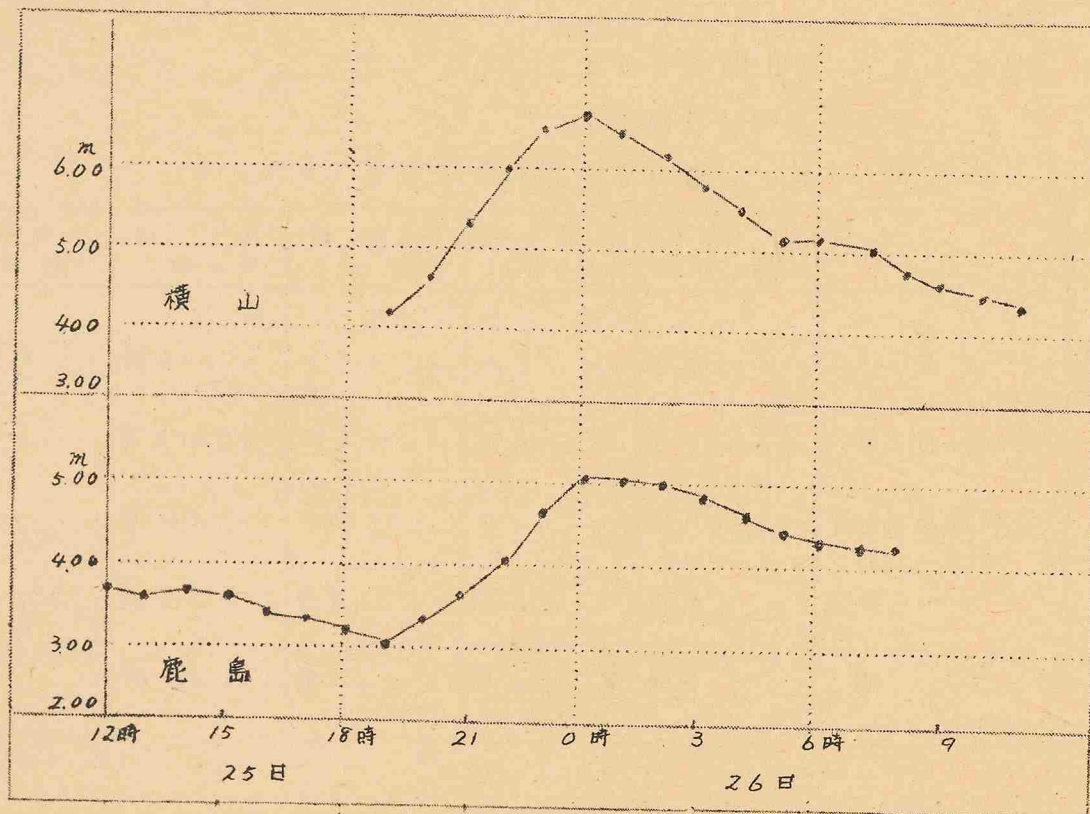
第5.11表 富山県河川別最高流量(水位)表

	黒部川 (愛本)	常願寺川 (大日橋)	神通川 (鷓長)	庄川 (小牧)	小矢部川 (石劔)
平水量(位)	6,000個	1.6m	1.8m	5,000個	0.9m
警戒水量	30,000個	3.0m	3.8m	30,000個	2.8m
今回最高の水量	49,400個	3.2m	4.55m	52,920個	4.5m
日	26日	26日	26日	25日	26日
時	4時	5時	5時	23時	0時

浜松測候所報告

今回の台風は、概して雨量は少かったが、23日から前線による降雨があり、これによる流出が始まっていた所へ台風による降雨が加わったので天竜川にはかなりの水が出た。台風自身の雨量は多い所で150mm内外のもので、23日から25日までの合計で200mm位であった。この多雨地帯は気多、水窪、大千瀬の三川流域で、下流各地の水位は図に示す通りで、鹿島では最高5.06mを測っている。鹿島で5.00mをこえることは平均して1年半に1回位の高水である。水位は平岡、佐久間とも25日22時頃が最高で、鹿島では26日01時頃となっている。流量は平岡で最高2152 m^3/s 、佐久間2650 m^3/s を観測しているが、鹿島では4325 m^3/s であった。これは主として水窪、気多両川の水と思われる。

第 5.10 図 天竜川水位曲線



§ 5.2.11 荒川、利根川の増水状況

(熊谷測候所報告)

今回の総降雨時間は3日間(65時間余)に及び、最多雨域は初日(23日9時~24日9時)には県南東部で80mm、第2日目(24日9時~25日9時)は外秩父山系(荒川支流)に70mm、最後の日(25日9時~同日夜半)には三峰方面で160mm余と連日多雨域は移動した。このため荒川本流への総降雨量は三峰山で220mmにも達したが、最も強く降ったのは最後の25日で、その量も100~150mm程度に止ったので、荒川の増水は左程顕著には影響しなかった。三峰山で降雨の最大が現れてから秩父橋で最高水位に達するまで3時間、親鼻から佐谷田まで4時間を要している。親鼻~佐谷田間では昭和10年以來の最大所要時間は3時間であったから今回の約1時間多くなっている。利根川上流地帯では局部的に大雨のいつた所(中宮祠437mm)もあったが、群馬県方面の降水量が少なかったため本県境の水位には大して影響はなかった。

今回各量水標で警戒水位をこした量は佐谷田で50cm、吹上106cm、裸葉師98cm、古谷本郷224cm、栗橋70cmであつた。

第5.12表 荒川利根川水位表

	荒川				利根川			利根川	
	秩父橋	親鼻	佐谷田	吹上	裸葉師	平方	古谷	栗沼	栗橋
報告水位	200	300	200	500	460	500	450	400	500
警戒水位			250	500	460	500	500	450	600
堤上一致	1980	1580	574	1080	977	-	113.9	8.48	1.067
25日 17時	200	315	258	510			498		
18	220	325	262	525			535		
19	230	335		547			582		
20	245	360	266	554			592		
21	260	390	268	555			612		
22	260	410	270	562	460	400	630		
23	260	410	286	566	498	415	649		
24	260	400	290	575	506	430	666		
26日 1時	255	390	298	580	510	440	680	398	
2	250	370	300	600	518	455	689	411	
3	245	355	292	606	526	463	696		
4	245	355	285	600	537	467	700	440	
5			277	593	548		714	443	
6			270	581	556		710	417	
7					558		718		505
8							720		510
9							720		519
10							722		520
11							723		528
12							724		530
13							724		528
14							723		524
15							719		518

第 6 章 被 害 状 況

§ 6.1. 概 況

台風第13号による被害は台風が上陸した愛知県を中心に、鹿児島県から北海道に至る全国の都道府県に及び、多少とも被害を受けない県は絶無という。過去にも見られないような広範囲の地域で被害を受け、特に東海道、近畿地方の被害は甚大であった。

全国の総被害額は不明であるが、愛知県だけの被害総額をみても、675億5264万円という巨額に達し、全国を累計したならば数千億円の単位となるであらう。

第6.1表は国家地方警察本部警ら交通課調査による10月7日12時現在における全国都道府県別被害表である。

この表によると全国の死傷者行方不明の数は比較的少なかった。しかし床上浸水は144300戸、床下浸水は351575戸という莫大な数字を示し、罹災者総数は報告された分だけでも100万人を突破した。しかしこの表には脱落も報告されていないと思われる所があるので、実際にはもっと多いものと思われる。特に被害の大きかった府県は愛知、三重、和歌山、滋賀、京都、奈良、大阪、静岡、福井等であった。

第6.2表は、建設省発表による土木関係の被害表で、土木関係の被害だけでも総額600億に近い数字を示している。

第6.3表は林野庁発表による山林関係被害表で、100億円を突破している。

この台風は本邦の中央山岳の電源地帯を縦断したため、中部、北陸、関西、東京の4電力会社は合計100万キロワット時（全国出力の5分の1）が一時発電不能におちいる程の被害を受けた。また関東平野では猛風害による送電線の事故が数日後まで続き、大きな被害をうけた。

伊勢湾から静岡県を中心とした高潮の被害も甚大で、この他高潮では九州南部から関東地方および日本海側でも被害を受けた。

§ 6.2 各地の被害状況

第6.4表は全国の気象官署より暴風雨被害報告としておくられた各地の被害状況を表にしたものである。

この表に入らなかったものをその後記述してある。

第6.2表

(單位千円)

台風13号に因る土木被害額調 建設省

第6.3表

(單位千円)

第13号台風による山林関係被害額調 10月16日現在

府県名	工事		市町村工事		計		融資額	府県名	石山施設			林道		計	その他	合計		
	個	額	個	額	個	額			面積	金額	併	金額	計				延長	金額
北海道	29	29,250	181	95,000	210	124,250		青森	20	35,000	2	3,000	38,000			38,000		
青森	62	39,410	20	31,450	82	70,860		宮城	17	20,000	1	5,000	25,000	368	6,420	31,420		
岩手	42	30,370	26	12,965	68	93,335		福島						4,150	15,000	15,000		
秋田	121	116,805	24	8,155	145	124,960		茨城		1,750	2	727	2,477	89	1,550	4,027		
山形								栃木		29,350			29,350	1,508	34,100	63,450		
福島	200	195,820	6	11,659	206	207,479		群馬		15,450			15,450	1,500	10,000	25,450		
茨城	126	188,368	5	2,650	131	191,018		埼玉										
栃木	657	519,549	17	15,900	674	535,449		千葉										
群馬	172	180,000	20	7,000	192	187,000		東京										
埼玉県	211	309,520	2	480	213	310,000		東京		48,825		549	49,374			49,374		
千葉県	225	269,046	34	10,300	259	279,846		神奈川		91,550		2,895	94,445	1,377	11,971	106,416		
東京都	418	446,604	36	69,384	454	515,988		新潟										
神奈川県	113	105,090	2	2,700	115	107,790		富山										
山梨県	95	189,018	8	2,780	103	191,798		石川										
長野県	50	23,296	4	1,823	54	25,119		福井	310	322,000		18,000	340,000	171,570	710,910	1,050,910		
岐阜県	717	964,472	276	142,133	993	1,106,605	30,000	山梨	92	149,669			149,669	13,000	110,000	259,669		
静岡県	891	1,223,254	811	434,410	1,702	1,657,664	110,000	長野	127	78,150	1	4,500	82,650	12,902	59,650	142,300		
愛知県	415	341,420	128	59,770	543	401,190		岐阜	772	138,436	1	1,400	139,836	1,790	13,897	153,733		
三重県	773	918,400	151	51,340	924	969,740		滋賀		60,675		50,250	110,925	4,942	16,290	127,195		
奈良県	451	567,372	98	138,875	549	706,247		三重		102,000			102,000	80,400	241,200	1,261,200		
和歌山県	796	9,199,000	472	1,526,526	1,268	10,725,526	410,000	京都		1,041,070			1,041,070	178,019	418,371	1,459,461		
徳島県	2,132	7,088,648	725	653,877	2,857	7,742,525	370,000	大阪	716	686,873			686,873	151,198	226,777	913,670		
香川県	5,782	4,516,615	837	605,365	6,619	5,121,980	210,000	兵庫	45	57,000	1	1,000	58,000	50,000	2430	60,430		
愛媛県	1,978	3,311,151	472	390,149	2,450	3,701,300	180,000	奈良	221	771,400			771,400	12,629	149,600	921,000		
高知県	6,852	7,084,171	2,478	2,013,976	9,330	9,098,147	470,000	和歌山		466,200		116,450	582,650	839,226	264,397	847,043		
福岡県	1,758	2,125,557	1,455	1,009,407	3,213	3,134,964	130,000	岡山		235,600			235,600	810	24,370			
佐賀県	2,059	1,199,059	711	248,801	2,770	1,447,860	60,000	徳島		45,413			45,413	3,460	48,373	68,740		
熊本県	1,802	1,721,683	2,969	794,241	4,771	2,515,924	100,000	香川		133,050			133,050	5,986	17,600	150,650		
大分県	2,612	2,388,000	2,530	320,000	5,142	2,708,000	160,000	愛媛	85	17,150			17,150	2,358	8,200	25,350		
宮崎県	56	53,052	33	7,037	89	60,089		高知		16,600			16,600					
鹿児島県	70	68,635	35	15,266	105	83,901		宮崎		4,600			4,600	2,150	18,750	18,750		
沖縄県	147	74,170	43	13,450	190	87,620		鹿児島		2,000			2,000	7,200	800	8,000		
計	35,777	49,207,000	15,810	9,233,304	51,587	58,440,304	2,450,000	合計	5,176,794			215,590	5,891,884			2,935,904		
合計	56	87,450	56	87,450	56	87,450										2,935,904		

第6.4表-(2)

測候所	人的被害	住家被害		家屋浸水		非家	堤防		橋梁		道路	山崖	田		畑		農作物被害	船			其他				
		死者	負傷	全壞	半壞		流失	床上	床下	被害			決潰	破損	流失	破損		流失	冠水	流失		冠水	沈没	流失	破損
敷賀		51	105	34	403	1001	312	7364	4887	2019	382	769	1009	494	786	1840	72	491	5261	2	16	田埋没 1636町 3,206万町 海岸堤防 5ヶ所 3,737万町			
橋井	福井県広報課	62	216	73	311	1103	472	14672	17751	2602	1053	1449	2075	757	1837	17584	452	2085	3211	6	58	埋没水田 2094町 畑 504町 家屋一部破損 1533戸 被害額 168億			
金沢	石川県救助対策本部		1	3	35		2976	4455	526	119		112	290	864	339	3894	73	228							
輪島	鳳至郡		1	2	6		58	269	7	15	47	35	5	84	27					10					
"	七尾市鹿島郡			2	4		23	163	166	645	327	745	25	8655	50	110	1154	35	135	3602		1			
"	珠洲郡			2	14		37	220	25	59	2	10	80	7	57	9465		5	不明	6	20				
富山	園警	5	7	2	11	46	5	3473	5712	90	313		206	320	232	1159	15750	37	182	50044	7	9	17	耕地被害総額 74,200万町 道路堤防橋梁被害 85,800万町	
高田		2		2	1		8	50		53			12	18	4	46	9.1								
新泻	県庁国警	1		2			13	3	11	34	4	1	7	19	3	22	22	15	8			55	上越方面被害大		
茨城			19		67	175	58	3514	6332	792	245	多数	51	多数	160	多数	16	3941	6	4074	9,009	不明		浜名湖周辺冠水被害甚大	
御前崎				1	20		10	50														11	145	総被害額 48,10.15	
三島	田方郡下			2	3	2	208	379	45	7		1	7	6		34	0.1							514	
長津呂	眞茂郡下			1	5	0	10	333	44			5	20									2	7		
長野	県下	1	8	6	5	16	6	231	568	69	33		19	78	34	42	669	59	541	26438	8	7			
諏訪	諏訪郡諏訪市	1		1	18				12				7	12											被害額 132,800.5万町
甲府	国警県土木課			3	150	3	13	100	10	51	135	19	35	121	20	24	220	5	8	24,600	10			11.2.在L 2万貫 200万町 土木被害 13250 畑農作物 8,000町	
燕谷	県消防課	2	1	1	9	125		1	142	9	14		2	6	9	田畑浸水 1513.2町									電柱倒壊 60
横浜		2	6	1	7	121	1	201	877	42	2		3	28	18	2	55		2000	1100	1		4	水箱倒伏脱粒 1310町	
大島		1		1	9					1				6											電柱倒
三宅島																									3.
富崎									10		8		1												水稻倒伏 1668町
銚子		1	2	2	3		14	221	10	1			2	13					2500町						
水戸			2	1			25	12														2	1	1	
宇都宮		1		2			4	4	38	5				1	2499	26	1043								
前橋	県河川厚生衛生課	4		28	200		2	68				5	1	11	12		75		67	142					
福島		1		57	21	2	4	348	4	59			15	68	15	4	7.2	4.9	9326	4411.6					一部破損 308戸
山形	県災害本部			3	5		1																		果樹 5440万町
盛岡							25	78	2	60	4		4	5	1	195				1929 (稻倒伏)					
田名部									25													2			
雄武	雄武町役場						5	13	6	1															
浦河	日高支庁			1	19		7	20	19	南洋線	14			5					267						防波堤決壊 11.5万町
釧路				4			70	299	104					11					2260			3			総被害額 23628万町
根室				1	1				2					9	3				6600						

津山測候所報告

津山市被害

農作物	水稲	その他	電柱倒壊 4
被害地	910町歩	316町歩	板べい 4
減収見込	2,610石	不明	土橋破損 1

§ 6.2.5. 鳥取縣被害状況 (鳥取測候所報告)

鳥取縣被害表 總被害額 26,878.2万円

種別	土木関係			農業関係		林業関係		水産関係
	河川	道路	橋	生産物	耕地	林道	治山	防波堤
件数	40	18	6			5	3	3ヶ所
金額	3,139.4万円	490.5万円	232.0万円	2,152.9万円	1,080.4万円	80万円	200万円	130万円
	3,861.9万円			22,606.3万円		280万円		130万円

§ 6.2.6. 兵庫縣被害状況

第6.8表 兵庫縣下被害表 (洲本、姫路、豊岡各測候所報告の分のみ)

測候所名	洲 本			姫 路			豊 岡	
	地域別	洲本市	津名郡	三原郡	姫路市	飾磨郡	神崎郡	但馬
人的被害	死者							2
	行方不明	1						
	負傷者		16					
住宅被害	全壊		15	18				3
	半壊		45	31	7			4
浸水	床上	6	48	22				1
	床下	183	516	1923		95		437
非住家被	7	25	20		13	36		1,051
田	流失埋没	0	46	75.5				71
	冠水	30	287	1,137	111	543	87	11,966
畑	流失埋没	0	45	0	(畑を含む)	(畑を含む)	(畑を含む)	89
	冠水	5	0	0				2,655
道路決壊	14	198	53					244
橋梁流失	2	4	11		5			114
堤防決壊	5	17	52					107
山崖崩れ	0	1,691	247					
鉄道不通	0	-	0		2			
船舶	流失	2	3	3				
	大破	0	8	0				
	中破	0	62	29				
電柱倒壊					3	5	34	
板べい倒壊					数ヶ所	21	24	

§ 6.2.7. 京都府被害状況

台風第13号は24日、25日の両日に總雨量500mmをこえ、このため淀川、木津川、由良川、桂川等の溢流、決壊および日本海岸の高潮波浪等、被害は京都府全域にわたり、甚大なる被害を受け、被害總額446億2,698.7万円に達した。

23日未明より相当の降雨があり、24日も終日降り続き、夕刻から豪雨となり、25日早朝よりますます強烈となり、午後2時まで各地区とも200mmをこえ、何鹿郡では476mm、午後10時まで503mmに達した。

由良川—23日以来の降雨で上流の北桑田郡方面の諸支川、天田郡の土師川等一斉に氾濫し、ついに綾部大橋下流地点、何鹿郡豊里村宇大橋および福知山市鎔物師町等数ヶ所で決壊し、各地で氾濫、溢水し、綾部市、福知山市、大江町は全市ほとんど浸水し、その他沿岸町村も甚大な被害を受けた。舞鶴市でも各河川が一斉に氾濫し、暴風雨による高潮の影響もあり、西、中、東の三舞鶴とも全市が浸水した。

淀川—京都市伏見区向島において左岸堤防500mが決壊し、昭和7年4月以来十数年の年月をかけて干拓した巨椽池干拓地700町歩の美田を一呑みにし、これにつづく淀町、御牧、佐山村一帯の沃野3,000町歩を濁流の海と化し、数千の人家は軒下浸水を受けた。

桂川—船井郡八木町大藪で堤防兼国道九号線が決壊し、八木町を呑み、南桑田郡亀岡盆地は一面の海となり、亀岡駅は孤立して浸水は軒に達した。保津峡谷も危険となり、京都市右京区、乙訓郡向日町、長岡町一帯をあらい、淀川との合流点では支川が逆流し、付近住民は学校などへ緊急避難した。

木津川—笠置町、木津町、大河原村等危険となり、城湯町、八幡町付近も決壊寸前の状態までなつたが、必死の防水により決壊は防止することが出来た。しかし井手町等各地で「8.15南山城災害」の応急復旧施設の一部が再び流失し、その他甚大なる被害をうけた。

その他舞鶴港、宮津港、伊根、向人、網野等日本海沿岸漁港は高潮と暴風により船舶、漁港施設に相当な被害を受けた。

第6.9表

京 都 府 下 被 害 表

昭和28年10月1日現在

状 况		市 地方事務所別	京都市	福知山市	舞鶴市	綾部市	宇治市	乙訓地方事務所別	宇治	綾喜	相楽	南桑田	北桑田	船井	何鹿	天田	与謝	奥丹後	合 計	
罹 災 者 總 数		人	4,462	30,007	88,465	14,638	19,276	3,710	15,844	17,981	10,262	16,465	8,334	18,553	8,763	7,303	18,002	1,964	321,029	
人 的 被 害	死 者	人	1	2	53	2	-	-	-	-	2	4	11	5	14	7	3	-	104	
	行 方 不 明	人	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	1	-	14	
	負 傷	重 傷	人	-	9	23	3	-	-	-	9	5	11	5	1	5	6	2	-	79
		軽 傷	人	7	273	108	6	-	7	32	38	1	118	6	4	24	29	72	3	728
	合 計	人	8	285	184	12	-	7	32	47	8	133	22	10	52	43	78	3	924	
住 宅 の 被 害	全 壊	戸	7	90	294	53	17	4	344	51	16	16	90	300	284	461	35	2	2,064	
	流 失	戸	2	46	27	119	2	-	-	7	5	4	42	64	37	22	19	-	396	
	半 壊	戸	97	421	1,305	303	14	139	388	185	53	81	189	761	116	218	221	13	4,454	
	浸 水	床 上	戸	4,659	5,777	4,918	1,452	2,000	318	611	974	341	1,024	616	1,021	584	555	1,654	5	26,509
		床 下	戸	4,616	180	14,219	1,850	2,250	321	1,448	2,351	1,695	2,082	818	1,536	701	248	2,560	342	37,280
	合 計	戸	9,381	6,514	20,763	3,777	4,283	782	2,791	3,518	2,110	3,207	1,818	3,682	1,722	1,504	4,489	362	70,703	
非住宅の被害			63	180	126	150	656	19	311	206	158	1,893	381	795	558	108	710	13	6,327	
田 畑 の 被 害	田	流失埋没	町	342	96	292	288	33	31	225	164	72	305	444	788	527	216	273	-	4,096
		冠 水	町	1,140	583	543	750	655	238	698	1,071	719	2,053	441	1,769	689	653	1,420	1,027	14,449
	畑	流失埋没	町	264	153	104	298	87	4	8	44	120	30	60	75	117	72	169	-	1,605
		冠 水	町	281	281	192	185	51	66	179	174	94	166	59	512	176	351	237	415	3,419
	合 計	町	2,027	1,113	1,131	1,521	826	339	1,110	1,453	1,005	2,554	1,004	3,144	1,509	1,292	2,099	1,442		23,569
道 路 決 壊		カ所	88	4	641	320	55	10	97	628	546	347	1,441	720	189	456	364	1,015	6,931	
橋 梁 流 失		カ所	38	8	111	78	34	10	32	158	138	150	281	464	135	201	58	69	1,965	
堤 防 決 壊		カ所	63	5	324	466	18	13	20	544	143	545	318	940	196	239	316	309	4,459	
鉄 道 不 通		カ所	5	3	6	3	3	-	9	4	25	1	-	6	-	4	2	2	73	

第6.1回 京都府災害地略図

九月二十七日午前十二時現在

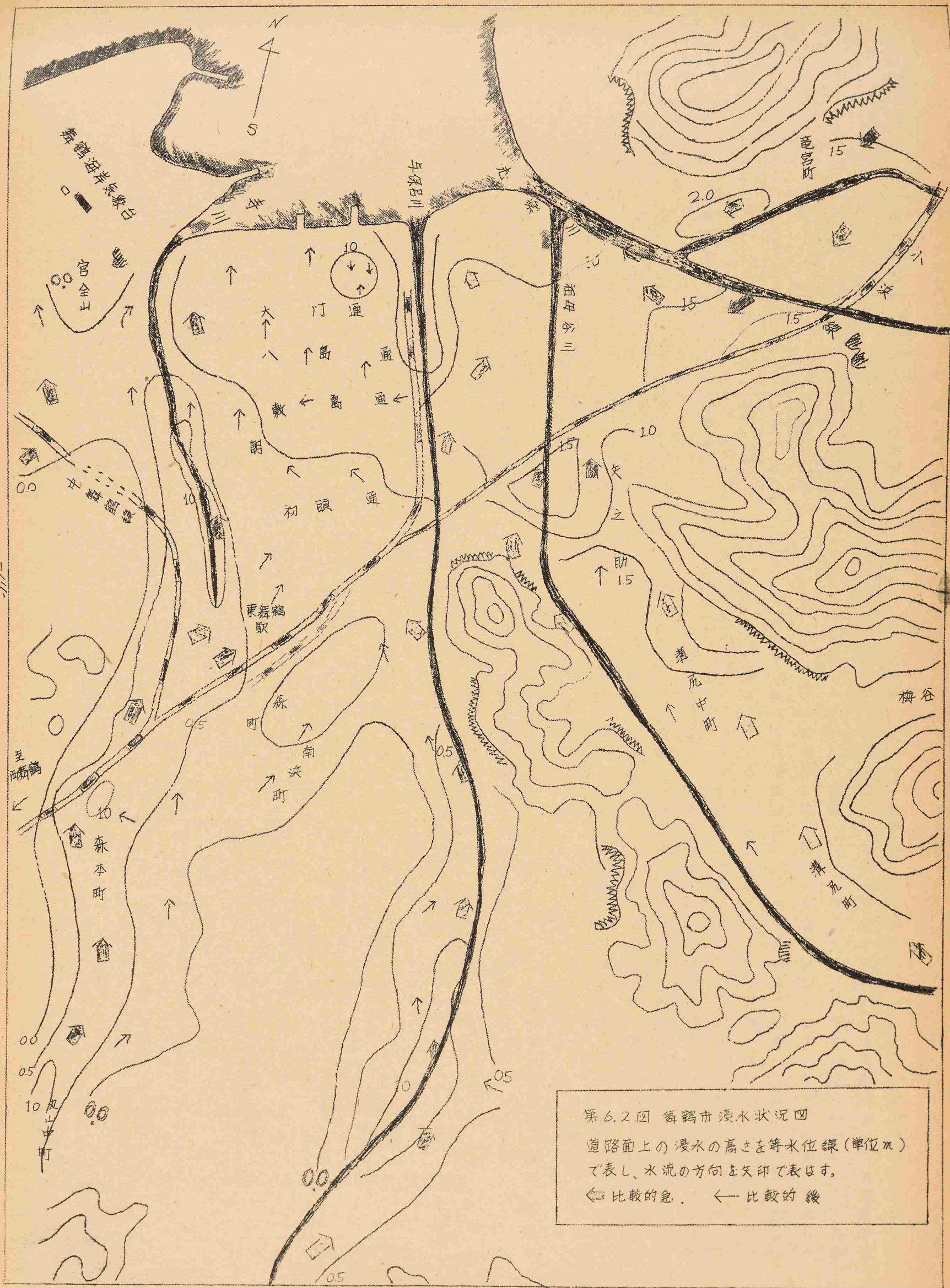


凡 例

-  被害激甚地
-  河川決壊箇所
-  橋梁流失箇所
-  道路欠壊箇所
-  砂防欠壊箇所
-  鉄道不通箇所

(主なる箇所のみを示す)

0 10 20 30 40 Km



第6.2図 舞鶴市浸水状況四
 道路面上の浸水の高さを等水位線(単位m)で表し、水流の方向を矢印で表はす。
 ⇐ 比較的急、 ← 比較的緩

§ 6.2.8 逆賀県下被害状況

逆賀県下では暴風による被害よりも豪雨による被害が大きく、県下の被害総額は130余億円に達するといわれている。山間部では2日間で最高500ミリを突破する降雨があった所もあり、流域で200ミリ以上の降雨のあった河川でははんらんが起っている。特に被害の大きかったのは安曇川、野州川、愛知川の流域一帯で、この他戦時中に干拓された九つの新田のうち塩津、貫川の二つを除き他の入江、中ノ湖、松泉、野田沼、氷笠、四津川、繁昌の7つ800町歩は収穫皆無となった。瀬田川にある洗堰ダムを京都府の要請により全部閉鎖したため、琵琶湖の水位は26日14時(+)93cmとなり、戦後第2の最高水位を示し、このため、湖辺の水田4000町歩が浸水した。また東洋一を誇った逆賀県醒ヶ井養鱒場は台風の猛威のため鱒60万尾が押し流され500万円の損害を受けた。

第6.10表 逆賀県下被害表

28年9月30日現在

逆賀県災害救助隊本部

被害別	被害別															合計	
	逆賀	栗太	野州	甲賀	蒲生	神崎	愛知	犬上	坂田	東浅井	伊香	高島	大津	彦根	長浜		
人的被害	死亡不明			5	1	12	1		1	1		7	3	1		32	
人的被害	負傷			1	1	5		2	2	1		2	5	1		16	
人的被害	重傷	2	13	184	6	65	3	25	7	7	4	51	6	40		420	
住家の被害	全壊	29	47	215	135	540	35	36	43		3	185	166			1484	
住家の被害	半壊	50	59	153	96	296	29	19	22	74		169	91	3		1061	
住家の被害	流失	212	288	750	479	1339	129	78	93	341		750	459	14		4932	
住家の被害	床上	2		17	7	9	2		4	2		38	4			85	
住家の被害	床下	5		91	30	44	5		13	10		169	8			325	
住家の被害	非住家被害	9	684	1846	928	1286	599	1455	556	675	7	5	1328	115	133	11	9637
住家の被害	田畑被害	49	2575	9400	4430	6086	2470	6459	2824	3094	27	17	6673	570	555	47	45279
住家の被害	田畑被害	135	2829	3606	3610	3816	1184	2734	2342	2676	329	54	2483	1553	1718	191	29260
住家の被害	田畑被害	698	14263	18233	17862	19120	6115	11962	10392	12127	1452	201	12519	6440	7018	850	139253
田畑被害	流失埋没	113	194	1352	494	682	135	434	54	96	3	2	1633	37	48	5	5282
田畑被害	冠水	202	2123	2556	2057	2012	663	1543	482	405	113	23	4882	1153	468	39	18721
田畑被害	冠水	1554	16894	30667	36961	42985	10720	19909	6336	6098	5574	7402	22060	2484	10598	1732	221774
田畑被害	流失埋没	35	476	537	439	495	459	479	57	212	20	18	620	26	85		3958
田畑被害	冠水	64	923	2131	2919	2814	1143	1396	824	672	637	1276	1401	31	1905	82	18218
道路被害	決壊	66	354	216	675	507	91	292	109	52	18	9	265	132	35	2	2822
橋梁被害	流失	27	204	57	175	220	33	166	83	52	12		177	44	19	2	1271
堤防被害	決壊	41	279	71	551	232	19	245	14	206	64	27	218	100	11	12	2080
鉄道被害	不通	1		1	8	11	1	2		4			4		1		33
山くす水		357	322	21	1976								304	60	62		3107
罹災者数		1045	17187	26879	22935	27211	8758	18562	13363	15587	1496	225	20371	7657	7629	897	191812

第6.11表 逆賀県被害金額表

被害種別	被害金額 (単位万円)		被害種別	被害金額 (単位万円)		被害種別	被害金額 (単位万円)			
	全	壊		水	稲		山林施設	山林		
家屋被害	全	26320	農作物関係	水	228077.1	山林	山林施設	43612.0		
	半	42440		園芸特産	15860.5		森林	126397.0		
	流失	5800		合計	243927.6		計	170009.0		
	床上浸水	96370		農業関係	水		5672.0	水産関係	県有施設	1261.1
	床下浸水	58520			農協関係		4341.3		河川及養魚	2150.0
その他	21250	農業関係	肥料	2113.2	漁業関係	漁業施設	3788.7			
合計	230450		合計	12126.5		その他	3000.0			
土木関係	什器損害	31927	開拓関係	開拓関係	1386.7	その他	計	10199.8		
	河川	227626.9		畜産関係	家畜		866.8	織縫関係	織縫関係	17000.0
	砂防	24863.3	畜舎		2953.4		鉄工		2000.0	
	道路	50571.9	畜産関係	飼料	824.3		農業	4000.0		
	橋梁	23901.1		その他	15.0		商業	7000.0		
	港湾	2000.0	畜産関係	計	4659.5		計	30000.0		
	泉	2500.0		蚕糸関係	桑園		756.0	公共施設	8360.0	
	合計	331463.2	蚕		500		交通関係	20000.0		
	耕地関係	農地	75380.0	蚕糸関係	桑樹		204.7	総計	億	万円
		農業用施設	141420.0		緑肥流失		87.6		131.4635.4	
合計		216800.0	翌期箇収		2217.8					
			計		3316.1					

§ 6.2.9 奈良県被害状況

奈良県災害対策本部

第6.12表 奈良県下被害表

10月4日12時現在

地域別	人的被害			住家被害				合計	非住家被害		
	死者	行方不明	負傷	全壊	半壊	流失	床上浸水				
奈良市				5	22		496	2060	2583	11	
大和高田市					13			99	92		
添上郡	3	1	7	16	60		158	898	1132	206	
山辺郡				18	37		37	1086	1178	39	
生駒郡				16	26		85	1945	1914	131	
磯城郡				6	56		88	1228	1378	106	
宇陀郡	4		8	8	64	2	160	703	937	37	
高市郡				8	51		125	953	1137	297	
北葛城郡				7	32		18	180	332	68	
南葛城郡				3	8		27	220	273	9	
宇智郡				83	374		22	324	795	2030	232
吉野郡(西)	1		12	14	37	15	98	149	313	88	
吉野郡		3	1	55	176	76	344	1107	1758	352	
合計	8	4	137	570	1229	115	1960	11183	15057	1576	

建物被害金額 499700円

9月30日現在

土木被害 2336ヶ所				203924.1万円				農業生産物 112353.4万円							
県工事				市町村工事				水陸							
河川	砂防	道路	橋梁	河川	道路	橋梁	陸	水	陸	陸	陸	陸	陸		
684	144	929	45	217	259	58	23437	2010	1147	1900	343				
670169	18439.4	77340.4	9361.6	10279.8	15460.0	6016.0	700995	152590	21245.0	1447.5	4302.4				
養蚕関係		畜産関係		水産関係		農協関係		商工鉱業関係		観光関係					
1249		549.8		2095.0		9848.3		97654.0		9212					
林業関係				121808.7万円				耕地被害 120000.0				開拓関係			
林道	治山	木材流失	その他	農地	公共施設										
12629	221	64040			4133										
14960	77140	12808.0	16900.7	27000.0	93000.0	2124.0									

総被害額 1171099.4万円

§6.2.10 和歌山県被害状況

(イ) 和歌山測候所報告

9月30日13時現在国警和歌山県本部調査による台風才ノ3号の被害額は別表の通りである。災害は台風の進路に近い県南部に少く、遠い県北部、特に紀の川流域の妙寺、岩出、橋本及び和歌山市各警察署管下に甚大であったことは注目すべき現象である。

才6.13表 (a) 和歌山県下被害表

警察署名	罹災者	死者	傷者	行方不明	住家			床上浸水	床下浸水	非住家被害	田冠流失	田冠水	畑冠流失	畑冠水
					全壊	半壊	流失							
橋本	3610		1		26	189	25	576	912	208	891	2876	440	932
妙寺	8600	3	51		31	168	28	1799	1303	102	1314	6876	649	801
粉河	4180		18	1	67	252	31	622	690	170	1410	6097	1541	540
岩出	6130	1	3		42	147		1048	1635	733	1910	17170	910	960
和歌山	110				7	5		11	248	27	120	3760	100	970
野上	480		9		8	48	7	40	268	38	423	1100	56	258
箕島	4300				40	236	53	664	1160	14	600	1230	110	150
下津	160	1			8	10		9	180	32	07	1393		90
湯浅	1200		9		6	21	8	221	208	17	30	1330	20	30
島屋城	3500	1	4		112	189	149	348	440	20	754	412	185	147

御坊	1120		2		20	12		16	524	164	73	412.2	40	297
南郷	20					3		1		4				05
田辺	1840		3		3	7	6	304	833	69	70	5090	110	920
周参見	25		2			2		4	43	3		534		10
串本	40				2	3		1	20	11		740		131
古座	490				2	3		94	183	12	50	1544	28	370
新宮	950	1	7		24	41	27	139	167	193	196	3880	86	610
本宮	2000		2	1	35	131	28	216	104	138	180	408	333	158
和歌山市	2300		1		26	115	30	49	1809	82	02	10170	145	5550
海南市	130							33	694	5		65		
田辺市	70		1			4		1	138	1		2380		23
新宮市	5000		24	1	95	77	15	852	1217	135		1555	05	171
高野山	100	1			3	9	3	5	117	7	112	400	619	50
九度山	700				6	47	2	43	88	15	85	40		02
計	47055	8	137	3	563	1719	412	7096	12985	2200	822.7	13172	543.7	13195

堤防決壊 545件、橋梁流失 595件、道路損壊 2462件、山崩れ崖崩れ 743件、船舶沈没(150トン以上) 10隻、同流失 37隻、同破損 244隻、電柱倒壊 547ヶ所、板戸倒壊 3022ヶ所、鉄軌道被害 16ヶ所

(ロ) 潮岬測候所報告

第6.13表(b) 紀南地区被害表 28.9.27現在 国警本部調査

地区	田辺	周参見	串本	古座	新宮	本宮	田辺市	新宮市
死傷者	1	2			2		1	
家屋全壊	1		2	22	8	17		19
半壊	3	2	2	3	9	139	4	
流失	5				19	22		
一部破損	67		9	13	35	38	49	585
床上浸水	286	4	1	94	124	127	1	
床下浸水	500	43	20	173	170	12	138	410
田畑流失	18	55		21	80	41		
冠水	524	12	87	176	418	26	27	
道路破壊	26		13	38	60	26	5	3
橋梁流失	1	3	1		1	10	1	
堤防決壊	13		6		8	23		4
山(崖)	19		1	1	13	20		

- ◎ 氾濫河川の主なもの 日置川、熊野川、古座川、富田川、
- ◎ 木材流失状況 28.9.29現在
 - 熊野川 50,000石 回収可能 20,000石
 - 古座川 20,000石 " 10,000石
 - 日置川 50,000石 " 10,000石

5.6.2.11 三重県下被害状況

第6.14表 三重県被害表

被害種別	地区別	単位	桑名	員弁	三重	西三	淡路	鈴鹿	一志	奥志	飯多	西飯多	度会	南度会	志摩	南志摩	宮川	長島	木本	鴨殿	阿山	名買	尾鷲	桑名市	四日市市	鈴鹿市	津市	松阪市	山田市	上野市	名張市	水本町	統計	
			死	負傷者	行方不明	全壊	半壊	流失	一部破損	床上浸水	床下浸水	非住家被害	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎	田舎
人	死者	人			1		2		4							1	1	5								6	3					1	24	
	負傷者	人			8	3	1		163		6		22	6	7	17		3	11		3		2			8						4	264	
建物	全壊	戸	4		8		24		27	1	92	3	152	24	107	33	4	17	37	5	12	13	92			20	5						65	
	半壊	戸	3	2	2	8	17		116	2	42	47	808	34	240	7	7	163	194	178	50	8	177			113	273			17	2	13	887	
物	流失	戸		1	3	3	6		31		40	13	52	18	33		7	36	13	7	10		12		5	10	60			2	1	1	358	
	一部破損	戸	5						1706		48			27	306			88	80	239	14	9				17					76	2	58	2669
田	床上浸水	戸	243	99	321	63	1085	28	2707		2525	54	2137	436	2226	536	55	1429	349	265	254	613	1244	24	5800	1036	6338	1549	2114	556	400	165	34645	
	床下浸水	戸	98	250	424	308	2297	80	2727	8	1221	104	1776	1078	2513	1306	466	1000	286	145	1277	1412	1422	678	4617	1698	2760	255	2024	1360	642	47	34043	
畑	非住家被害	戸		1	141	49	921	22	2010		452	1	8	190		237		480	149	460	236	44	139		13	80		2	10	46	2	36	5729	
	流失埋没	戸	202	37			75		226			14	13	1	9	1	2	1	4	15	246	58	1	1	139	19				33	42		1193	
道	流失埋没	戸	814	623	732	711	1190	627	2358		3071	265	1758	29	503	166	323	80	394	655	1339	967	310	130	2012	1400	820	1880	1500	100	630	2	25389	
	冠水	戸	20	9	20		29	5	63			12	54	5	15	2			3	20	133	15			53					5	21		484	
橋	流失埋没	戸		22	81	47	500	9	672		1626	56	848	18	8	15	35	13	48	63	178	87	103		700		220		300	70	28		5806	
	冠水	戸		4	33	73	56	88	32	89	5	47	14	64	5	23	26	12	31	58	21	406	107	30	16	19	24	10		3	101	1	1515	
堤防	流失	戸		32			46	17	72	1		28	4		6	23	3	7	19	43	195	26	5		3	1	4			1	16	1	553	
	決壊	戸		124	19	14	65	6	50				79	9	76		2	3	10	4	179	3	7	4	33	28	2	12	40	20		773		
山(崖)	くずれ	戸		14	12	12	43	2	248	2	9	97	1		2		57	1	10	3	411	70	7							6	26		1033	
	倒壊	戸		1	13	6		3	67		56	56			1		8		6	21	9			3	5	14			20	3		293		
板	倒壊	戸			204	204			754						1					57	62	1		6						70	15		1374	
	被害	戸		2					6				1						2	1	3	3			1								28	
通信	施設被害	戸	2				7		19	6				2	3		2	4		13	37	3												28
	被害	戸							5	70		1430	500		144		1330	10000	2800	2605		1525	7100						13	4		60	399	
船舶	流失	隻							5	70																						200	27709	
	被害	隻			7		13		50					27	92	34	80	17	22	12					20	11							418	
その他	被害	戸			2		320		30						180	18			111							106	4						464	
	被害	戸					4																			156							819	
罹災者	概数	戸		3018	1737				110					520																				4
	世帯数	人	984	523	334				22									9635	2715	1770		768		3510	8794								1269	
																		2315	534	445		186		702									270	

上野副報告

8月14~15日の豪雨による大被害を受け、復興途上にあった42日目に台風13号の襲来を受け、上野市は再び交通、通信機関が杜絶し、河川は氾濫し、努力の結晶の仮橋堤防は無惨に破潰され、市中の低地の浸水は以前にもまして大きく、屋根は水面下ノ尺に没し、暴風も加わり、多大な被害を発生するに至った。稔りの秋を目前に農作物は致命的大被害を受け人々の顔には憂いの色がこく、たゞ案じられた再度の大規模な山崩れがなかつたことは不幸中の幸であった。

第615表 上野市役所調査による被害表

1. 被害率

罹災者			罹災戸数			田の被害			畑の被害		
人口数	罹災者数	比率	戸数	被害戸数	比率	総面積	被害面積	比率	総面積	被害面積	比率
A	B	B/A	A	B	B/A	A	B	B/A	A	B	B/A
51,509	19,451	38%	11,284	4,525	40%	2,375町	2,375町	100%	650町	620町	95%

溜池の被害			井堰の被害			橋梁被害		
総数	被害数	比率	総数	被害数	比率	総数	流失数	比率
A	B	B/A	A	B	B/A	A	B	B/A
473	22	4%	42	16	39%	218	104	48%
151町	47町	31%						

罹災者は床下浸入以上のもの

2. 被害数及金額

罹災者	人的被害				住家被害						非住家被害			
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	流失	床上浸水	床下浸水	全壊	半壊	流失	浸水	
19,451	1	0	2	7	125	382	8	994	3016	19	28	4	35	
					100,020円						2,711万円			

田の被害				畑の被害		溜池被害		井堰被害		水路被害		畦畔の被害	
流失埋没	冠水	風害	倒伏	流失埋没	冠水	被害数	面積	被害数	埋没及流失延長	流失浸水の延長			
979	259	24	1133	220	400	22	47町	16	50,000m	1,210m			
62,617.5万円(17,750石)				13,100万円		7,912.5万円		2,060万円		47,300万円		279万円	

橋梁被害	堤防決潰	道路の被害	山林崩潰	林産物		家畜被害	
橋梁失数	決潰箇所	決潰箇所	箇所	木材	薪炭産木	豚	雞
104件	114ヶ所	290ヶ所	31	2,600石		1	2,689
6,164.5万円	5,938万円	7,670万円	370万円	520万円	35万円	1.5万円	89.6万円

商工業業者における被害見積				公共施設				
商店流失浸水	工場林械	製材業	亜炭鉱	学校	庁舎	社会施設	水道施設	その他
13,655	690	600	300	1,375	525	800	40	850
15,245万円				3,590万円				

罹災による民生安定に必要とする経費			市民税の減免額		
生活保護	失業対策	住宅対策	市民税	固定資産税	その他
210		160	300	550	150
160万円	350万円	1,600万円	1,000万円		

§ 6.2.12 愛知県被害状況

県下全県に甚大なる損害をもたらし、被害総額675億7,264万2千円に達した。海岸地帯では台風来襲時に折悪し秋分大潮の満潮時と一致したため、最高潮位はルース台風にくらべて1mも高く、本県未曾有の高潮となった。このため知多半島、三河湾沿岸、渥美半島の海岸堤防は寸断され、名古屋市、豊橋市、碧南市、知多郡、碧海郡、幡豆郡、宝飯郡、渥美郡等の海岸地帯では人畜の死傷、家屋の倒壊、流失、浸水、道路、港湾、耕地、船舶等の損壊、乳熟期の稲作、及び農作物の被害は莫大の数量に達し、この他県下で暴風雨のため甚大な被害を受けた。

民生関係	農地関係	教育関係
1,721.3	281,829.6	5,315
衛生関係	労竹関係	その他
44,862.7	385.7	3,578,139.5
商工関係	土木関係	
528,499.5	1,344,816.8	
農林関係	建築関係	
925,633.1	60.0	

公共的被害 1,769,294.3万円 } 計 6,757,264.2万円
 一般被害 4,987,969.9万円 }

第6.16表 愛知県下被害表 (昭和28年10月/日午後8時現在)

		名古屋	豊橋	岡崎	瀬戸	半田	豊川	碧南	刈谷	幾日	丹波	中島	海部	知多	碧海	幡豆	額田	西加茂	東加茂	北設	八奈	宝飯	渥美	計		
人的被害	死者					7								6	1	34							10	13	71	
	負傷者	23				38		31			1			431	50	521	2						39	75	421	
	行方不明者													1		43							27		71	
建物被害	全壊戸	2	62	3	2	10	5	70	3	7		1	3	403	45	338	11		19	5	15	241	395	1,640		
	半壊戸	6	170	150		39	5	150		2		6	12	1,222	476	1,442	12	42	47	108	27	1,736	585	6,237		
	流失			43		2		30						181		103						234	25	618		
	一部破損	9		233				242	2,830							10,223								13,555		
	焼失																									
	床上浸水	8,888	1,500		10	2,735		1,393	40	51				50	5,803	455	5,841						3,767	2,273	32,806	
	床下浸水	39,974	2,500	500	455	1,425		1,217	171	231	137	1,486	1,285	9,927	1,285	2,976		166	2			1	3,178	576	67,492	
非住家被害	18	800	209	2		20	453	5		6	20	18	588	505	1,377	347	12	3	43	83		2,481	7020			
罹災者数		154,674	20,000	2,046	1401	20,775	30	16,409	900	873	710	7,551	5,643	83,467	12,829	41,845	75	1,626	198	336	126	26,176	20,028	417,889		
農林	水田	流失埋没(回)	5	235	-	-	135	-	300	-	14	1	-	-	306	-	2,536	1	1	4	3	-	266	181	3,988	
		冠水(回)	308	794	80	25	406	30	50	40	1,340	207	837	917	2,349	1,809	326	218	318	15	-	20	496	1,078	11,733	
		倒伏(回)	220	293	100	10	26	170	250	133	1,528	643	233	2,639	1,126	1,950	150	1,292	1,185	774	385	1,030	100	380	15,717	
		風害損傷(回)	650	1,270	500	-	230	-	40	260	7,892	1,764	4,212	4,812	3,226	3,920	1,200	429	215	-	-	903	600	1,938	34,681	
農地	畑	流失埋没(回)	4	58	11	-	20	32	108	7	25	35	5	15	160	29	486	11	15	5	1	38	101	90	1,256	
		冠水(回)	56	746	53	-	69	180	340	3	263	73	126	337	976	513	856	90	37	33	1	182	479	11,27	6,540	
		風害損傷(回)	470	715	277	35	92	565	114	124	968	1,709	1,862	439	1,723	1,708	472	382	1,107	473	340	1,155	1,034	2,490	19,265	
		(倒伏を含む)																								
水産被害	漁業	道(個所)		26				10		3			1	20		68	54	2	2		1	19	25	231		
		破損(回)	1					3		12				56	14	1		11	5		1			104		
		流失及び大破(回)		314				380						11	307		148						245	316	1,721	
		破損(回)		163				60						31	492		591						390	28	1,756	
水産被害	水産施設	流失及び大破(回)						16							242	13						42	182	475		
		破損(回)						45							58	10						12	11	136		
		流失死滅(x)		15,900											13,060	18,040	355,000	154,000						191,670	5,600	896,370
土木被害	道路損壊(個所)			24	6	1	2	6	13	5	4	10	50	44		22			15	20	16		12	50	340	
	橋梁流失(回)			1		1		2	1	4				11		8					1		3	7	39	
	堤防決壊(回)		45	4		29		20	16	18		3	6	108	80	75			1	3	12		120	140	680	
	砂防施設(回)									22	4								2	1					29	
	港湾施設(回)		1				2																			
山(掛け)くずれ		12	20		9	10	10			20	8				12	4	10						5	4	36	
														231		40	12	40	9	39	10	40	320	830		

第6.17表 渥美地方被害表

伊良湖測候所報告 渥美地方争務所調査 昭和28年10月2日17時現在

区 分 村 名	罹災者 総数	人的被害				住 宅 の 被 害										非 住 家 の 被 害	田 畑 の 被 害				1 道 路	2 橋 梁	3 堤 防	4 鉄 軌 道				
		死 者	行 方 不 明	負 傷		全 壊	流 失		半 壊		浸 水				合 計		田		畑						合 計			
				負 傷	重 傷		戸 数	人 員	戸 数	人 員	戸 数	人 員	床 上	床 下			戸 数	人 員	流 失 畑 没	冠 水						流 失 畑 没	冠 水	
二川町	342	0	0	0	0	10	42	0	0	52	300	0	0	0	0	62	342	235	5	160	0	7	172	3	0	8	0	
高豊村	105	0	0	0	1	1	5	0	0	31	100	0	0	0	0	32	105	58	4	102	0	5	111	13	2	4	0	
志津村	872	0	0	4	4	3	23	3	20	60	318	61	325	31	186	158	872	14	0	80	845	95	179.5	4	1	13	1	
杉山村	689	4	0	9	0	9	48	2	6	25	110	81	520	1	5	118	689	8	15	165	0	22	202	23	2	12	0	
神戸村	644	0	0	3	0	3	0	0	0	18	30	41	221	68	393	127	644	33	0	80	0	69.4	149.4	11	0	6	0	
田原町	3,440	1	0	22	5	28	22	101	12	78	160	960	179	895	320	1,625	693	3,659	84	15	532	1	311	859	981	112	57	0
野田村	464	0	0	11	0	11	9	57	4	10	32	192	20	123	18	82	78	464	106	0	20	0	33	53	2	0	3	0
赤羽根村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	170	0	106	276	0	1	0	0	
伊良湖測候所	203	0	0	6	0	6	0	0	0	6	28	3	15	30	160	37	203	27	0	180	0	60	240	6	0	1	0	
福江町	10,123	8	0	2	0	10	120	577	0	0	344	1,716	1,466	7,350	103	480	2,038	10,123	1,797	3	3,822	0	2,843	669.5	5	1	18	0
泉 村	2,926	0	0	4	0	4	36	198	4	16	167	882	307	1,798	5	32	519	2,926	647	2	136	6	51	195	10	4	18	0
計	20,028	13	0	61	6	86	210	1,051	25	130	895	4,636	2,158	11,247	576	2,765	3,864	20,027	3,021	44	5,011.9	915	1,487	3,106.4	1,118	123	140	1

§6.213 静岡県被害状況

静岡県では遠州灘、駿河湾一帯の満潮時(清水港25日19時15分)と重なるため、被害は予想以上に激甚となり、県下全般にわたりアイオン、キテイ台風以上の50年来の大惨事をひきおこした。農作物における被害が最も大きく、特に県西、中部地方、海岸地方の水稲は折からの出穂期に潮風を受け、一夜にして見渡すかぎりの白穂と化し、被害面積は2万数千町歩に達し、数十万石をこえる減収と見た。

家屋の被害は全県下で、全壊流出等300戸、床上浸水2千数百戸、床下浸水7,000戸以上に達した。浜名湖岸の舞阪、新居、鷺津、新所、入出、南庄内等13ヶ町村は高潮による浸水が甚しかった。また舞阪、福田、焼津、田子之浦、網代等の漁港は防波堤が高潮のため破壊された。浜名湖では養鱈地300町歩が冠水し、20万個のうなぎが流出し、時価3億円を上回る損害を生じた。

海岸の防潮林はほとんど高潮にけずり取られ、道路、橋梁等も県下数十ヶ所に達した。県の特産物にも甚大な被害をもたらした。牧の原、小笠、榛原の大茶園は潮風により葉が黒変し

遠からず枯死の状態となり、またみかんの落果も甚しく、特に浜名湖周辺の被害がいちじるしかった。いちごも産地の久能をはじめ全般に潮風の影響を受け、枯死寸前の状態となった。甘藷の冠水面積は3,000町歩をこえ、蔬菜は6,000町歩にわたって全滅的被害を受けた。

西遠地方被害状況

浜松測候所

台風13号では雨量は思ったより少なかったが、風速は非常に強かった。しかし強風による被害は余り大したものもなく、むしろ間接的な強風による浜名湖周辺の高潮による被害と沿岸農地の塩風による農業被害が主なるものであった。県福祉事務所、経済弁室調査による9月28日現在の被害表は次の通りである。この数字は磐田、岡智、浜名、引佐各郡と浜松市、磐田市の総計である。

人	住家被害			非住家被害	家屋浸水		堤防		
	負傷	全壊	半壊		流失	床上	床下	決壊	破損
19人	67戸	175戸	58戸	792戸	3,514戸	6,332戸	245件	多数	
橋 梁		道 路		山 崖		田		畑	
流失	破損	浸潰	崩れ	流水	冠水	流失	冠水	農作物被害	
51件	多数	160件	多数	16町	3,941町	6町	4,074町	9,009町	

御前崎測候所報告

高潮の痕跡は海岸から100mはなれた高さ10mの砂丘上に波紋と小流木、下駄等が一直線に並んでおり、これより基準面上5.5m位であったと推定された。

高潮による最大増水位は菊川下流の自記量水器および御前崎検潮所の推定潮位によると1.34cm(2分)

日20時)であった。波浪は5m位であった。

被害状況(御前崎村校場調査)

被害種別	家屋被害				浸水家屋				田畑被害種別	田				畑			
	全壊	半壊	床上	床下	海水冠	海水冠	海水冠	海水冠		海水冠	海水冠	海水冠	海水冠	海水冠	海水冠	海水冠	海水冠
被害戸数	1	50	10	50	3	5	2	22	3	7	10	74	22	6			
被害人員	5	320	58	263	100%	90~70%	70~50%		90%以上	90~70%	70~50%	50~30%					
被害金額	20	50	25	15	134.25				1,612.69								
	茶の潮風害				蔬菜潮風害				保安林潮風害	防潮林流失	海岸砂防						
被害面積	4	6	3	15	2	3	3	4							20		
被害率	90%以上	90~70%	70~50%	50~30%	90~70%	70~50%	50~30%	30%以下							3,500m	2,000m	
被害金額	75.03				31.68				2	30	240						
船舶被害	小型船(無動力)			港灣被害	湖沼浸水(下岬)	船場浸水(下岬)	湖沼浸水(女岩)	材料流失(カケ)	護岸浸水(カケ)	道路浸水(カケ)	検潮所枝橋流失	道路浸水					
	全壊	大破	小中破														
被害数	2	4	5	延長	100	50	250	320	350	30	30	70					
被害金額	6	6	2.5	工費	150	200	375	640	525	105	15	350					

総被害金額 4,610.15万円

§ 6.2.14 福井県被害状況

第6.18表 福井県下被害表(28.10.5)

福井県別候所

同管地別	種別	高志	松岡	大野	丸岡	金津	三国	丹生	鯖江	今立	南条	敦賀	若狭	福井市	武生市	大野町	勝山町	敦賀市	小浜市	合計
		人的被害	死者	-	-	-	1	-	3	1	-	-	-	4	49	1	-	-	-	-
	負傷者	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	2	60	-	1	-	-	-	18	86
	行方不明	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	4	13
建物被害	全壊	-	-	-	1	-	-	6	-	-	9	175	-	-	3	-	-	-	134	328
	半壊	-	-	-	-	-	2	11	2	3	-	46	197	-	-	-	-	-	264	525
	流失	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	21	152	-	-	-	-	-	121	296
	床上浸水	169	-	5	3	96	182	956	571	327	78	325	1,141	5,344	302	-	1	28	1,988	11,516
水田	床上浸水	406	7	32	350	325	296	484	463	702	438	1,306	1,441	3,358	949	95	9	177	1,526	12,936
	流埋	町歩	-	32	0.5	-	3	598.4	-	4	122	107	847	-	1	-	-	15	744	2,487
畑	冠水	1,110	431	268	691	1,268	1,500	415.1	894	653	672	1,448	1,452	696	510	66	11	248	1,070	13,462
	流埋	-	15	4	-	-	12	16	-	-	33	43	196	-	-	-	-	2	60	3,675
	冠水	1,45	33	12	-	23	136	54.2	77	10	41	77	236	-	79	-	2	3.1	45	1,001.2

同管地別	種別	高志	松岡	大野	丸岡	金津	三国	丹生	鯖江	今立	南条	敦賀	若狭	福井市	武生市	大野町	勝山町	敦賀市	小浜市	合計
道路	浸水	-	-	39	-	-	19	46	10	37	92	241	448	-	17	-	-	7	35	996
	橋梁流失	4	2	9	1	-	25	24	73	20	39	212	350	-	18	1	-	5	57	840
	堤防浸水	6	-	39	-	-	21	25	4	7	181	208	168	3	4	-	1	9	62	738
	山(崖)崩	7	-	15	-	7	2	25	-	9	12	95	1,168	-	21	-	-	5	81	1,447
	鉄道被害	-	-	-	-	-	-	8	1	-	-	2	38	-	16	-	-	-	4	69
船舶	沈没	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
	流失	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	18	1	-	-	-	-	-	1	24
	取壊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4
罹災者数	人	896	-	-	17	-	-	805	2,308	1,276	370	1,867	15,287	26,700	5,225	-	-	128	21,073	75,774

県下被害率

28年10月5日現在

家屋被害			人的被害			耕作田被害			耕作畑被害		
県下全戸数	被害戸数	率	県下総人口	被害人員	率	県下水田総面積	被害面積	率	県下畑総面積	被害面積	率
戸	戸	%	人	人	%	町歩	町歩	%	町歩	町歩	%
154,426	27,907	18.1	752,374	72,774	9.7	477,956	15,936.8	3.3	106,353	13,687	13

敦賀刺候所報告

未曾有の豪雨は管内全域に莫大な災害をもたらした。各河川は各所で氾濫決壊した。中でも小浜市は同市を流れる南川、北川の決壊で水びだしとなり、両河川に挟まれた下流地帯は2階をこす濁流のため、家屋は流失し、多数の死者を出した。25日13時までに南川上流の中名田では240mm以上の豪雨があり、これは小名浜土木出張所の調査では各河川が決壊を起すおそれのある量であるが、その後この2倍の豪雨となったのであるから如何に災害が大きかったか分る。上流域では山津波が起り谷間の部落は土砂に埋まり、被害総見込額は数十億円に達した。小浜市校所(10月26日現在)敦賀市校所(10月31日現在)二州地方事務所(10月31日現在)若狭地方事務所(10月22日現在)の調査に被害状況は下記の表の通りである。

死	傷	行方不明	住家被害			家屋一部取壊	家屋浸水		非住家被害	市公営建築物
			全壊	半壊	流失		床上	床下		
91	105	34	403	1,001	312	7,364	4,887	2,019		
			町	町	町	町	町	町	町	
			21,210	56,090	18,100	1,250	25,493	?	21,408	22,938.3

震害防備 破損	橋梁 流失破損	道路損傷	山崩崖崩	海岸堤防	用排水路	消防施設	農業協同 組合施設	
7364件	769件	1009件	494件	5ヶ所	45ヶ所			
25,943 万円	13,102.9 万円	2,893.1 万円	50,300 万円	373.7 万円	82,428 万円	200 万円	2,550 万円	
田		畑		農作物 被害	家畜損失	木材、木炭 流失	農具 損失	漁業資材 (含漁港資材)
流失	埋没	冠水	流失	冠水				
786 町	1,636 町	1,840 町	1,840 町	72 町	5,261 町			
20,503.6 万円	3,206 万円	965 万円	965 万円	1,750 万円	11,915.9 万円	345.1 万円	34,500 万円	1,960 万円
								12,497.8 万円

第6.19表 福井県嶺南地方(敦賀測候所地区)被害表

区分	単位	敦賀市	小浜市	三州地方 争務所 管内	若狭地方 争務所 管内	
罹災者総数	人	1,944	...	16,107	...	
同上内訳	死者	0	22	4	32	
	行方不明	0	21	0	50	
	重傷	0	11	7	2	
	軽傷	0	3	0	23	
	その他	1,944	...	16,096	...	
合計	人	1,944	57	16,107	107	
住家の被害	全壊	0	84	16	192	
	半壊	0	287	109	476	
	一部破損	21	...	194	3,398	
	流失	0	113	29	330	
	浸水	床上	111	1,897	1,082	1,354
		床下	323	977	2,148	1,903
	埋没	全没	0	...	0	...
半没		0	...	0	...	
合計	戸	455	3,358	3,578	7,653	
非住家の被害	戸	194	...	
田畑の被害	田	冠水	町	280	1,683	1,260
		流失	町	2.8	126.1	205
		埋没	町	4.2	184.6	950
	計	町	287	1,893.7	2,415	
	畑	冠水	町	13	278	282
		流失	町	0.2	31.8	84
埋没		町	0.1	11.9	137	
計	町	13.3	428.8	453		
合計	町	300.3	1,300	2,322.5	2,868	
道路決壊	ヶ所	30	...	424	...	
橋梁流失	ヶ所	11	...	486	...	
堤防決壊	ヶ所	4	...	304	...	

註 敦賀市及び三州地方争務所管内は30日現在、小浜市及び若狭地方争務所管内は27日現在のもの

§6.2.15 富山県被害状況

台風の影響により25日13時頃から風雨強くなり、最大風速は20 m/sec/秒以上に達し、降水量は平地で100 mm、山間部で200~300 mm以上に達したため各河川とも増水し、堤防決壊、田畑冠水等大きな被害を受け、総額22億に達する損害を蒙った。呉西地方特に小矢部川沿岸の福光、福野、福岡、石動の各地では損害が甚だしかった。福野では25日夜小屋部川右岸および支流山田川、旅川の数ヶ所で決壊し、一面泥海となり、福野町地内では田畑の冠水流失300町、床上浸水50戸におよび家財道具や収穫した農作物を流失した家も少なくなく、この地方始って以来の悲惨な被害を受けた。

福光町では死者5名、負傷者3名、行方不明3名、家屋全壊1、半壊10、流失2、浸水家屋529、水田流失埋没267町歩に達した。石動町では25日23時、小矢部川は水位4.3 m(警戒水位2.8 m)となり溢水し、床上933戸、床下1,077戸の浸水家屋を出した。福岡町では小矢部川の増水と共に25日22時全町避難命令が発せられたが、26日0時小矢部川が数ヶ所で決壊し700戸が床上4尺の浸水をみ、田畑の冠水800町歩となった。

第6.20表 富山県下被害表 (国警本部調)

被害種別	被害内容	西砺波郡	東砺波郡	氷見市	高岡市	新湊市	射水郡	婦負郡	富山市	上新川郡	中新川郡	魚津市	下新川郡	氷見郡	計	被害額
人的被害	死者	5													5	
	負傷者	2	1			2						2			7	
	行方不明	2													2	
建物被害	全壊	1			2	3		1						4	11	
	半壊	22	3	4		12		1					4	46		
	流失	1		1		2				1				5		
	一部破損	20			3	127	1	13			3		4	172		
	床上浸水	1,643	99		600	645	63	372					51	3,472		
非住家被害	床下浸水	1,500	774	29	932	933	386	735	200	31	16		176	5,712		
	非住家	8	12		21	13					14		22	90		

桑園被害及普通畑		山林関係被害		
桑園	普通畑	車道流失決壊	林道流失決壊	丸太流失
8畝	6町7反5畝	1億、千万円	約1億円	約1億円

電話関係 電通省調

電話回線故障は2/回線で障害原因は地滑りケーブル障害が主であった。故障回線名を下表に示す。

構進—上九—色—下九—色線、南部線、欽沢線、右左口線、市川大門線、芦川線、静岡線、黒駒線、芦安線、上首根線、大鎌田線、八王子線

電信関係 電通省調

線名		故障原因
甲府 ↔ 東京 (気象線)	25日 13:00 ^h m - 13:00 ^h m 17:00 - 20:10	大月の出口及び大月、上野原間ケーブル障害時々断線
東京 ↔ 立川		ㄥ8号ケーブル故障
甲府 ↔ 船津	26日 18:40 ^m - 18:35 ^m	船津8号—9号ケーブル障害

電力関係被害 東京電力調査

配電関係		電源関係	
種類	被害ヶ数	場所	被害状況
電柱折	135本	大原発電所	水源地電源水路破壊のため発電不能となる
傾斜	184 "		
流失	25 "		
高圧	断線	52ヶ所	南沢発電所
	交線	21 "	
低圧	断線	171 "	芦安 "
	交線	32 "	
変圧機	焼損	35個	宮川才二 "
	その他	22 "	
引込線被害ヶ数		1,328ヶ所	

§ 6.2.17 長野県被害状況

長野測候所報告

台風13号による被害は主として県の北西部で、高瀬川、穂高川及び穂高川支流の乳川、中房川等の氾濫が甚だしく、何れも警戒水位を突破し、堤防の決壊、家屋の流失、交通の杜絶、道路の欠壊、水田の流失等があり、この被害は罹災関係を除き総額13億円に上り、被害は更に増大される見込である。また、県は南安曇郡北穂高村、有明村、上水内郡水内村、戸隠村、北安曇郡松川村、常盤村に“災害救助法”を発動した。

なお、国鉄関係でも大糸南線、穂高—有明間、常盤—南大町間が25日より10月5日まで不通となり、篠井線、冠着—麻績間、信越線豊野—牟礼間も一時不通となった。

死者	重軽傷者	行方不明	住家被害			非住家被害	家屋浸水	
			全壊	半壊	流失		床上	床下
5名	15名	3名	5戸	16戸	6戸	69戸	231戸	568戸
土木関係被害				耕地関係		林務関係		
道路	橋梁	河川	砂防			林道	その他	
569ヶ所	254ヶ所	347ヶ所	171ヶ所			26路線	91ヶ所	
15,034.7万円	9,722.3万円	36,983.3万円	11,322.1万円	10,054.4万円	2,574万円	8,715万円		

農業関係

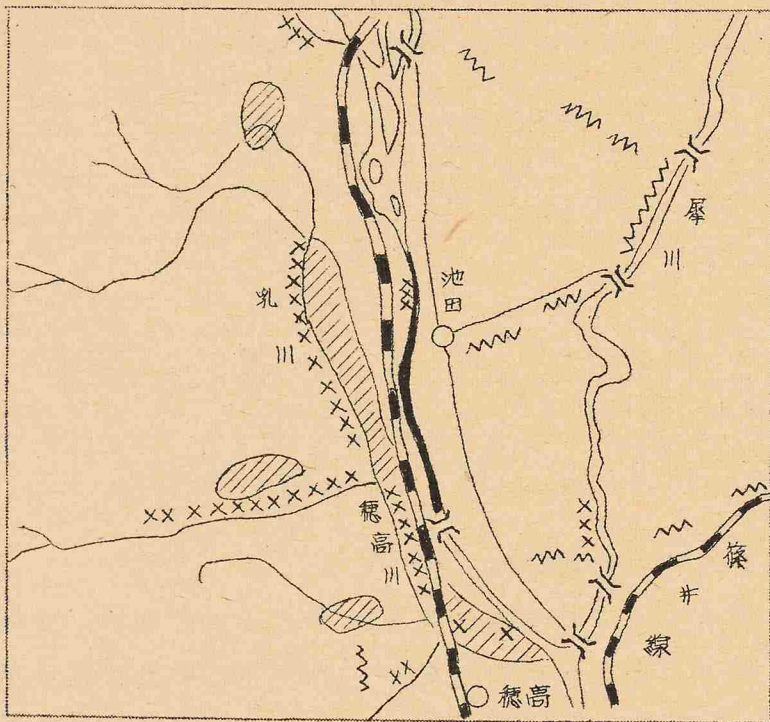
水稻	雑穀	芋類	蔬菜	果樹	花卉	蚕業	淡水魚関係
24,308反	5,246反	1,744反	2,448反	1,331反	7反	1,924反	
17,325万円	3,195万円	441万円	12,800万円	591.2万円	24万円	1,092.8万円	111.9万円

松本測候所報告被害状況

台風13号は当地方の南側を通過したため当面管内、特に松本平では地形的効果もあり、風速は一限に弱く、そのため風害は全く起らなかったといつてもよい。しかし雨は特に北アルプス中央部地域に多量に降ったらしく、ここに水源を有する高瀬川、乳川、烏川等は相当の出水があり、下流地帯に堤防の決壊、田畑の流失、冠水等の顕著な災害を生じた。東筑摩郡

の地と傾発地帯には地這り、山崩等がかさり発生した。堤防決壊中乳川と烏川の合流点附近の決壊は最もひどく、河道が変り、田畑は全く河原となり、ついに元の河に復し得ない状態となった。このため大系南線の道床は洗い流されて復旧に10日かかった。なお台風による雨は松本および大町では16時より22時にかけて雨勢が強くなり、乳川、和田川合流点では25日18時30分頃堤防が決壊した。中房川と乳川の合流点土場附近では25日19時頃堤防が決壊し、乳川と烏川の合流点では雨のやんだ23時頃突然決壊し、付近の水田を河原と化し、大系南線の道床120 m を流失して、レールは宙に浮き、これに平行の景道系魚川線も200 m にわたって流失した。高瀬川も20時頃松川村付近で決壊の危険にさらされたが難をまぬかれた。しかし大系南線高瀬川の鉄橋の橋脚ノ本は25度傾斜した。

図6.3 高瀬川浸水状況図(松本市北方)



XXXXX 堤防決壊破損
 ~~~~~ 道路損壊崖崩れ  
 (斜線) 浸水または流失地帯

(各地方事務所調査)

| 地域別         | 人的被害 |     |      | 住家被害 |      |    | 非住家被害 | 家屋浸水 |      | 堤防             |        |
|-------------|------|-----|------|------|------|----|-------|------|------|----------------|--------|
|             | 死者   | 傷者  | 行方不明 | 全壊   | 半壊   | 流失 |       | 床上   | 床下   | 決壊             | 破損     |
| 北安曇郡        | 2名   |     | 2名   |      |      |    |       |      |      | 51件<br>15,774㎡ |        |
| 南安曇郡        |      | 85名 |      | 20戸  | 3戸   | 4戸 | 134戸  | 51戸  | 430戸 | 39件<br>9,185㎡  |        |
| 東筑摩郡<br>松本市 |      |     |      |      | 3戸   |    | 1戸    |      | 14戸  | 17件            | 22件    |
| 諏訪郡<br>諏訪市  | 1名   |     |      |      | 1戸   |    | 12戸   |      |      |                | 21件    |
|             |      |     |      |      | 18万円 |    | 8万円   |      |      |                | 1,555㎡ |

| 地域別         | 橋   |      | 道路損壊   | 山崖崩れ  | 田     |         | 畑       |              | 農作物被害 |
|-------------|-----|------|--------|-------|-------|---------|---------|--------------|-------|
|             | 流失  | 破損   |        |       | 流失    | 冠水      | 流失      | 冠水           |       |
| 北安曇郡        | 36件 | 166件 | 39.5町  | 245町  | 83.4町 | 1.825万円 | 20.1町   | 457万円        |       |
| 南安曇郡        | 8件  | 21件  | 166.6町 | 77.2町 | 71.6町 | 63.9町   | 14,537㎡ |              |       |
| 東筑摩郡<br>松本市 | 9件  | 92件  | 500町   | 336町  | 4件    | 544町    | 119町    |              |       |
| 諏訪郡<br>諏訪市  | 7件  | 14件  | 183町   | 607町  |       | 5町      | 僅少      | 0人、5匹<br>2万費 |       |

§6.2.18 埼玉県被害状況

熊谷測候所報告

県主管課の調査によると堤防の決壊14ヶ所、破損1ヶ所あり、水害常習地での低地の被害を合せて家屋の浸水は143戸、田畑の冠水面積4000町歩に及び、最多雨域で220mm余であったため減水もまた急で、被害も予想より少なかった。交通方面の被害としては山岳地帯に土砂崩壊があり、道路の損壊6ヶ所、橋梁の流失2ヶ所を算えた。ことに秩父鉄道は波久礼～樋口間で25m余埋没し、12時間に亘り不通となった。風害としては盆地内でも22%に及ぶ瞬間的暴風により家屋の倒壊があり、全县を通じ184戸に及んだ。なお、水陸船の倒伏による被害は13.3/4町歩に達した。また風害としては切断された電線にかれて即死した者と、突風にあおられて用水堰に墜落即死したものと計2名を出した。

第6.21表 埼玉県農業関係被害表

1. 農産物被害表

埼玉県農産課調査

| 郡別  | 水 稻  |       |       | 粟 稻 |       |       | その他作物冠水、浸水 |       |     |     |       | 総計     |
|-----|------|-------|-------|-----|-------|-------|------------|-------|-----|-----|-------|--------|
|     | 冠水面積 | 倒伏面積  | 計     | 冠水  | 倒伏    | 計     | 甘藷         | そば    | 大豆  | その他 | 計     |        |
| 北足立 | 35   | 878   | 913   | 9   | 1012  | 1021  | 6          | -     | 16  | 15  | 37    | 1,971  |
| 入 岡 | 109  | 1050  | 1,159 | -   | 1,450 | 1,450 | 120        | 173   | -   | 118 | 411   | 3,020  |
| 北 企 | 204  | 579   | 783   | 90  | 480   | 570   | 64         | -     | 156 | -   | 220   | 1,573  |
| 秩 父 | 20   | 130   | 150   | -   | 20    | 20    | 150        | 280   | 520 | 750 | 1,700 | 1,870  |
| 児 玉 | 80   | 195   | 275   | -   | 650   | 650   | 100        | 100   | 50  | -   | 250   | 1,175  |
| 大 里 | 134  | 509   | 643   | 71  | 1,416 | 1,487 | 32         | 98    | 2   | -   | 132   | 2,262  |
| 北埼玉 | 110  | 1,262 | 1,372 | -   | 1,060 | 1,060 | -          | 170   | -   | -   | 170   | 2,602  |
| 南埼玉 | -    | 921   | 921   | -   | 504   | 504   | 9          | 117   | -   | 19  | 145   | 1,570  |
| 北葛飾 | 35   | 990   | 825   | -   | 408   | 408   | 4          | 87    | -   | 11  | 102   | 1,335  |
| 計   | 727  | 6,314 | 7,041 | 170 | 7,000 | 7,170 | 485        | 1,025 | 744 | 913 | 3,167 | 19,378 |

2. 農業用施設被害表

耕地課

| 郡別  | 町村別  | 溜 池 |     | 頭首工 |     | 水 路    |       | 道 路         |    | 橋 梁 |     |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|--------|-------|-------------|----|-----|-----|
|     |      | 件数  | 金額  | 数量  | 金額  | 数量     | 金額    | 数量          | 金額 | 数量  | 金額  |
| 北足立 | 鴻巣町  | 1   | 700 | 1   | 700 | 1(165) | 70    | 1           | 70 | 1   | 70  |
| 入 岡 | 名越村  |     |     | 3   | 178 |        |       |             |    | 2   | 150 |
| "   | 高麗村  |     |     |     |     | 1(150) | 20    |             |    |     |     |
| "   | 南古谷村 |     |     |     |     | 1(30)  | 20    |             |    |     |     |
| "   | 芳野村  |     |     |     |     | 1      | 30    |             |    |     |     |
| 北 企 | 小川町  |     |     | 2   | 260 |        |       |             |    |     |     |
| "   | 南吉見村 |     |     | 1   | 40  |        |       |             |    |     |     |
| 秩 父 | 高嶽村  |     |     |     |     | 1(40)  | 25    |             |    | 2   | 35  |
| "   | 大田村  |     |     |     |     |        |       | 1(30)       | 20 | 1   | 30  |
| "   | 高神村  | 1   | 30  |     |     |        |       |             |    |     |     |
| "   | 久那村  |     |     |     |     |        |       | 1(40)       | 15 |     |     |
| 児 玉 | 松久村  | 1   | 15  |     |     |        |       |             |    |     |     |
| 大 里 | 用土村  |     |     |     |     | 1(140) | 22    |             |    |     |     |
| "   | 花園村  |     |     | 1   | 20  |        |       |             |    |     |     |
| 北埼玉 | 榎足村  |     |     |     |     | 1(100) | 29    |             |    |     |     |
| "   | 広田村  |     |     |     |     | 1(100) | 29    |             |    |     |     |
| "   | 田ヶ谷村 |     |     |     |     | 1(70)  | 20.3  |             |    |     |     |
| 計   |      | 2   | 45  | 7   | 498 | 9(795) | 265.3 | 2件<br>(70m) | 35 | 5   | 215 |

§ 6.2.19 青森県被害状況

(青森県庁・国警本部調査)

被害総額 約6億3千万円

1. 農作物関係 (単位は町及び箱)

| 郡別  | 水 稻 (町)   |       |       |        | りんご (箱) |              | 畑作物 (町)      |
|-----|-----------|-------|-------|--------|---------|--------------|--------------|
|     | 冠水        | 浸水    | 計     | 倒伏     | 落果      | 種 別          |              |
| 東 郡 | 122       | 128   | 250   | 352    | 2,660   | 祝 300        |              |
| 西 郡 | -         | 437   | 437   | 604    | -       | 旭 350        |              |
| 中 郡 | 129       | 214   | 343   | -      | 3,970   | 紅紋 20        |              |
| 南 郡 | 140       | 70    | 210   | 600    | 39,700  | 紅玉 62,140    |              |
| 北 郡 | -         | 800   | 800   | 600    | 50,700  | デリックス 15,790 |              |
| 上北  | 1,471     | 1,589 | 3,060 | -      | 990     | 国光 25,020    | 5,200(大豆,ソバ) |
| 下北  | 1,010     | -     | 1,010 | -      | -       | インド 15,340   | 320( " )     |
| 三 戸 | -         | 1,410 | 1,410 | 10,608 | 27,830  | その他 6,890    | 935( " )     |
| 計   | 2,872     | 4,648 | 7,520 | 3,217  | 125,850 | 125,850      | 6,455        |
| 総 額 | 1億7,313万円 |       |       |        | 4,500万円 | 6,660万円      |              |

計 2億8,473万円

2. 農業関係施設

畑流水 228町 水路その他 41ヶ所  
畑冠水 1,407町 治山施設 等

3. 土木関係施設

道路(欠陥,浸水) 25ヶ所 港湾 8ヶ所  
河川(堤防) 38ヶ所 漁港 2ヶ所  
橋梁 3ヶ所 海岸 5ヶ所  
砂防 2ヶ所 崖崩 1ヶ所

計 1億7,138万円

4. 船 舶

沈没 3隻(ヨトン1, 和舟2) 大破2(小舟1, 餅1)  
流失 1 (伝馬船) (青函運船欠航 14隻)

5. 家 屋

床下浸水 456戸 住家半壊 1戸 非住家半壊 3戸



6. 電気関係施設

変電所焼失 1 (相坂) 5,000万円

電柱倒壊 34本 折損 49本 電灯線切断 222所

変圧器スパーク (焼) 27個

7. 石炭流失 70トン 丸太流失 100本

8. 死者 1名 (下北地方漁船引揚作業中)

§ 6.2.21 その他の被害状況

富崎測候所報告

安房郡内被害状況

水稻の完全倒伏 1,668町歩 } これらによる減収見込数量  
 潮風害を受けた面積 2,500町歩 } 15,800石 (平年収量の1割)

| 床床浸水 | 道路決壊 | 防波堤潰 | 陸橋流失 | 船舶流失 | 電信電話切 | 漁船破損 | 大 謀 網 |    | 大謀網損失額 |
|------|------|------|------|------|-------|------|-------|----|--------|
|      |      |      |      |      |       |      | 流失    | 破損 |        |
| 10才  | 1所   | 8所   | 1所   | 1隻   | 29回線  | 1隻   | 2     | 2  | 540万円  |

水戸測候所報告

茨城県電力、通信関係被害

| 送電被害 |      |     | 電柱被害 |    |    | 電 灯 線 被 害 |     |    |     | 変圧器被害 |     |     |
|------|------|-----|------|----|----|-----------|-----|----|-----|-------|-----|-----|
| 被害件数 | 一部送電 | 全停電 | 総件数  | 折損 | 傾斜 | 総件数       | 高圧線 | 混線 | 低圧線 | 混線    | 焼損  | 引込線 |
| 84   | 76   | 8   | 94   | 32 | 61 | 157       | 33  | 15 | 66  | 43    | 10所 | 679 |

電信被害 8回線、電話線 29回線

§ 6.2.20 北海道被害状況

札幌管区気象台報告

台風オノ3号は本道南方海上を通過の際は980mb前後で、本道にはかなり接近し、根室付近を通過したもようだが、幸いにして中心は殆んど海上を通過したので大した被害とはならなかった。次表は国家地方警察札幌管区本部にて調査した被害表である。

オ6.2.2表 北海道被害表

|         | 札幌方面隊 |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 釧路方面隊 |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 北見方面隊 |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 函館 |  |  |  |  |  |
|---------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|--|
|         | 新     | 門 | 琴 | 丸 | 室 | 豊 | 昆 | 利 | 羅 | 厚 | 上     | 空 | 釧 | 尾 | 安 | 根 | 樺 | 太 | 大 | 和 | 遠     | 下 | 佐 | 丸 | 興 | 藻 | 青 | 滑 | 紋 | 鉄 |    |  |  |  |  |  |
|         | 冠     | 別 | 似 | 幌 | 蘭 | 浦 | 布 | 海 | 白 | 岸 | 尾     | 多 | 路 | 路 | 中 | 室 | 津 | 田 | 尾 | 大 | 和     | 下 | 下 | 瀨 | 瀨 | 部 | 滑 | 滑 | 別 | 別 |    |  |  |  |  |  |
| 人的被害    | 死者    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 建物被害    | 全壊    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
|         | 半壊    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
|         | 一部    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 浸水      | 床上    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
|         | 床下    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 耕地被害    | 水田冠水  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
|         | 畑冠水   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 道路欠壊    |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 橋梁流失    |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 堤防欠壊    |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 山(崖)くずれ |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 通信施設被害  |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 鉄(鋼)道   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
| 船舶被害    | 沈没    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
|         | 流失    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
|         | 破壊    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |
|         | その他   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |  |  |  |  |  |

§ 6.2.22 塩害

台風オノ3号による被害のうち稀らしいものは関東平野の塩害である。東京電力株式会社の中央給電指令所の報告によると、27年10月から28年9月にかけての1年間における東京電力の配電線を除く電力系統において発生した気象現象を原因とする事故のうち、台風オノ3号による塩害による被害は1年間総数の22%に達した。

|     | 水 雪  | 風 雨 | 雷   | 洪 水 | 塩 害 | 雪及山崩 |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|
| 件 数 | 21   | 169 | 178 | 96  | 130 | 5    |
| 割 合 | 3.5% | 28% | 30% | 16% | 22% | 0.5% |

台風オノ3号による電気事故は25日18時頃から発生し、20時から24時頃が最盛期であった。26日朝は台風一過、秋の上天気となったが、その夕刻から塩害事故が始まり、先ず千葉県、内輪線を始め、八沢谷村線から川崎方面に発生し、27日深夜には神奈川全般に及び、28日夕刻からの雨で、夜半から29日朝にかけて塩害事故は本格的となり、各所で混乱状態となった。しかし広範囲に渡り塩子洗滌を実施し、塩害事故を防いだが、この事故に

より供給支障は約 2,700 MWH と推定された。

### 横浜測候所報告

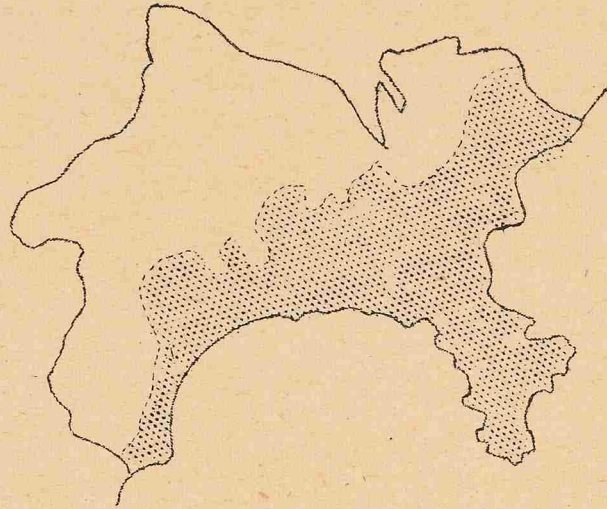
今日の台風は雨量が少く塩風害が予想された。農林省統計事務所への現在迄の報告資料によって大体の様相を推察すると、今回の被害はキティ台風の被害分布に似ているが、被害程度は弱いようであるが、その面積は反って多いようである。

海岸地方では、尚しぶきによって直接被害の及んだ地方もあったようである。四は被害の分布を示す。四の影の部分は大略の被害地を示している。

なお、今回の塩風害は送電線路に被害を与え、稀に見る高圧導子の絶縁低下による停電を起した。この被害は特別高圧線

路に多く、15万、6万ボルトに最も多く、3万、1万ボルトには少くなっていた。この事故は導子に付着した塩分が台風通過後の好天に洗われずに残り、これが27日ごろからの天気悪化と共に吸湿、28日及び29日未明の雨で短絡等の事故が発生し、送電を中止し、導子の洗滌をせざるを得ないようになったものである。東京電力神奈川支店工務課調べによると、全県下の特別高圧線路に被害が及んでいるとのことであった。

神奈川県塩害被害地



高 潮 の 状 況

第 7.1 表 a 各地の高潮最大値 (神戸海洋気象台調査の分)

|                                        | 最高潮位     |              |              | 最大偏差     |     | 最低気圧     |       | 最大平均風速   |     |      |
|----------------------------------------|----------|--------------|--------------|----------|-----|----------|-------|----------|-----|------|
|                                        | 日時分      | 実測潮位         | 平均潮位上        | 日時分      | 偏差  | 日時分      | 海面気圧  | 日時分      | 風向  | 風速   |
| 舞 坂<br>名 屋<br>島 尾                      | 25.19.00 | 274<br>(304) | 193<br>(223) | 25.19.00 | 112 | 25.19.30 | 975.4 | 25.17.45 | SE  | 24.7 |
|                                        | 25.18.47 | 428          | 234          | 25.18.30 | 100 | 25.19.15 | 970.0 | 25.19.40 | NNW | 22.6 |
|                                        | 25.18.30 | 445          | 209          | 25.18.10 | 101 | 25.18.00 | 964.6 | 25.17.00 | E   | 23.6 |
| 浦 神<br>半 本<br>和 歌<br>大 山<br>神 阪<br>ア   | 25.18.15 | 294          | 142          | 25.15.00 | 135 | -        | -     | -        | -   | -    |
|                                        | 25.18.22 | 311          | 136          | 25.15.00 | 90  | 25.14.44 | 947.9 | 25.17.20 | WNW | 29.1 |
|                                        | 25.07.40 | 253          | 141          | 25.07.30 | 50  | 25.14.30 | 974.6 | 25.14.30 | NNE | 26.2 |
| 小 松<br>辛 島<br>商 野<br>吳 松<br>三 津<br>兵 兵 | 25.07.32 | 352          | 131          | 25.07.10 | 30  | 25.17.10 | 977.4 | 25.17.24 | NNW | 22.0 |
|                                        | 25.19.31 | 358          | 137          | 25.07.10 | 41  | 25.15.30 | 979.5 | 25.15.00 | N   | 26.8 |
|                                        | 25.07.52 | 246          | 132          | 25.07.20 | 41  | 25.15.30 | 979.5 | 25.15.00 | N   | 26.8 |
| 小 松<br>辛 島<br>商 野<br>吳 松<br>三 津<br>兵 兵 | 25.07.15 | 330<br>(338) | 139<br>(147) | 25.06.30 | 45  | 25.14.15 | 983.4 | 25.12.30 | NW  | 22.5 |
|                                        | 25.12.35 | 319          | 157          | 25.08.00 | 30  | 25.14.20 | 987.0 | 25.13.30 | NE  | 14.5 |
|                                        | 25.12.52 | 340          | 153          | 25.09.00 | 37  | 25.15.40 | 989.1 | 25.19.30 | NW  | 9.8  |
| 宇 和<br>着 水<br>桂 浜                      | 25.11.05 | 482          | 212          | 25.18.50 | 29  | 25.14.25 | 991.7 | 25.07.15 | NE  | 11.3 |
|                                        | 25.10.25 | 444          | 212          | 25.17.00 | 26  | 25.13.17 | 991.0 | 25.07.10 | E   | 12.7 |
|                                        | 24.20.00 | 352          | 157          | 25.15.50 | 33  | -        | -     | -        | -   | -    |
| 宇 和<br>着 水<br>桂 浜                      | 25.07.15 | 321          | 161          | 25.14.10 | 36  | 25.11.23 | 982.9 | 25.08.10 | NW  | 13.5 |
|                                        | 25.07.25 | 329          | 205          | 25.08.40 | 45  | 25.12.45 | 978.9 | 25.12.40 | N   | 21.0 |

8.7.1 概 況

台風第13号は25日愛知県に上陸したため、進路に近接した各地にかなりの高潮をもたらした。この他高潮の現象は九州南部から関東、東北地方までみられ、また日本海側でも若狭湾一帯を中心に高潮現象がみられた。特に伊勢湾、知多湾、渥美湾一帯では高潮時と重なったため、最大偏差はノド前後に帯し、さらに同地方では近年地盤の沈下の影響があり、所によつては甚大な被害を受けた。

大政湾では台風の高潮の丘半円に入り、北寄りの風となつたため、大政湾の北岸ではむしろ潮位が降下した所があった。

偏差よりみると紀伊半島東岸より伊勢海にかけてはいずれも1mをこえ、瀬戸内では135cmを記録した。朝鮮以西では最大偏差は削減し、紀伊水道、土佐湾では40~50cm、瀬戸内海では30~40cm程度であった。

この他東京湾付近で偏差が大きくなつている。すなわち東京湾では南寄りの風が強く、高潮現象が起り、東京湾沿岸一帯に浸水を見た。



第 7.1 表 b (中央、海洋課調査)

|       | 最高潮位                   |              | 最大偏差 |          | 最低気圧 |          | 最大風速  |          |     | 副 振 動 |                      |          |          |
|-------|------------------------|--------------|------|----------|------|----------|-------|----------|-----|-------|----------------------|----------|----------|
|       | 日時分                    | 潮位           | 偏差   | 日時分      | 偏差   | 日時分      | 海面気圧  | 日時分      | 風向  | 風速    | 日時分                  | 最大全振巾    | 週期       |
| 青水港   | 25.19.10               | 295          | -    | 25.19.00 | 44   | 25.20.36 | 982.9 | 25.20.30 | S   | 24.1  | 25.22.03<br>25.19.26 | 70<br>30 | 1~2<br>5 |
| 内 浦   | 25.18.35<br>(25.17.04) | 292<br>(330) | +46  | 25.20.00 | 57   | 25.21.36 | 986.9 | 25.23.50 | SW  | 18.8  | 25.20.16             | 65       | 8        |
| 伊 東   | 25.17.45<br>(25.17.30) | 309<br>(318) | +27  | 25.14.18 | 27   | 25.23.27 | 985.2 | 25.20.00 | SSW | 15.5  | 25.21.30             | 35       | 5        |
| 大 島   | 25.17.30               | 254          | -    | -        | -    | 25.22.02 | 987.3 | 25.22.40 | SW  | 30.3  | 25.6~8               | 100      | 濃浪       |
| 東 京   | 25.19.05               | 339          | +56  | 25.23.00 | 95   | 25.23.19 | 984.6 | 25.21.40 | S   | 19.9  | 25.19.~<br>26.4      | -        | 68       |
| 布 良   | 25.17.30<br>(25.17.50) | 259<br>(342) | +56  | 25.20.00 | 70   | 25.21.36 | 990.3 | 25.21.47 | SW  | 27.8  | 25.21.12             | 131      | 5        |
| 小 名 浜 | 25.17.00               | 229          | -    | -        | -    | 26.01.55 | 985.0 | 25.21.40 | SSE | 19.7  | 25.19.35             | 16       | 11       |
| 鶴 川   | 26.05.10               | 243          | +26  | 26.02.00 | 39   | 26.03.00 | 983.2 | 25.18.10 | ENE | 18.0  | 26.07.30             | 36       | 2-3      |
| 宮 古   | 26.16.35<br>(26.18.10) | 207<br>(208) | +36  | 26.05.00 | 37   | 26.05.00 | 981.0 | 26.03.50 | SE  | 10.8  | 26.06.15             | 9        | 25       |
| 八 戸   | 26.05.25<br>(26.05.15) | 175<br>(183) | -    | -        | -    | 26.05.35 | 979.9 | 26.01.00 | NE  | 19.1  | 26.05<br>26.16       | 20       | 1~2      |
| 岩 崎   | 26.03.22<br>26.02.52   | 214<br>(220) | +13  | 26.03.22 | 13   | 26.04.00 | 987.8 | 26.04.00 | NE  | 14.2  | 25.16.10             | 23       | 20       |

§7.2 各地の高潮状況

§7.2.1 枕崎測候所報告

24日、25日朝、港内において0.9~1.0m、花渡川河口から2.4kmの地点で0.7m~0.8mの高潮があった。この結果、田は0.25町歩、畑は0.2町歩が海水により浸水し、浸水時間は25日06時30分から11時00分まで、25日07時47分が最も甚しかった。また防潮林は潮害のため枯死や流失等の被害を起した。

§7.2.2 徳島測候所報告

小松島港における高潮

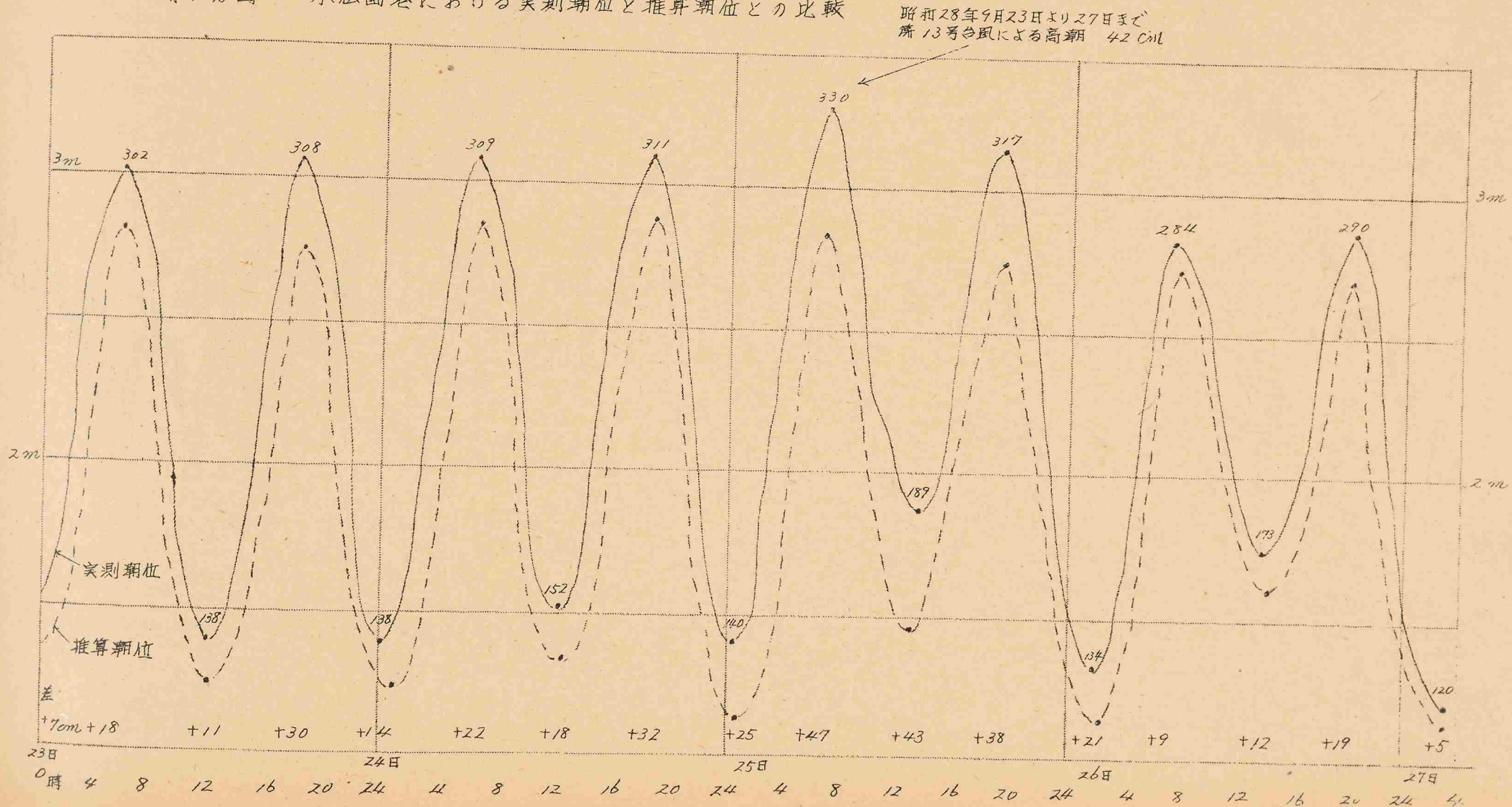
23日の時から実測値と推算値との差が乱れ始め、27日にはむとむと

どっている。高潮は23日から起り、25日が大きく、最大は42cmであつた。この間風向は北から西の間で変化し、南の風は入らなかつた。

縣下の海岸線は一様に高潮による被害が起つており、鳴門、富岡、日和佐では特に大きかつた。

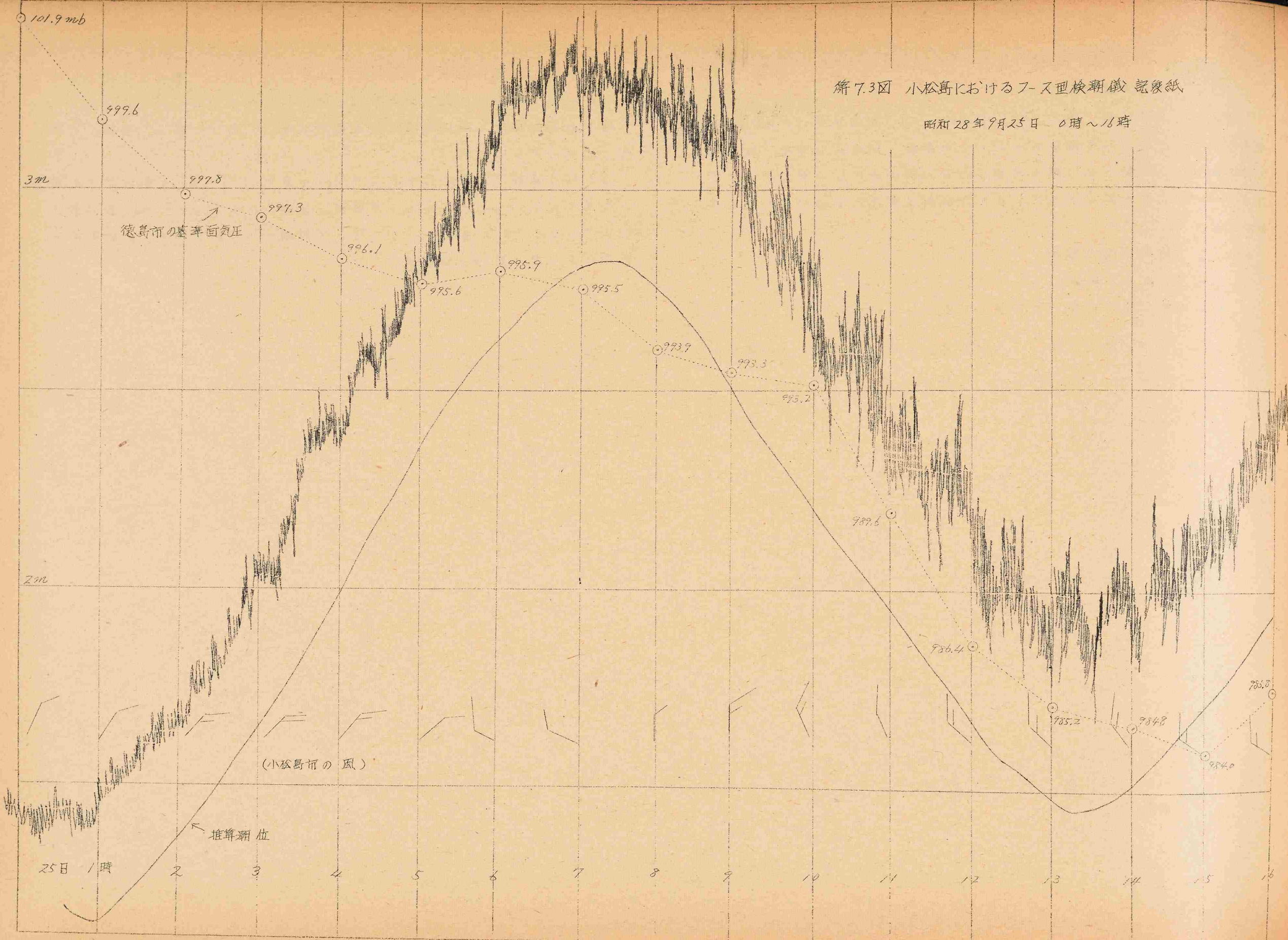
25日の満潮時の潮位は午前07時15分の330cmで副振動の影響を加えると338cmであつた。午後は18時50分で317cm、副振動を加えて322cmであつた。25日03時頃から16時頃までは副振動が顕著であつた(第7.3図参照)

第7.2図 小松島港における実測潮位と推算潮位との比較



第7.3図 小松島におけるフース型検潮儀 記録紙

昭和28年9月25日 0時~16時



§ 7.2.3 洲本測候所報告

淡路島における高潮状況

淡路島における暴風時の風向は北東—北北東—北—北北西—西北西と逆転したが、風向は大抵海岸線に平行していて、大した吹き寄せの現象はなかった。局地的に東浦地区では洲本由良間、西浦地区では湊から雁子岬に至る海岸線の潮位が他にくらべて高かったのは、幾分吹き寄せの現象があったものと考えられる。洲本の満潮時は検潮記録では10時25分頃で、最高潮位は312 cmで、推算より44 cmの過高を示した。台風近接の15時30分頃には北北西で、風速は次第に弱くなり、東浦、西浦地域とも干潮時になっていたので心配された程の高潮はなかった。淡路全体としての潮位の上昇は南淡は40~50 cm、中淡は30~40 cm、北淡は20~30 cmと推定された。激浪による護岸、防潮堤、道路の決壊等の被害が発生した。

洲本検潮所における潮位並に潮時の状況

台風の接近に伴い、うねり、激浪ともに大きく、海上は次第に荒模様となり、24日19時23分潮位280 cmの満潮（推算では満潮は19時30分263 cmである）と、25日01時18分に140 cmの干潮（推算では1時40分136 cm）を記録した。

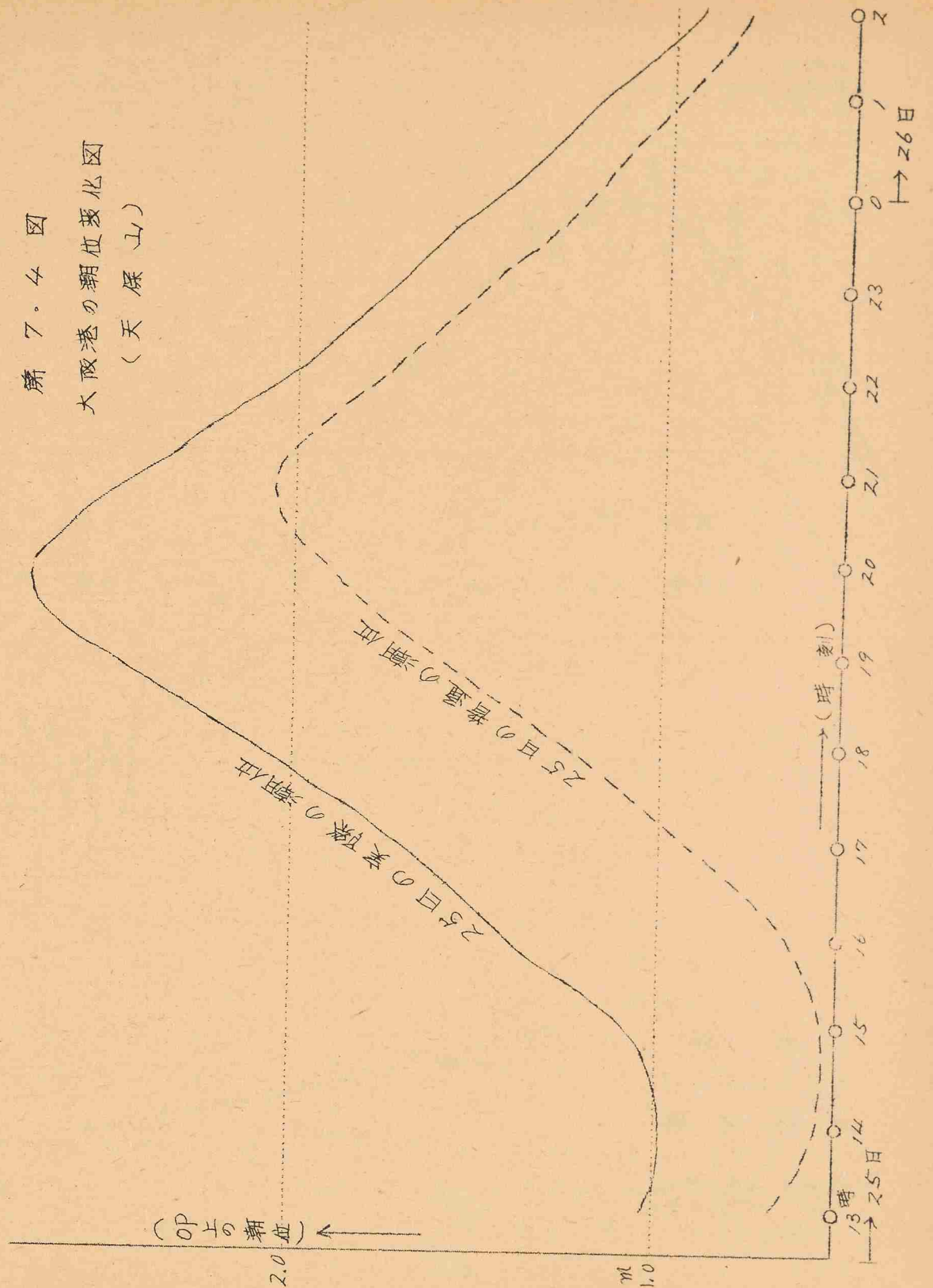
|    |    | 25日    |        |        |        | 26日    |        |        |  |
|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| 実測 | 潮時 | 10時25分 | 15時32分 | 21時00分 | 05時28分 | 10時25分 | 15時35分 | 21時40分 |  |
|    | 潮位 | 247 cm | 215 cm | 266 cm | 193 cm | 233 cm | 195 cm | 249 cm |  |
| 推算 | 潮時 | 8時05分  | 13時55分 | 19時55分 | 02時25分 | 08時55分 | 14時25分 | 20時25分 |  |
|    | 潮位 | 268 cm | 171 cm | 263 cm | 132 cm | 257 cm | 182 cm | 258 cm |  |

なお西浦沿岸江井町にある検潮所の記録では満潮は11時25分、潮位156 cmでやく36 cmの過高であった。

§ 7.2.4 大阪（天保山）

潮位は25日1時44分の干潮位（166 cm）から急速に上昇し、7時32分に352 cmとなり、最大偏差は7時10分30 cmであった。大阪における最低気圧は17時10分の977.4 mbであったが、この時の偏差は約-5 cmであった。この後の満潮時は19時31分で、20時に29 cmの偏差が再び現われた。（第7.4図）

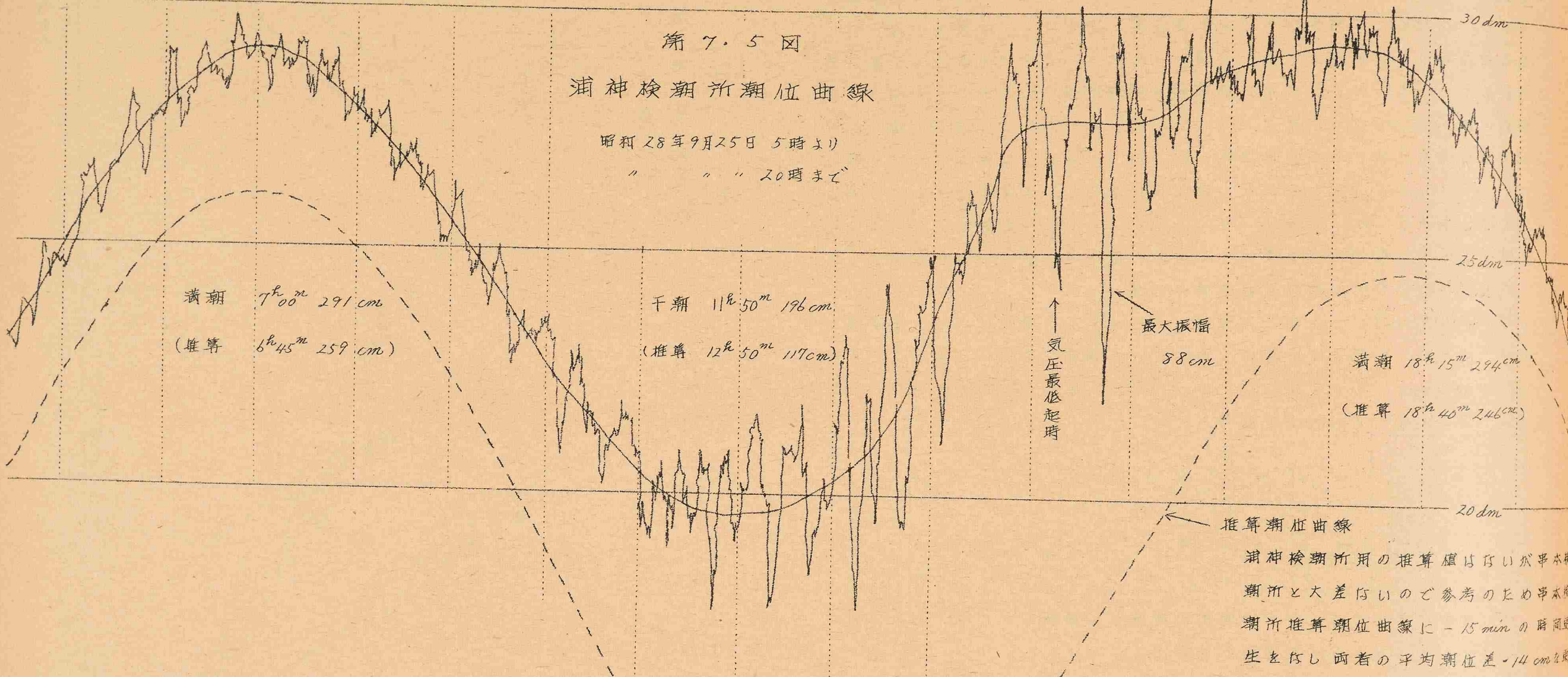
図 7.4 大阪港の潮位変化図  
(天保山)



| 5 <sup>h</sup> | 6 <sup>h</sup> | 7 <sup>h</sup> | 8 <sup>h</sup> | 9 <sup>h</sup> | 10 <sup>h</sup> | 11 <sup>h</sup> | 12 <sup>h</sup> | 13 <sup>h</sup> | 14 <sup>h</sup> | 15 <sup>h</sup> | 16 <sup>h</sup> | 17 <sup>h</sup> | 18 <sup>h</sup> | 19 <sup>h</sup> | 20 <sup>h</sup> |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 実測潮位           | 278            | 291            | 281            | 258            | 227             | 204             | 196             | 204             | 238             | 278             | 278             | 290             | 294             | 286             | 263             |
| (推算潮位)         | 249            | 259            | 250            | 224            | 189             | 154             | 128             | 117             | 125             | 149             | 182             | 215             | 259             | 246             | 235             |
| (偏差)           | 29             | 32             | 31             | 34             | 38              | 50              | 68              | 87              | 113             | 129             | 96              | 75              | 55              | 40              | 28              |

第 7.5 図  
浦神検潮所潮位曲線

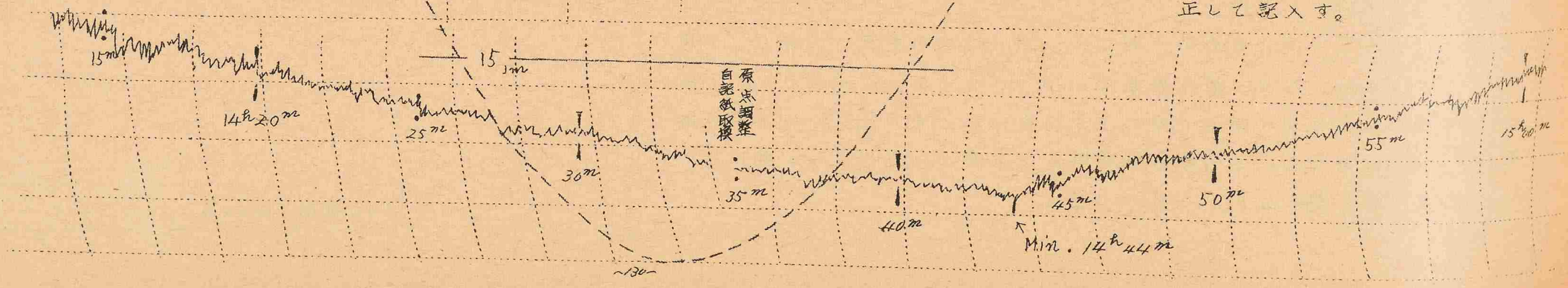
昭和 28 年 9 月 25 日 5 時より  
" " " 20 時まで



浦神検潮所用の推算値は古いが本検潮所と大差ないので参考のため本検潮所推算潮位曲線に -15 min の時間差を生かし両者の平均潮位差 -14 cm を正して記入す。

潮 岬  
スタートスケープ  
自記記録

9月25日 14<sup>h</sup> 15<sup>m</sup>より  
" 15<sup>h</sup> 00<sup>m</sup>まで



第7.2表

| 日         | 時  | 潮位                        | 風向  | 風速   | 日  | 時  | 潮位                | 風向  | 風速                  |
|-----------|----|---------------------------|-----|------|----|----|-------------------|-----|---------------------|
| 25        | 1  | 86 <sup>cm</sup>          | 北東  | 10.1 | 25 | 13 | 101 <sup>cm</sup> | 北北西 | 23.3 <sup>m/s</sup> |
| "         | 2  | 84                        | 北北東 | 10.3 | "  | 14 | 103               | "   | 25.8                |
| "         | 3  | 109                       | "   | 10.0 | "  | 15 | 108               | "   | 27.0                |
| "         | 4  | 127                       | "   | 9.6  | "  | 16 | 144               | "   | 27.8                |
| "         | 5  | 166                       | "   | 8.5  | "  | 17 | 170               | "   | 29.8                |
| "         | 6  | 211                       | 北   | 10.7 | "  | 18 | 216               | 北西  | 27.7                |
| "         | 7  | 257                       | "   | 13.2 | "  | 19 | 244               | "   | 19.3                |
| "         | 8  | 264                       | "   | 12.0 | "  | 20 | 266               | 西   | 7.4                 |
| "         | 9  | 245                       | 北北西 | 16.0 | "  | 21 | 234               | 西南西 | 15.5                |
| "         | 10 | 226                       | "   | 14.9 | "  | 22 | 194               | "   | 12.9                |
| "         | 11 | 186                       | "   | 15.5 | "  | 23 | 174               | "   | 10.7                |
| "         | 12 | 147                       | "   | 21.9 | "  | 24 | 146               | "   | 8.9                 |
| 最大風速      |    | 32.5 m/sec 北西 25日 17時 15分 |     |      |    |    |                   |     |                     |
| 最高潮位      |    | 2.75 m 19時 31分            |     |      |    |    |                   |     |                     |
| 潮位はOP上の高さ |    |                           |     |      |    |    |                   |     |                     |

§ 7.2.5 神戸

最高潮位は25日07時52分246cmであつたが、7時10分には最大偏差41cmが観測された。台風の影響は最も強かつたと思われ、また推算干潮時に相当した14時30分頃に吹き続いた25 m/sec以上の北風のため、潮位は異常に低く、偏差は-41cmであつた。強風連吹していた期間に振幅20cm、週期8~9分の神戸港内の副振動が発達していた。

§ 7.2.6 和歌山

最大偏差の出現時には7時北北東4.8 m/sec、8時東北東4.0 m/secと風力は比較的弱かつたが、自記紙上の副振動の記録は75cm以上の波高を示した。最高潮位は7時40分253cm、最大偏差は7時30分50cmで、この頃加太町、下津町の海岸近くで、地上1尺~2尺の浸水があつた。

§ 7.2.7 串本

台風中心が最も接近して最大偏差90cmが記録された25日15時に

は推算干潮時に相当し、最高潮位はあまり高くはなつた。ここは常時副振動を観測している検潮所であるが、今回も24日8時頃には週期7~8分、振幅12cmの副振動が現われ、25日0時から振幅は25cmに増加し、14時25分には振幅122cm、週期9分の最大振動を記録した。潮位は25日06時10分の推算満潮時には平常より31cm高く、落潮期に入ると共に低下し、12時30分頃から上昇を始め、18時22分の満潮位は推算値より51cm高かつた。

§ 7.2.8 浦神

今次台風による各地の偏差中、最大値(135cm)を示した。25日11時頃から落潮期にもかかわらず潮位は上昇し、15時00分最大偏差135cmを記録した。潮位は15時から16時まで、ほとんど上昇せず、18時50分の推算満潮時が接近するにつれて更に上昇し、18時15分最高潮位は294cmを記録した。副振動は24日10時頃から始まり、振幅6~10cm、週期15分、25日3時以後20cm位となり、15時50分、最大振幅88cm、週期18分を記録した。(第7.5図)

§ 7.2.9 三重縣高潮状況

台風第13号による高潮と波浪は三重縣に数十年来の大災害をもたらしたが、高潮による潮位の最高100~150cm程度で、波浪の高さは伊勢湾内で2~3m、熊野灘では10m以上に達した。

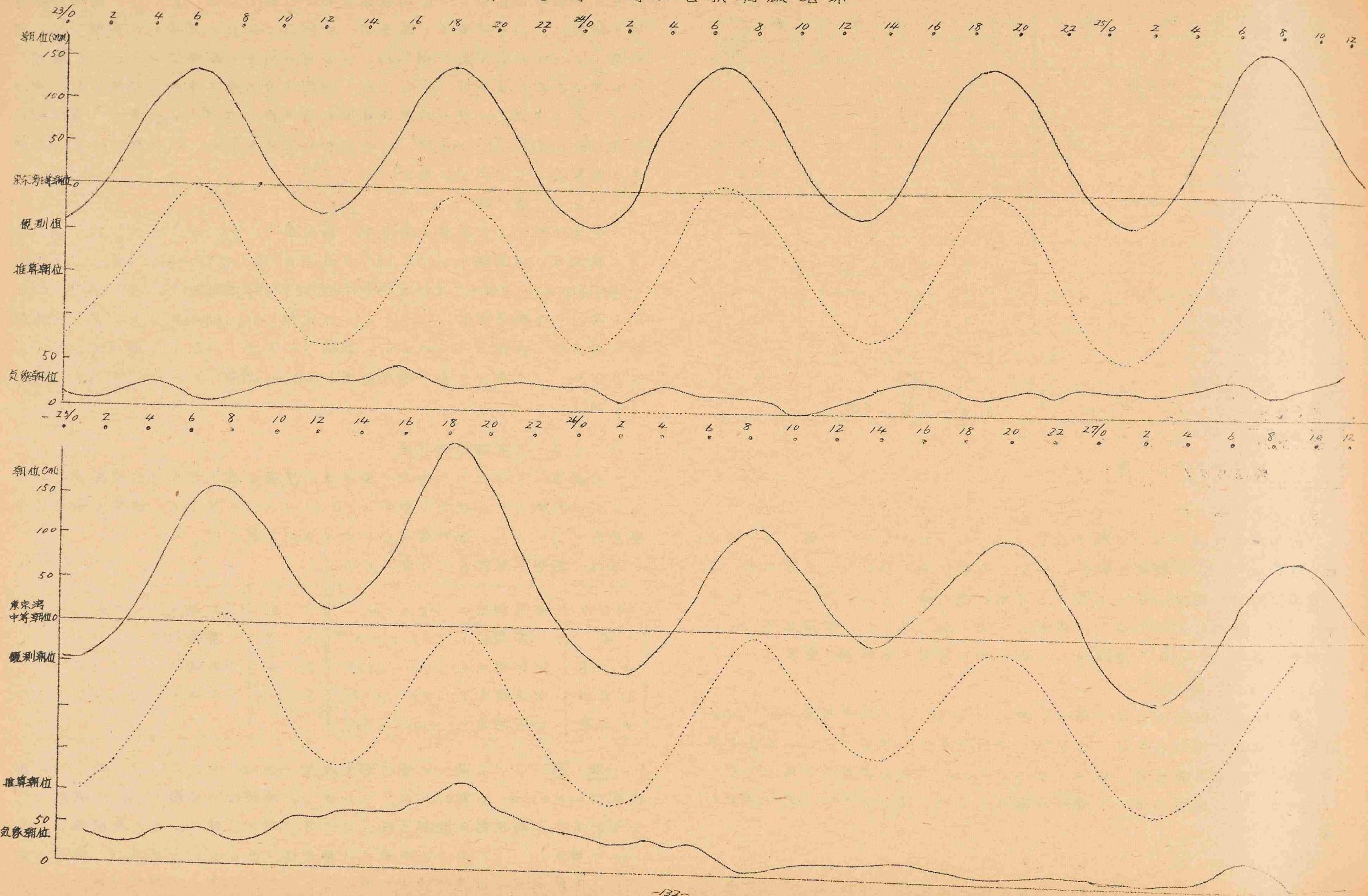
各地の高潮の状況は次の通りである。

|     |                  |    |                  |
|-----|------------------|----|------------------|
| 四日市 | 中等潮位上 250 cm     | 土路 | 平均海面上 250~280 cm |
| 津   | 中等潮位上 260~300 cm | 大湊 | 中等潮位上 220 cm     |
| 米津  | 中等潮位上 230~250 cm | 鳥羽 | 中等潮位上 234 cm     |
| 伊倉津 | 中等潮位上 170~200 cm | 文川 | 平均海面上 210~220 cm |
| 大口港 | 中等潮位上 200~320 cm |    |                  |

鳥羽 18時10分に最大偏差101cmを示し、18時30分最高潮位445cmが現われた。24日16時頃から振幅7cm、週期3~5分の小さい副振動が記録され、25日6時まで続き、その後振幅は18cmに増大し、18時30分頃には振幅は30cm以上に達し、最大とほつた。推算満潮時頃(最高潮位)に達したが、これは次の干潮時の潮位176cm



第 7.6 圖 鳥羽港檢潮儀記錄



にくらべ 269 cm 高く、平均の朔望潮差より 65 cm 大きかつた。

第7.3表 鳥羽港実測潮位表

| 日<br>時 | 23日 | 24日 | 25日 | 26日 |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 1      | 210 | 191 | 185 | 186 |
| 2      | 243 | 216 | 196 | 176 |
| 3      | 287 | 261 | 226 | 186 |
| 4      | 327 | 307 | 275 | 212 |
| 5      | 359 | 349 | 322 | 256 |
| 6      | 365 | 373 | 365 | 299 |
| 7      | 351 | 369 | 388 | 334 |
| 8      | 315 | 346 | 382 | 352 |
| 9      | 263 | 307 | 356 | 342 |
| 10     | 228 | 260 | 320 | 315 |
| 11     | 202 | 227 | 282 | 279 |
| 12     | 198 | 205 | 256 | 246 |
| 13     | 205 | 198 | 247 | 226 |
| 14     | 235 | 213 | 263 | 221 |
| 15     | 279 | 250 | 296 | 236 |
| 16     | 321 | 293 | 341 | 261 |
| 17     | 357 | 330 | 392 | 293 |
| 18     | 370 | 364 | 441 | 321 |
| 19     | 357 | 369 | 439 | 338 |
| 20     | 327 | 353 | 390 | 340 |
| 21     | 279 | 318 | 334 | 321 |
| 22     | 235 | 266 | 281 | 286 |
| 23     | 206 | 227 | 236 | 245 |
| 24     | 188 | 198 | 208 | 207 |

第7.4表 鳥羽港潮位偏差

| 潮 時        | 実測潮位 | 推算潮位 | 潮位偏差 |
|------------|------|------|------|
| 23日 5時 50分 | 365  | 235  | -5   |
| 12 10      | 198  | 42   | 21   |
| 18 05      | 370  | 224  | 11   |
| 24日 0 25   | 186  | 42   | 9    |
| 6 25       | 374  | 239  | 0    |
| 12 55      | 198  | 51   | 12   |
| 18 45      | 370  | 225  | 10   |
| 25日 1 05   | 185  | 31   | 19   |
| 7 20       | 388  | 236  | 17   |
| 13 00      | 247  | 65   | 47   |
| 18 30      | 445  | 223  | 87   |
| 26日 2 05   | 176  | 28   | 13   |
| 8 10       | 352  | 227  | -10  |
| 13 45      | 221  | 83   | 3    |
| 19 35      | 342  | 218  | -11  |

備考

実測潮位基準面 球分体下 5.24 m  
 東京湾中等潮位 球分体下 2.93 m  
 実測潮位平均値 (34年) 2.37 m  
 推算潮位平均値 (34年) 1.18 m  
 基準面の差 1.19 m

§ 7.2.10 愛知縣の高潮状況

台風13号による伊勢湾周辺並びに知多湾、渥美湾の沿岸各地の被害は、室戸台風による大阪湾における高潮の被害に劣らない甚大なものであった。伊勢湾の潮位は昭和20年1月13日の三河地震当時の地盤の沈下以来異変が起り、三重県沿岸各地ではしばしば海水が浸水し、田畑が塩害を受けているような状態であった。台風は18時頃伊勢湾を通過したが、名古屋港の満潮は19時15分であったので高潮の現象が顕著となつた。

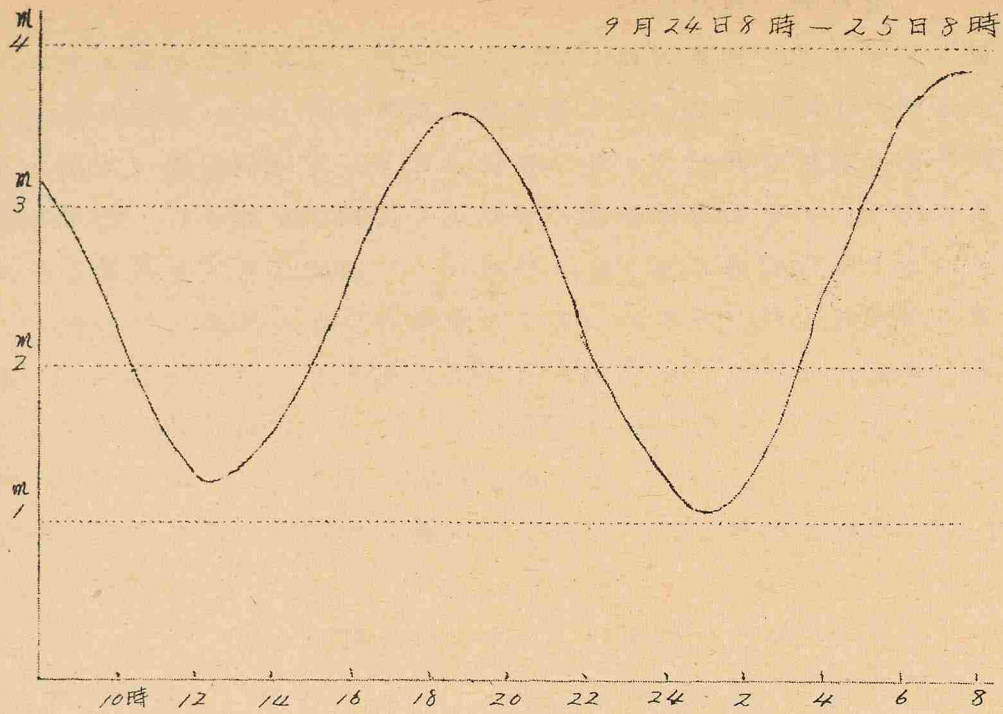
名古屋、偏差は25日11時頃から急速に増大し、17時30分、最大値100 cmに達し、18時00分には一時90 cmと減衰したが、18時30分再び100 cmとなつた。その後は急激に減少した。潮位は18時47分428 cmの高値を記録した。これは名古屋の検潮所の累年の高極潮位であった。

伊勢湾沿岸の最高潮位 (愛知縣河港課)

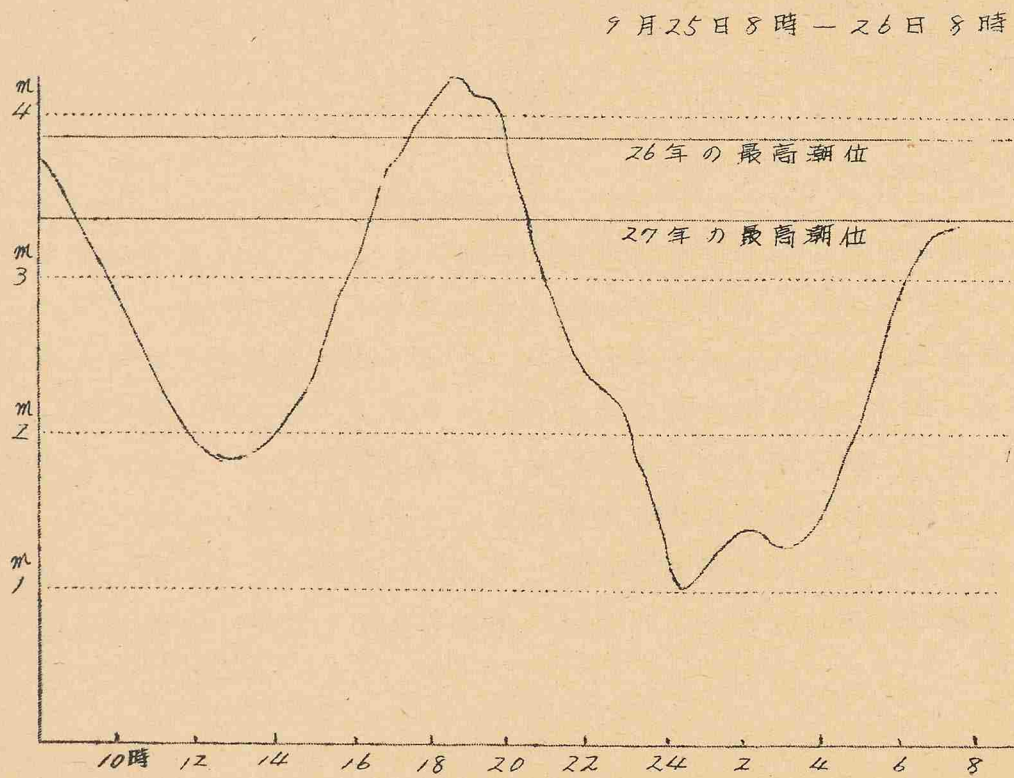
| 検潮所名 | 所在地 |    | 最高潮位  |             | 検潮所名 | 所在地 |     | 最高潮位  |          |
|------|-----|----|-------|-------------|------|-----|-----|-------|----------|
|      | 郡   | 町  | 時分    | 東京湾中等潮位上の潮位 |      | 郡市  | 町   | 時分    | 中等潮位上の潮位 |
| 日光榎門 | 海部  | 蟹江 | 18.40 | 2.266       | 船町   | 豊橋  | 船町  | 20.20 | 3.363    |
| 大野   | 知多  | 大野 | 18.50 | 2.357       | 高浜川  | 碧海  | 高浜  | 19.20 | 2.599    |
| 武豊   | "   | 武豊 | 19.00 | 2.486       | 壺川   | "   | 依佐美 | 19.30 | 1.910    |
| 前芝   | 望飯  | 前芝 | 19.57 | 2.799       |      |     |     |       |          |

今回の高潮は名古屋港では推算満潮位よりも1.630 m、朔望平均満潮位よりも1.195 m高く、豊川下流の前芝でも推算満潮位よりも1.690 m、朔望平均満潮位よりも1.255 m高かつた。このように記録的は異常高潮であったので、高潮による被害は知多半島の沿岸開河、知多湾、渥美湾の沿岸全部にわたり、特に幡豆郡の南部沿岸、豊橋市神野新田、渥美半島の橋江町付近では護岸の堤防が広範囲に破壊され、このための浸水が甚だしかつた。またこれらの地方では台風通過に伴つて風向は南東から南、西と順転し、このため海水が湾口へ吹き寄せられ、湾内の高潮と重疊して大被害となつた。

第7.7図 a 名古屋に於ける検潮記録



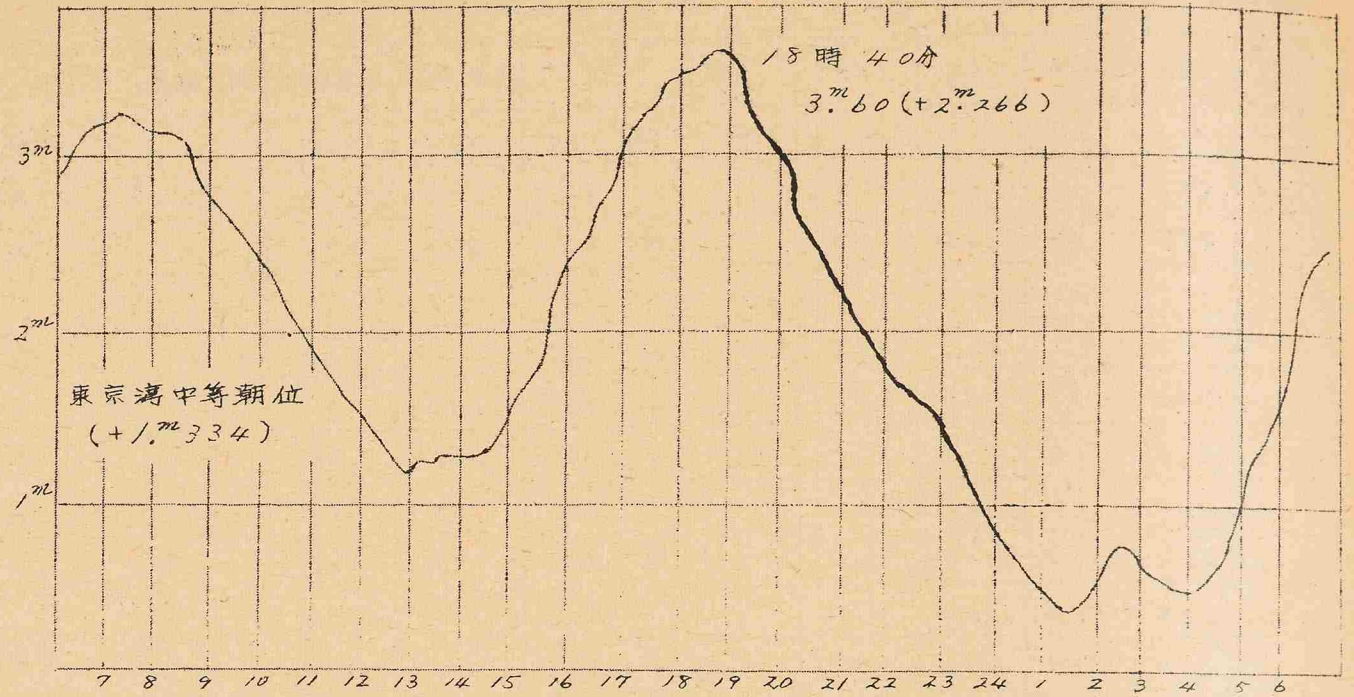
第7.7図 b 名古屋に於ける検潮記録



第7.8図 愛知縣検潮儀自記録の記録

最高潮位  $2^m.266$   
(東京湾中等潮位上)  
起時 18時40分

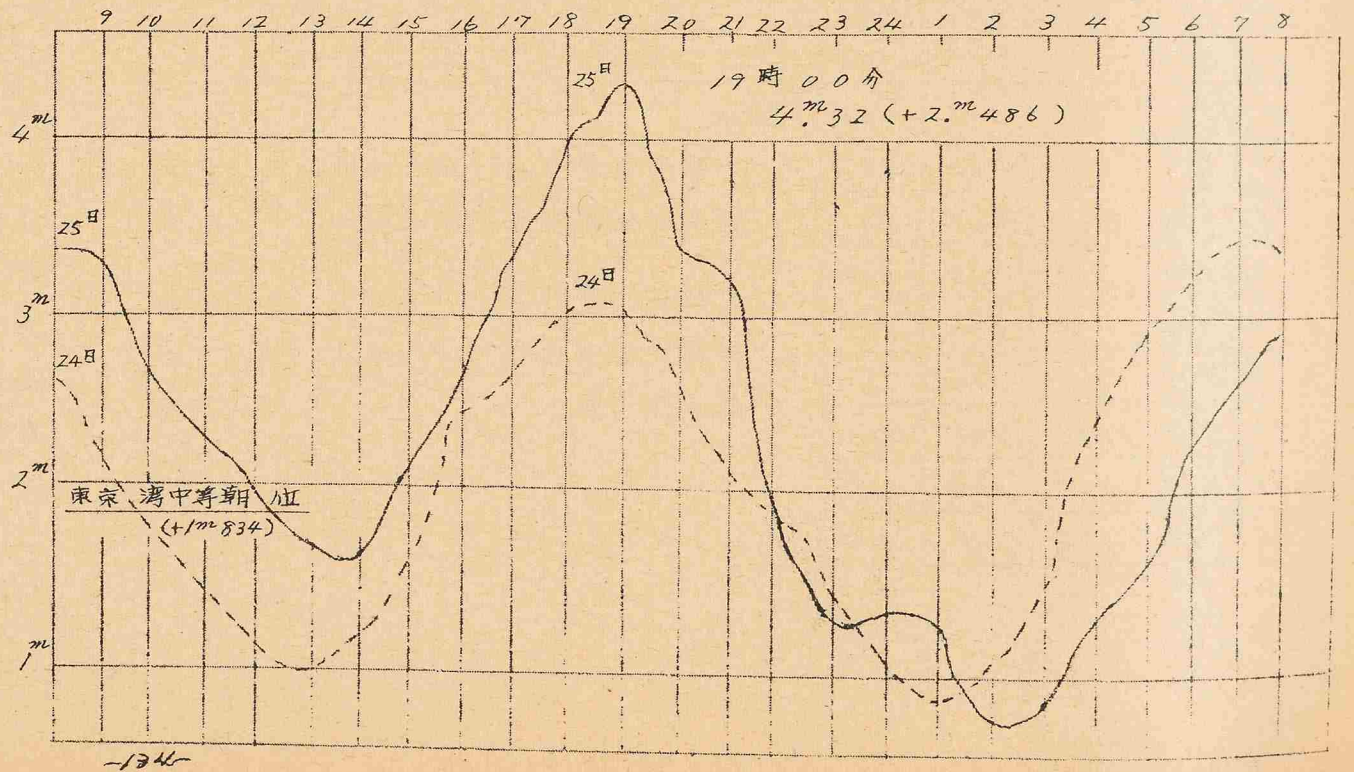
第7.8図 a 海部郡蟹江町 日光樋門 25日



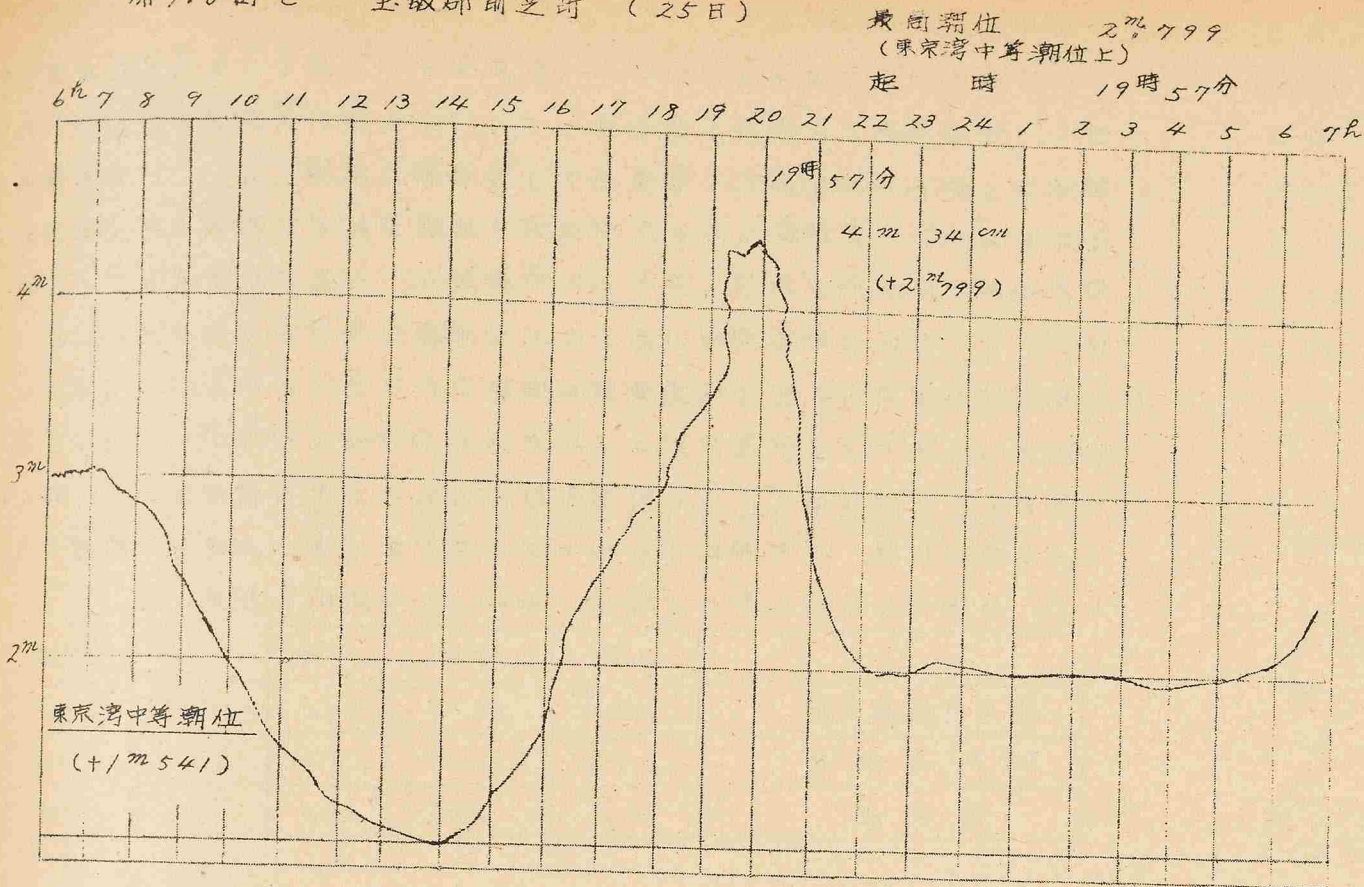
第7.8図 b 知多郡武豊町

最高潮位  $2^m.486$   
(東京湾中等潮位上)  
起時 19時00分

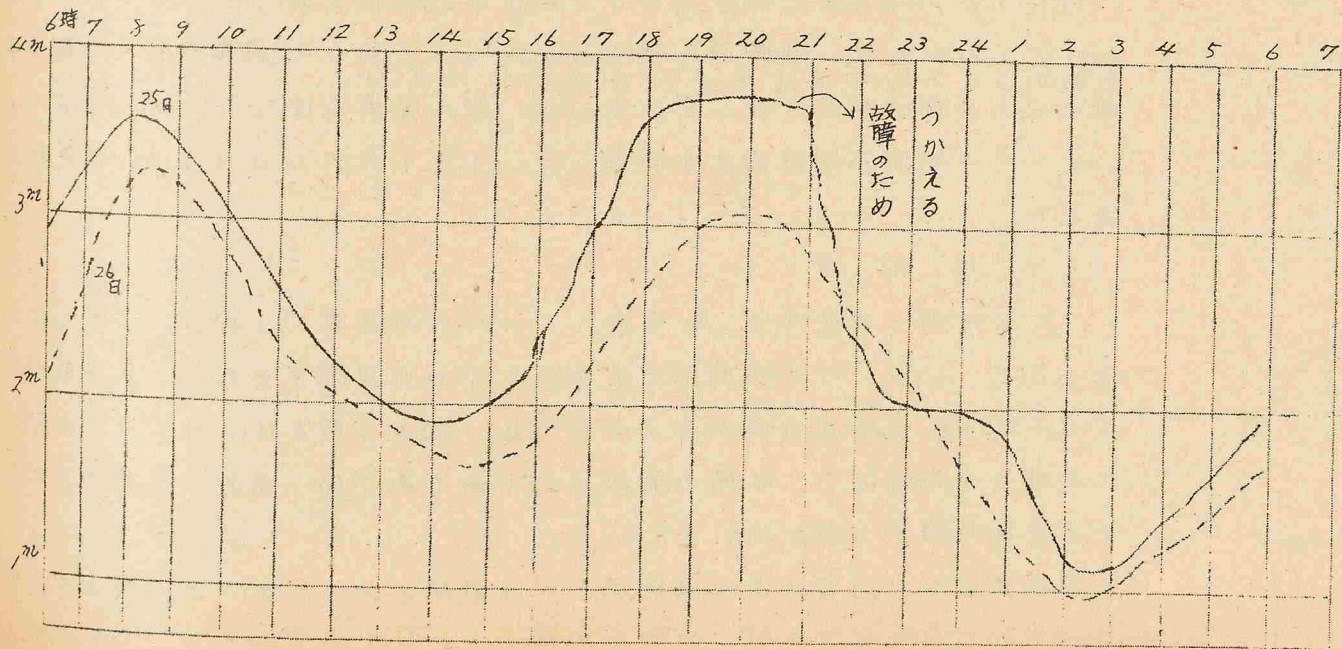
24日と25日



第7.8図C 宝飯郡前芝町 (25日)



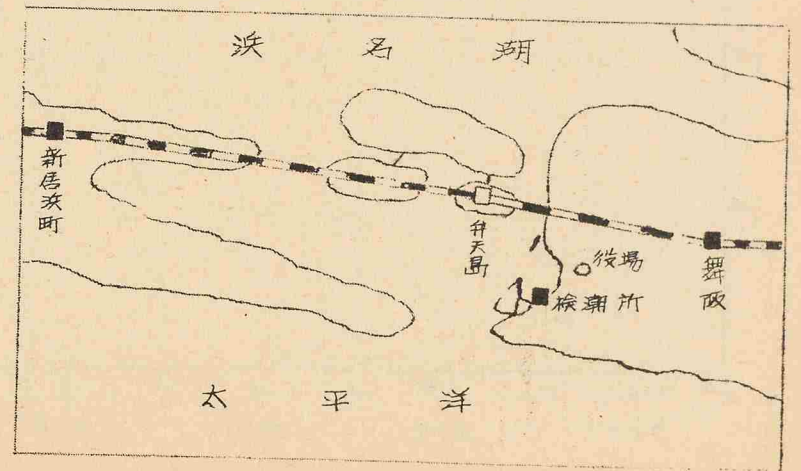
第7.8図d 宝飯郡形原町 (25日と26日)



§7.2.11 浜松湖観測所報告

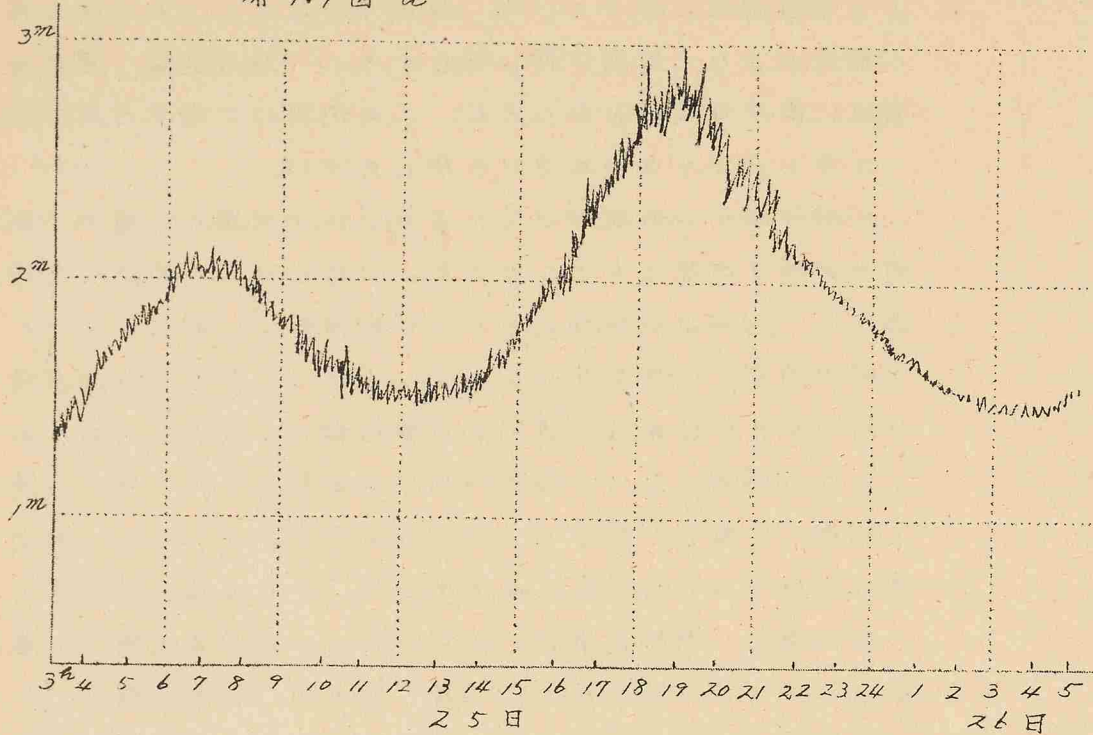
当所では舞阪町漁港に検潮所を置き、フース型検潮儀により潮位観測を行っている。台風オ13号により浜名湖は著しく潮位が上り、高潮が押し寄せきて、海洋施設、養殖施設、農地に甚大な被害をあたえた。この高潮は土地の古老の話しによると60年ぶりのものとの事であった。

23日午後から台風オ13号によるうねりが現われ始め、副振動の振幅は次第に大きくなった。それにつれて潮位も次第に高まり、25日台風接近にとまぬ副振動はいよいよ大きく、7時の満潮でも推定潮位を0.60m上廻った。午後の満潮時の18時30分には台風は三河湾から愛知県に上陸したため、南東から南の強風によつて潮が湖内に吹き寄せられ、潮位は満潮と相俟つて著しく高まり、19時00分満潮位2.74m、瞬間高潮は19時04分に3.04mであった。これは推定満潮位より1.50m高く、瞬間高潮は1.80mも高い。同検潮所構内の基準点は3.00mでこれに達したわけであるが、実際は潮浪によつて、水面は一時的に高まり、目測で3.90mに達したものとと思われる。従つて検潮所構内にも浸水おびただしく平均20センチの砂を流出した。なお気圧低下による海面のふくれ上りと、浜松・伊良湖両測所の最低気圧より内をうすると舞阪では972mbとなり、これより計算しておよそ40cmで、平均潮位には約30%足らずよりきいていない。したがつて大部分は強風による吹き寄せによつて起つたものと考えられる。

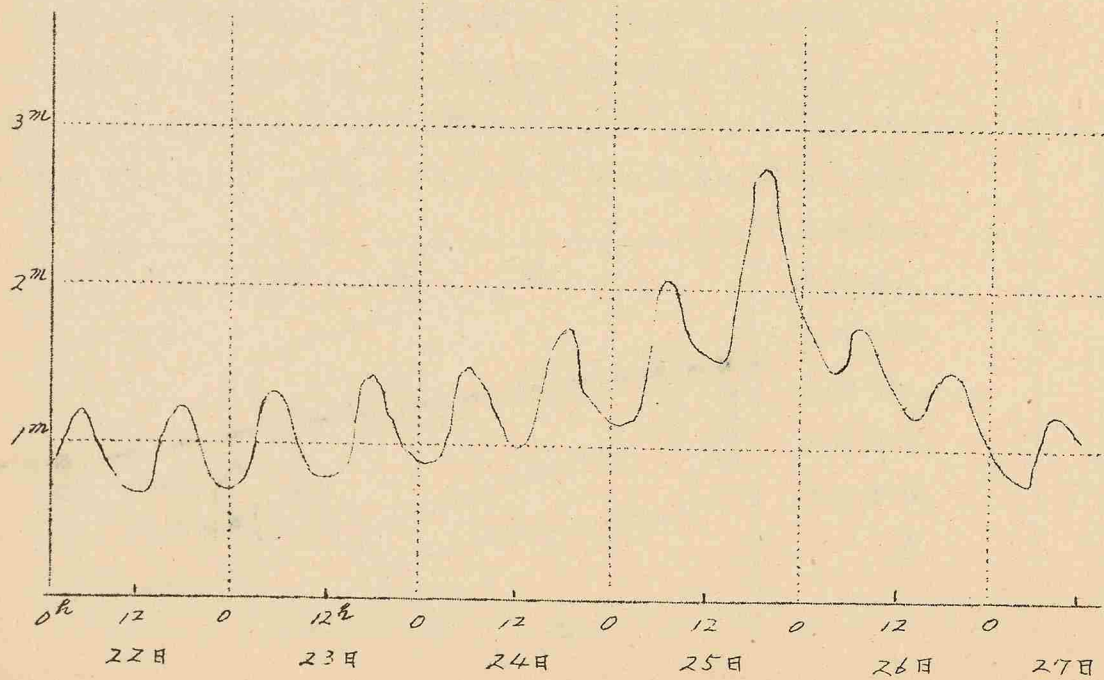


第7.9図 舞阪港潮位記録

第7.9図 a



第7.9図 b



§7.2.12 御前崎

台風才13号の高潮は昭和27年の台風ダイナの時よりも大きな被害を受けた。女岩海洋では護岸工事のコンクリートの壁が大浪と内側にあふれた海水および小川の氾濫による重圧により海側に倒壊した。このため海水はさらに浸水し、大被害をみた。白羽村と地頭方村では耕地の浸水が目立ち、新庄海岸では堤防が激浪と流木のため倒壊し、付近の住家は流木で破壊された。この付近の最高潮時の高さは平均海面より3~4m位あった。

相良町太田沢村近では駿遠鉄道が海岸沿いに走っているが、汀線から10~20mにあるこの鉄道は150cmの盛土が300~400mにわたって削りとられた。灯台付近では20時頃舟着場付近の土手が破壊され、汀線から100m位はなれ、平均海面から10m位の高さまで海水が達し、耕地は全滅した。高潮のうち特に大きな波が、4~10分間隔に叩き寄せた。

|         | 6時                | 18時 | 19時 | 20時 | 21時 |
|---------|-------------------|-----|-----|-----|-----|
| 菊川自記量水計 | 250 <sup>cm</sup> | 280 | 300 | 285 | 238 |
| 御前崎潮位   | 198 <sup>cm</sup> | 190 | 180 | 159 | 130 |
| 増水位     | 52 <sup>cm</sup>  | 90  | 120 | 126 | 108 |

§7.2.13 清水港

25日4時頃から偏差は増加の傾向を示し、25日13時には27cmとなり19時には44cmの最大偏差となり、潮位は270cmであった。満潮は19時10分であったので、満潮時の潮位は275cmであった。偏差の最大は気圧最低時刻より1時間半位早かった副振動は24日18時10分の満潮前後から激しさをました。最大全振幅は25日22時03分の70cm、5分週期の副振動は全振幅30cmに達した。26日08時以後は急激に衰えた。

§7.2.14 内浦

25日14時の偏差は8cm程度であったが後急激に上昇し、19時には50cmとなり、このころは満潮時に近かったため気象潮と重なり、満潮時の潮位は292cm(25日18時35分)であった。偏差の最大はこれよりややおくれ20時に57cmで、この時の潮位は275cmであった。気圧の最低はこれより1時間半後に986.9mbを示した。

副振動は24日18時05分の満潮頃までは単調であったが、その後8分週期の副振動が次第に副振動が次第に振幅をましながら現われた。25日20時16

分に最大全振幅 65cm が記録された。その後 26 日の満潮時 18 時 50 分をすぎると振幅は急激に小さくなった。

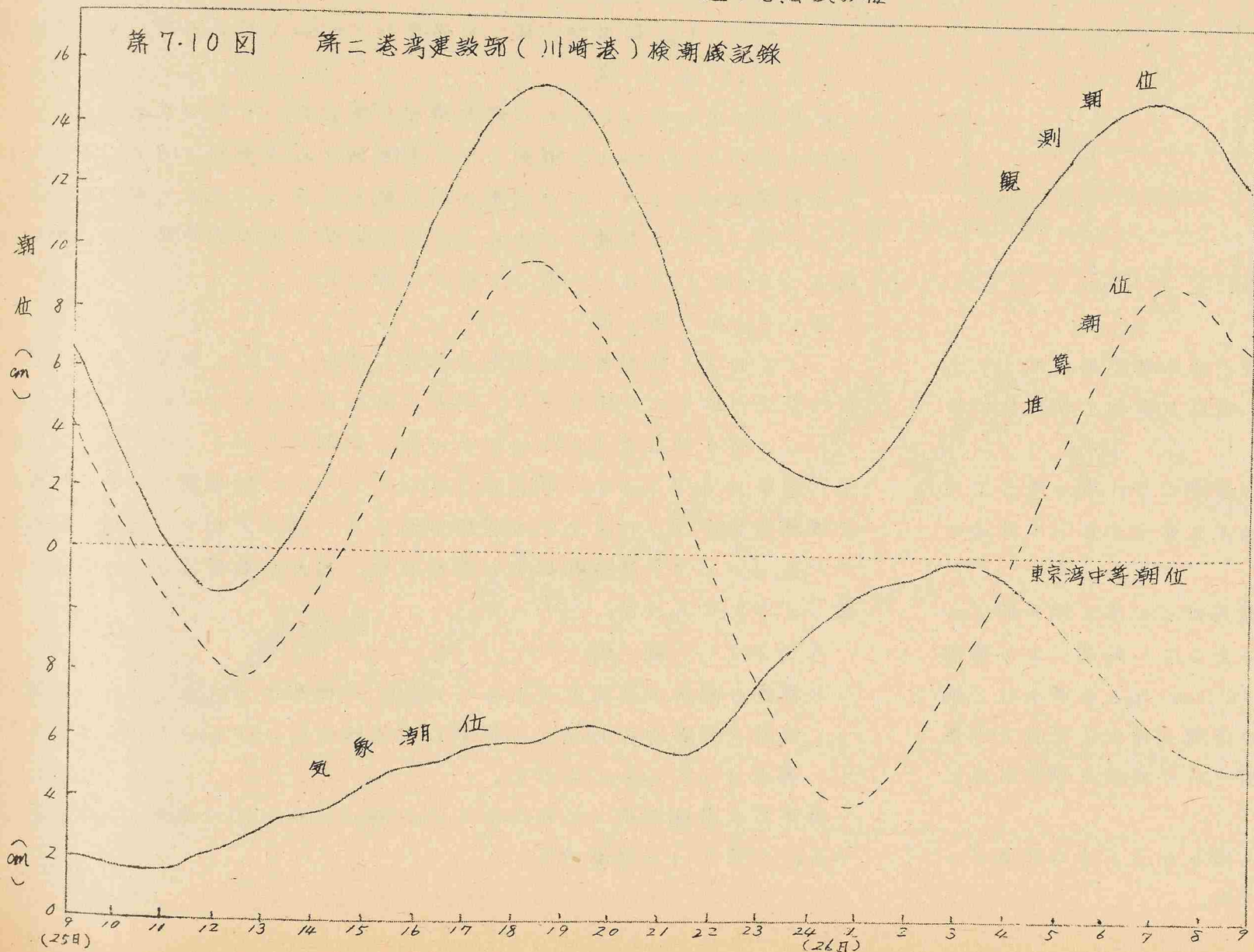
§ 7.2.15 伊 東

偏差は 25 日 10 時頃から次第に増加し、14 時には 27cm とはり、その後 26 日 2 時まで、20~27cm の間を上下した。副振動の最大全振幅は 25 日 21 時 30 分に 35cm が観測された。

§ 7.2.16 横浜測候所報告

今回の台風オノ 3 号によつてもさらされた高潮についてオニ港湾建設部川崎工場の検潮儀に記録された資料によると附図に示す通りで、台風の接

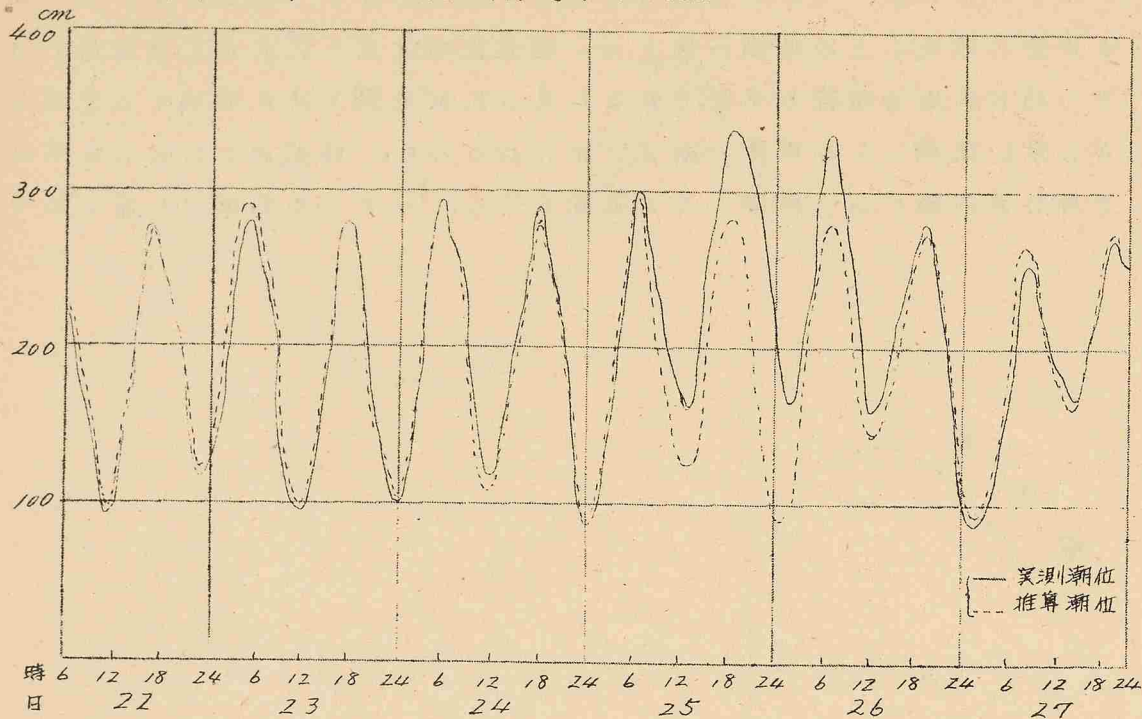
近時は幸ひ落潮に接はり、最接近時の夜半頃には丁度干潮(00時55分)であつた爲、台風による高潮の被害は割合少なかつた模様である。それでも夕刻から夜にかけての満潮時には相当の高潮となり、陂波堤をこへた風浪は岸壁に激突しその波頭が陸上の一部建造物を洗つた状態が工業地帯には続き一時は可成の被害も予想されるに至つたが落潮と共に漸次その危険は減火し幸ひ高潮による被害は殆んど生じなかつた。台風のもたらした潮位の上昇は夜半過から 3 時頃、その最高を示し、凡そ一米前後の上昇であつた。



§ 7.2.17 東京管区气象台報告

東京湾における高潮

第 7.11 図 東京湾 (月島) の潮位



9月25日未熟した台風オノ3号によつて東京湾では高潮を起した。これは丁度、望(満月)に當つていたが幸いなことに満潮の時刻を外れたので高潮による難はそれ程ではなかつた。

満潮は25日19時05分の339cmでこれは高潮ではない時の高さより56cmも高く(之を潮位偏差と云う)、最大の偏差は翌26日01時40分の76cmに及んだ。

この為、東京港沿岸一帯に浸水を見た。東京都内だけで床上浸水約600戸、床下浸水約2,500戸に及び、特に江東地区は烈しく、高潮による最高水位は1mに達し、深川観測所付近の道路では50cm以上も浸水し、砂町観測所付近でも同様可成の高潮があつた。この高潮で同地区方面の都電は一部不通となり、この他、城南地区の羽田方面一帯や隣接の浦安付近にも高潮が押し寄せた。

なお、副振動は余り顕著ではなく、25日18時から26日4時迄、この最大全振幅は9cmで、周期は79分であつた。

§ 7.2.18 富崎測候所報告

富崎における副振動がやや顕著に現れ始めたのは24日20時頃からで、次第に大きくなり、25日早朝からますます大きくなり、満潮時(17時35分)には烈風と重なり、17時50分には高極潮位は基準面より3.40mに達し、週期も3分位の短週期が卓越した。後潮位は次第に下降したが、副振動はなお大きく振幅1m以上を記録した。26日8時にはほとんど平常に復した。

布良 偏差は24日20時頃から増加し、25日9時には28cmとなり、16時には43cmとなつた。20時には最大偏差70cmを記録した。布良の気象潮が他の観測所にくらべて高いのは、強い南寄りの吹寄せが大きかつたためと思われた。副振動の最大全振幅は131cm(25日21時12分)であつた。

§ 7.2.19 小名浜

25日17時00分229cmの最高潮位が現われ、気圧の最低はこれより8時間位後に985.0mbを観測した。副振動は20分週期のものに25日5時5分の満潮頃から6分、11分週期の副振動が重なり、25日17時の満潮から26日5時30分の満潮にかけては11分週期の副振動が発達し、最大全振幅は16cm(25日19時35分)であつた。

§ 7.2.20 宮古

25日21時過ぎから偏差は次第に増加したが、風速がほとんどはく、主に気圧の降下に支配された。偏差の最大は26日05時00分に37cmで、この時の潮位は203cmであつた。満潮はこれよりおくれ、6時35分で、潮位は207cmで、偏差は36cmであつた。副振動は25日5時00分の満潮時から20~25分の週期が始まり、同日夕刻の満潮時(16時20分)からは40~50分の副振動も現われた。最大全振幅は9cm(26日6時16分)であつた。

§ 7.2.21 舞鶴

高潮の現象は裏日本でもみられた。舞鶴付近では強い北寄りの風により、吹寄せ現象がみられた。舞鶴の高極潮位は185cm(17時23分)で、偏差は46cmであつた。

宮津では高極潮位176cm(15時47分)で、偏差は36cmであつた。(オ7.12図参照)

第7.12図

